

# 学生による授業評価 と大学教育

大東文化大学授業評価報告書（全学データ）

2018年度

大東文化大学

# 目 次

はじめに	1
全学FD委員会委員長 浅野 善治	
ファカルティ・ディベロップメント委員会報告	
第1章 授業評価アンケートの目的と実施方法	2
第1節 アンケートの目的と実施の経緯	
第2節 アンケート実施方法と集計の概要	
第2章 授業評価アンケートの集計内容と公表について	6
第1節 集計に際しての基本姿勢と留意点	
第2節 結果の分析について	
第3節 公表について	
第4節 今後の「学生による授業評価アンケート」の展望について	
第3章 昨年度(2017年度)の各学部・学科による分析報告	9
文学部	
経済学部	
外国語学部	
法学部	
国際関係学部	
経営学部	
環境創造学部	
スポーツ・健康科学部	
〈参考資料1〉	
大東文化大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程	27
〈参考資料2〉	
2018(平成30)年度 大東文化大学「授業評価」実施要項	28
〈参考資料3〉	
学生による授業評価アンケート設問・回答一覧	30
アンケート集計結果資料編	
A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計(全学・学年・学科別集計)	31
B. 項目別集計(全学・学年別集計)	56
C. 項目別集計(学部別集計)	62
D. 学年別集計(学部・学科別集計)	76
E. 学科別集計	86

## はじめに

全学FD委員会  
委員長 浅野 善治

全学FD委員会は、学生が時間、場所の制約を受けずに回答できること、学生の回答がリアルタイムで見られること、教員のコメントもリアルタイムで学生が見ることができること、さらに教員および職員の負担と経費を軽減できることなど、さまざまな点を考慮し2017年度より「学生による授業評価アンケート」Web方式を導入しました。Web方式も2年目となり、昨年度まで専任教員2科目、非常勤講師1科目としていた対象科目を、専任・非常勤ともシラバスに記載されているすべての開講科目を対象として、2018年7月4日から7月24日までの期間で実施しました。

全学FD委員会では、授業評価アンケート結果のフィードバックを組織的に行うことが全学FD活動における重要な意義と捉えており、それぞれの学部・学科が独自の視点に立って授業評価アンケートの結果を分析し、FD活動を活性化していくことには大きな意味があると考えています。そこで、2018年度も前年度に引き続き、学生による授業評価アンケートの結果の分析を各学部・学科へ依頼しました。

ここ数年、学部・学科の記述において、前年度との比較や全学の平均値との比較に関する分析の内容が増え、さらに独自のFD活動への取組みや教育活動の質的充実に向けた施設・設備の拡充に関する提案なども見られ、記載内容が豊富になってきております。授業評価アンケートは、これまではややもすると個々の先生の授業改善にのみ言及されがちな傾向が見られました。それが、ここにきて組織的なフィードバックを視野に入れた活動へと転化しつつあると思われまます。

今年度、多くの教職員の協力を得て、授業評価アンケート回答率の大幅改善が見られました。しかし、まだ多くの課題が残っている状況であり、内容の充実と効果をさらに高めることを目指さなければなりません。全学FD委員会では、ワーキング・グループを設けて設問項目の見直しや実施方法の改善、結果の公表について検討を重ねてきましたが、未だ抜本的な課題解決に至っていません。本学は、学生による授業評価アンケートを他大学に先駆けて実施に踏み切り、それは授業の内容や方法の改善を図るうえで大きな役割を果たしてきました。魅力的な授業や教育改善の成果をより一層高めるため、全学FD委員会でさらに議論を深め、本学の教育の質向上を図っていくことが期待されます。

最後に、本年度、学生による授業評価アンケートの実施にあたってご理解とご協力くださった多くの学生および教職員の皆様に衷心よりお礼申し上げます。

以上

# 第1章 授業評価アンケートの目的と実施方法

## 第1節 アンケートの目的と実施の経緯

### (概要)

2018年7月4日から7月24日に実施された「学生による授業評価アンケート」について報告する。今回のアンケートは昨年度導入したWeb方式を継続し行われた。実施目的は、授業に対する学生の率直な意見を聴取して本学の授業内容及び教育方法の改善に資することにある。併せて、自己点検・評価活動の一環として行っており、本年度で17回目を数えた。

アンケート結果に関する集計方針は、学生の授業への評価を統計的に、学年・学部・学科・授業別に提示することである。加えて、個々の教員・授業に関して学生がどのような感想・意見を持つかを個別に収集することにも工夫し、各教員に授業改善の取組みに着手するための判断材料を提供することを目指してきた。

また、(公財)大学基準協会(本学が2010年度に受審した認証評価機関)の方針を踏まえ、2011年度に本委員会が掲げた以下の姿勢を維持している。

(公財)大学基準協会による大学評価(認証評価)は2010年度で第一期が終了し、2011年度からの第二期大学評価(認証評価)では評価の基準が見直された。「全ての授業について統一した項目で授業評価が実施されていること」が、評価の際に留意すべき事項から外れ、その代わりに、達成度評価として「教育内容・方法等の改善を図ることを目的とした研修・研究が、定期的実施されるものであり、また、これを踏まえた改善プロセスを明らかにしているなど、教育の質の維持・向上に恒常的かつ適切に取り組んでいる。」(『「大学評価」ハンドブック』(公財)大学基準協会)という留意すべき事項が設けられている。これに準拠した形で、大学は授業評価アンケートの継続又はそれに替わる制度を導入し、社会に対して教育の品質保証をしなければならない。これについては本委員会において、中・長期的な課題として検討していく必要がある。

(2011年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』より)

### (認証評価結果を受けての本学の姿勢)

本学は2010年度に(公財)大学基準協会の認証評価を受審し、以下のような指摘(「助言」)を受けた。

「全学部において、授業評価アンケートが専任教員は年間2科目、兼任教員は年間1科目の実施にとどまっており、結果のフィードバックも主として個々の教員に委ねられているので、改善が望まれる。」(2010年度「大東文化大学に対する大学評価(認証評価)結果」(公財)大学基準協会)

この結果に対して、本委員会では2011年度から議論を重ね、2013年度には以下の方向を定めた。

- ①本学では2004年度までの4回にわたる授業評価アンケートでは全科目について実施してきた。しかしながら、「同じ教員が担当する授業で評価が極端に異なるこ



とは考えにくい」こと、「対象科目を絞り込むことによって教員・学生双方の負担を軽減」し「教員にはきめ細やかな改善策を策定するための労力を割いてもらいたい」（2006年度版授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）との理由により、2006年度からは専任2科目、非常勤1科目体制に変更した経緯がある。2013年度に再度2004年度の結果を調査（3教員を無作為で抽出）したところ、同一教員により「極端に異なった」結果が出ているとは言い難かった。この確認に基づいて、科目数を絞っても十分に信頼できるデータがとれると判断し、専任2科目・非常勤1科目とした。2018年度はWeb方式を活用し、全科目を対象に実施した。

②アンケート結果のフィードバック方法が教員個人に委ねられているという指摘についてはこれを真摯に受け止め、組織的な取組みが必要と判断した。2011年度まではアンケートの実施母体（現在ではFD委員会）のみが行っていたアンケート結果の分析を、2012年度分からは各学部・学科のFDを担う委員会に依頼して学部・学科単位で行う教育改善を促し、その分析結果を『報告書』へ掲載することとした。

アンケート科目数については、2017年度より導入したWeb方式を継続しつつ、Web方式の利点を活かし、全科目を対象に実施とした。

なお、2016年度に（公財）大学基準協会による第二期大学評価（認証評価）を受審した。その結果と本学の現状を勘案し、アンケートの今後の方向性について現在、抜本的な改革に向け検討作業にはいつている。

### （今までの流れ）

近年の本学の「学生による授業評価アンケート」の流れについて、以下に要約しておく。2009年度のアンケート実施から、設問と集計方法について大幅な見直し作業を行った。設問群の変更を行い、大きな3つのカテゴリー（「Ⅰ．学生自身への設問」、「Ⅱ．授業への設問」、「Ⅲ．総合的な設問」）に分けた。

2008年度にあった「この授業を総合的に評価して下さい」（選択肢は「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の5択）という一設問を、「Ⅲ．総合的な設問」として4つの設問を設け、その平均評価値を以ってその授業の「総合評価」と改めた。その結果は全学集計「D．学年別集計（学部・学科別集計）」にて観察することができることになった。

4つの設問の中にその授業に「とても満足できましたか」との設問をおいた。この満足度を以って授業の「総合評価」とする考えもあり得るだろう。しかし、単に満足したか否かの問いだけで直ちに総合評価とはできない。例えば、「この授業はあまり出席しなくても単位取得ができる」「（授業内容はともかく）先生の雑談が面白かった」など、設問の本意とは異なる動機で「満足」したと回答する可能性がある。逆に、本来ならば評価されてもよいような高水準の授業に対して「出席、授業態度に厳しく単位取得が難しい授業」や「高度な専門性のため授業についていけない」などの理由で「満足度」が低くなる傾向も否定できない。これらの観点を考慮して、「新しい自己発想」「分野への関心」「自分で考える姿勢」と「満足度」という4つの設問の平均値を以って「総合評価」とした。

こうした基準による結果が「総合評価」としてふさわしいかどうかについては慎重な検

討が必要である。本委員会において「総合評価」の在り方については何度も議論してきたことを付記しておきたい。

本報告書に掲載されている全学集計表「A～D表」は2009年度に精査された集計法であり、2011年度から全学集計として「E. 学科別集計」を加えることになった。

この学科別集計については、2009年度から報告書への掲載の是非を本委員会内で検討してきた。学科別集計表は各学科の設問ごとの数値がわかりやすい形で比較可能であることが議論を呼び、各学科の「序列」が示されているとの誤解を招きかねないという危惧が上がった。結果についての何らかの評価がないこと自体、アンケート実施の趣旨に反するとして、本委員会は2011年度から「E. 学科別集計」を掲載することにした。

本学が実施している「学生による授業評価アンケート」は授業を数値化して序列化しないことを本委員会は原則としており、学生および教員にアンケート実施を依頼する前提でもあった。実施科目には大規模科目もあれば小規模科目もあり、授業形式においても演習や講義など多様である。また、各学科や分野の性質や教員一人当たりの学生数などの全く異なる状況にある授業に対して同一基準によって一律に数値化することが原理的に不可能である。これらの限界を抱えながらも、アンケートによって個々の授業のアンケート結果を通して「授業改善」そして組織的な「教育改善」につなげることが本学の基本姿勢であることを再度確認しておきたい。

2012年度には携帯及びスマートフォンを使用したWebアンケートを実施した。従前のマークシート方式による膨大なコストと事務の過重負担が限界に達しており、アンケート自体の可能性を探るための試みであった。しかしながら、東松山校舎における携帯電波状況の悪さとサーバーダウンのトラブル等が重なってしまった結果、Webアンケート方式は時期尚早と判断して2013年度からは従前のマークシート方式に戻したが、膨大なコストと事務の過重負担削減、授業短縮の必要がなく、学生が期間中ならいつでもどこでも回答でき、教員コメントがリアルタイムに学生へ反映できる利点から2017年度はWeb方式を導入した。

### **(本年度の実施)**

2006年度以降後期に実施、2014年度及び2015年度は前期、2016年度及び2017年度は後期の実施であり、本年度は過去2年間実施していない前期にアンケートを実施した。

## **第2節 アンケート実施方法と集計の概要**

アンケート項目は授業形態や内容に関わらず全科目共通で、必要に応じて2項目を上限として質問項目の追加を可能とした。

本年度もアンケートは無記名方式（匿名回答）とした。学生の自由な意見を妨げるべきではないこと、回収率が極端に下がる懸念があるなどの観点から、マークシート方式と同様な内容で行った。

本委員会では、今の形でアンケート実施を続けるのであれば、現行の無記名方式を取らざるを得ないと考えている。しかしながら、真摯な姿勢でアンケートに取り組む学生がいる一方で、学生が記述する自由記述欄の内容に、根拠のない教員の悪口や不満などを記載する学生がいるという旨の報告を受ける。それでも、「匿名性」を保ち学生が自由な意見を提言できる環境を堅持することは極めて重要であると委員会では考えている。学生の多

様な意見から授業改善に結びつける教員の冷静な対応を期待したい。

### 1) 実施対象

前述の通り、2018年度は原則、全科目を対象として実施とした。本委員会にて本年度の全学の授業データを整えたうえで、アンケート対象科目の選定基準を「専任・非常勤ともシラバスに記載されているすべての開講科目（大学院の科目を除く）を対象とする。原則として、受講者が10名未満の科目、オムニバス科目、演習科目（1年次の基礎演習科目は除く）については対象外とする。」とした。

各学部学科及び国際交流センター、教職課程センターにおいて、アンケートに相応しくない科目（オムニバス科目、短期集中科目、演習科目等）の抽出と授業形式等の確認作業を依頼し、回答に基づき、各教員へ対象科目を連絡した。原則、本院会から連絡した実施対象科目にてアンケートを実施とするが、各教員より希望があった場合にはアンケート実施科目の追加または削除について、FD委員長と協議のもと個別対応とした。

実施した教員数と授業科目数等は以下の通りである。

教員数： 931名（専任343名、非常勤588名）  
対象科目数： 2,508科目  
対象学生数：117,708人（延べ）※登録受講者総数  
有効回答数： 61,297人（延べ）  
回答率： 52.1%

表 実施科目・人数

専/非	科目	対象学生数	回答学生数
専任	1,196	64,927	32,178
非常勤	1,312	52,781	29,119
計	2,508	117,708	61,297

### 2) 実施期間と方法

アンケートは、2018年7月4日から7月24日の期間中に授業又は授業以外に実施された。全学FD委員会では、アンケート実施に際し、アンケート実施手順書、教員用マニュアルを用意し、授業時間内の終了15分程度を使いアンケート実施する方法を推奨した。昨年と比較し、アンケートの実施の有無について確認のため、非常勤含む全教員へ紙による実施報告票の提出を必須とした。

### 3) 集計方法

回答は5択制「肯定的/やや肯定的/どちらとも言えない/やや否定的/否定的」を採用し、設問に合わせた選択肢を設けた。

以上

## 第2章 授業評価アンケートの集計内容と公表について

### 第1節 集計に際しての基本姿勢と留意点

アンケートの集計に際しては、本学の基本的な姿勢として次のことが継承されている。前回報告書より、当該の文章を以下に再録する。

学生による授業評価は、授業の運営をめぐって学生と教員のあいだの意思疎通を図り、教員が学生の声を受け止めながら今後の授業改善に役立てるための基本資料を提供する目的を持っている。したがって授業評価は、授業改善に取り組む教員を励ます「応援歌」となるべきものであり、この原則を離れて、集計結果に示された数値（評点）のみに基づいて単純に教員ないし授業を序列化することは厳に慎まなければならない。この点は、教員のみならず学生、職員を含め、全学の共通認識としてあらためて確認しておかねばならない。

（2015年度版大東文化大学授業評価報告書『学生による授業評価と大学教育』）

なお、この報告書の集計データは、今後の各学部・学科による組織的な建設的授業改善議論を深めていくためのひとつの素材として活用されることを強く期待している。

### 第2節 結果の分析について

本委員会では、第1回目から第10回目（2011年度）実施のアンケートまで全学集計データをもとに様々な分析を行い、2009年度から2011年度については、統計の専門教員を委員に選出し本格的な分析も実施してきた。

しかし、本委員会が行う分析作業は様々な方法で実施し、すでにやりつくしてきたこと、本委員会のみで各学部・学科を一律的および横断的に分析するには限界があること、また、これ以上の成果が期待できないと判断した。そこで2012年度からは、「FD活動」とは本来、大学全体のみならず各学部・学科レベルでの組織的な教育改善活動として取り組むべきであるとの認証評価機関および全国の大学等の全般的な認識と、各学部・学科への依頼として報告書の本委員会が収集したデータを活用してそれぞれの事情に応じた教育改善が図られるべきだと判断した。

2012年度分の各学部・学科の分析報告書は、初めての試みということもありませんが内容であったが、2013年度分の同報告書から内容が充実してきており、各学部・学科のFD活動に対する意識の向上の片鱗がみられる。また、2015年度の同報告書は、本報告書第3章に掲載している。是非ご一読いただきたい。

なお、アンケートの分析業務を各学部・学科へ移行することは本委員会の負担を減らすことを意図したものではなく、分析の質を低下させるものでもないことを強調しておきたい。「学生による授業評価アンケート」はFD活動の一環として大変重要ではあるが、「アンケートの実施イコール大学のFD活動」であるという時代はすでに過ぎていることは周知

の通りである。本委員会では、「学生による授業評価アンケート」はFD活動のひとつとして捉え、引き続き大学全体に関わる教育改善を目指す活動組織として役割を全うしていきたい。

### 第3節 公表について

本報告書（冊子）には、以下の集計データと、その分析が収録されている。

- A：履修登録者数・回答者数レベル別集計（全学・学年・学科別集計）
- B：項目別集計（全学・学年別集計）
- C：項目別集計（学部別集計）
- D：学年別集計（学部・学科別集計）
- E：学科別集計

今回も実施した全科目毎の担当教員にコメントの提出を求めた。その結果、2,508科目中、提出があったものは1,843科目、提出率は全体で73.5%（専任71.3%、非常勤75.8%）となり、昨年51.5%（専任46.0%、非常勤54.0%）より提出率が大きく上がった。Web方式導入2年目となり操作方法の定着による部分は大きいと考える、特に専任教員の提出率が25ポイント以上伸び、高い傾向がみられたことは大きな成果であった。

個々の科目の集計結果とそれに対する担当教員からのコメントは、2006年度より教員のコメントを付して学内に公表されていたが、Web方式導入後も引き続き検討している。

### 第4節 今後の「学生による授業評価アンケート」の展望について

数年前から本委員会ではアンケートのあり方について抜本の見直しを含めた改革案について検討を重ねてきた。毎回検討もなく従前と同じ方法で実施を決めず全面的改定も含め検討してきた。しかしながら多くの高く厚い壁が存在し、全学的な抜本的改革の具体案を示せないのが現状である。

本年度（2018年度）も昨年度に引き続き本委員会に授業評価ワーキング・グループを設置し、新しいアンケート制度の抜本的な見直しを目標に検討を行った。

2018年度以降も引き続き検討することになる予定であるが、そもそも本学が抱える教育的課題がどのような状況であるのか、またそれらをどのような形で解決するのか、高いレベルでの指導力の発揮なくして教育改革は不可能である。事実多くの大学においても、平穏順調に教育改革が進んでいる様子はみられない。大いなる決意と巨大なエネルギーを投入して、ようやくその一步を踏み出したというのが、教育改革を軌道に乗せた大学からの声である。

本学においては、授業評価アンケートという教育改革のために1つのトリガーだけでなく、私立大学を取り巻く期美々しい現状を正確に読み解き、多くの課題を一気に正の方向に展開する大胆とも言える施策を断行すべき重大な局面にさしかかっていることを申し述べておきたい。

本委員会から何回も指摘しているが、学内で抱えている諸問題、例えば8学部2キャンパス制による弊害、科目数・教員数が多く運用が困難な東松山校舎の現状と多大なるコス

ト、さらには教学を支える事務職員の過剰負荷など本学特有の諸事象はどれも本学の提供する教育品質に直接関わるものであり、授業評価アンケートだけに影響するものではない。特に昨年度から導入したWeb方式は、実際の回答率が低ければ、アンケートをもとのマークシート方式に戻すことも選択肢に入れたうえで実施した。授業時間内の終了15分程度を使いアンケート実施する方法を推奨し、紙による実施報告票の提出を必須としたことで、実施対象科目を増やしたにも拘わらず、52.1%とマークシート方式に近い回答率を得ることができた。今後もこの回答率を継続しつつ、Web方式導入によって年1回の授業評価アンケートを年2回行うことも検討していきたい。

これらの諸問題については、全学的な議論と解決が必要不可欠と思われる。それと並行して本委員会は本学の教育の質を高めるための活動を行っていくべきであろう。引き続き、各学部・学科の本委員会の活動をご理解、ご支援いただくことを伏してお願いしたい。

以 上

### 第3章 昨年度（2017年度）の各学部・学科による分析報告

第1章および第2章でも触れたが、2011年度までは全学集計結果をもとに本委員会が分析作業を行い、アンケート結果をどのように授業改善へ活かすかは教員個人に委ねることに留まっていた。そこで、本委員会では各学部・学科の「組織的」な取り組みが必要と判断し、2012年度のアンケート結果から各学部・学科のFDを担う組織に分析を依頼し、報告をいただくこととした。

前回に引き続き、昨年度（2017年度）のアンケート結果を各学部・学科に分析していただき報告書を提出いただいたので、次頁以降に掲載をする。

今回は6回目の試みとなり、各学部・学科のから報告書が充実してきている。前述の通り2013年度分の報告書から、アンケートとFD活動全般に対する意識の向上がみられる。それまでは、アンケート結果に関する情報と授業改善に関する事項は、本委員会と個々の教員のみの問題であった。それがこの制度を導入したことにより、各学部・学科による教育改善活動に繋がる機会になってきた手ごたえがある。アンケート結果による「授業改善」を如何にするかという課題が各学部・学科の教育全体を如何にするかという議論に繋がり、それはまさに「FD活動」という大きなカテゴリーである「教育改善」を行う姿勢が出ていたということである。このことは、次頁以降の各報告書からもよくうかがえる。

この取り組みは引き続き実施していく予定であり、2018年度のアンケート結果について各学部・学科へ分析を依頼し、2019年度版の本報告書に掲載する予定である。

以 上

# 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

文学部 日本文学科

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

2017年度に実施された20のアンケート項目のうちで、日本文学科は14項目において全学平均を上回った。その中で19学科中上位5位までにランクされた項目は、以下の2項目であった。

シラバスの熟読（3位）、教材等の持参頻度（5位）。

上記以外の項目で全学平均を上回ったものの順位は以下の通りである。

授業への集中（9位）、授業目的の明確さ（6位）、シラバスの反映（6位）、理解しやすさ（8位）、適切な授業進行速度（9位）、板書などの見やすさ（8位）、教材の使い方（8位）、教員の熱意（7位）、新しい自己発想（8位）、自分で考える姿勢（6位）、満足度（7位）。

他方、全学平均を下回った項目は以下のものであった。

出席率（12位）、予習・復習・練習（18位）、授業姿勢への自己評価（11位）、受講態度への対応（18位）、学生参加の機会（16位）、飽きさせない工夫（11位）、授業への関心度合い（13位）。

シラバスの熟読（3位）、教材等の持参頻度（5位）、授業目的の明確さ（6位）、シラバスの反映（6位）、自分で考える姿勢（6位）は、全学平均と比べ高いランクにあるが、その他の項目は、平均を辛うじて上回っている程度で、ほぼ平均的なレベルにあると言える。

前年度（2016年度）のアンケート結果と比較すると全学平均を上回った項目は、18項目から14項目へと減少しており、また19学科中5位以上の項目も、11項目から2項目へと激減したが、数値だけとってみると、20項目中17項目で前年度の数値を上回っており、他学科との比較においては日本文学科の相対的評価は下がったかもしれないが、数値は多くの項目で上昇しており、学生の評価に関して必ずしも悲観的になる必要はないとも言える。

ただし、全学平均を下回った項目の中でも、予習・復習・練習（18位）、受講態度への対応（18位）、学生参加の機会（16位）の三つの項目は、かなり低いレベルにある。ただ予習・復習・練習と受講態度への対応は、他学科との比較では順位は低いが、それぞれ前年度2.99から3.32、3.71から3.75と数値自体は改善されている。しかし、学生参加の機会は、前年度3.57より3.27とさらに下がってしまった。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画について

上でも述べた通り、前年度と比較して、日本文学科の授業評価は、他学科と比べ、その相対的位置は下がったかもしれないが、数値自体は、17項目で上回っており、それなりの成果が出ているということも言えよう。しかし、日本文学科の評価が相対的に下がったということは、他学科の改善のスピードに日本文学科に遅れをとっているとも言えるので、さらなる授業改善の努力が必要と言える。

学生参加の機会、受講態度への対応、授業への関心の度合いは、前年度の数値と比較して悪化しており、この点に関しては、改善をする必要があると言える。こうした項目での評価は、決まった文字テキストの読解が中心になるという、日本文学科の授業のあり方に係わっているかもしれないが、今後は授業において学生が主体的に参加する機会を多くとるような工夫が必要であろう。日本文学科では、学生の主体性涵養を目的の一つとして、卒業論文を必修とし、またそのための3年・4年ゼミをカリキュラムに組み込んでおり、この授業をより積極的に活用することで、上記の比較的评价の低い項目の改善が図れるのではないかと考えられる。

以上



## 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

文学部中国文学科

### 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問20のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

「予習・復習・練習」4.18・「授業への集中」4.41・「シラバスの熟読」4.10・「授業目的の明確さ」4.35・「シラバスの反映」4.37・「理解しやすさ」4.24・「板書などの見やすさ」4.39・「学生参加の機会」3.94・「授業態度への対応」4.16・「教員の熱意」4.43・「飽きさせない工夫」4.22・「新しい自己発想」4.24・「授業への関心度合」4.24等20問中13問が19学科中の1位で、「教材等の持参頻度」4.55・「教材の使い方」4.35等2問が2位で、「授業姿勢への自己評価」4.00・「適切な授業進行速度」4.18・「自分で考える姿勢」4.18・「満足度」4.22等4問が3位であった他学科と比較して学生・教員の授業に対する真剣さを感じられる。

- ② 2016年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

より高いレベルの教育を施す対策として、2017年度の新入生から定員を100名から70名に絞り込み、専門分野への基礎学力を持った者をより多く入学させ、教育の質の向上を目指した結果、「満足度」4.22は19学科中の3位に上がった。また「授業への関心度合」4.24・「自分で考える姿勢」4.18等の学習に対する積極的な姿勢や学力を高める努力が、数値から窺える。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

当学科の学生にとって、漢文を読み書きし、伝統的・歴史的な中国を理解することは一番の課題であり、目的でもある。従って、「予習・復習・練習」4.18・「授業への集中」4.41・「新しい自己発想」4.24・「授業への関心度合」4.24等の数値に現れている。また教員の授業への工夫として、「授業目的の明確さ」4.35・「理解しやすさ」4.24・「板書などの見やすさ」4.39・「学生参加の機会」3.94・「飽きさせない工夫」4.22・「教材の使い方」4.35・「適切な授業進行速度」4.18等の数値に現れている。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

「出席率」4.37は19学科中14位で、文学部のなかで最下位である。これは休学者・退学者の割合に比例している。特に1、2年生のなかには漢文読解について行けない学生がおり、これらの学生が休学・退学するが、いかにしてこれ等の学生を減らすことができるかが、重要な課題である。

以上

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

### ① 大学全体との比較

20項目のうち17項目で平均より上に位置していた。

特に評価が高かったのは、「教材などの持参頻度」「授業態度への対応」「飽きさせない工夫」「新しい自己発想」「授業への関心度合い」「新しい自己発想」の6項目で、全体の4位以内、「満足度」でも全体の5位であった。学生が授業に関心をもって臨み、教員も授業を工夫し、学生の関心をより高めて積極的な学びに導いた結果、「新しい自己発想」「自分で考える姿勢」につながったとすれば喜ばしいことである。

一方、評価が比較的低かったのは、「出席率」「シラバスの熟読」「学生参加の機会」の3項目であった。

### ② 2016年度との比較

20項目のうち19項目で数値が上がっていることは喜ばしい結果である。

特に、「新しい自己発想」「自分で考える姿勢」で数値が伸びていることは、授業を聴いて理解するだけではなく、自分で考え、自分で新しい発想を生み出すという積極的な方向性が出てきたと考えられる。

### ③ 学科の専門分野の特性

専門分野は英語学、英文学、米文学、英米文化を柱とし、時代的にも古い時代から現代まで、また、英米の文化と（日本を含む）他文化との比較、英語と（日本語を含む）他言語との比較など多様性を扱う方向性をもっており、教員もそれぞれ授業内容、授業形式などに工夫を重ねており、それが学生の「授業への関心度合い」「新しい自己発想」「新しい自己発想」につながったと思われる。

### ④ その他

学年別の満足度で、3、4年生に比べて1、2年生の数値がやや低い傾向が見られる。学科の現在のカリキュラムの特性として、1、2年次に必修の語学の演習科目が集中していることと関係があるかもしれない。

以上

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問20のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

全体として、4以上の項目が多く、大きな問題は見受けられないと感じる。もっとも低いのが「予習・復習・練習」の項目で、3.48であるが、大学の日常的な授業だと、レポート及び課題という問い掛け方のほうが、現状をつかめるのではないだろうか。何れにせよ、全体としては高い満足度を得ていると判断できる数値であろう。

- ② 2016年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

前年度と比較しては、2016年度は「新しい自己発想」と「授業への関心度合い」が1位であったにも関わらず、今年度は、6位、8位と大分後退してしまったのは、残念であった。個人的には日頃の学生の態度がそこまで異なるような印象は全くなかったが、数字で大きく差異が出てしまうということは、意外なことでもある。これらの2項目は、学習への取り組みのモチベーションの根幹にも関わるものなので、次年度以降の課題として取り組んでいきたい。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

本学科が、3位以内に入っている項目としては、「教材等の持参頻度」が1位、「学生参加の機会」と「教員の熱意」が2位の3項目だけであった。学生参加の機会に関しては、教育学科後援団体による企画、運営イベントからのイメージの影響も少なからず影響していると思われる。「教員の熱意」が高順位となったことは、教師側からみれば、とても嬉しい結果であり、今後も授業への熱意を絶やさずに臨んで行こうと気持ちを新たにさせられるものである。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

このところ、一定数の留年や退学を余儀なくされる学生が出ており、個々人でその理由は異なるが、学科会議などで、問題となりうる学生を教員全体で把握し、少しでも、そのような学生が減少するように心がけていきたい。

以上

### 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

2017年度も、ほとんどの項目において高数値であった。特に、「満足度」が全体の1位であったことは、専門性が高い上に、学生数が少なく、教員との距離も近い、そして何よりも、学生のニーズに合った授業が展開されているという点にその要因があろう。

この「満足度」に関してであるが、2016年度は、「1、3年生と比べて2、4年生の満足度がやや落ちるのは看過できない。2年生では、教職科目を受講している学生は特に授業が多く、ほとんど余裕がないのが原因であろう。4年生では、就職活動や実習等のため、十分授業に参加できないことが影響しているのであろうか。」としたが、2017年度は、4年生の「満足度」が4学年で一番高かった。したがって、2016年度の分析は、誤りであるかもしれない。しかしながら、2017年度はアンケート実数が少ない（半数以下）ので、アンケートに参加できた学生にとっては、「満足度」が高いのではないかともいえよう。一方では、学年の好印象ということで、前年の3年生の高評価からの持ち上がりとも考えてみる必要があるか。

「シラバスの熟読」については、2016年度同様、下位になっており、浸透していないのは残念である。そのため、各教員は第1回目の授業の最初にシラバスの内容を説明しているが、学生にもっとシラバスを自主的に読んでほしいものである。何かよい方法はないか、模索する必要がある。一方、必修が多いため、決まりきった授業を履修するということが、シラバスを熟読しないともいえよう。また、先輩からの情報により機械的に履修するということが、「シラバスの熟読」を遠ざけてしまうのかもしれない。

「授業態度への対応」は、やや下位にきている点が気にかかる。熱心に取り組んでいる学生には、それなりに返すが、態度が悪い学生には、あまり介入しないということになるだろうか。今後、善処していきたい。

以上

## 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

経済学部

2017年度「学生による授業評価アンケート」結果の分析にあたって、過年度のアンケート結果との比較による分析をする。本学ホームページよりダウンロードできる報告書「学生による授業評価と大学教育」内の「E. 学科別集計」を年度ごとに参照し、以下の表をまとめた。なお、アンケートの設問は全20問であるが、紙面の都合上、10問を抽出した。

### [社会経済学科の平均点]

	Q1: 出席率	Q4: シラバスの熟読	Q6: 授 業姿勢 への自 己評価	Q8: シラバ スの反 映	Q9: 理解し やすさ	Q10: 適切な 授業進 行速度	Q11: 板書な どの見 やすさ	Q12: 教材の 使い方	Q14: 受講態 度への 対応	Q20: 満足度
2013年	4.28	3.11	3.57	3.69	3.70	3.74	3.61	3.77	3.72	3.61
2014年	4.41	3.29	3.64	3.69	3.63	3.70	3.63	3.76	3.69	3.56
2015年	4.47	3.27	3.66	3.73	3.68	3.72	3.67	3.79	3.72	3.59
2016年	4.28	3.21	3.61	3.76	3.74	3.79	3.77	3.77	3.70	3.79
2017年	4.47	3.73	3.74	3.93	3.93	4.03	4.00	4.04	3.95	3.95

### [現代経済学科の平均点]

	Q1: 出席率	Q4: シラバスの熟読	Q6: 授 業姿勢 への自 己評価	Q8: シラバ スの反 映	Q9: 理解し やすさ	Q10: 適切な 授業進 行速度	Q11: 板書な どの見 やすさ	Q12: 教材の 使い方	Q14: 受講態 度への 対応	Q20: 満足度
2013年	4.33	3.12	3.58	3.72	3.75	3.81	3.68	3.82	3.78	3.64
2014年	4.40	3.31	3.61	3.74	3.71	3.75	3.68	3.83	3.75	3.63
2015年	4.41	3.25	3.62	3.72	3.69	3.70	3.69	3.80	3.71	3.59
2016年	4.31	3.16	3.53	3.73	3.70	3.75	3.64	3.71	3.61	3.76
2017年	4.44	3.94	3.78	4.08	4.04	4.12	4.01	4.11	4.01	4.10

「学生による授業評価と大学教育(2017年度)」の一章にあるように、2013年度から2016年度までは、マークシート方式によるアンケート、2017年度はWeb方式によるアンケートを実施している。上表から、2013年度から2016年度までの各項目の平均点は両学科とも大きな変動がないことが観察される。一方、2017年度の平均点は両学科とも全ての項目で大幅に上昇している。これらから、学生の評価がアンケートの方式に依存する可能性があると分析してよいかもしれない。あくまでも推測ではあるが、両学科とも全ての項目で平均点が大幅に上昇した理由として以下の二点を挙げる：①2017年度のWeb方式によるアンケートでは、一定期間中、学生が都合のよいときにWeb上で任意に回答できたので、授業に好意をもった学生が多く回答した可能性がある、②マークシート方式のアンケートよりWeb方式によるアンケートの方が、匿名性が低いと考え、マークシート方式で生じていた極端な評価(すべての項目で最低点をつける)がなされなかった可能性がある。

その他の要因としては、経済学部において2017年度から新カリキュラムが開始されたことが挙げられるかもしれない。上表との関係はわからないが、学部のカリキュラム編成の努力、各教員の授業改善努力、事務職員の努力が継続されていることは強調しておきたい。そして、今後とも継続したデータ収集と分析が肝要であると考えられる。

# 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

外国語学部 中国語学科

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問20のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

中国語学科において、平均値が最も低いのは、設問1の「出席率」である。これは、2016年度においても特出していたことであり、本来語学の学習に欠かせない、反復練習や基礎的文法への理解に影響する結果であり、由々しきことである、と考える。「出席率」が低いことと、退学率が高止まりしていることは相関関係がある、と考えるのが妥当であり、学生の授業への参加を促す手段を考える必要がある。一方、設問13「学生参加の機会」、設問19の「授業への関心度合」については、平均値が高い傾向にある。これらは、授業において、積極的に学生の参加を促し、学生の興味を刺激する手立てを考えている姿勢が伺えるが、より高みを目指し、更に一歩進んだ仕掛けをしていく必要がある。

- ② 2016年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

2016年度には設問11「板書などの見やすさ」の数値が低かったが、2017年度は平均以上の4.10へと変化している。これは、パワーポイントなどを使った授業へ変化したことが要因の一つと考えられる。同時に、教員一人ひとりがアンケート結果を真摯に受け止めて改善した結果である、と考える。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

設問10「適切な授業進行速度」に注目したい。中国語学科では、語学習得という目的上、能力別クラス編成を採用している授業が多々ある。一方でクラス分けには「統一試験」を採用しているため、各クラスの進度を揃える必要がある。本来であれば、下位クラスの進度を遅く、上位クラスの進度を速くするのが常套手段だと考えるが、この二つの矛盾した状態が、設問10の平均が低くなった理由と考える。

以上

# 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

外国語学部 英語学科

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 英語学科で平均値が最も高い項目は「教材等の持参頻度」4.38であり、最も低い項目は「飽きさせない工夫」3.8である。全学平均値と比較して高い項目としては学生サイドの「予習・復習・練習」3.59と「授業への集中」4.01があり、教員サイドとしては「適切な授業進行速度」4.03、「学生参加の機会」3.52、「受講態度への対応」3.95がある。これらの項目は相互に関連している。すなわち「学生参加の機会」はいわゆるアクティブラーニングの浸透を示しており、また「受講態度への対応」も私語に対する注意などにより、結果として「授業への集中」につながっていると言える。  
全20項目に関する学科別の順位としては第5位から第16位のレンジの中にあり、全体として突出して低い項目もなく項目間でのバランスが取れていると言える。これは個々の教員が授業評価に基づきバランスを取ろうとした結果であり、大学教員としてややもすると研究の実績重視となりがちなか中であって本学科教員の教育者としての資質の高さを示すものと言える。
- ② 2016年度と2017年度を比較すると、2016年度の最も高い項目は「出席率」4.28で、最も低いのは「予習・復習・練習」の3.37であったが、2017年度では最も高い項目は「教材等の持参頻度」4.38であり、最も低い項目は「飽きさせない工夫」3.8と変化している。しかし2016年で最も高かった「出席率」についても2017年度には4.3と数値が上昇しており、最も低い項目であった「予習・復習・練習」も2017年度で3.59と数値が向上している。このことは全体の項目のレンジが上昇していることを示しており、好ましい傾向である。
- ③ 英語学科の特質としてアンケート結果を見ると4.0を超える7項目の内、「授業の目的の明確さ」や「適切な授業進行速度」があるのは英語学科の新カリキュラムが完成年度に近づく中で、語学スキル科目の充実を反映している可能性が高い。学年が上がるにつれて研究的側面の割合が増えるが、それらの科目を含めても4.0を超えるということは毎時間の明確な目標が提示されており、授業の着実な進行により語学力が身につくという重要なファクターが確保されていると思われる。また「教材の使い方」の高評価は英語学科の中でICTを使った授業が徐々に広がっていることが一因となっている可能性がある。その意味からもハード面である情報教室の拡充や一般教室におけるICT教育機器の一層の設備充実をお願いしたい。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画など

すべての項目で4.0を超えることが理想であるが、まずは20項目の中で相対的に低い「飽きさせない工夫」3.8の向上が課題であろう。このことはややもすると単調になりがちな語学スキル科目での一層の創意工夫が図られること、そして門科目である1年次の入門科目、2年次の概論科目、そしてさらにそれらを発展させる3・4年次の研究科目等においても知識の教授だけでなくそれを活用した授業展開、また思考力を高める課題設定等の工夫が求められていることを意味している。こうした点を今後のFD研修に反映し、また学科としても様々なレベルで議論していきたい。

以上

# 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

外国語学部 日本語学科

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問20のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

「授業目的の明確さ」（4.27）、「板書の見やすさ」（4.24）、「新しい自己発想」（4.16）「自分で考える姿勢」（4.24）、「満足度」（4.25）などが、全学科中3位以内の高い数値を示している。

それに対して、「出席率」（4.38）、「シラバスの反映」（4.04）、「受講態度への対応」（3.89）などが、他学科に比べて、相対的に低い数値となっている。

これらを見ると、受け身的な授業ではなく学生に考えさせる授業をしている点で、授業の内容自体のレベルは高く、学生の満足度も高いのだが、私語などに対する対応や出席率など、授業運営に関わる面において、まだ不十分なところがあるように思われる。

- ② 2016年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

「出席率」「シラバスの反映」「受講態度への対応」などが低い数値を示している点は変化がないようだが、上記のように、他学科と比べて相対的に高い数値を示す項目が増えたようである。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

日本語は学生の母語であり、学生が日常的に意識せずに使っているものだが、学科の授業においては、その日本語の、ふだんは意識していない音声や語彙や文法などについて学問的に学んでいくので、学科の授業は学生にとって新たな「発見」の場となるだろう。そして、それが「新しい自己発想」という項目の高い数値に現れているのではないかと推測される。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

他学科と比べて特に低い数値を示しているわけではないのだが、「飽きさせない工夫」や「授業への関心の度合」などの項目の数値が高くなるよう、授業を改善していく必要があると思われる。

以上



## 1. 2016年度各設問の数値に関する検証

①20の設問のうち、法律学科において高い数値を示したのは、出席、教材等の持参頻度であった。出席については、現代社会と法、文章表現法などの小人数授業をはじめ大人数授業においても出席を重視している教員が多いことが要因として挙げられる。教材の持参度については、法律学科では多くの法律関連科目において六法の持参を義務付け、厳しく指導していることがその要因であろう。他方、予習・復習・練習、シラバスの熟読、学生参加の機会などの数値が相対的に低かった。これは、大人数講義の多い法律学科においてはやむを得ないことではあるが、シラバスの参照を徹底的に指導する、学生参加の機会を多く与える工夫が必要であると思われる。

②2016年度との比較では、昨年は高かった満足度、教員の熱意が低下していることが目立つ。教員の陣容は変わっていないので、学生の捉え方が変わったのか、何が原因なのかを究明する必要があるだろう。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画などをご記述ください。

上記、1. で述べたように予習・復習、授業への集中、学生の参加機会などの点で低く評価される傾向があるのは確かである。学部の講義の特徴として、大教室における講義が多いことがその主たる要因ではあるものの、授業目的の明確さ、理解しやすさ、教員の熱意、板書などの見やすさなど個々の教員の努力で改善できる項目は多数あるものと思われる。原状に言い訳するのではなく、さらなる教員の意識改革が必要となるであろう。現在、法律学科においては、FD研修などを積極的に実施しているが、今後は同研修において評価の高い教員の授業方法、工夫の紹介や共有を行うこと、現在一部の教員が実施しているアクティブラーニング導入授業をさらに拡大していくことなどにより、多くの項目において改善が望めるのではないかとと思われる。

以上

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 設問20のうち、貴学部・学科において気になった数値（高数値と低数値に分けたうえで）について、全学平均値や他学科との比較などの観点から分析し、記述してください。

いずれの項目についても全学の平均値を上回る項目がひとつもないことは問題であろう。しかし、ほとんどの項目は、数値としては3（=どちらでもない）を上回っており、すべての評価が肯定的であることに留意すべきである。なお前回の結果で3（=どちらでもない）を唯一下回った項目は質問項目2の「この授業に関する予習・復習・練習などを行いましたか」であったが、今回は、3.34という結果となり評価が上がっているため、この点は改善されたと考えている。

学年別で満足度の平均値を見ると、2016年度も2017年度も3年次の得点が低くなっている。これは2016年度に2年生だった学生の評価が2017年度で3年生になって低くなったものと解釈できる。全学データでは3年次の得点は通常は他の学年と比較して高い（専門科目が増え、ゼミの受講ができるようになることが理由と考えられる）ので、3年次の低い評価は問題である。今後の検討が必要であろう。

- ② 2016年度と比較して、特筆すべきことを取り上げて分析し、記述してください。

2016年度の結果と比較して、ほぼすべての項目で平均値が上がっており、全体として改善が見られた。唯一値が下がった項目は問13「あなたはこの授業に積極的に参加していましたか」であるが、授業の形態とも関係する項目なので、一概に問題であるとはいえない。

- ③ 貴学部・学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値を取り上げて分析し、記述してください。

今回のデータを見た限りでは明確な特徴をあげることは難しい。しかし、評価が全体に上昇していることについては、本学科では2016年度から始めたアクティブラーニングなどの新しい試みの成果が少しではあるが現れてきていると考えて良いのではないかと。

- ④ 上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

- ・ 学科別得点順位の差に関して、ほとんどの設問2（予習・復習・練習）以外の得点差は1未満なので、回答の評価である五段階では同じカテゴリーに入ることもほとんどで、実質的な差はないようにも思われる。
- ・ 今後の対策について考えると、どの科目のどの項目が弱いのか強いのかというレベルまで、詳細にわからないと、対応策を立てることが難しいと考えられる。教員個人が特定される方法での結果公表はできないと思うが、例えば演習、講義、語学など授業形態別の分布を提示できないだろうか。

以上

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

### ①注意すべき項目

#### i) 高数値

出席率、授業への集中、教材等の持参頻度、授業目的の明確さ、シラバスの反映、授業の理解しやすさ、教材の使い方、教員の熱意、飽きさせない工夫、新しい自己発想、自分で考える姿勢など、20項目中の14項目で4.0を超える高数値を記録している。とりわけ、授業の理解しやすさ、教員の熱意と満足度は、全学でトップレベルである。

#### ii) 低数値

「予習・復習」のみが3.5%と、他の項目の平均値と較べて低い。全学部と同様の傾向が見られるが、文学部や外国語学部など語学系の学部と比較するとやや低めである。また「学生参加の機会」が一昨年、昨年と較べて微減している。

### ②2016年度と比較して、特筆すべきこと。

一般的に平均値は上昇している。シラバスの熟読の平均値が若干ではあるが下がっている。また「学生参加の機会」が一昨年、昨年と較べて微減したもの、「自分で考える姿勢」は向上している。アクティブラーニングが定着してきていると思われる。

### ③学部の専門分野の特性から顕れたと推測される数値

「新しい考え方や発想が身に付いた」「自分で考える姿勢」という項目は、例年4.0前後の比較的に高い数値を示しているが、体験型の異文化理解や現地研修の教育効果の現れと考えられる。2019年度カリキュラムの導入により一層の向上が期待できる。

### ④上記以外でお気づきのことがあれば、記述してください。

Q8の「教員はシラバスを授業に反映させていましたか」は、シラバス内容と実際の授業内容の整合性を確認するための根拠資料となる。自己点検・評価（基準4）の重要な視点としたい。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画などをご記述ください。

- ・「予習・復習時間」に関しては、一向に改善が見られず、語学系の授業が多い学部だけに、教育効果の観点からも、引き続き早急な対策が必要である。
- ・PBL型の授業数を増やし、履修者を増やすための対策を検討する必要がある。

以上

# 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

経営学部

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

2016 年度報告でも指摘しているが、経営学部の講義に対する学生の評価結果を一概に他学部のものと比較することは難しいと考えられるが、現れた数値のみからの比較検証をあえて行うこととする。平均値の低い項目についての検証は以下の通りである。

- Q1 出席率： 全体に対しそれほど大きな差ではないが、企業システム学科の学生の出席率が低い。2017 年度時点で彼らは3, 4 年生であり、4 年生にとってはアンケート調査が実施された12 月は必ずしも就職活動期間とは言えないが、内定先企業からの呼び出しなどの影響もあると考えられる。また、60%未満と回答した学生の割合が多くなっており、この数字が4 年生以外でも同様だと仮定すれば、退学者予備軍とも考えられる。
- Q2 事前学習等： 授業時間外の学習があまり行われていないようである。授業規模や形態の問題もあるが、ゼミや演習形式の授業においてこのような状況だとすれば、改善の必要があろう。
- Q9 理解しやすさ： “否定的”、“やや否定的”との回答が比較的多い。経営学部では4 コースに分かれた様々な領域の授業が開講されており、分野によっては高校までではほとんど習うことのないようなものもある。3, 4 年の専門科目に対応できるような科目構成にしているが、コース内においても内容の接続が十分でない可能性がある。
- Q11 板書等の見やすさ： 3 コースに設定された1 年次必修科目は各2 クラスのみであり、1 クラスあたり200 名前後の学生が受講している。大教室での板書やスクリーン表示について、気を付ける必要があろう。
- Q13 学生の参加： 上記のように大教室で200 人前後の学生に対し、積極的に学生参加を促すために、アクティブラーニングの勉強会などを実施しているが、教授すべき内容や進度との関係もあり、難しい課題である。
- Q15 飽きさせない工夫： “否定的”の割合が比較的高くなっていることで、平均を引き下げている。この項目はQ9 とも関係しており、授業内容に対する関心度を上げる工夫も必要となろう。
- 総合的満足度は平均を上回っているが、やはり“否定的”の割合が比較的高くなっている。学年別にみると、4 年生にはこの回答がほとんどなく、逆に1, 2 年生に多いことがわかる。1, 2 年生のうち、自身の将来設計にともなう勉強の目的が明確になっておらず、その時点でさまざま分野の授業に積極的に関心を持ってないことも一つの要因ではないだろうか。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画など

2019 年度は、学部内でも「研究と教育の内部質保証検討委員会」を設置し、アンケート調査項目で改善が必要と思われる事柄も検討することになる。ここでは、特に以下のような課題に対する現状を記す。

- 出席率の悪い学生の早期発見と対応  
従来は1 年次基礎演習において欠席の多い学生の調査を夏休み前に行っていたが、2018 年度より4 月中に一度行い、該当する学生には連絡して出席を促すこととした。2 年次以降の学生に対する同様の調査を行うことも検討する必要がある。

- 学生参加型授業

2018 年度にアクティブラーニング勉強会を月に一度くらいの頻度で行い、他の教員の授業方法について情報共有することに役立った。本年度も継続し、報告書の作成を計画している。

- 経営学部における授業内容に興味を持ってもらう

3, 4 年生ゼミ（専門演習）の PR を積極的に行い、ゼミでの研究に必要な知識の習得を目指すことで授業内容への興味を喚起する。

- その他

板書やスクリーンについては、各教員に要望を出すことである程度は改善されると考えられる。授業外学習については、授業形態との関連もあり一概に言えないが、演習などで積極的に対応することを促したい

以 上

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

### ① 全学部平均値との比較

今回の学部別集計結果で全学部平均値を上回ったものは、「出席率」「予習・復習・練習」「授業への集中」「シラバスの熟読」「学生参加の機会」「受講態度への対応」「教員の熱意」「新しい自己発想」「授業への関心度合」「満足度」の10項目であった。

一方、全学部平均を下回ったものは、「教材の使い方」の1項目のみだった。

また、全学部平均値と同数値だったものは、「教材等の持参頻度」「授業姿勢への自己評価」「授業目的の明確さ」「シラバスの反映」「理解しやすさ」「適切な授業進行速度」「板書などの見やすさ」「飽きさせない工夫」「自分で考える姿勢」の9項目である。

### ② 2016年度と比較して特筆すべき点

2016年度の学部別集計結果では、本学部は「出席率」を除く19項目が全学部平均値より0.1~0.2ポイント下回っていたが、2017年度に全学部平均値を下回ったものは「教材の使い方」1項目のみとなり大幅に改善された。しかし、「教材の使い方」に関しては2016年度も平均値を下回っており、この項目については次年度も改善に注力しなければならない。

また、他学部との比較では、2016年度は7項目が全学部中最下位だったが、2017年度は20項目全てにおいて最下位を脱することができた。とはいえ、これらの改善は、教授方法や内容など授業そのものに対する評価という観点からみると十分だとは言いがたい部分もある。具体的には、「授業目的の明確さ」「シラバスの反映」「理解しやすさ」「適切な授業進行速度」「板書などの見やすさ」「飽きさせない工夫」等の項目については全学部平均値であり、引き続き改善努力が必要である。

### ③ 本学科の専門分野の特性から顕れたと推測される数値の分析

「学生参加の機会」という項目が全学科中高い数値（3.68）であったことは、本学科のカリキュラム及び教育実践と関係があるのではないかとと思われる。

本学科は創設時からPBL型教育を基本コンセプトに据え、それを具現化するものとしてゼミ及び卒業研究を必修科目として配置、フィールドワークや地域連携活動を通じた現地・現場実践等のアクティブラーニングの導入、学科独自のインターンシップ及び就業体験者間で情報共有と総括のための報告会の実施、さらに小・中規模の授業では個人報告やグループワーク等を取り入れた双方向性のある展開等も行われてきた。これらが重層的に置かれていたことによって、結果的に学生と教員との距離を近づけ、学生にとって質問・発言など積極的に授業参加できる雰囲気や機会が醸成され、今回の評価に繋がったのではないかと推測できる。

### ④ 上記以外で気づいた点

「受講態度への対応」について、中国文学科と並び全19学科中最高値（4.16）であった。

しかしこの結果が、学生による「シラバスの熟読」に関係するののか、あるいは授業中に教員が当該学生に注意を喚起する状況が多々あったことによるものなのか等、要因の特定は難しい。

以上

# 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科

## 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 学部における高値はQ1（出席率）Q2（予習・復習・練習）Q3（授業への集中）Q6（取り組む姿勢への自己評価）Q13（学生参加の機会）Q14（受講態度への対応）の6項目で平均値よりも上回った。一方、低値はQ4（シラバスの熟読）Q5（教材等の持参頻度）Q8（シラバスの反映）Q9（理解しやすさ）Q11（板書などの見やすさ）Q12（教材の使い方）Q16（飽きさせない工夫）Q18（授業への関心度合）Q19（自分で考える姿勢）の9項目で平均値よりも下回る結果となった。

スポーツ科学科の高値は学部と同じQ1（出席率）3位 Q2（予習・復習・練習）6位、Q3（授業への集中）3位、Q6（取り組む姿勢への自己評価）1位、Q13（学生参加の機会）3位、Q14（受講態度への対応）3位の6項目で平均値よりも上回った。

低値はQ4（シラバスの熟読）18位、Q5（教材等の持参頻度）19位、Q8（シラバスの反映）17位、Q11（板書などの見やすさ）15位、Q12（教材の使い方）Q18（授業への関心度合）14位の6項目で、いずれも低い水準となっている。

- ② 2016年度と比較すると今年度の平均より低値であったQ4（シラバスの熟読）18位、Q5（教材等の持参頻度）19位、Q8（シラバスの反映）17位、Q11（板書などの見やすさ）15位、Q12（教材の使い方）Q18（授業への関心度合）14位の6項目も若干の改善が見受けられる。これまで以上に学生への理解を深めていくように努めていきたい。

## 2. 今後、実行すべき具体的な課題や行動計画など

教材等の持参頻度やシラバスの反映などの項目が低値を示したのは、シラバスの熟読の低さに起因するものと考えられる。今後もガイダンス等によってシラバスを熟読するよう指導を強化していきたい。また、教材の使い方や板書などの見えやすさを工夫することで授業への関心度合いを高めていきたい。

今後はFD活動など教員間で有益な情報を共有することにより、授業などの質的向上を図り、学生にとってよりよい学びを達成できるように取り組んでいきたい。

以上

## 2017（平成29）年度授業評価アンケート報告書

スポーツ・健康科学部 健康科学科

### 1. 2017年度各設問の数値に関する検証

- ① 「出席率」が全学科中1位である一方、「満足度」が低位（全体の17位）を示している。これら両方の傾向の共通の原因としてカリキュラムにおいて実習科目が占める比率が高いことが考えられる。実習科目は受講生の出席を前提としているため「出席率」は必然的に高くなる。その一方で、教授内容の専門性が高いために、ある種の「消化不良」のような状況に陥る傾向が強く、「満足度」の低下に繋がっているものと考えられる。
- ② 2016年度と比較すると「出席率」が2位→1位に、「シラバスの反映」が12位→11位に、「板書の見やすさ」が13位→11位にそれぞれ上昇したものの、「シラバスの熟読」（17位→18位）、「適正な授業進行速度」（12位→16位）、「受講態度への対応」（11位→16位）、「授業への関心度合」（11位→17位）、「満足度」（12位→17位）がいずれも前年度から下降している。「シラバスの反映」や「シラバスの熟読」に関しては、ガイダンスの方法を工夫するなどの対応が求められる。
- ③ 臨床検査技師国家試験への対応が求められることにより、教授すべき事項が非常に多くなり、授業の進度が早くなりすぎる場合が少なくない。限られた時間の中で多岐にわたる膨大な事項を効率よく教授するために、アクティブラーニングを導入するなど、指導方法のより一層の工夫が求められる。また、臨床検査技師を目指さない学生への対応が、現状においては不十分であることも、早急な対応が求められる課題である。
- ④ 限られた時間の中で多岐にわたる膨大な事項を教授するという、相反する課題を克服するためには、カリキュラムの見直しなどの抜本的な対応が求められる。また、その前提として、専門性の高い教育内容に対応できる、十分な基礎学力を備えた学生を確保するために、入試や広報活動にお行ける不断の努力が求められる。

以上



(目的)

第1条 この規程は、自己点検・評価全学委員会及び学部・大学院と連携をとりつつ、大東文化大学における教育内容及び技法の質の向上を目指すことを目的とする。この目的達成のため、ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「FD委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 FD委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議検討し、実施することを任務とする。

- (1) 本学の教育システムに対するファカルティ・ディベロップメントの視点からの分析及び提言、並びに教育効果に関する諸調査の企画、実施及び分析
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関連する学内外の情報収集とその普及等の広報啓発活動
- (3) ファカルティ・ディベロップメントに関する講演会、研究会その他の企画及び開催
- (4) 「学生による授業評価」の策定及び実施、授業評価結果の分析、並びに授業評価結果報告書の作成及び公表
- (5) 授業評価結果の有効活用その他授業改善に関する取り組みの支援
- (6) その他、FD委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 FD委員会は、次の委員をもつて構成する。

- (1) 学長又は学長が副学長の中から指名した者 1名
- (2) 各学部が選出する者 各1名
- (3) 各研究科が選出する者 各1名
- (4) 学長が指名する者 若干名

2 FD委員会の委員長は、前項第1号に定める者とする。

3 FD委員会に副委員長を1名ないし2名置く。副委員長は委員会の同意を得て委員長が指名する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があつた場合は、委員長の職務を代行する。

5 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 委員が欠けたときの後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

7 FD委員会は必要に応じて委員以外の者に同委員会への出席及び発言を求めることができる。

(運営)

第4条 委員長はFD委員会を招集し、その議長となる。

2 FD委員会は、委員の過半数の出席がなければ、議事を開き、議決することができない。

3 FD委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(専門部会)

第5条 FD委員会は、第2条の任務を遂行するにあたり、必要に応じて専門部会を設けることができる。

2 専門部会には、委員以外の協力委員を置くことができる。

(事務局)

第6条 FD委員会に関する事務は、学務部学務課が担当する。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、学長がこれを行う。

附 則

この規程は、平成18年5月15日から施行する。

附 則（平成21年6月15日）

本規程は、平成21年6月15日から施行する。

附 則（平成22年2月22日）〔平成27年3月18日〕

1 この改正規程は、平成22年4月1日〔平成27年4月1日〕から施行する。

2 この改正規程の施行に伴い、大東文化大学学生による授業評価実施委員会規程は、平成22年3月31日をもって廃止する。

1. 実施対象

専任・非常勤ともシラバスに記載されているすべての開講科目（大学院の科目を除く）を対象とする。

原則として、受講者が10名未満の科目、オムニバス科目、演習科目（1年次の基礎演習科目は除く）については対象外とする。ただし、教員より希望があった場合にはアンケート実施科目の追加もしくは削除について、FD委員長と協議のもと個別対応とする。

2. 学生による授業評価アンケート実施期間

平成30年 7月4日（水）～ 7月24日（火）

3. アンケート実施手順

■事前準備

時期	準備事項	備考
6月初旬	・C-Learning 教員用操作マニュアルをDBポータルから配信。	操作方法について各自ご確認ください。
6月中旬～下旬	・ <u>教員用 C-Learning にログインし、メールアドレスの登録、及びアンケート対象科目を確認すること。</u>  ログインID及びパスワードについては、DBポータルと共通となります。 ※昨年まで行っていた初期設定は不要となります。 ※ログイン記録が確認できない教員に対しては、学部事務室経由にて、ご連絡いたします。	C-Learning システムに関する質問、及びアンケート実施科目の追加・削除に関しては、以下までお問合せください。  全学FD委員会事務局（学務課） 03-5399-7333 <a href="mailto:fd@ic.daito.ac.jp">fd@ic.daito.ac.jp</a> 担当：矢部・牧野（内線 2202/2205）
アンケート実施する前週の授業時	以下の内容を学生に伝えてください（推奨）。 ・次週に授業評価アンケートを実施すること ・デバイス（スマホ・携帯・iPadなど）を持参すること ・DBポータルのパスワードを確認しておくこと ・アンケート回答時には、学内無線LAN（Wi-Fi）は使用できません（学生各自のデータ通信を使用【大きなデータ通信は伴わない】とする。）	

■アンケートの実施

・アンケート実施前に、学部（学科）事務室または教員控室より下記の資料を配付します（7月第1週目）。

- A) 授業評価アンケート実施手順書
- B) 授業評価アンケート口頭指示用教員マニュアル
- C) 授業評価アンケート実施報告票
- D) 授業評価アンケートQ&A
- E) 授業評価アンケート回答方法（参考資料：学生配布用）

以下、推奨します。

- ① 授業時間内の終了15分程度を使い、※B) をもとにアンケートを実施してください。
- ② デバイスを持っていない学生についてもアンケート終了まで退室させないでください。
- ③ 学生からの質問対応のため、先生方もアンケート終了まで教室内での待機をお願いします。

**【今年度】学生のログインIDとパスワード：DBポータルと共通で、初期設定は不要となります。**

■アンケート終了後

時期	実施内容
アンケート実施翌日 ～7月31日(火)	<p>① 集計状況を確認 アンケート開始後、C-Learningへログインすると教員のみアンケートの回答状況を随時確認できます。印刷物による集計結果の配布は行いませんので、各自Web上で結果を確認してください。</p> <p>② 7月31日までにC-Learningの「先生からのコメント」欄にコメントを入力 集計結果に関する所感を入力し、受講生へフィードバックをお願いいたします。コメントの入力はアンケート実施日の翌日以降（学生が回答を終えている時点）に行ってください。また、必要に応じて次回授業時に口頭でもフィードバックを行ってください。</p> <p>③ 実施報告票を提出 アンケート実施後、『授業評価アンケート実施報告票』を記入のうえ、学部事務室または教員控室へ提出してください。 教員用ログインURL <a href="https://daito.c-learning.jp/t/">https://daito.c-learning.jp/t/</a> ※ログインID及びパスワードはDBポータルと共通</p>

4. 評価と集計の方法

(1) 評価の方法

各授業につき、調査項目ごとに5段階評価とする。

(2) 集計の方法

- ①自由記述の内容を含め、教員自身のデバイスでリアルタイムに集計・内容等を確認できる。  
しかし、内容の公開時期を成績評価後にするなど、検討を要する事項もある。
- ②全学FD委員会では、全学的な集計結果をまとめ、その分析方法を検討する。

5. 結果の取り扱い

「授業評価アンケート」の結果を、個々の教員に対する管理の強化や不利益な取扱いに利用することはしない。

6. 結果の公表と活用

- (1) 授業評価アンケートの集計結果は、『学生による授業評価と大学教育』に掲載し、その『学生による授業評価と大学教育』は、学生を含め学内に公開される。
- (2) 調査項目には自由記述欄も含まれているが、その部分は『学生による授業評価と大学教育』に記載せず、当該教員が今後の授業の参考資料として活用することとする。
- (3) 外部への公表及び活用については、全学FD委員会の責任において、本学ホームページへの掲載等を含め、必要に応じて行う。ただし、設問内容によっては、外部には公表しない。

7. 全学FD委員会が考える今後のアンケートについて

- ・昨年度の回答率が例年になく低かったため、今回は回答率アップに努める一方、全学FD委員会では本学の状況に合わせた独自の新しいアンケートを将来的に検討している。
- ・卒業生アンケートも昨年度に引き続き、Web方式にて実施予定。
- ・アンケートで活用するC-Learningシステムは、教員一人一人が独自のアンケートを行える機能を有しているため、是非ご活用願いたい。

以上

## 2018年度「学生による授業評価アンケート」設問一覧

### 1. あなた自身について教えてください

Q1：この授業への出席率はどのくらいですか。

【評価基準 ⑤100～90% ④89～80% ③79～70% ②69～60% ①60%未満】

Q2：この授業に関する予習・復習・練習などの授業外学習をどのくらい行いましたか。

【評価基準 ⑤大いにやった ④少しやった ③どちらとも言えない ②あまりやらなかった ①やらなかった】

Q3：この授業のシラバス（授業内容が掲載されている教授要項）を読みましたか。

【評価基準 ⑤十分に内容を読み取った ④ある程度読んだ ③どちらとも言えない ②ほとんど読まなかった ①全く読まなかった】

Q4：あなた自身が授業へ取り組む姿勢（質問、発言など）について、自己採点すれば何点ぐらいだと思いますか。

【評価基準 ⑤100～90点 ④89～80点 ③79～70点 ②69～60点 ①60点未満】

### 2. この授業についてお答えください

Q5：シラバスの内容がこの授業によく反映されていましたか。

（Q3で「①全く読まなかった」を選んだ場合は、この設問は回答不要です。）

【評価基準 ⑤よく反映されていた ④少し反映されていた ③どちらとも言えない ②あまり反映されていなかった ①全く反映されていなかった】

Q6：この授業の進行のスピードは適当でしたか。

【評価基準 ⑤とても適当であった ④どちらかといえば適当であった ③どちらとも言えない ②あまり適当ではなかった ①全く適当ではなかった】

Q7：板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。

（この授業において板書やスクリーンを全く使用していない場合は、この設問は回答不要です。）

【評価基準 ⑤とても見やすかった ④少し見やすかった ③どちらとも言えない ②あまり見やすくなかった ①全く見やすくなかった】

Q8：教員の使用教材（配布プリント、パワーポイントの内容など）は理解しやすかったですか。

【評価基準 ⑤とても理解しやすかった ④少し理解しやすかった ③どちらとも言えない ②あまり理解できなかった ①全く理解できなかった】

Q9：教員は授業中の私語や受講態度の悪い学生への対処を行っていましたか。

【評価基準 ⑤十分対処していた ④少し対処していた ③どちらとも言えない ②あまり対処していなかった ①全く対処していなかった】

Q10：この授業に対する教員の熱意がどの程度感じられましたか。

【評価基準 ⑤大いに感じた ④少し感じた ③どちらとも言えない ②あまり感じなかった ①感じなかった】

Q11：あなたはこの授業を通して自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。

【評価基準 ⑤大いに身についた ④やや身についた ③どちらとも言えない ②あまり身につかなかった ①全く身につかなかった】

Q12：あなたはこの授業を通して自分で調べ、考える姿勢などが身につきましたか。

【評価基準 ⑤大いに身についた ④やや身についた ③どちらとも言えない ②あまり身につかなかった ①全く身につかなかった】

### 3. 授業を総合的にみて、どう思うか教えてください

Q13：この授業は総合的にみて満足できるものでしたか。

【評価基準 ⑤大いに満足した ④少し満足した ③どちらとも言えない ②あまり満足できなかった ①満足できなかった】

Q14：○担当教員からの質問1（教員から指示があった場合のみ回答ください）

【評価基準 ⑤ ④ ③ ② ① 】

Q15：○担当教員からの質問2（教員から指示があった場合のみ回答ください）

【評価基準 ⑤ ④ ③ ② ① 】

※質問・評価基準は必ず板書してください。  
独自設問について事務局（学務課）への  
報告は不要です。

授業について良かった点を教えてください。

授業について改善すべき点を具体的に教えてください。

A. 履修登録者数・回答者数レベル別集計  
(全学・学年・学部別集計)

## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 全学年

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

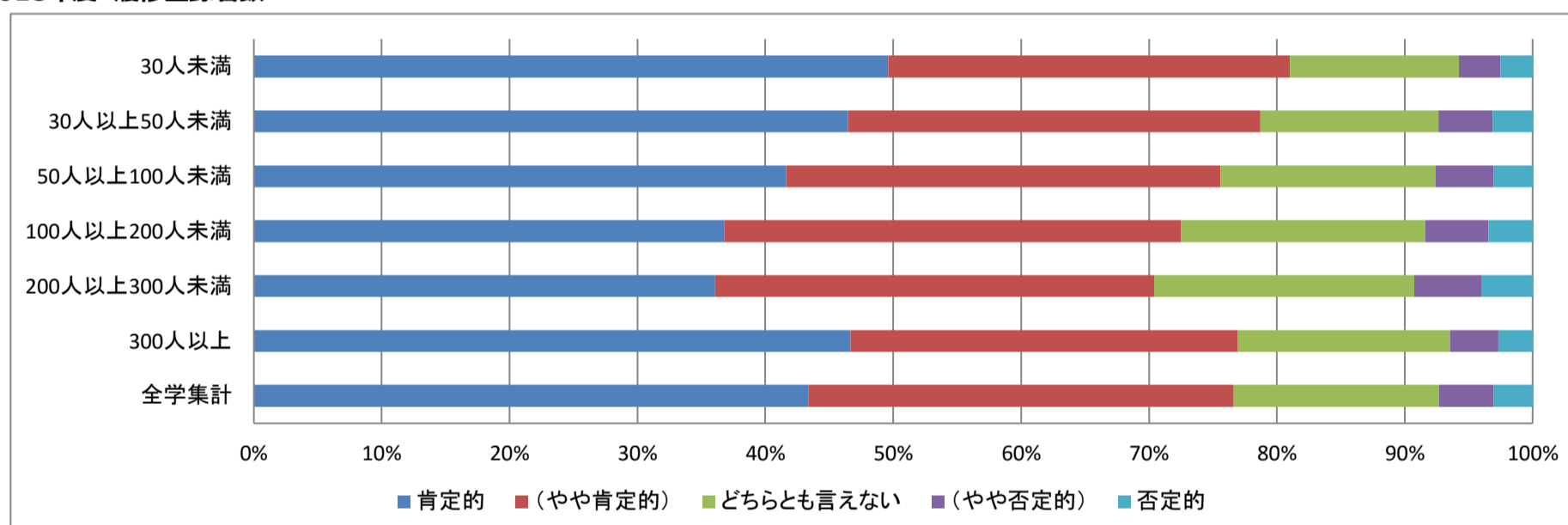
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	7793 (49.6%)	4935 (31.4%)	2079 (13.2%)	509 (3.2%)	395 (2.5%)	4.2
	30人以上50人未満	5702 (46.5%)	3958 (32.2%)	1710 (13.9%)	522 (4.3%)	383 (3.1%)	4.1
	50人以上100人未満	5605 (41.6%)	4575 (34.0%)	2267 (16.8%)	610 (4.5%)	411 (3.1%)	4.1
	100人以上200人未満	4528 (36.8%)	4401 (35.7%)	2350 (19.1%)	609 (4.9%)	423 (3.4%)	4.0
	200人以上300人未満	1814 (36.1%)	1725 (34.3%)	1023 (20.4%)	265 (5.3%)	200 (4.0%)	3.9
	300人以上	1059 (46.7%)	686 (30.2%)	377 (16.6%)	86 (3.8%)	61 (2.7%)	4.1
	全学集計	26,501 (43.4%)	20,280 (33.2%)	9,806 (16.1%)	2,601 (4.3%)	1,873 (3.1%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	13,231 (47.6%)	8,788 (31.6%)	3,970 (14.3%)	1,034 (3.7%)	797 (2.9%)	4.2
	30人以上50人未満	4,810 (43.0%)	3,826 (34.2%)	1,713 (15.3%)	500 (4.5%)	350 (3.1%)	4.1
	50人以上100人未満	5,308 (37.5%)	5,007 (35.3%)	2,649 (18.7%)	721 (5.1%)	485 (3.4%)	4.0
	100人以上200人未満	2,561 (37.7%)	2,401 (35.4%)	1,319 (19.4%)	296 (4.4%)	211 (3.1%)	4.0
	200人以上300人未満	338 (44.0%)	213 (27.7%)	141 (18.3%)	47 (6.1%)	30 (3.9%)	4.0
	300人以上	253 (80.3%)	45 (14.3%)	14 (4.4%)	3 (1.0%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	26,501 (43.4%)	20,280 (33.2%)	9,806 (16.1%)	2,601 (4.3%)	1,873 (3.1%)	4.1

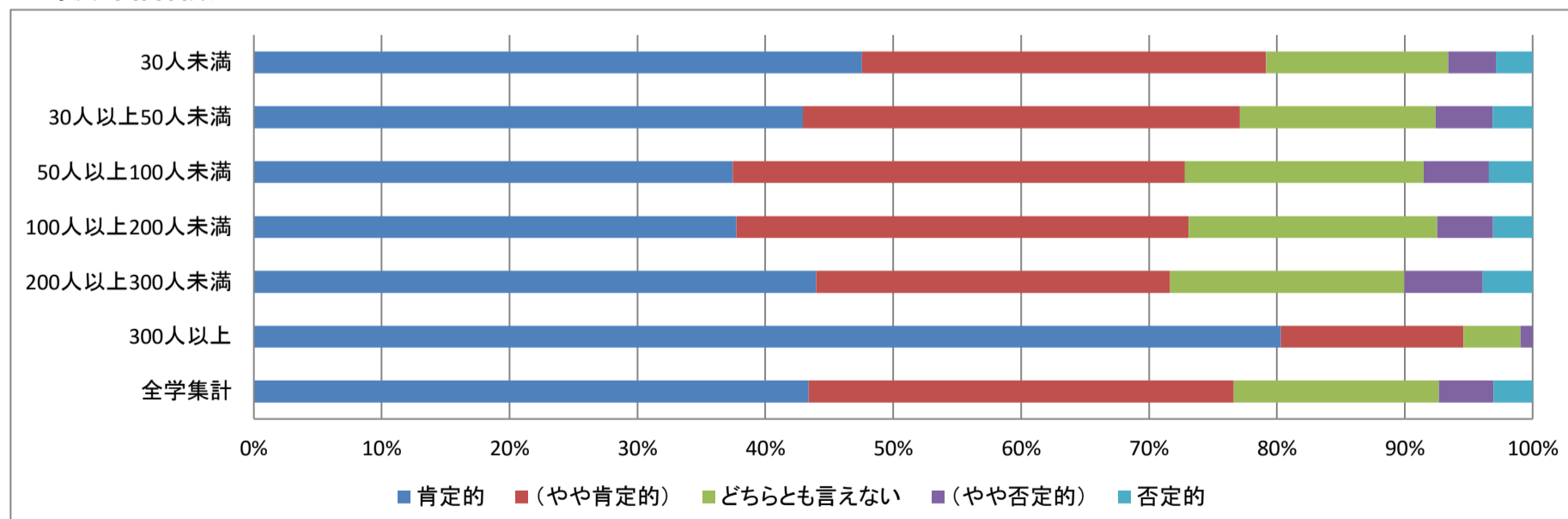
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

2018年度 履修登録者数



2018年度 回答者数



# 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 1年

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

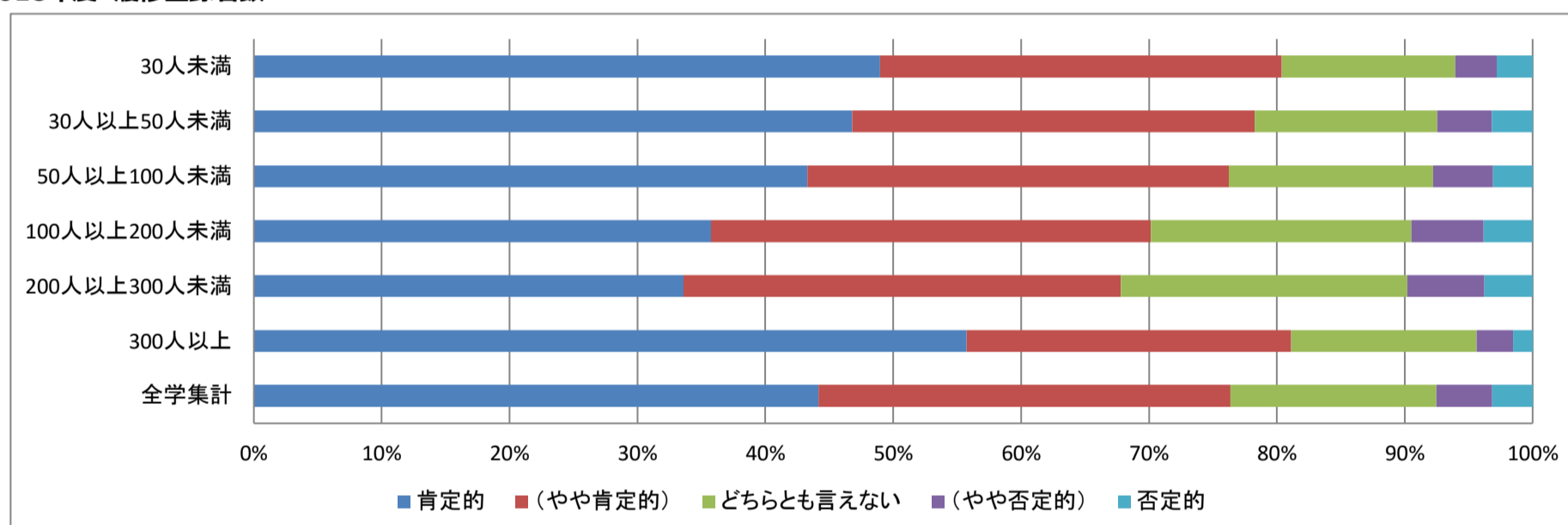
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	3946 (49.0%)	2532 (31.4%)	1094 (13.6%)	261 (3.2%)	227 (2.8%)	4.2
	30人以上50人未満	2753 (46.8%)	1852 (31.5%)	839 (14.3%)	252 (4.3%)	187 (3.2%)	4.1
	50人以上100人未満	1628 (43.3%)	1239 (33.0%)	600 (16.0%)	176 (4.7%)	117 (3.1%)	4.1
	100人以上200人未満	1681 (35.7%)	1619 (34.4%)	958 (20.4%)	266 (5.7%)	180 (3.8%)	3.9
	200人以上300人未満	737 (33.6%)	750 (34.2%)	491 (22.4%)	132 (6.0%)	83 (3.8%)	3.9
	300人以上	549 (55.7%)	250 (25.4%)	143 (14.5%)	28 (2.8%)	15 (1.5%)	4.3
	全学集計	11,294 (44.1%)	8,242 (32.2%)	4,125 (16.1%)	1,115 (4.4%)	809 (3.2%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	6,098 (48.1%)	3,951 (31.2%)	1,798 (14.2%)	456 (3.6%)	376 (3.0%)	4.2
	30人以上50人未満	1,569 (46.2%)	1,103 (32.5%)	480 (14.1%)	140 (4.1%)	106 (3.1%)	4.1
	50人以上100人未満	2,111 (37.4%)	1,939 (34.4%)	1,052 (18.6%)	332 (5.9%)	207 (3.7%)	4.0
	100人以上200人未満	1,168 (36.4%)	1,099 (34.3%)	692 (21.6%)	149 (4.6%)	99 (3.1%)	4.0
	200人以上300人未満	210 (42.7%)	130 (26.4%)	95 (19.3%)	36 (7.3%)	21 (4.3%)	4.0
	300人以上	138 (82.1%)	20 (11.9%)	8 (4.8%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	11,294 (44.1%)	8,242 (32.2%)	4,125 (16.1%)	1,115 (4.4%)	809 (3.2%)	4.1

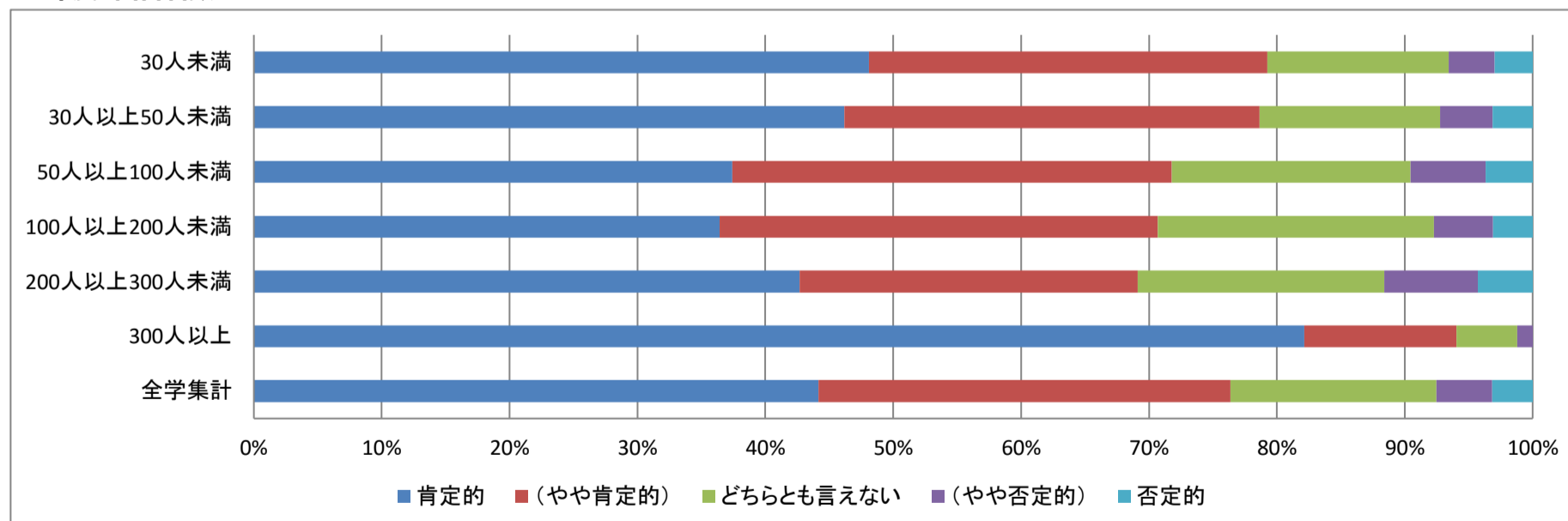
## < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

### 2018年度 履修登録者数



### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 2年

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

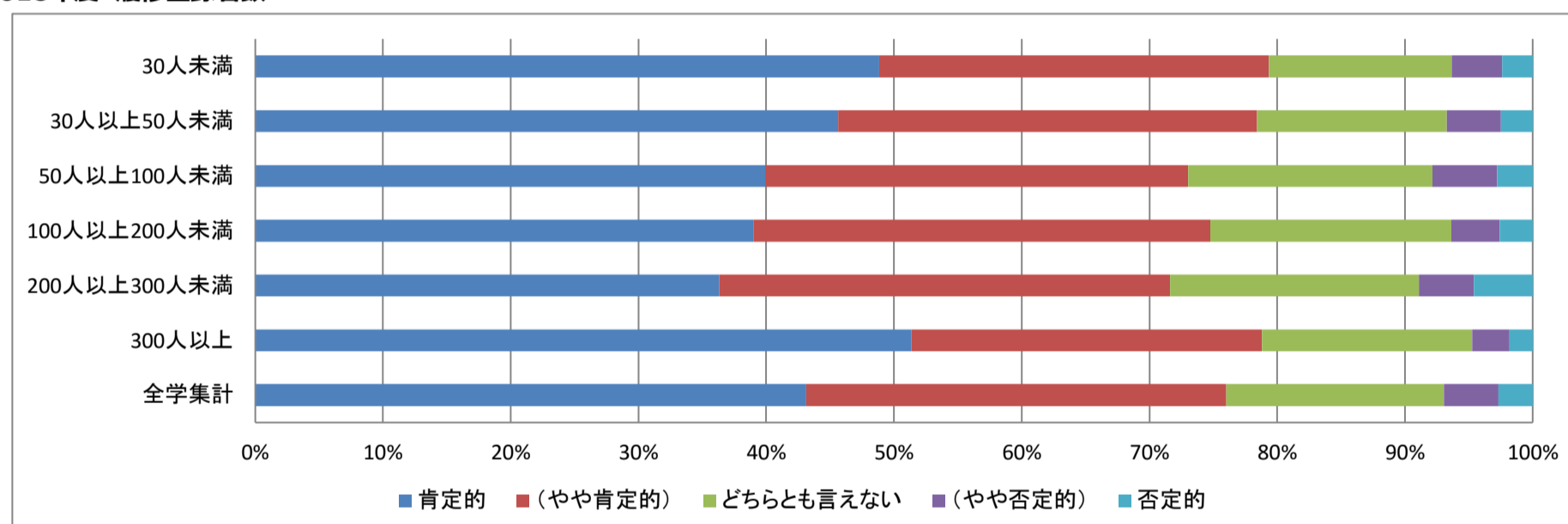
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	2150 (48.9%)	1343 (30.5%)	629 (14.3%)	174 (4.0%)	105 (2.4%)	4.2
	30人以上50人未満	1452 (45.6%)	1043 (32.8%)	472 (14.8%)	135 (4.2%)	79 (2.5%)	4.1
	50人以上100人未満	1834 (39.9%)	1521 (33.1%)	878 (19.1%)	233 (5.1%)	128 (2.8%)	4.0
	100人以上200人未満	1404 (39.0%)	1289 (35.8%)	679 (18.9%)	137 (3.8%)	93 (2.6%)	4.0
	200人以上300人未満	489 (36.3%)	475 (35.3%)	262 (19.5%)	58 (4.3%)	62 (4.6%)	3.9
	300人以上	337 (51.4%)	180 (27.4%)	108 (16.5%)	19 (2.9%)	12 (1.8%)	4.2
	全学集計	7,666 (43.1%)	5,851 (32.9%)	3,028 (17.0%)	756 (4.3%)	479 (2.7%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	3,496 (46.9%)	2,290 (30.7%)	1,155 (15.5%)	307 (4.1%)	204 (2.7%)	4.1
	30人以上50人未満	1,382 (41.2%)	1,169 (34.8%)	574 (17.1%)	155 (4.6%)	76 (2.3%)	4.1
	50人以上100人未満	1,766 (37.4%)	1,632 (34.5%)	941 (19.9%)	225 (4.8%)	160 (3.4%)	4.0
	100人以上200人未満	815 (42.6%)	680 (35.6%)	321 (16.8%)	61 (3.2%)	34 (1.8%)	4.1
	200人以上300人未満	104 (50.0%)	61 (29.3%)	31 (14.9%)	7 (3.4%)	5 (2.4%)	4.2
	300人以上	103 (79.8%)	19 (14.7%)	6 (4.7%)	1 (0.8%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	7,666 (43.1%)	5,851 (32.9%)	3,028 (17.0%)	756 (4.3%)	479 (2.7%)	4.1

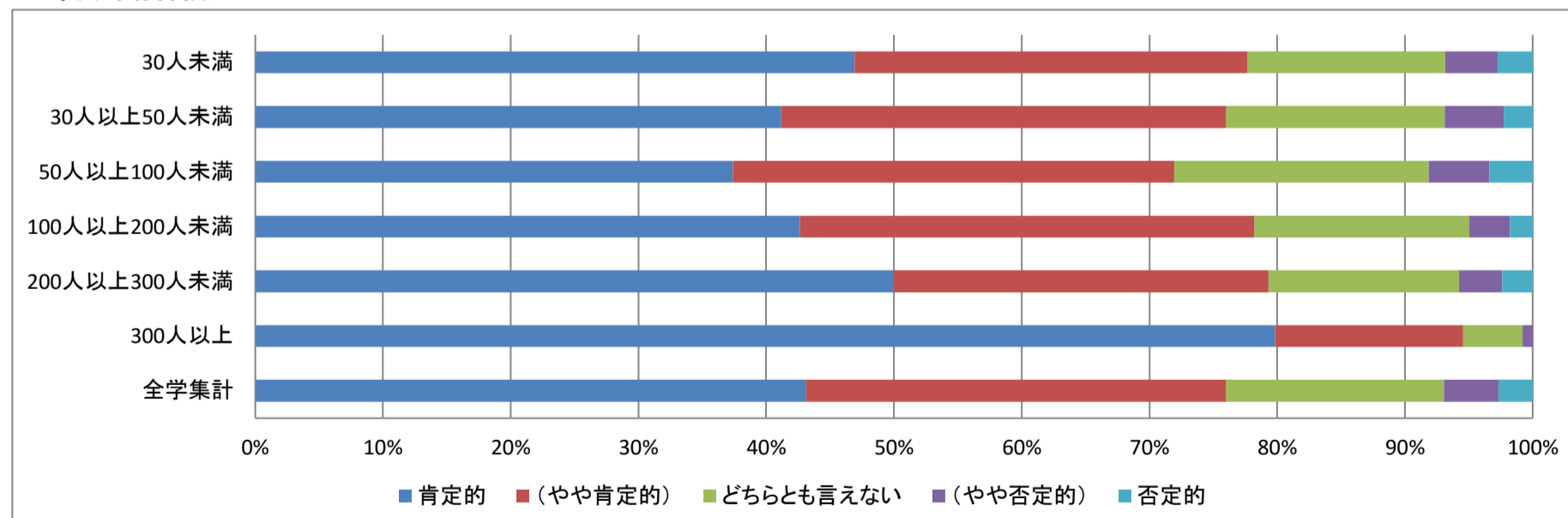
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数





# 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 3年

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

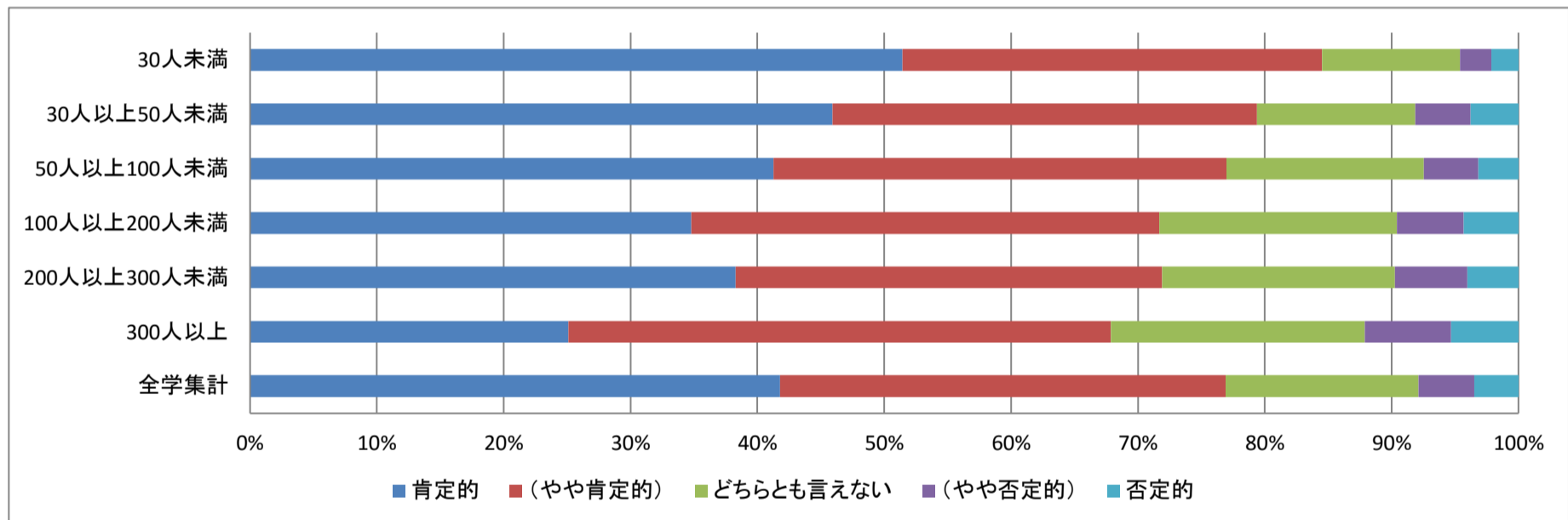
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	1252 (51.4%)	805 (33.1%)	265 (10.9%)	60 (2.5%)	52 (2.1%)	4.3
	30人以上50人未満	1172 (45.9%)	854 (33.5%)	318 (12.5%)	112 (4.4%)	96 (3.8%)	4.1
	50人以上100人未満	1583 (41.3%)	1369 (35.7%)	597 (15.6%)	165 (4.3%)	121 (3.2%)	4.1
	100人以上200人未満	1011 (34.8%)	1072 (36.9%)	545 (18.8%)	153 (5.3%)	125 (4.3%)	3.9
	200人以上300人未満	429 (38.3%)	377 (33.6%)	206 (18.4%)	64 (5.7%)	45 (4.0%)	4.0
	300人以上	118 (25.1%)	201 (42.8%)	94 (20.0%)	32 (6.8%)	25 (5.3%)	3.8
	全学集計	5,565 (41.8%)	4,678 (35.1%)	2,025 (15.2%)	586 (4.4%)	464 (3.5%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	2,717 (46.3%)	1,973 (33.6%)	787 (13.4%)	224 (3.8%)	173 (2.9%)	4.2
	30人以上50人未満	1,435 (41.4%)	1,215 (35.1%)	514 (14.8%)	162 (4.7%)	137 (4.0%)	4.1
	50人以上100人未満	979 (37.1%)	983 (37.2%)	474 (18.0%)	120 (4.5%)	84 (3.2%)	4.0
	100人以上200人未満	406 (32.0%)	483 (38.1%)	235 (18.5%)	76 (6.0%)	67 (5.3%)	3.9
	200人以上300人未満	22 (34.9%)	19 (30.2%)	15 (23.8%)	4 (6.3%)	3 (4.8%)	3.8
	300人以上	6 (54.5%)	5 (45.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.5
	全学集計	5,565 (41.8%)	4,678 (35.1%)	2,025 (15.2%)	586 (4.4%)	464 (3.5%)	4.1

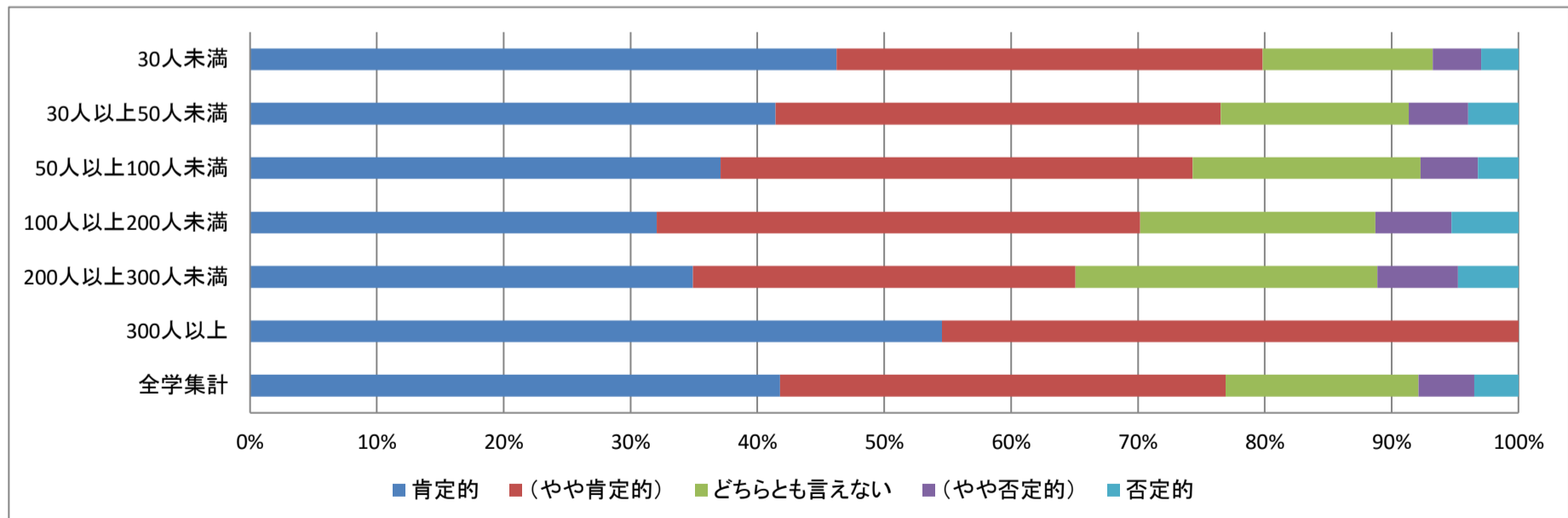
## < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

### 2018年度 履修登録者数



### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年： 4年

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

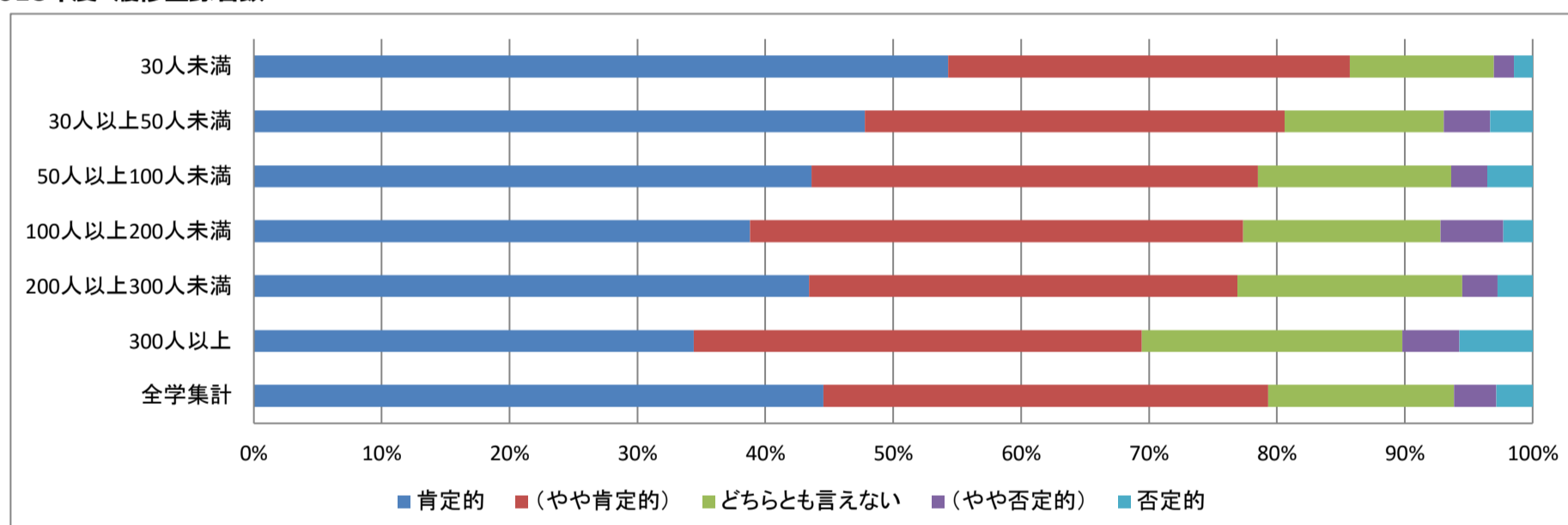
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	410 (54.3%)	237 (31.4%)	85 (11.3%)	12 (1.6%)	11 (1.5%)	4.4
	30人以上50人未満	303 (47.8%)	208 (32.8%)	79 (12.5%)	23 (3.6%)	21 (3.3%)	4.2
	50人以上100人未満	554 (43.6%)	443 (34.9%)	192 (15.1%)	36 (2.8%)	45 (3.5%)	4.1
	100人以上200人未満	420 (38.8%)	418 (38.6%)	167 (15.4%)	53 (4.9%)	25 (2.3%)	4.1
	200人以上300人未満	158 (43.4%)	122 (33.5%)	64 (17.6%)	10 (2.7%)	10 (2.7%)	4.1
	300人以上	54 (34.4%)	55 (35.0%)	32 (20.4%)	7 (4.5%)	9 (5.7%)	3.9
	全学集計	1,899 (44.5%)	1,483 (34.8%)	619 (14.5%)	141 (3.3%)	121 (2.8%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	861 (49.9%)	553 (32.1%)	222 (12.9%)	45 (2.6%)	44 (2.6%)	4.2
	30人以上50人未満	420 (43.0%)	338 (34.6%)	145 (14.8%)	43 (4.4%)	31 (3.2%)	4.1
	50人以上100人未満	442 (38.5%)	449 (39.1%)	181 (15.8%)	43 (3.7%)	34 (3.0%)	4.1
	100人以上200人未満	169 (42.3%)	139 (34.8%)	71 (17.8%)	10 (2.5%)	11 (2.8%)	4.1
	200人以上300人未満	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	3.8
	300人以上	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	1,899 (44.5%)	1,483 (34.8%)	619 (14.5%)	141 (3.3%)	121 (2.8%)	4.1

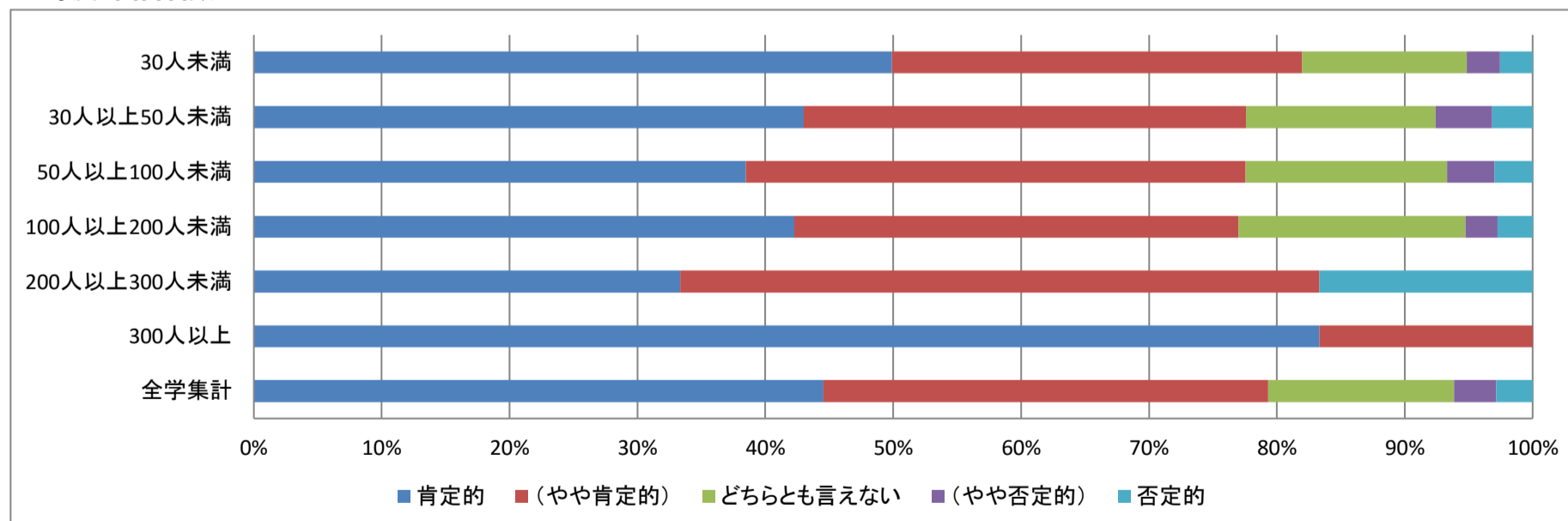
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・日本文学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

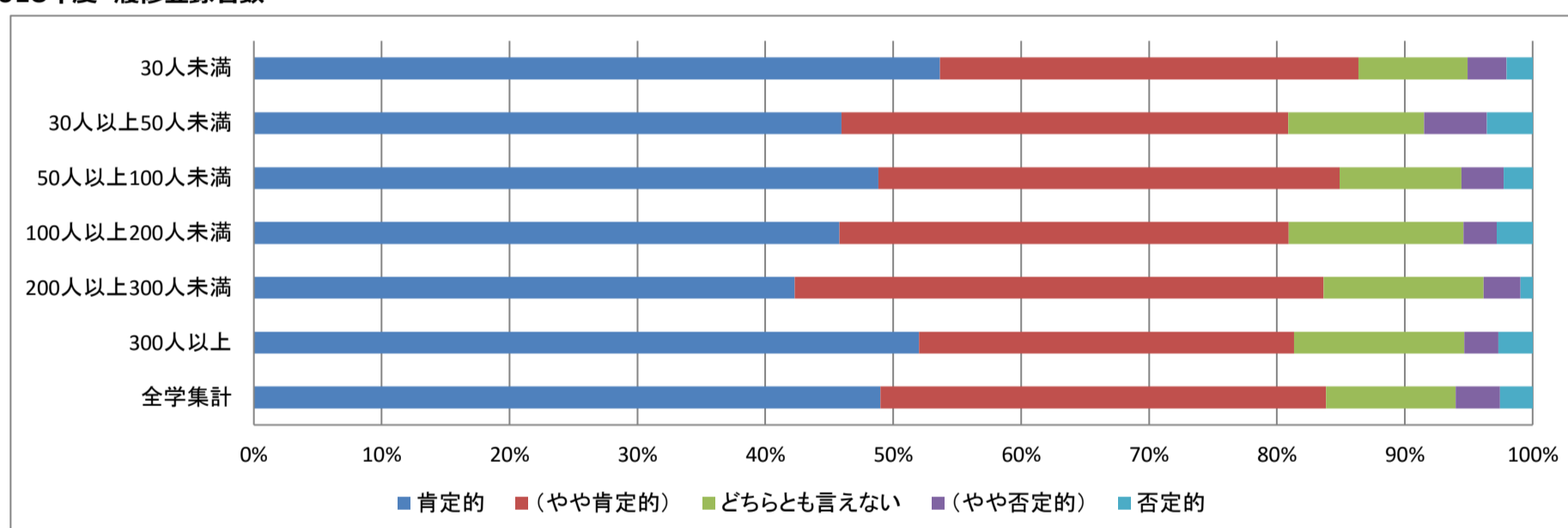
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	603 (53.6%)	368 (32.7%)	96 (8.5%)	34 (3.0%)	23 (2.0%)	4.3
	30人以上50人未満	438 (46.0%)	333 (34.9%)	101 (10.6%)	47 (4.9%)	34 (3.6%)	4.1
	50人以上100人未満	712 (48.8%)	526 (36.1%)	139 (9.5%)	48 (3.3%)	33 (2.3%)	4.3
	100人以上200人未満	228 (45.8%)	175 (35.1%)	68 (13.7%)	13 (2.6%)	14 (2.8%)	4.2
	200人以上300人未満	44 (42.3%)	43 (41.3%)	13 (12.5%)	3 (2.9%)	1 (1.0%)	4.2
	300人以上	39 (52.0%)	22 (29.3%)	10 (13.3%)	2 (2.7%)	2 (2.7%)	4.3
	全学集計	2,064 (49.0%)	1,467 (34.8%)	427 (10.1%)	147 (3.5%)	107 (2.5%)	4.2
2018年度 回答者	30人未満	942 (51.9%)	610 (33.6%)	165 (9.1%)	57 (3.1%)	41 (2.3%)	4.3
	30人以上50人未満	463 (43.8%)	386 (36.6%)	125 (11.8%)	51 (4.8%)	31 (2.9%)	4.1
	50人以上100人未満	524 (49.9%)	369 (35.1%)	99 (9.4%)	32 (3.0%)	26 (2.5%)	4.3
	100人以上200人未満	111 (42.0%)	100 (37.9%)	38 (14.4%)	6 (2.3%)	9 (3.4%)	4.1
	200人以上300人未満	20 (87.0%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	4.8
	300人以上	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5.0
	全学集計	2,064 (49.0%)	1,467 (34.8%)	427 (10.1%)	147 (3.5%)	107 (2.5%)	4.2

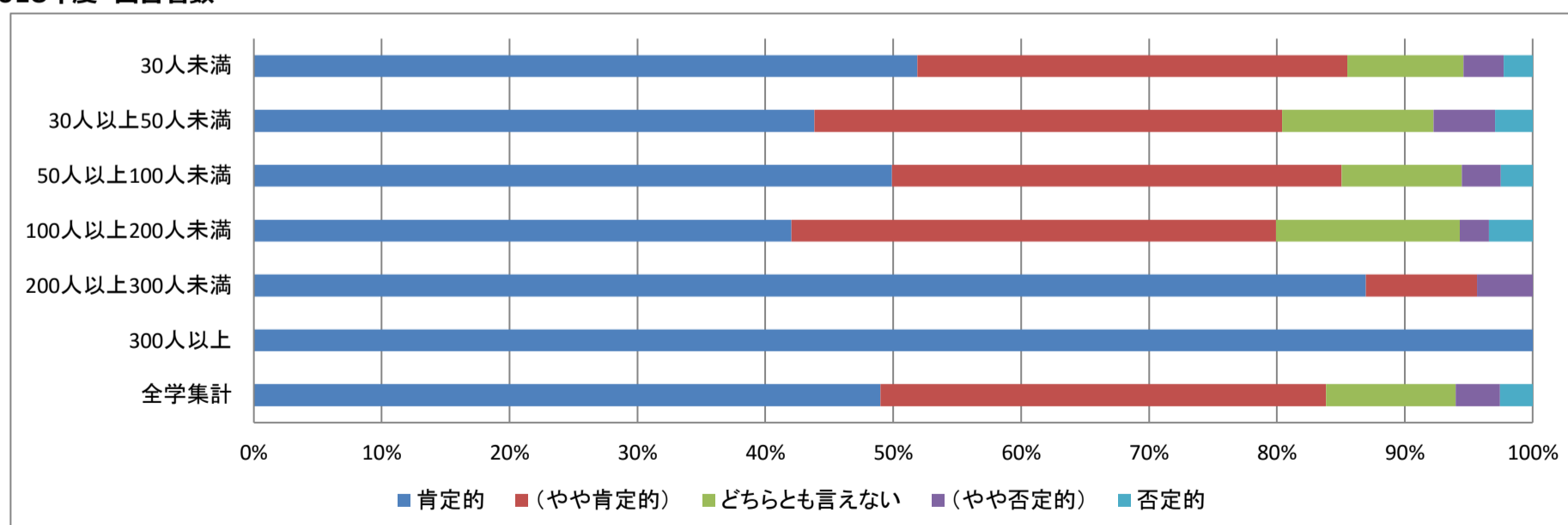
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・中国文学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

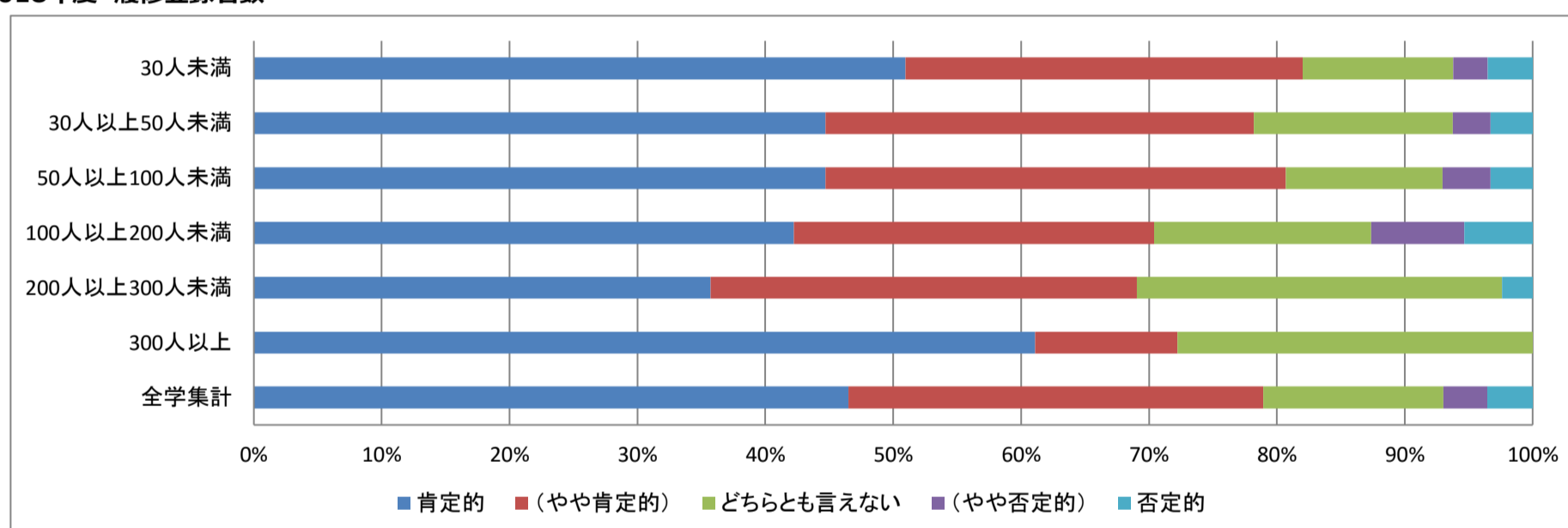
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	320 (51.0%)	195 (31.1%)	74 (11.8%)	17 (2.7%)	22 (3.5%)	4.2
	30人以上50人未満	244 (44.7%)	183 (33.5%)	85 (15.6%)	16 (2.9%)	18 (3.3%)	4.1
	50人以上100人未満	190 (44.7%)	153 (36.0%)	52 (12.2%)	16 (3.8%)	14 (3.3%)	4.2
	100人以上200人未満	87 (42.2%)	58 (28.2%)	35 (17.0%)	15 (7.3%)	11 (5.3%)	3.9
	200人以上300人未満	15 (35.7%)	14 (33.3%)	12 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (2.4%)	4.0
	300人以上	11 (61.1%)	2 (11.1%)	5 (27.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.3
	全学集計	867 (46.5%)	605 (32.4%)	263 (14.1%)	64 (3.4%)	66 (3.5%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	533 (46.8%)	379 (33.3%)	161 (14.1%)	31 (2.7%)	34 (3.0%)	4.2
	30人以上50人未満	239 (48.2%)	155 (31.3%)	58 (11.7%)	22 (4.4%)	22 (4.4%)	4.1
	50人以上100人未満	48 (34.8%)	42 (30.4%)	28 (20.3%)	10 (7.2%)	10 (7.2%)	3.8
	100人以上200人未満	44 (48.9%)	29 (32.2%)	16 (17.8%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	4.3
	200人以上300人未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0
	300人以上	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5.0
	全学集計	867 (46.5%)	605 (32.4%)	263 (14.1%)	64 (3.4%)	66 (3.5%)	4.1

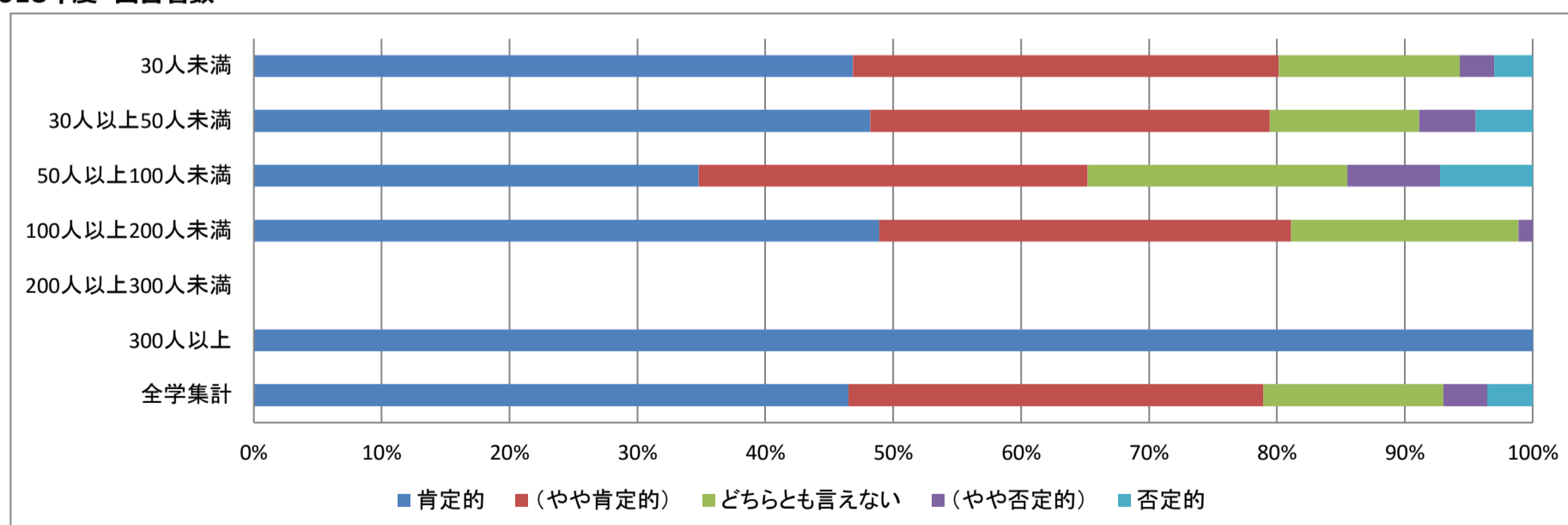
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・英米文学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

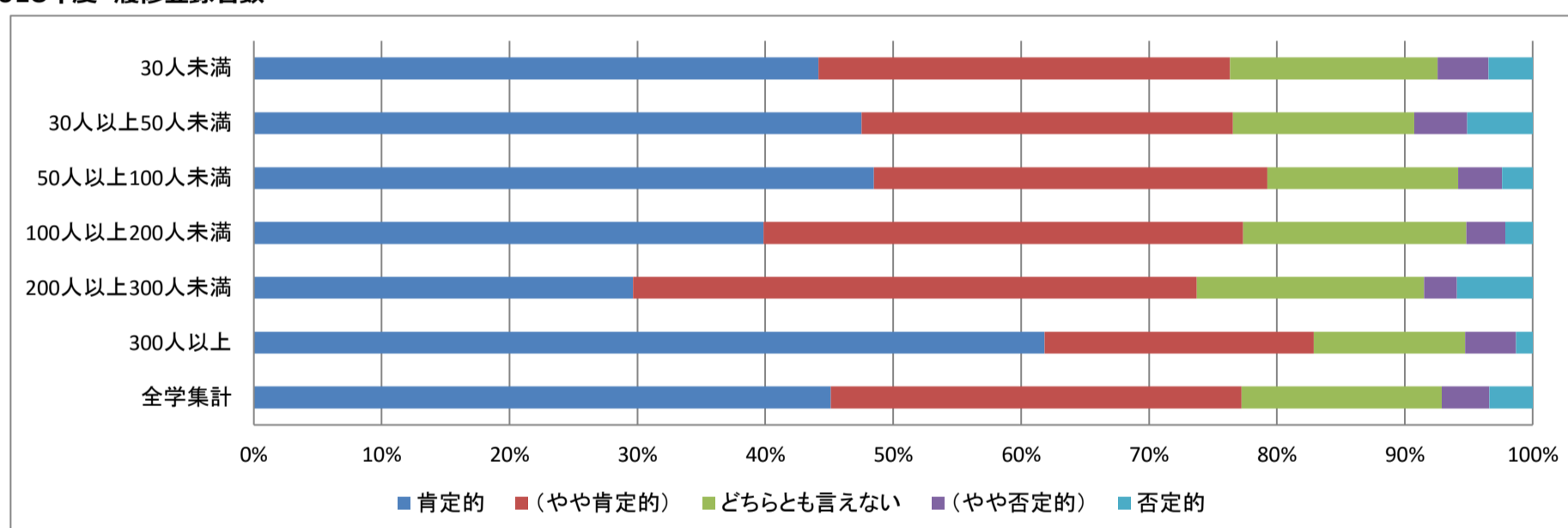
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	612 (44.2%)	446 (32.2%)	225 (16.2%)	55 (4.0%)	48 (3.5%)	4.1
	30人以上50人未満	298 (47.5%)	182 (29.0%)	89 (14.2%)	26 (4.1%)	32 (5.1%)	4.1
	50人以上100人未満	383 (48.5%)	243 (30.8%)	118 (14.9%)	27 (3.4%)	19 (2.4%)	4.2
	100人以上200人未満	169 (39.9%)	159 (37.5%)	74 (17.5%)	13 (3.1%)	9 (2.1%)	4.1
	200人以上300人未満	35 (29.7%)	52 (44.1%)	21 (17.8%)	3 (2.5%)	7 (5.9%)	3.9
	300人以上	47 (61.8%)	16 (21.1%)	9 (11.8%)	3 (3.9%)	1 (1.3%)	4.4
	全学集計	1,544 (45.1%)	1,098 (32.1%)	536 (15.7%)	127 (3.7%)	116 (3.4%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	855 (44.0%)	620 (31.9%)	324 (16.7%)	76 (3.9%)	68 (3.5%)	4.1
	30人以上50人未満	408 (53.4%)	213 (27.9%)	94 (12.3%)	28 (3.7%)	21 (2.7%)	4.3
	50人以上100人未満	174 (36.7%)	182 (38.4%)	79 (16.7%)	17 (3.6%)	22 (4.6%)	4.0
	100人以上200人未満	78 (39.0%)	76 (38.0%)	36 (18.0%)	5 (2.5%)	5 (2.5%)	4.1
	200人以上300人未満	11 (68.8%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	4.5
	300人以上	18 (75.0%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	1,544 (45.1%)	1,098 (32.1%)	536 (15.7%)	127 (3.7%)	116 (3.4%)	4.1

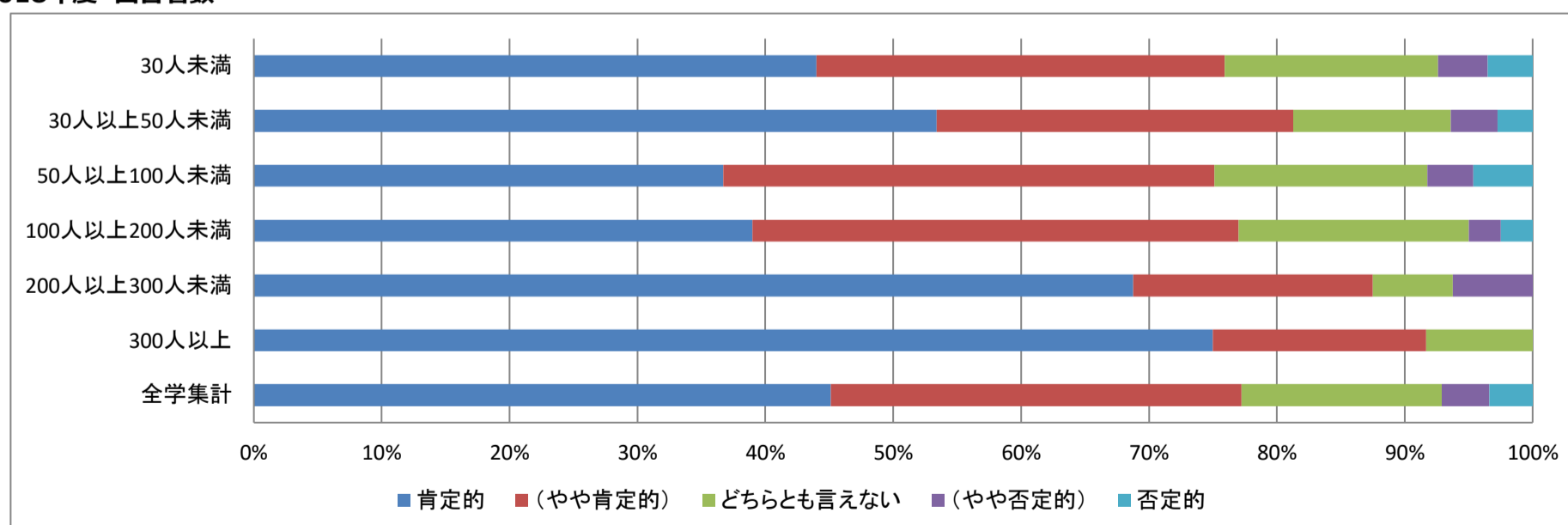
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・教育学科

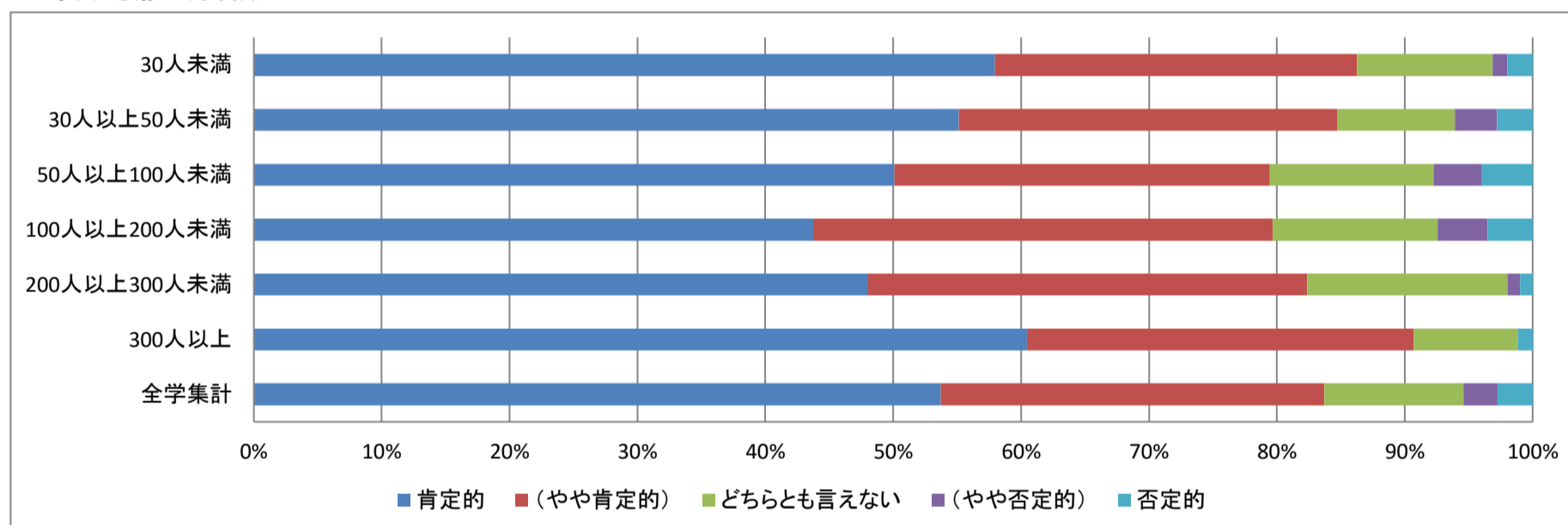
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）  
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	444 (58.0%)	217 (28.3%)	81 (10.6%)	9 (1.2%)	15 (2.0%)	4.4
	30人以上50人未満	517 (55.1%)	278 (29.6%)	86 (9.2%)	31 (3.3%)	26 (2.8%)	4.3
	50人以上100人未満	278 (50.1%)	163 (29.4%)	71 (12.8%)	21 (3.8%)	22 (4.0%)	4.2
	100人以上200人未満	112 (43.8%)	92 (35.9%)	33 (12.9%)	10 (3.9%)	9 (3.5%)	4.1
	200人以上300人未満	49 (48.0%)	35 (34.3%)	16 (15.7%)	1 (1.0%)	1 (1.0%)	4.3
	300人以上	52 (60.5%)	26 (30.2%)	7 (8.1%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	4.5
	全学集計	1,452 (53.7%)	811 (30.0%)	294 (10.9%)	72 (2.7%)	74 (2.7%)	4.3
2018年度 回答者	30人未満	869 (54.7%)	459 (28.9%)	177 (11.1%)	40 (2.5%)	45 (2.8%)	4.3
	30人以上50人未満	359 (54.8%)	188 (28.7%)	62 (9.5%)	23 (3.5%)	23 (3.5%)	4.3
	50人以上100人未満	121 (47.5%)	92 (36.1%)	32 (12.5%)	6 (2.4%)	4 (1.6%)	4.3
	100人以上200人未満	72 (42.4%)	70 (41.2%)	23 (13.5%)	3 (1.8%)	2 (1.2%)	4.2
	200人以上300人未満	17 (89.5%)	2 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.9
	300人以上	14 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5.0
	全学集計	1,452 (53.7%)	811 (30.0%)	294 (10.9%)	72 (2.7%)	74 (2.7%)	4.3

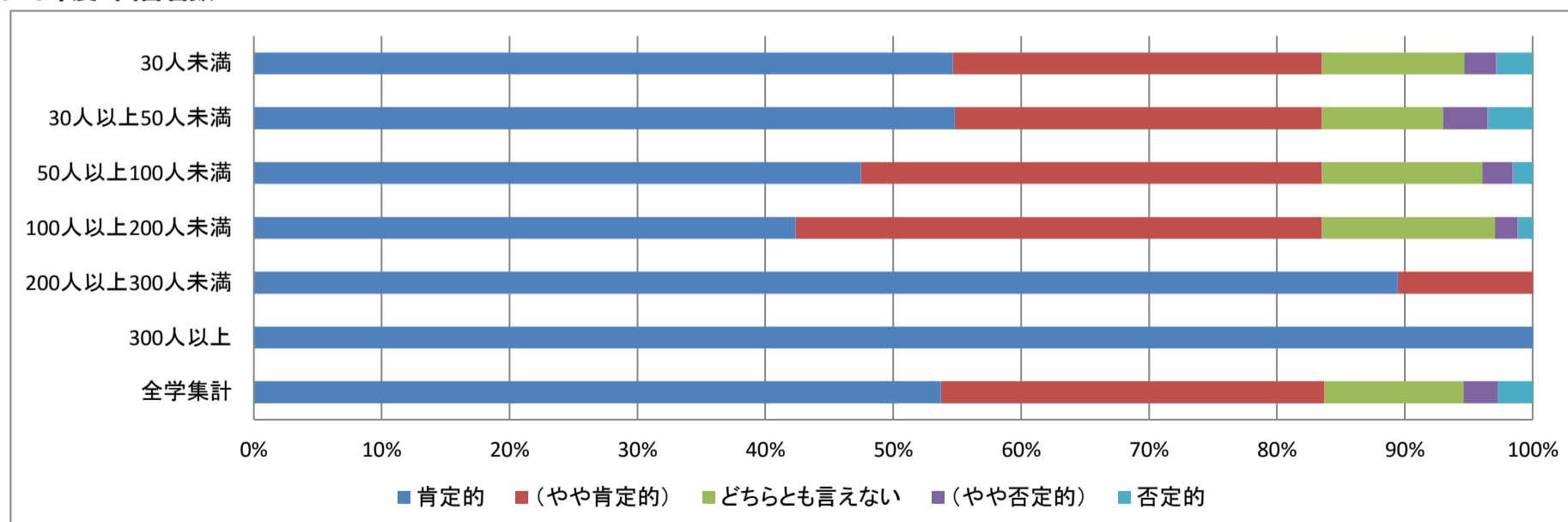
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：文学部・書道学科

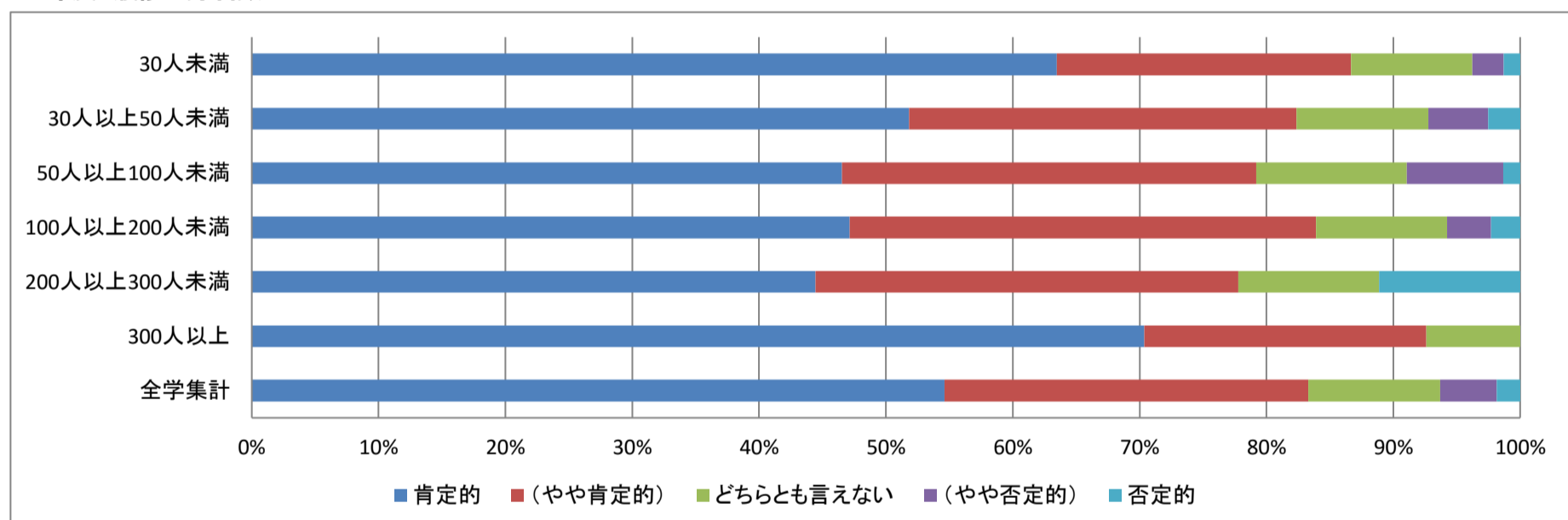
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）  
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	438 (63.5%)	160 (23.2%)	66 (9.6%)	17 (2.5%)	9 (1.3%)	4.5
	30人以上50人未満	409 (51.8%)	241 (30.5%)	82 (10.4%)	37 (4.7%)	20 (2.5%)	4.2
	50人以上100人未満	208 (46.5%)	146 (32.7%)	53 (11.9%)	34 (7.6%)	6 (1.3%)	4.2
	100人以上200人未満	41 (47.1%)	32 (36.8%)	9 (10.3%)	3 (3.4%)	2 (2.3%)	4.2
	200人以上300人未満	4 (44.4%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	4.0
	300人以上	19 (70.4%)	6 (22.2%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.6
	全学集計	1,119 (54.6%)	588 (28.7%)	213 (10.4%)	91 (4.4%)	38 (1.9%)	4.3
2018年度 回答者	30人未満	791 (60.4%)	334 (25.5%)	122 (9.3%)	42 (3.2%)	21 (1.6%)	4.4
	30人以上50人未満	226 (46.8%)	159 (32.9%)	56 (11.6%)	33 (6.8%)	9 (1.9%)	4.2
	50人以上100人未満	57 (33.1%)	68 (39.5%)	27 (15.7%)	14 (8.1%)	6 (3.5%)	3.9
	100人以上200人未満	35 (49.3%)	24 (33.8%)	8 (11.3%)	2 (2.8%)	2 (2.8%)	4.2
	200人以上300人未満	10 (76.9%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	300人以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0
	全学集計	1,119 (54.6%)	588 (28.7%)	213 (10.4%)	91 (4.4%)	38 (1.9%)	4.3

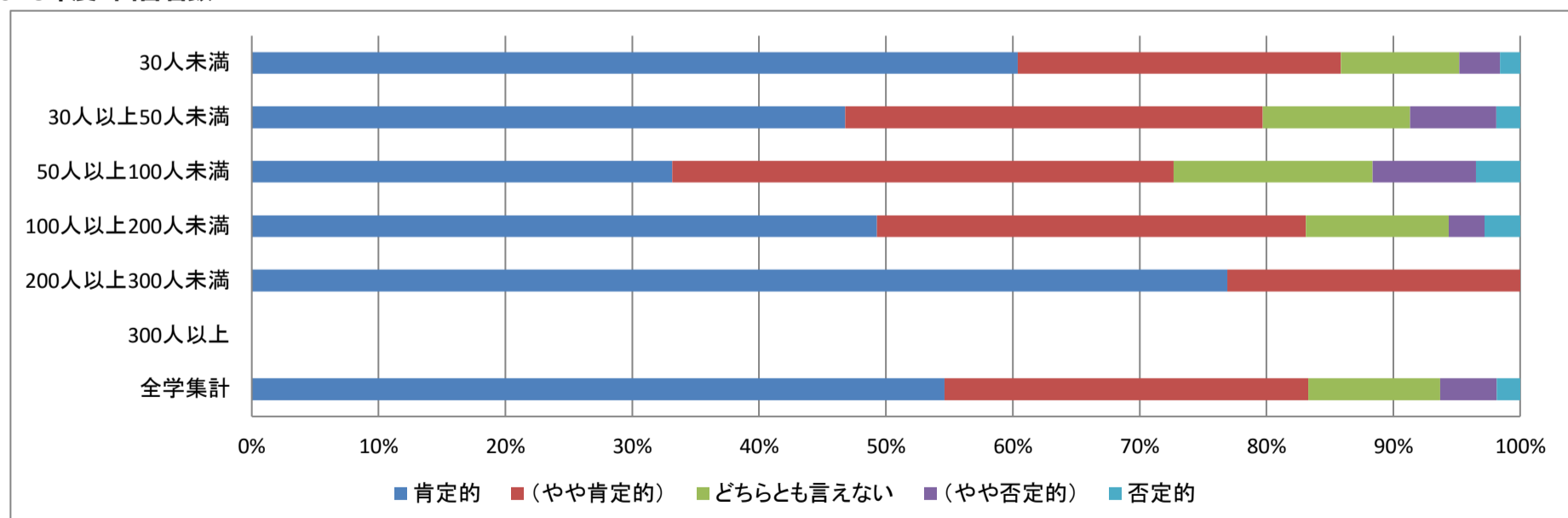
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数





## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：文学部・歴史文化学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

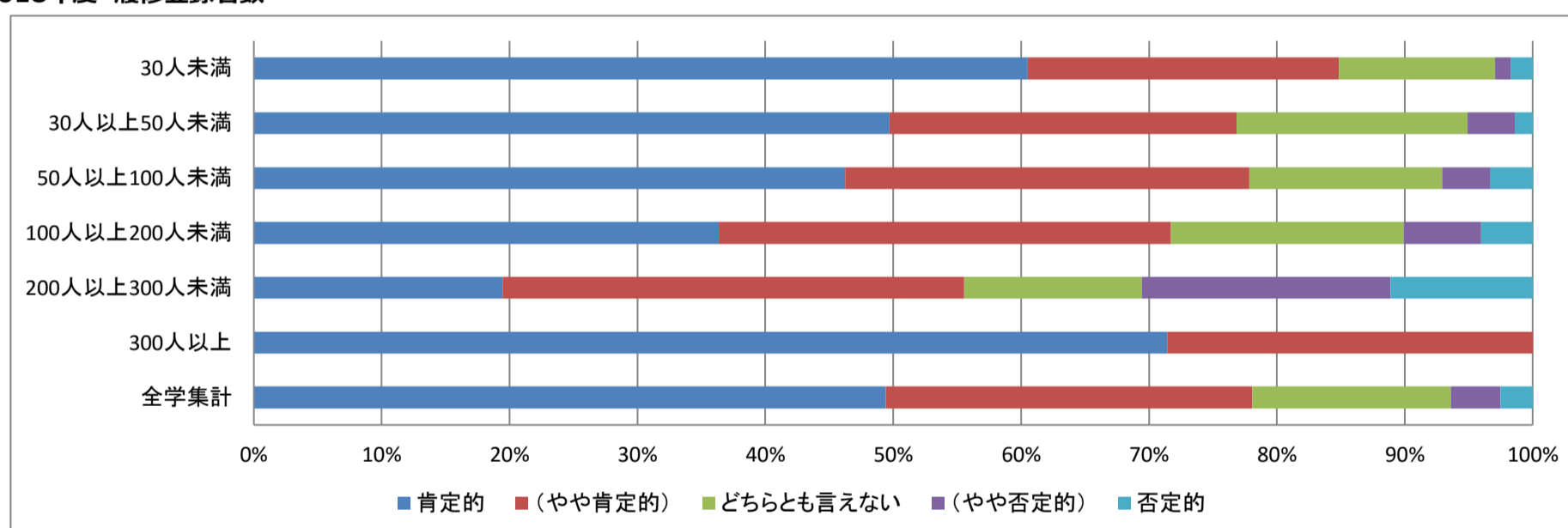
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	144 (60.5%)	58 (24.4%)	29 (12.2%)	3 (1.3%)	4 (1.7%)	4.4
	30人以上50人未満	176 (49.7%)	96 (27.1%)	64 (18.1%)	13 (3.7%)	5 (1.4%)	4.2
	50人以上100人未満	98 (46.2%)	67 (31.6%)	32 (15.1%)	8 (3.8%)	7 (3.3%)	4.1
	100人以上200人未満	36 (36.4%)	35 (35.4%)	18 (18.2%)	6 (6.1%)	4 (4.0%)	3.9
	200人以上300人未満	7 (19.4%)	13 (36.1%)	5 (13.9%)	7 (19.4%)	4 (11.1%)	3.3
	300人以上	10 (71.4%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	471 (49.4%)	273 (28.6%)	148 (15.5%)	37 (3.9%)	24 (2.5%)	4.2
2018年度 回答者	30人未満	264 (57.8%)	109 (23.9%)	68 (14.9%)	9 (2.0%)	7 (1.5%)	4.3
	30人以上50人未満	144 (43.9%)	104 (31.7%)	56 (17.1%)	15 (4.6%)	9 (2.7%)	4.1
	50人以上100人未満	42 (38.9%)	36 (33.3%)	19 (17.6%)	7 (6.5%)	4 (3.7%)	4.0
	100人以上200人未満	11 (42.3%)	14 (53.8%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.4
	200人以上300人未満	7 (23.3%)	9 (30.0%)	4 (13.3%)	6 (20.0%)	4 (13.3%)	3.3
	300人以上	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	471 (49.4%)	273 (28.6%)	148 (15.5%)	37 (3.9%)	24 (2.5%)	4.2

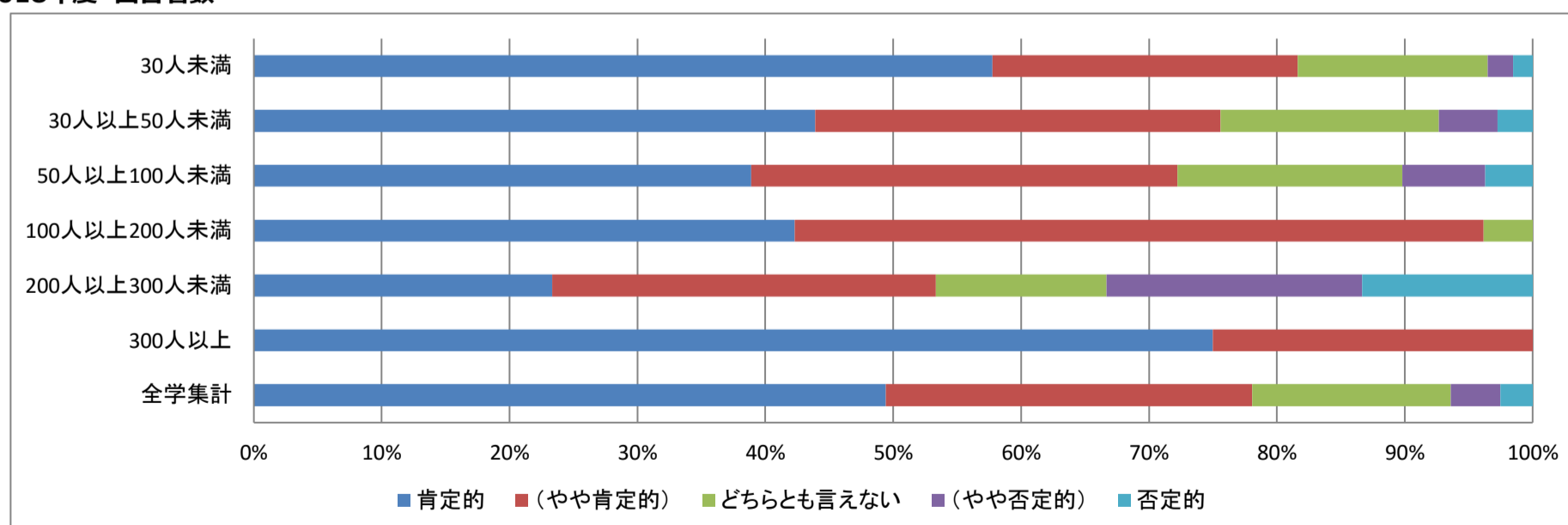
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数





## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：経済学部

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

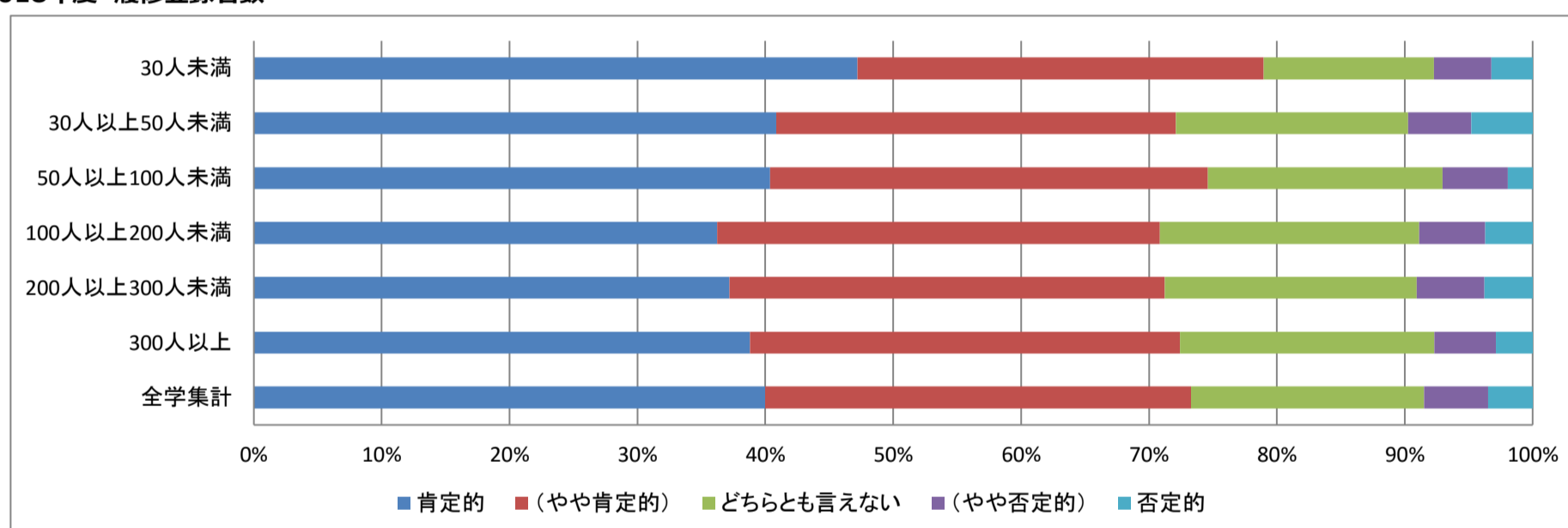
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	649 (48.1%)	432 (32.0%)	180 (13.3%)	52 (3.9%)	37 (2.7%)	4.2
	30人以上50人未満	592 (41.4%)	467 (32.7%)	237 (16.6%)	69 (4.8%)	65 (4.5%)	4.0
	50人以上100人未満	548 (40.5%)	456 (33.7%)	250 (18.5%)	65 (4.8%)	35 (2.6%)	4.0
	100人以上200人未満	804 (37.1%)	747 (34.5%)	430 (19.8%)	101 (4.7%)	86 (4.0%)	4.0
	200人以上300人未満	468 (36.4%)	431 (33.5%)	263 (20.5%)	72 (5.6%)	51 (4.0%)	3.9
	300人以上	185 (37.5%)	177 (35.9%)	93 (18.9%)	22 (4.5%)	16 (3.2%)	4.0
	全学集計	3,246 (40.2%)	2,710 (33.5%)	1,453 (18.0%)	381 (4.7%)	290 (3.6%)	4.0
2018年度 回答者	30人未満	1186 (45.1%)	831 (31.6%)	411 (15.6%)	108 (4.1%)	94 (3.6%)	4.1
	30人以上50人未満	538 (40.0%)	468 (34.8%)	227 (16.9%)	66 (4.9%)	47 (3.5%)	4.0
	50人以上100人未満	890 (35.2%)	863 (34.1%)	522 (20.6%)	139 (5.5%)	114 (4.5%)	3.9
	100人以上200人未満	545 (38.4%)	495 (34.9%)	278 (19.6%)	66 (4.7%)	35 (2.5%)	4.0
	200人以上300人未満	65 (51.6%)	45 (35.7%)	14 (11.1%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)	4.4
	300人以上	22 (71.0%)	8 (25.8%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	3,246 (40.2%)	2,710 (33.5%)	1,453 (18.0%)	381 (4.7%)	290 (3.6%)	4.0

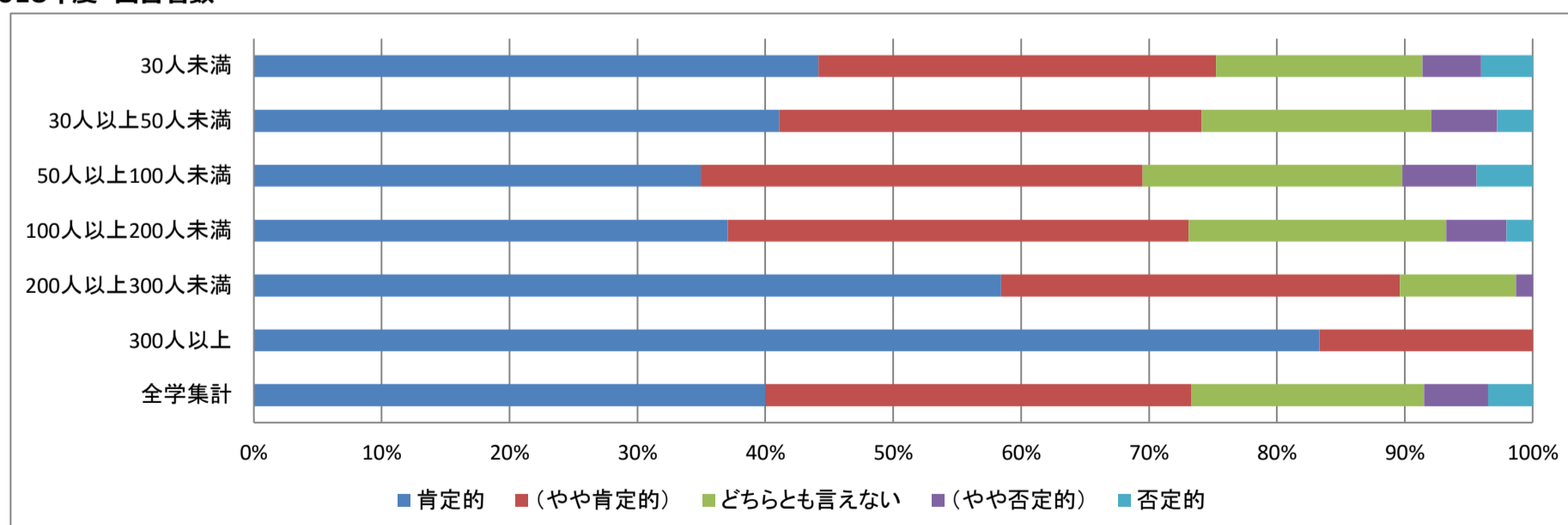
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：外国語学部・中国語学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

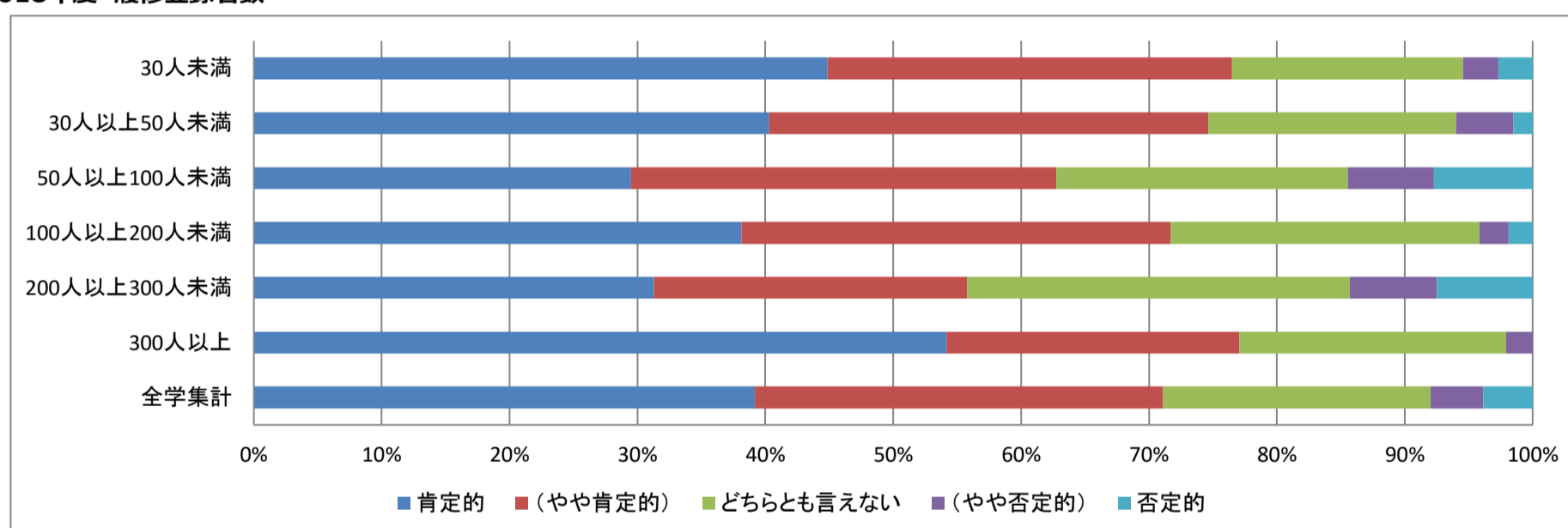
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	420 (44.9%)	296 (31.6%)	169 (18.1%)	26 (2.8%)	25 (2.7%)	4.1
	30人以上50人未満	108 (40.3%)	92 (34.3%)	52 (19.4%)	12 (4.5%)	4 (1.5%)	4.1
	50人以上100人未満	149 (29.5%)	168 (33.3%)	115 (22.8%)	34 (6.7%)	39 (7.7%)	3.7
	100人以上200人未満	101 (38.1%)	89 (33.6%)	64 (24.2%)	6 (2.3%)	5 (1.9%)	4.0
	200人以上300人未満	46 (31.3%)	36 (24.5%)	44 (29.9%)	10 (6.8%)	11 (7.5%)	3.7
	300人以上	26 (54.2%)	11 (22.9%)	10 (20.8%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	4.3
	全学集計	850 (39.2%)	692 (31.9%)	454 (20.9%)	89 (4.1%)	84 (3.9%)	4.0
2018年度 回答者	30人未満	578 (41.6%)	440 (31.7%)	268 (19.3%)	52 (3.7%)	50 (3.6%)	4.0
	30人以上50人未満	89 (28.6%)	119 (38.3%)	68 (21.9%)	20 (6.4%)	15 (4.8%)	3.8
	50人以上100人未満	96 (40.2%)	76 (31.8%)	49 (20.5%)	8 (3.3%)	10 (4.2%)	4.0
	100人以上200人未満	73 (33.8%)	57 (26.4%)	68 (31.5%)	9 (4.2%)	9 (4.2%)	3.8
	200人以上300人未満	8 (88.9%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	300人以上	6 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5.0
	全学集計	850 (39.2%)	692 (31.9%)	454 (20.9%)	89 (4.1%)	84 (3.9%)	4.0

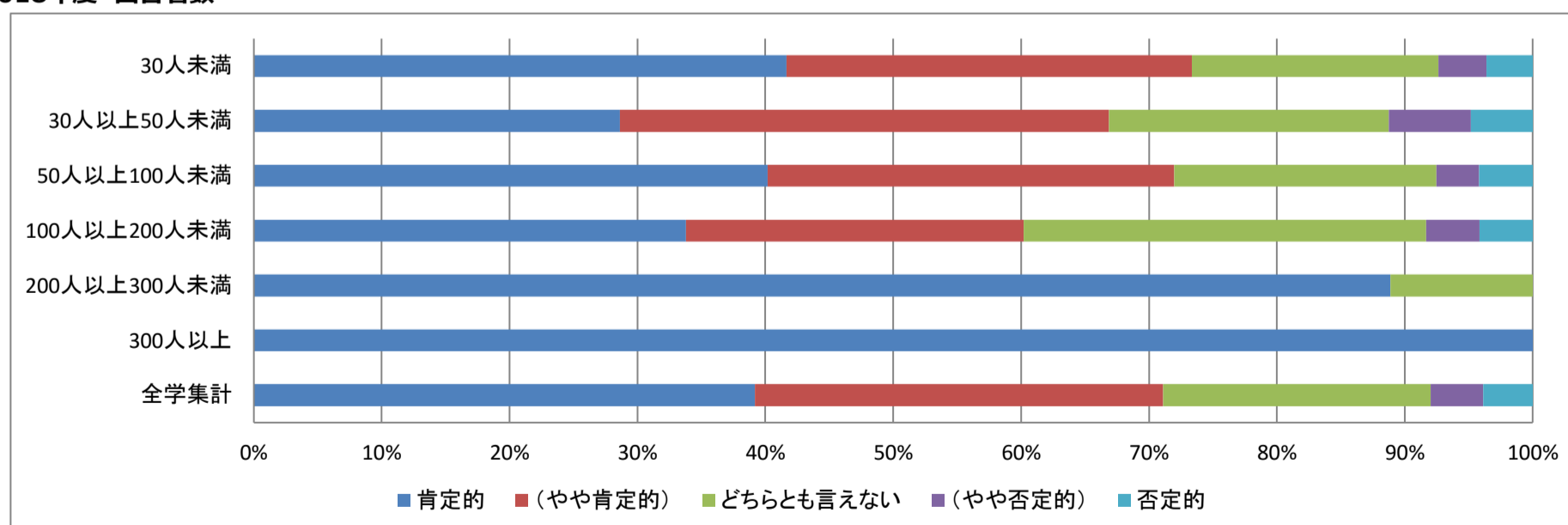
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：外国語学部・英語学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

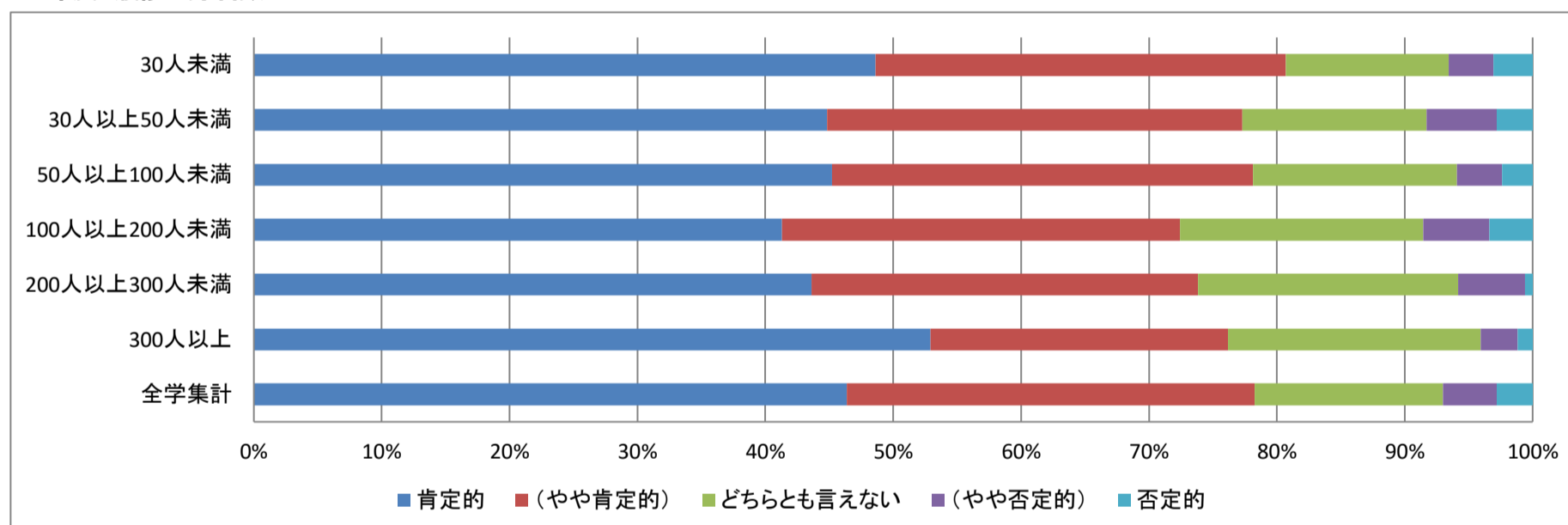
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	1236 (48.6%)	816 (32.1%)	324 (12.7%)	89 (3.5%)	78 (3.1%)	4.2
	30人以上50人未満	642 (44.8%)	465 (32.5%)	206 (14.4%)	79 (5.5%)	40 (2.8%)	4.1
	50人以上100人未満	397 (45.2%)	289 (32.9%)	140 (15.9%)	31 (3.5%)	21 (2.4%)	4.2
	100人以上200人未満	256 (41.3%)	193 (31.1%)	118 (19.0%)	32 (5.2%)	21 (3.4%)	4.0
	200人以上300人未満	75 (43.6%)	52 (30.2%)	35 (20.3%)	9 (5.2%)	1 (0.6%)	4.1
	300人以上	91 (52.9%)	40 (23.3%)	34 (19.8%)	5 (2.9%)	2 (1.2%)	4.2
	全学集計	2,697 (46.4%)	1,855 (31.9%)	857 (14.7%)	245 (4.2%)	163 (2.8%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	1,869 (47.2%)	1,260 (31.8%)	535 (13.5%)	172 (4.3%)	122 (3.1%)	4.2
	30人以上50人未満	379 (46.0%)	283 (34.3%)	124 (15.0%)	24 (2.9%)	14 (1.7%)	4.2
	50人以上100人未満	252 (38.7%)	209 (32.1%)	129 (19.8%)	38 (5.8%)	24 (3.7%)	4.0
	100人以上200人未満	140 (48.4%)	83 (28.7%)	53 (18.3%)	10 (3.5%)	3 (1.0%)	4.2
	200人以上300人未満	24 (47.1%)	14 (27.5%)	12 (23.5%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	4.2
	300人以上	33 (76.7%)	6 (14.0%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	2,697 (46.4%)	1,855 (31.9%)	857 (14.7%)	245 (4.2%)	163 (2.8%)	4.1

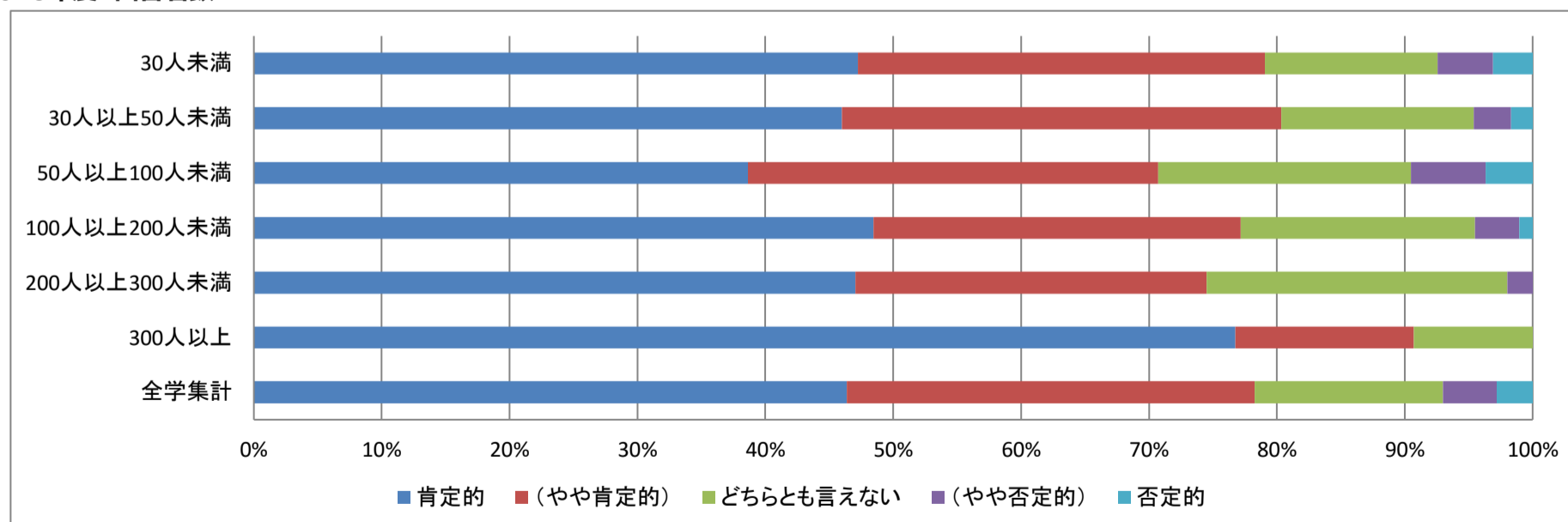
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：外国語学部・日本語学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

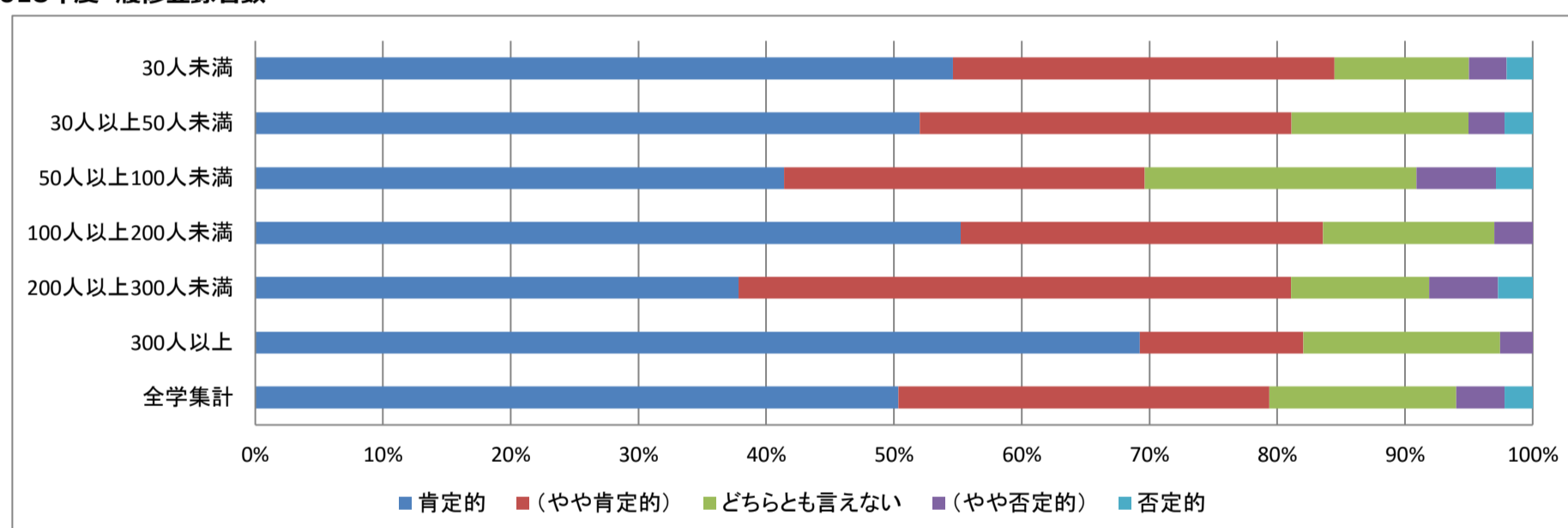
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	296 (54.6%)	162 (29.9%)	57 (10.5%)	16 (3.0%)	11 (2.0%)	4.3
	30人以上50人未満	259 (52.0%)	145 (29.1%)	69 (13.9%)	14 (2.8%)	11 (2.2%)	4.3
	50人以上100人未満	173 (41.4%)	118 (28.2%)	89 (21.3%)	26 (6.2%)	12 (2.9%)	4.0
	100人以上200人未満	37 (55.2%)	19 (28.4%)	9 (13.4%)	2 (3.0%)	0 (0.0%)	4.4
	200人以上300人未満	14 (37.8%)	16 (43.2%)	4 (10.8%)	2 (5.4%)	1 (2.7%)	4.1
	300人以上	27 (69.2%)	5 (12.8%)	6 (15.4%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	4.5
	全学集計	806 (50.3%)	465 (29.0%)	234 (14.6%)	61 (3.8%)	35 (2.2%)	4.2
2018年度 回答者	30人未満	606 (51.9%)	341 (29.2%)	156 (13.4%)	36 (3.1%)	28 (2.4%)	4.3
	30人以上50人未満	95 (42.6%)	63 (28.3%)	43 (19.3%)	17 (7.6%)	5 (2.2%)	4.0
	50人以上100人未満	60 (46.2%)	38 (29.2%)	24 (18.5%)	6 (4.6%)	2 (1.5%)	4.1
	100人以上200人未満	25 (45.5%)	19 (34.5%)	9 (16.4%)	2 (3.6%)	0 (0.0%)	4.2
	200人以上300人未満	11 (68.8%)	4 (25.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.6
	300人以上	9 (90.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	806 (50.3%)	465 (29.0%)	234 (14.6%)	61 (3.8%)	35 (2.2%)	4.2

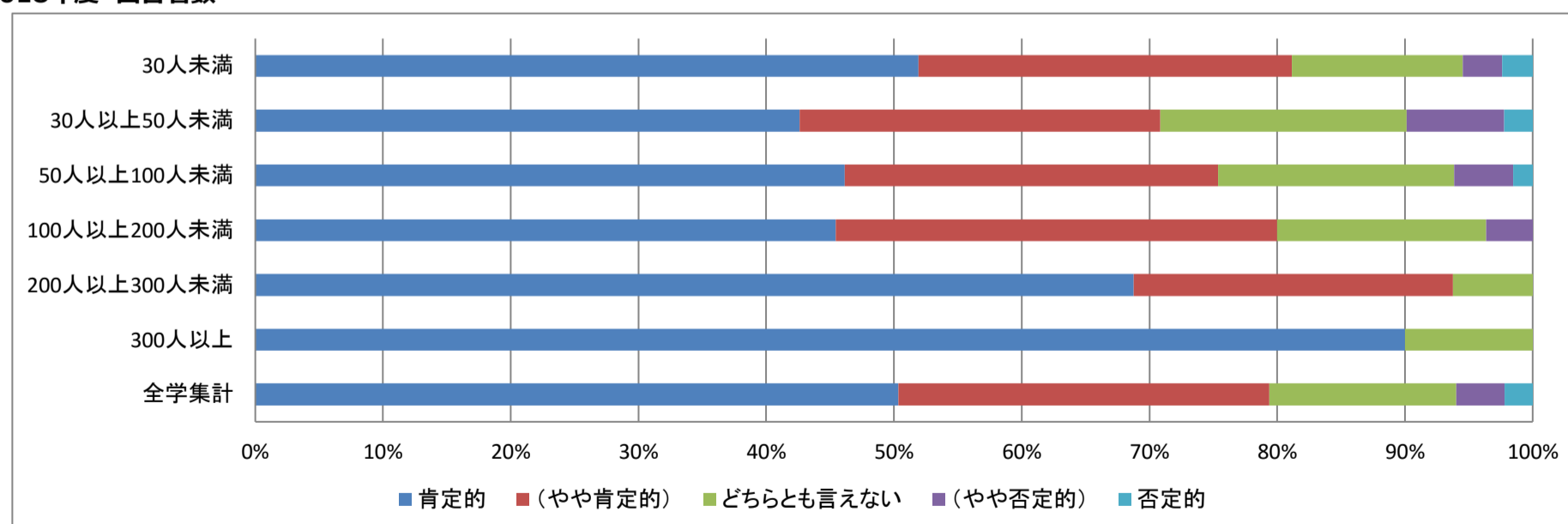
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：法学部・法律学科

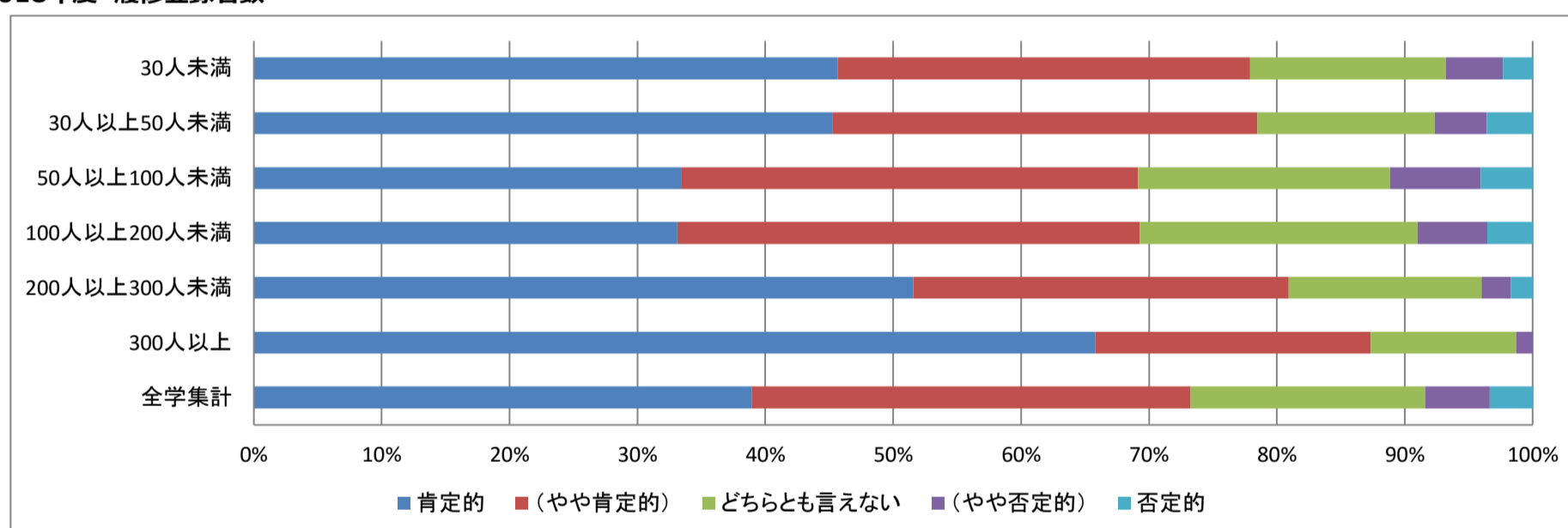
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）  
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	215 (45.6%)	152 (32.3%)	72 (15.3%)	21 (4.5%)	11 (2.3%)	4.1
	30人以上50人未満	480 (45.3%)	352 (33.2%)	147 (13.9%)	43 (4.1%)	38 (3.6%)	4.1
	50人以上100人未満	288 (33.4%)	308 (35.7%)	170 (19.7%)	61 (7.1%)	35 (4.1%)	3.9
	100人以上200人未満	670 (33.1%)	732 (36.2%)	440 (21.7%)	110 (5.4%)	72 (3.6%)	3.9
	200人以上300人未満	181 (51.6%)	103 (29.3%)	53 (15.1%)	8 (2.3%)	6 (1.7%)	4.3
	300人以上	52 (65.8%)	17 (21.5%)	9 (11.4%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	4.5
	全学集計	1,886 (38.9%)	1,664 (34.3%)	891 (18.4%)	244 (5.0%)	162 (3.3%)	4.0
2018年度 回答者	30人未満	673 (41.8%)	527 (32.8%)	285 (17.7%)	77 (4.8%)	47 (2.9%)	4.1
	30人以上50人未満	374 (39.2%)	356 (37.3%)	149 (15.6%)	37 (3.9%)	39 (4.1%)	4.0
	50人以上100人未満	588 (38.0%)	542 (35.0%)	302 (19.5%)	82 (5.3%)	35 (2.3%)	4.0
	100人以上200人未満	219 (31.6%)	231 (33.4%)	153 (22.1%)	48 (6.9%)	41 (5.9%)	3.8
	200人以上300人未満	15 (78.9%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	300人以上	17 (73.9%)	5 (21.7%)	1 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	1,886 (38.9%)	1,664 (34.3%)	891 (18.4%)	244 (5.0%)	162 (3.3%)	4.0

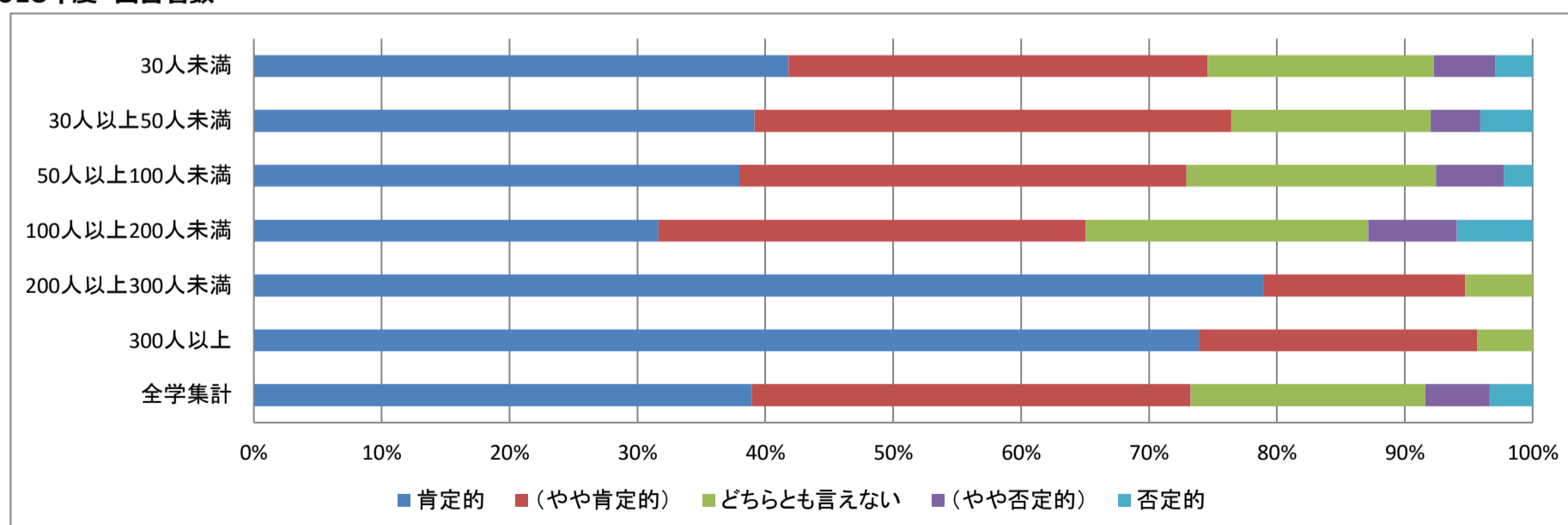
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：法学部・政治学科

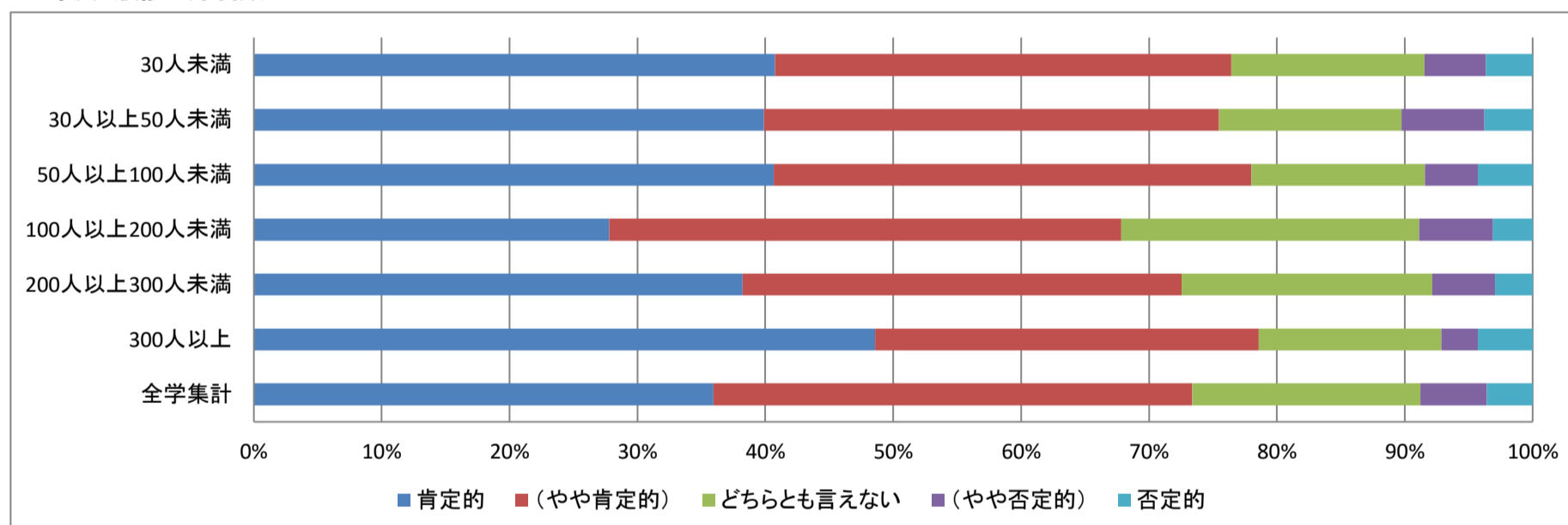
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）  
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	280 (40.8%)	245 (35.7%)	104 (15.1%)	33 (4.8%)	25 (3.6%)	4.1
	30人以上50人未満	148 (39.9%)	132 (35.6%)	53 (14.3%)	24 (6.5%)	14 (3.8%)	4.0
	50人以上100人未満	246 (40.7%)	226 (37.4%)	82 (13.6%)	25 (4.1%)	26 (4.3%)	4.1
	100人以上200人未満	297 (27.8%)	428 (40.0%)	249 (23.3%)	62 (5.8%)	33 (3.1%)	3.8
	200人以上300人未満	39 (38.2%)	35 (34.3%)	20 (19.6%)	5 (4.9%)	3 (2.9%)	4.0
	300人以上	34 (48.6%)	21 (30.0%)	10 (14.3%)	2 (2.9%)	3 (4.3%)	4.2
	全学集計	1,044 (36.0%)	1,087 (37.4%)	518 (17.8%)	151 (5.2%)	104 (3.6%)	4.0
2018年度 回答者	30人未満	529 (40.0%)	465 (35.1%)	198 (15.0%)	74 (5.6%)	58 (4.4%)	4.0
	30人以上50人未満	199 (38.0%)	213 (40.6%)	81 (15.5%)	17 (3.2%)	14 (2.7%)	4.1
	50人以上100人未満	194 (31.0%)	262 (41.9%)	131 (20.9%)	33 (5.3%)	6 (1.0%)	4.0
	100人以上200人未満	96 (24.9%)	136 (35.3%)	104 (27.0%)	25 (6.5%)	24 (6.2%)	3.7
	200人以上300人未満	13 (46.4%)	7 (25.0%)	4 (14.3%)	2 (7.1%)	2 (7.1%)	4.0
	300人以上	13 (76.5%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	1,044 (36.0%)	1,087 (37.4%)	518 (17.8%)	151 (5.2%)	104 (3.6%)	4.0

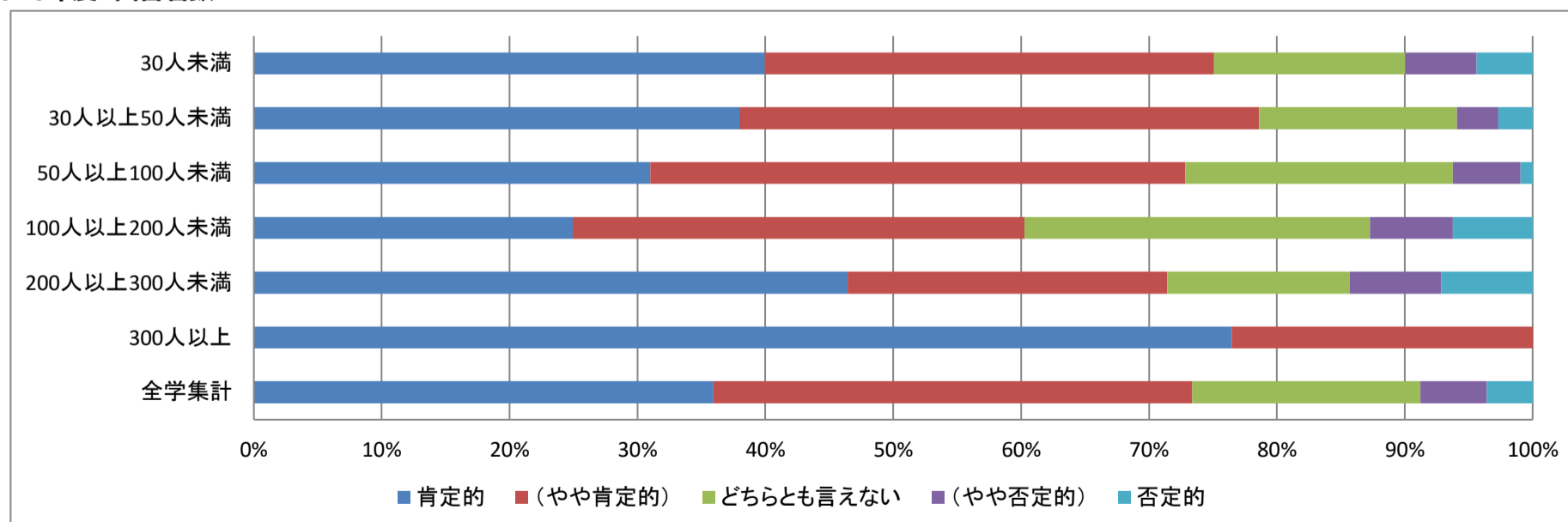
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：国際関係学部

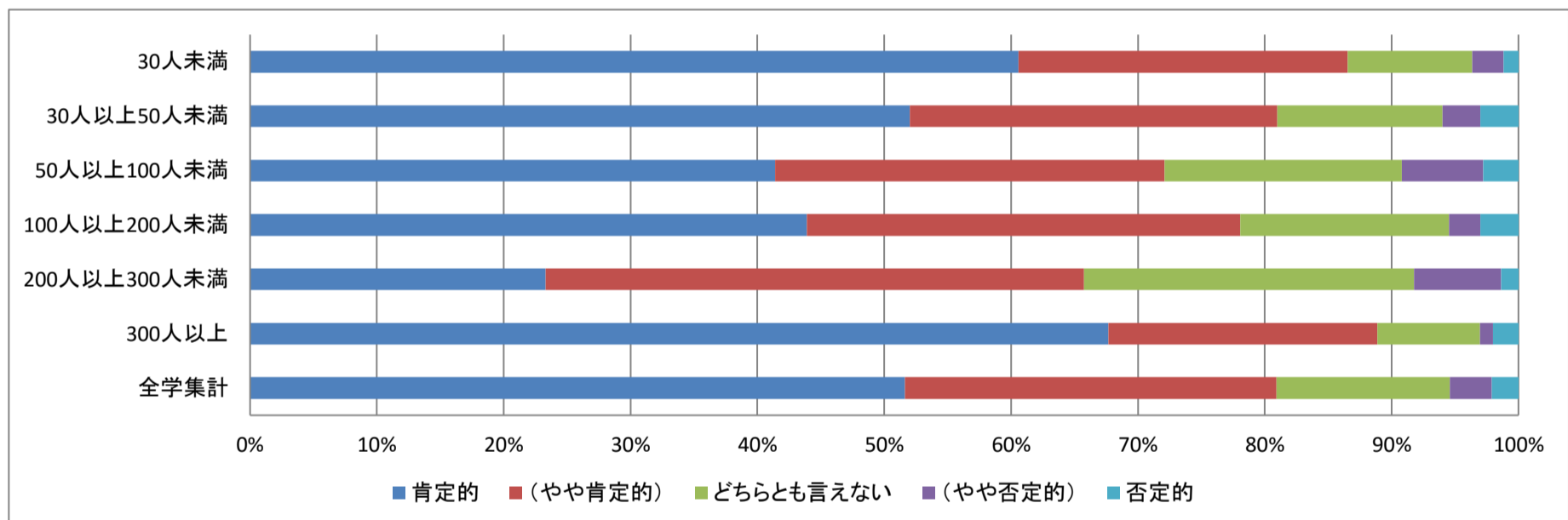
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）  
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	840 (55.0%)	437 (28.6%)	188 (12.3%)	42 (2.7%)	21 (1.4%)	4.3
	30人以上50人未満	227 (52.3%)	118 (27.2%)	64 (14.7%)	14 (3.2%)	11 (2.5%)	4.2
	50人以上100人未満	266 (40.1%)	223 (33.6%)	123 (18.6%)	33 (5.0%)	18 (2.7%)	4.0
	100人以上200人未満	344 (42.7%)	262 (32.5%)	149 (18.5%)	31 (3.8%)	20 (2.5%)	4.1
	200人以上300人未満	42 (24.7%)	70 (41.2%)	45 (26.5%)	11 (6.5%)	2 (1.2%)	3.8
	300人以上	120 (56.9%)	55 (26.1%)	28 (13.3%)	4 (1.9%)	4 (1.9%)	4.3
	全学集計	1,839 (48.2%)	1,165 (30.6%)	597 (15.7%)	135 (3.5%)	76 (2.0%)	4.2
2018年度 回答者	30人未満	574 (57.2%)	266 (26.5%)	112 (11.2%)	34 (3.4%)	17 (1.7%)	4.3
	30人以上50人未満	124 (44.8%)	92 (33.2%)	46 (16.6%)	8 (2.9%)	7 (2.5%)	4.1
	50人以上100人未満	153 (44.2%)	110 (31.8%)	60 (17.3%)	13 (3.8%)	10 (2.9%)	4.1
	100人以上200人未満	73 (39.5%)	70 (37.8%)	32 (17.3%)	7 (3.8%)	3 (1.6%)	4.1
	200人以上300人未満	21 (63.6%)	6 (18.2%)	4 (12.1%)	0 (0.0%)	2 (6.1%)	4.3
	300人以上	18 (85.7%)	2 (9.5%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	963 (51.6%)	546 (29.3%)	255 (13.7%)	62 (3.3%)	39 (2.1%)	4.3

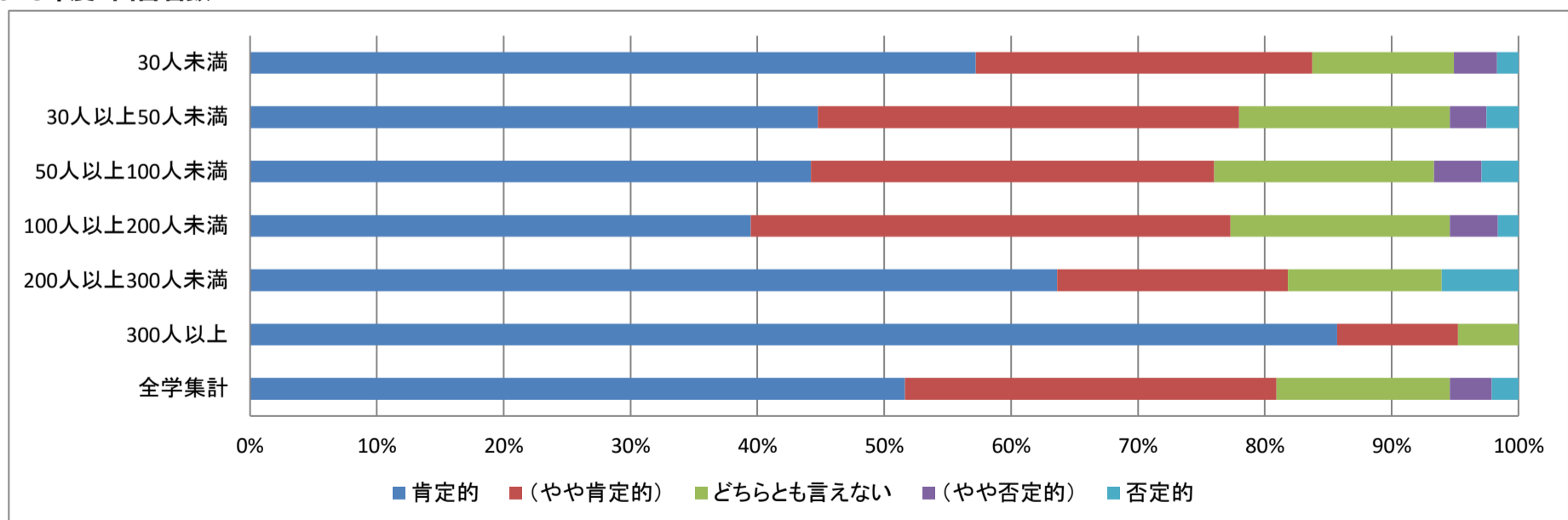
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数





## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：経営学部

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

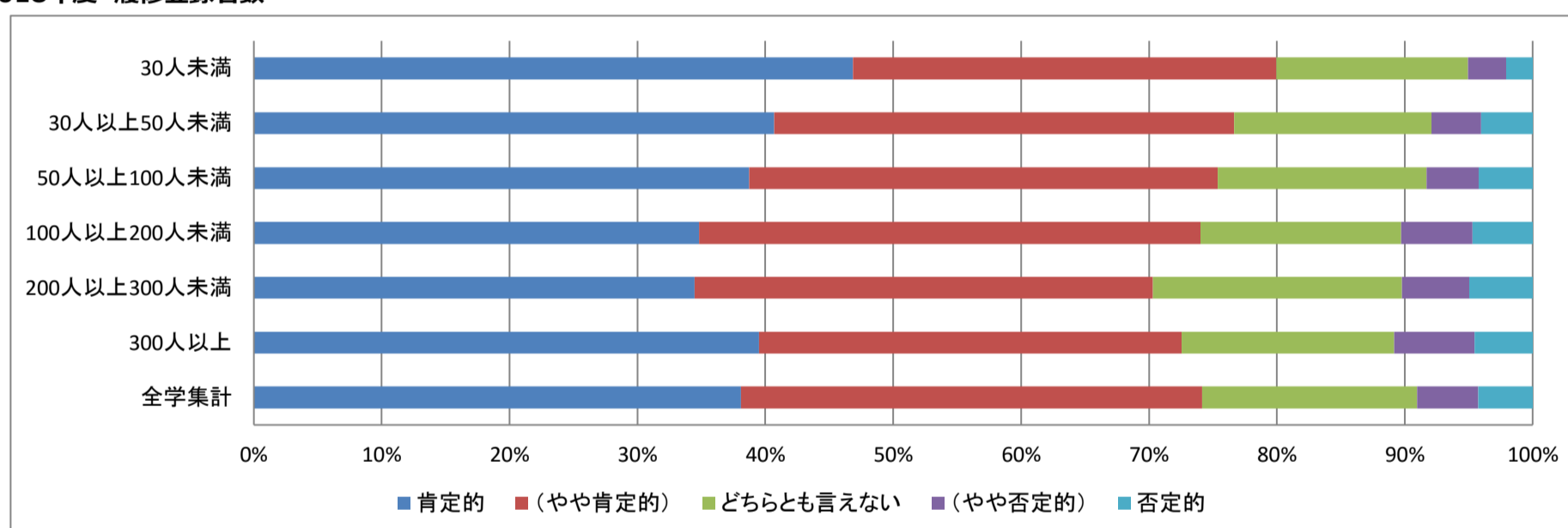
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	432 (47.3%)	302 (33.1%)	135 (14.8%)	26 (2.8%)	18 (2.0%)	4.2
	30人以上50人未満	332 (41.7%)	283 (35.5%)	120 (15.1%)	30 (3.8%)	32 (4.0%)	4.1
	50人以上100人未満	315 (38.4%)	299 (36.4%)	142 (17.3%)	31 (3.8%)	34 (4.1%)	4.0
	100人以上200人未満	543 (34.8%)	612 (39.3%)	245 (15.7%)	88 (5.6%)	71 (4.6%)	3.9
	200人以上300人未満	629 (34.9%)	648 (36.0%)	348 (19.3%)	92 (5.1%)	85 (4.7%)	3.9
	300人以上	232 (38.4%)	200 (33.1%)	105 (17.4%)	39 (6.5%)	28 (4.6%)	3.9
	全学集計	2,483 (38.2%)	2,344 (36.1%)	1,095 (16.9%)	306 (4.7%)	268 (4.1%)	4.0
2018年度 回答者	30人未満	781 (43.8%)	597 (33.5%)	278 (15.6%)	64 (3.6%)	64 (3.6%)	4.1
	30人以上50人未満	335 (33.7%)	367 (37.0%)	178 (17.9%)	57 (5.7%)	56 (5.6%)	3.9
	50人以上100人未満	662 (36.3%)	688 (37.7%)	305 (16.7%)	94 (5.2%)	76 (4.2%)	4.0
	100人以上200人未満	632 (35.6%)	667 (37.6%)	323 (18.2%)	85 (4.8%)	69 (3.9%)	4.0
	200人以上300人未満	35 (48.6%)	20 (27.8%)	10 (13.9%)	4 (5.6%)	3 (4.2%)	4.1
	300人以上	38 (82.6%)	5 (10.9%)	1 (2.2%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	4.7
	全学集計	2,483 (38.2%)	2,344 (36.1%)	1,095 (16.9%)	306 (4.7%)	268 (4.1%)	4.0

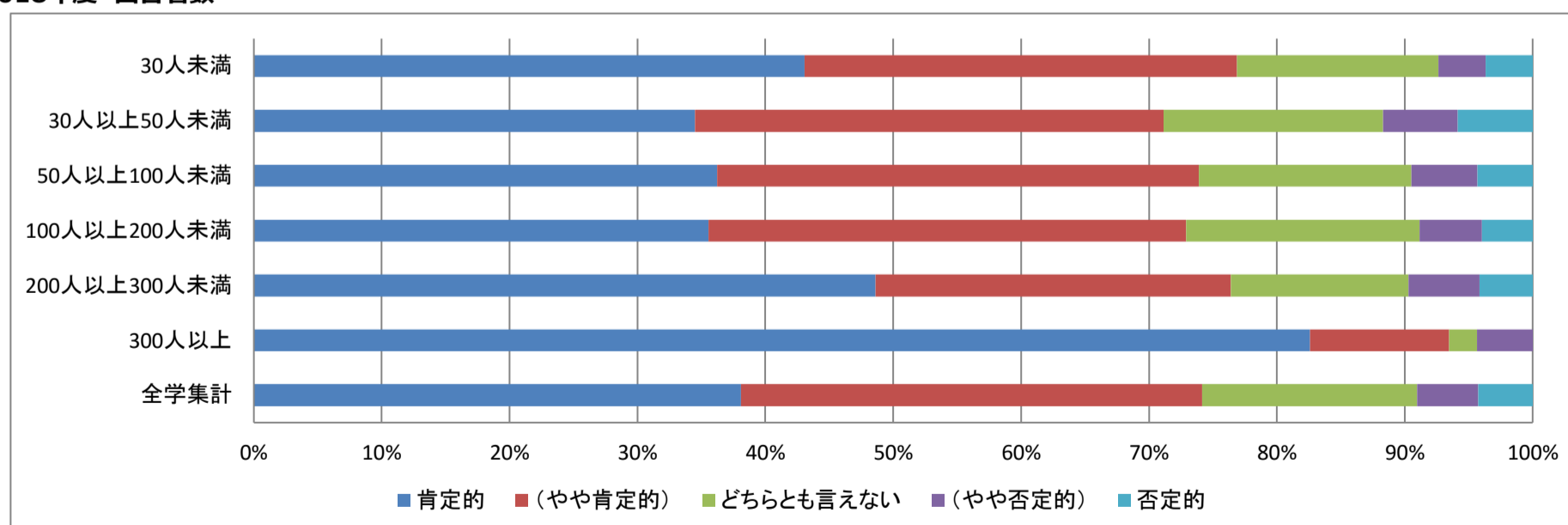
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数





## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：環境創造学部・環境創造学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

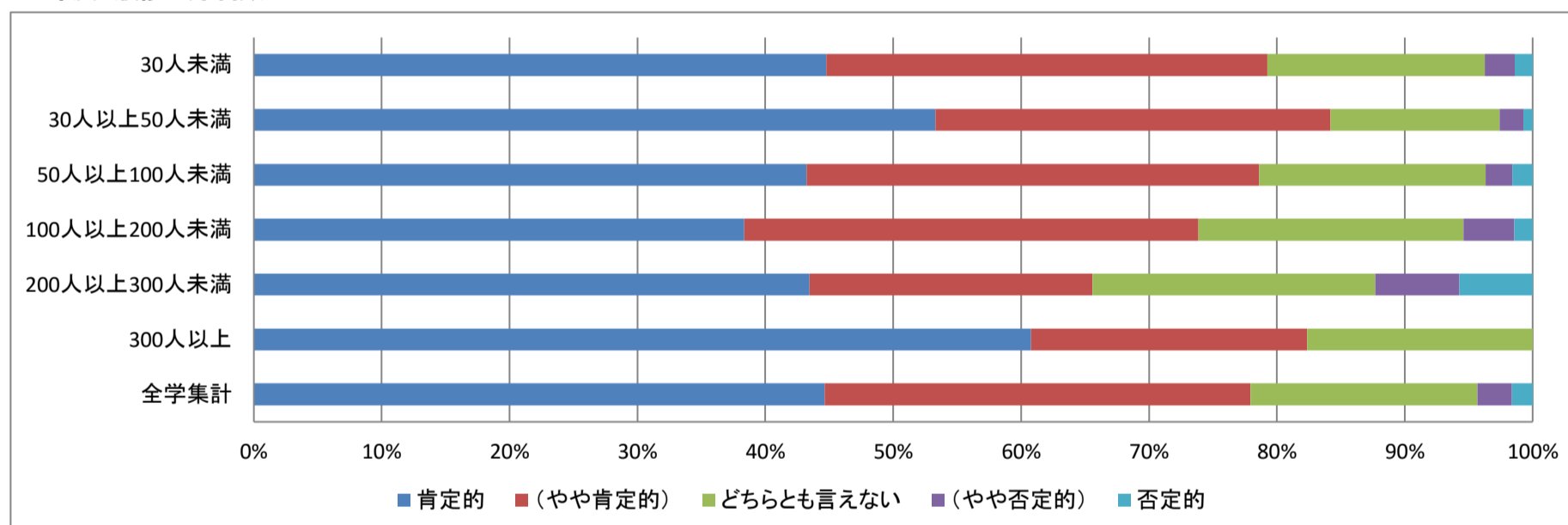
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	192 (44.8%)	148 (34.5%)	73 (17.0%)	10 (2.3%)	6 (1.4%)	4.2
	30人以上50人未満	145 (53.3%)	84 (30.9%)	36 (13.2%)	5 (1.8%)	2 (0.7%)	4.3
	50人以上100人未満	271 (43.2%)	222 (35.4%)	111 (17.7%)	13 (2.1%)	10 (1.6%)	4.2
	100人以上200人未満	135 (38.4%)	125 (35.5%)	73 (20.7%)	14 (4.0%)	5 (1.4%)	4.1
	200人以上300人未満	53 (43.4%)	27 (22.1%)	27 (22.1%)	8 (6.6%)	7 (5.7%)	3.9
	300人以上	31 (60.8%)	11 (21.6%)	9 (17.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.4
	全学集計	827 (44.6%)	617 (33.3%)	329 (17.8%)	50 (2.7%)	30 (1.6%)	4.2
2018年度 回答者	30人未満	462 (45.5%)	348 (34.3%)	168 (16.6%)	23 (2.3%)	14 (1.4%)	4.2
	30人以上50人未満	165 (42.5%)	125 (32.2%)	77 (19.8%)	15 (3.9%)	6 (1.5%)	4.1
	50人以上100人未満	146 (44.4%)	105 (31.9%)	61 (18.5%)	8 (2.4%)	9 (2.7%)	4.1
	100人以上200人未満	34 (35.8%)	35 (36.8%)	21 (22.1%)	4 (4.2%)	1 (1.1%)	4.0
	200人以上300人未満	4 (57.1%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.4
	300人以上	16 (84.2%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.8
	全学集計	827 (44.6%)	617 (33.3%)	329 (17.8%)	50 (2.7%)	30 (1.6%)	4.2

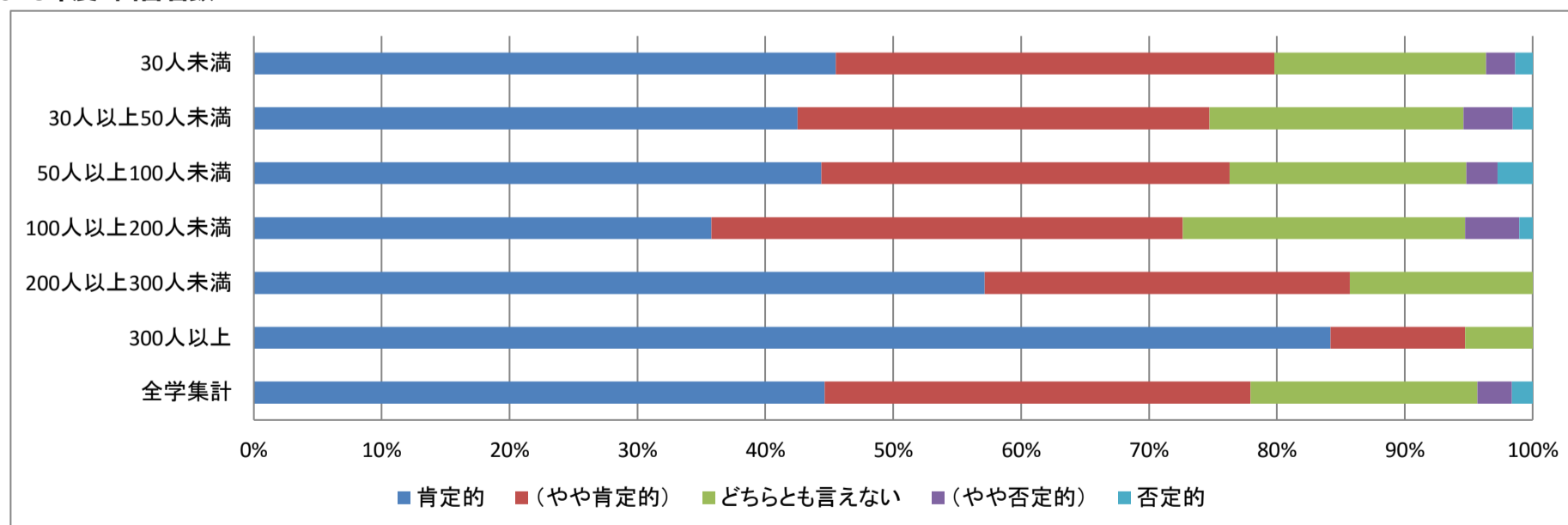
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：スポーツ・健康科学部・スポーツ科学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

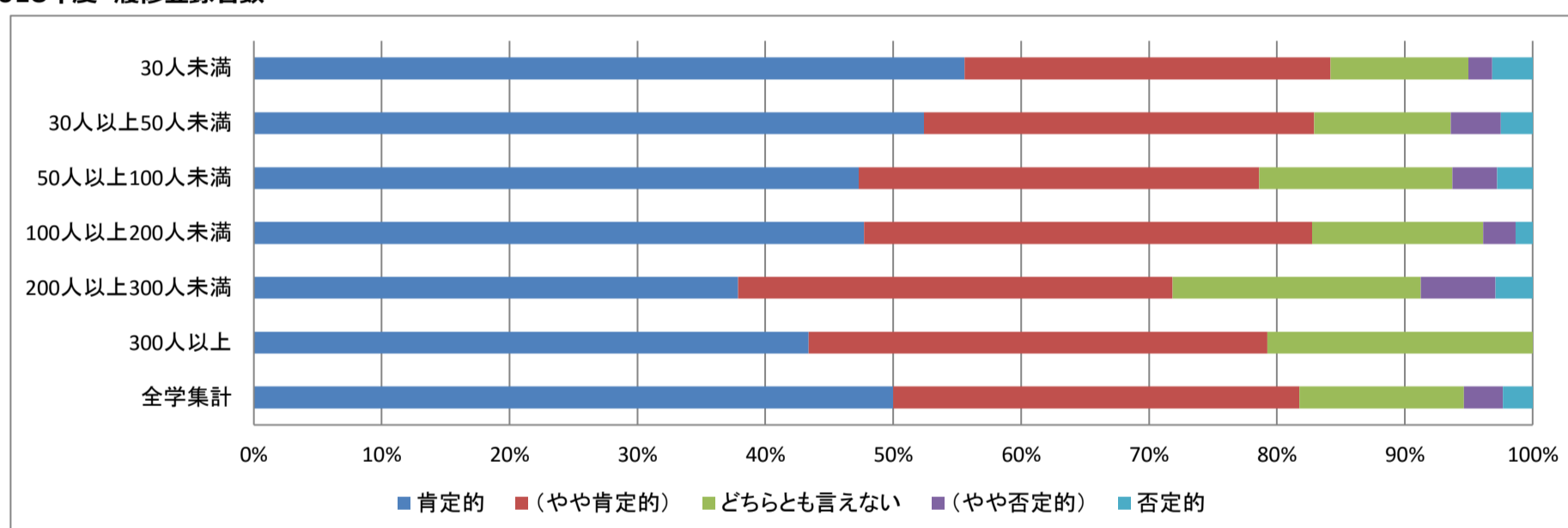
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	299 (55.6%)	154 (28.6%)	58 (10.8%)	10 (1.9%)	17 (3.2%)	4.3
	30人以上50人未満	402 (52.4%)	234 (30.5%)	82 (10.7%)	30 (3.9%)	19 (2.5%)	4.3
	50人以上100人未満	272 (47.3%)	180 (31.3%)	87 (15.1%)	20 (3.5%)	16 (2.8%)	4.2
	100人以上200人未満	357 (47.7%)	262 (35.0%)	100 (13.4%)	19 (2.5%)	10 (1.3%)	4.3
	200人以上300人未満	39 (37.9%)	35 (34.0%)	20 (19.4%)	6 (5.8%)	3 (2.9%)	4.0
	300人以上	23 (43.4%)	19 (35.8%)	11 (20.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.2
	全学集計	1,392 (50.0%)	884 (31.8%)	358 (12.9%)	85 (3.1%)	65 (2.3%)	4.2
2018年度 回答者	30人未満	581 (55.6%)	297 (28.4%)	112 (10.7%)	25 (2.4%)	30 (2.9%)	4.3
	30人以上50人未満	281 (48.0%)	185 (31.6%)	80 (13.7%)	25 (4.3%)	14 (2.4%)	4.2
	50人以上100人未満	292 (42.3%)	246 (35.7%)	110 (15.9%)	25 (3.6%)	17 (2.5%)	4.1
	100人以上200人未満	225 (50.6%)	151 (33.9%)	55 (12.4%)	10 (2.2%)	4 (0.9%)	4.3
	200人以上300人未満	8 (66.7%)	4 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.7
	300人以上	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.6
	全学集計	1,392 (50.0%)	884 (31.8%)	358 (12.9%)	85 (3.1%)	65 (2.3%)	4.2

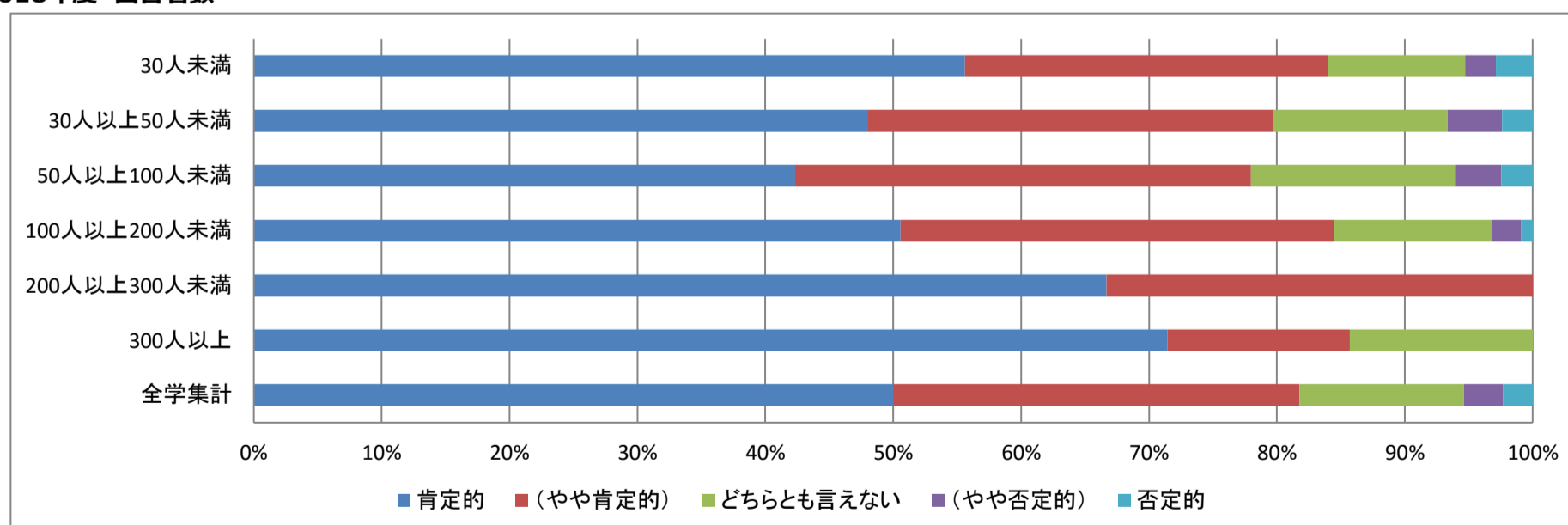
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：スポーツ・健康科学部・健康科学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

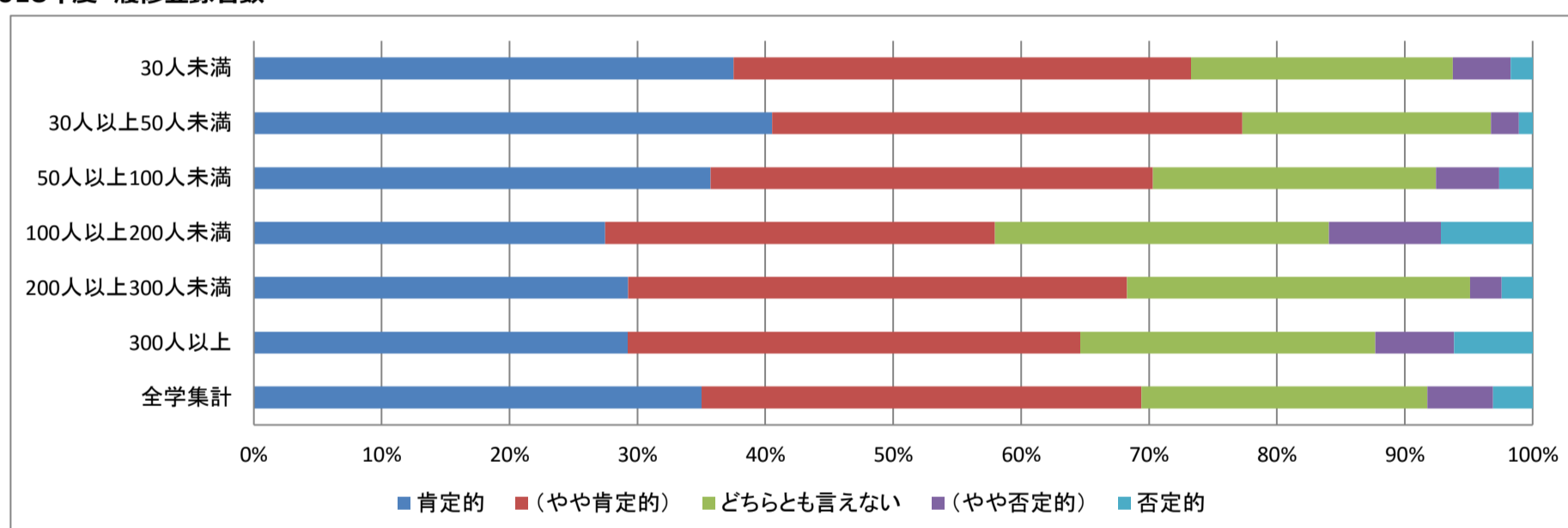
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	66 (37.5%)	63 (35.8%)	36 (20.5%)	8 (4.5%)	3 (1.7%)	4.0
	30人以上50人未満	150 (40.5%)	136 (36.8%)	72 (19.5%)	8 (2.2%)	4 (1.1%)	4.1
	50人以上100人未満	682 (35.7%)	660 (34.6%)	423 (22.2%)	94 (4.9%)	50 (2.6%)	4.0
	100人以上200人未満	119 (27.5%)	132 (30.5%)	113 (26.1%)	38 (8.8%)	31 (7.2%)	3.6
	200人以上300人未満	12 (29.3%)	16 (39.0%)	11 (26.8%)	1 (2.4%)	1 (2.4%)	3.9
	300人以上	19 (29.2%)	23 (35.4%)	15 (23.1%)	4 (6.2%)	4 (6.2%)	3.8
	全学集計	1,048 (35.0%)	1,030 (34.4%)	670 (22.4%)	153 (5.1%)	93 (3.1%)	3.9
2018年度 回答者	30人未満	199 (40.0%)	179 (36.0%)	96 (19.3%)	16 (3.2%)	7 (1.4%)	4.1
	30人以上50人未満	188 (36.2%)	188 (36.2%)	110 (21.2%)	26 (5.0%)	8 (1.5%)	4.0
	50人以上100人未満	607 (33.2%)	617 (33.7%)	427 (23.3%)	106 (5.8%)	72 (3.9%)	3.9
	100人以上200人未満	37 (38.9%)	28 (29.5%)	27 (28.4%)	1 (1.1%)	2 (2.1%)	4.0
	200人以上300人未満	14 (29.8%)	15 (31.9%)	10 (21.3%)	4 (8.5%)	4 (8.5%)	3.7
	300人以上	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.5
	全学集計	1,048 (35.0%)	1,030 (34.4%)	670 (22.4%)	153 (5.1%)	93 (3.1%)	3.9

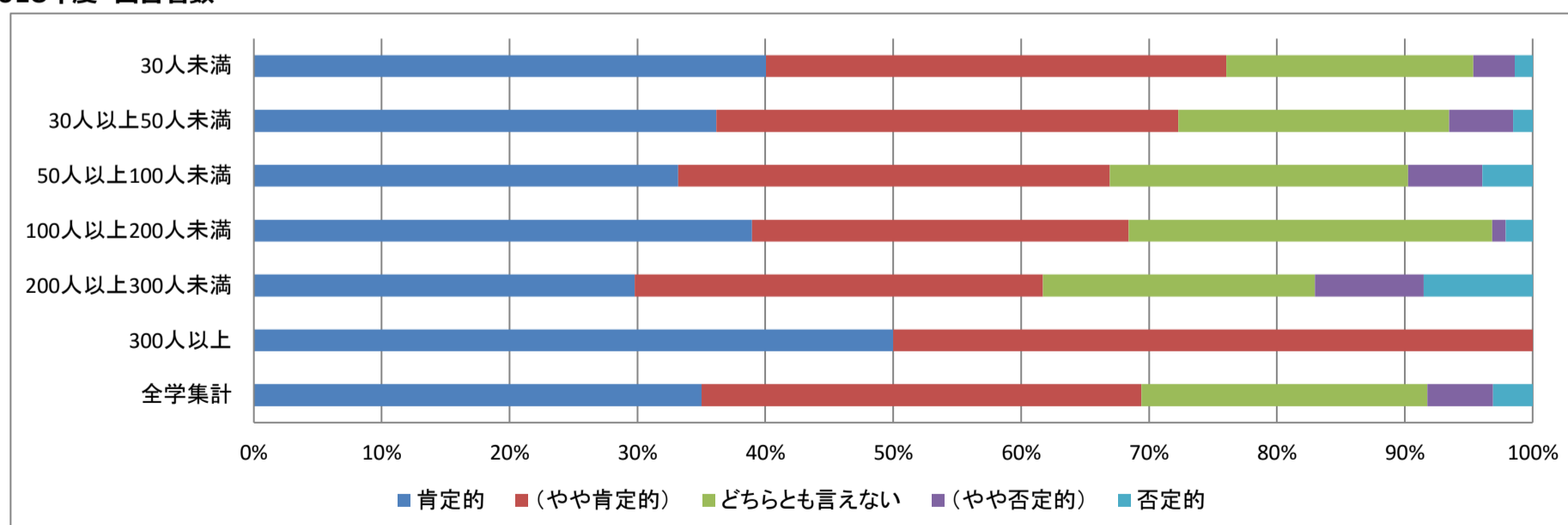
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年

学部：スポーツ・健康科学部・看護学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

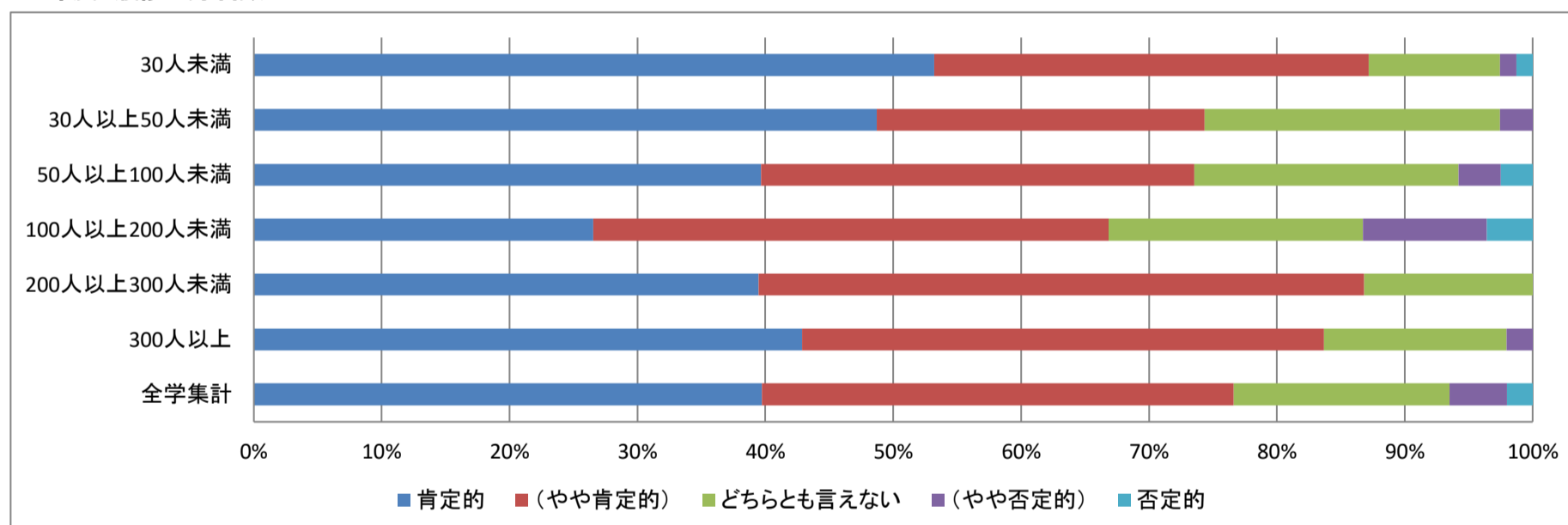
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	83 (53.2%)	53 (34.0%)	16 (10.3%)	2 (1.3%)	2 (1.3%)	4.4
	30人以上50人未満	19 (48.7%)	10 (25.6%)	9 (23.1%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	4.2
	50人以上100人未満	48 (39.7%)	41 (33.9%)	25 (20.7%)	4 (3.3%)	3 (2.5%)	4.0
	100人以上200人未満	52 (26.5%)	79 (40.3%)	39 (19.9%)	19 (9.7%)	7 (3.6%)	3.8
	200人以上300人未満	15 (39.5%)	18 (47.4%)	5 (13.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.3
	300人以上	21 (42.9%)	20 (40.8%)	7 (14.3%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	4.2
	全学集計	238 (39.7%)	221 (36.9%)	101 (16.9%)	27 (4.5%)	12 (2.0%)	4.1
2018年度 回答者	30人未満	115 (46.9%)	83 (33.9%)	35 (14.3%)	7 (2.9%)	5 (2.0%)	4.2
	30人以上50人未満	25 (61.0%)	10 (24.4%)	5 (12.2%)	1 (2.4%)	0 (0.0%)	4.4
	50人以上100人未満	58 (27.2%)	84 (39.4%)	46 (21.6%)	18 (8.5%)	7 (3.3%)	3.8
	100人以上200人未満	25 (35.7%)	33 (47.1%)	12 (17.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.2
	200人以上300人未満	4 (25.0%)	9 (56.3%)	3 (18.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.1
	300人以上	11 (78.6%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	4.6
	全学集計	238 (39.7%)	221 (36.9%)	101 (16.9%)	27 (4.5%)	12 (2.0%)	4.1

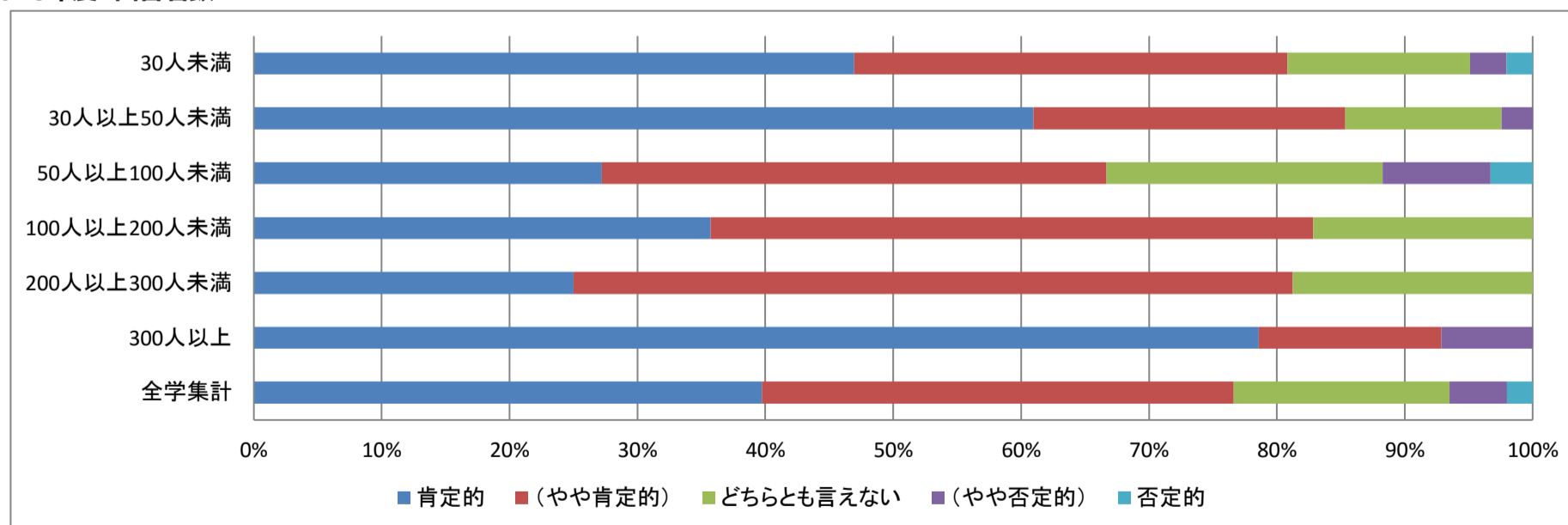
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



## 全学集計【履修登録者数・回答数レベル別集計】

学年：全学年  
学部：社会学部・社会学科

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

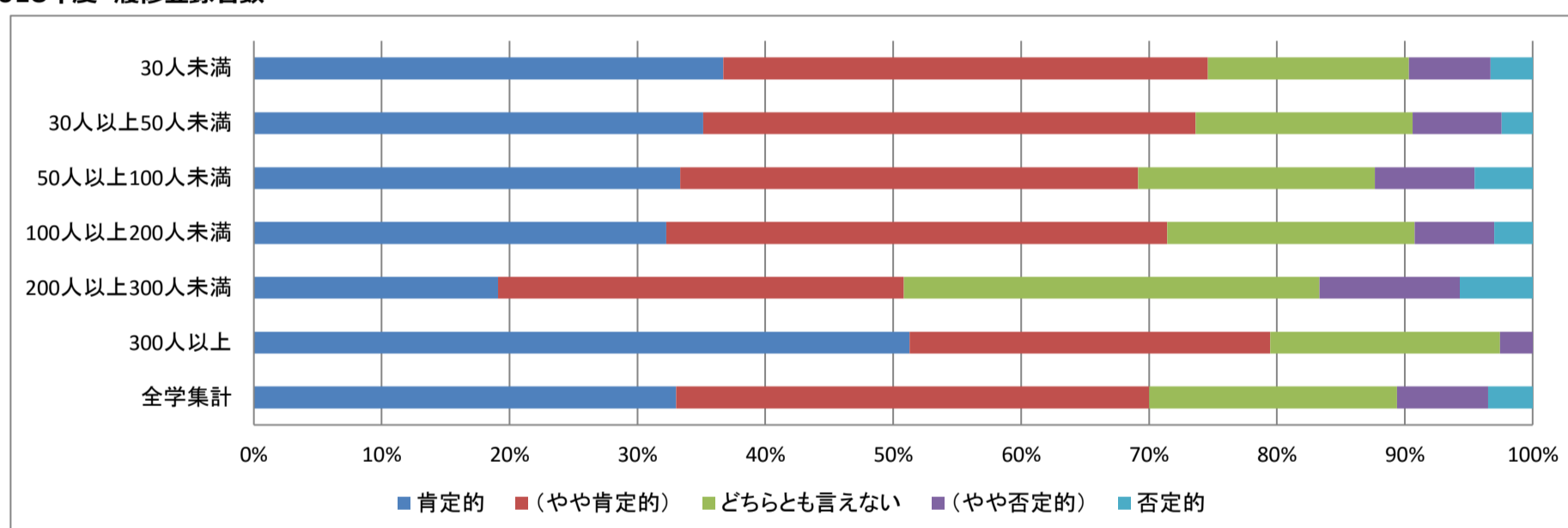
[Q13：満足度]

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度 履修者	30人未満	224 (36.7%)	231 (37.9%)	96 (15.7%)	39 (6.4%)	20 (3.3%)	4.0
	30人以上50人未満	116 (35.2%)	127 (38.5%)	56 (17.0%)	23 (7.0%)	8 (2.4%)	4.0
	50人以上100人未満	81 (33.3%)	87 (35.8%)	45 (18.5%)	19 (7.8%)	11 (4.5%)	3.9
	100人以上200人未満	140 (32.3%)	170 (39.2%)	84 (19.4%)	27 (6.2%)	13 (3.0%)	3.9
	200人以上300人未満	47 (19.1%)	78 (31.7%)	80 (32.5%)	27 (11.0%)	14 (5.7%)	3.5
	300人以上	20 (51.3%)	11 (28.2%)	7 (17.9%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	4.3
	全学集計	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9
2018年度 回答者	30人未満	321 (36.1%)	333 (37.5%)	147 (16.6%)	58 (6.5%)	29 (3.3%)	4.0
	30人以上50人未満	46 (41.8%)	40 (36.4%)	19 (17.3%)	5 (4.5%)	0 (0.0%)	4.2
	50人以上100人未満	200 (31.3%)	257 (40.3%)	113 (17.7%)	45 (7.1%)	23 (3.6%)	3.9
	100人以上200人未満	26 (35.6%)	23 (31.5%)	21 (28.8%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	4.0
	200人以上300人未満	30 (16.1%)	50 (26.9%)	67 (36.0%)	25 (13.4%)	14 (7.5%)	3.3
	300人以上	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.6
	全学集計	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9

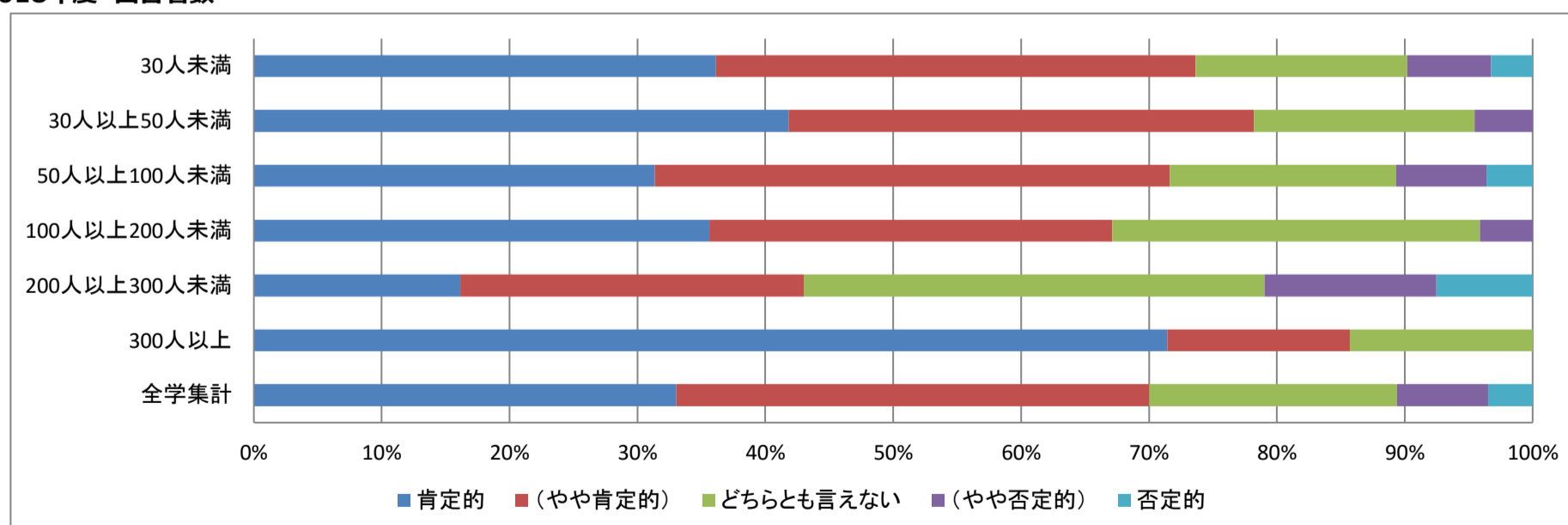
### < 評価帯グラフ >

総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

#### 2018年度 履修登録者数



#### 2018年度 回答者数



**B. 項目別集計**  
(全学・学年別集計)

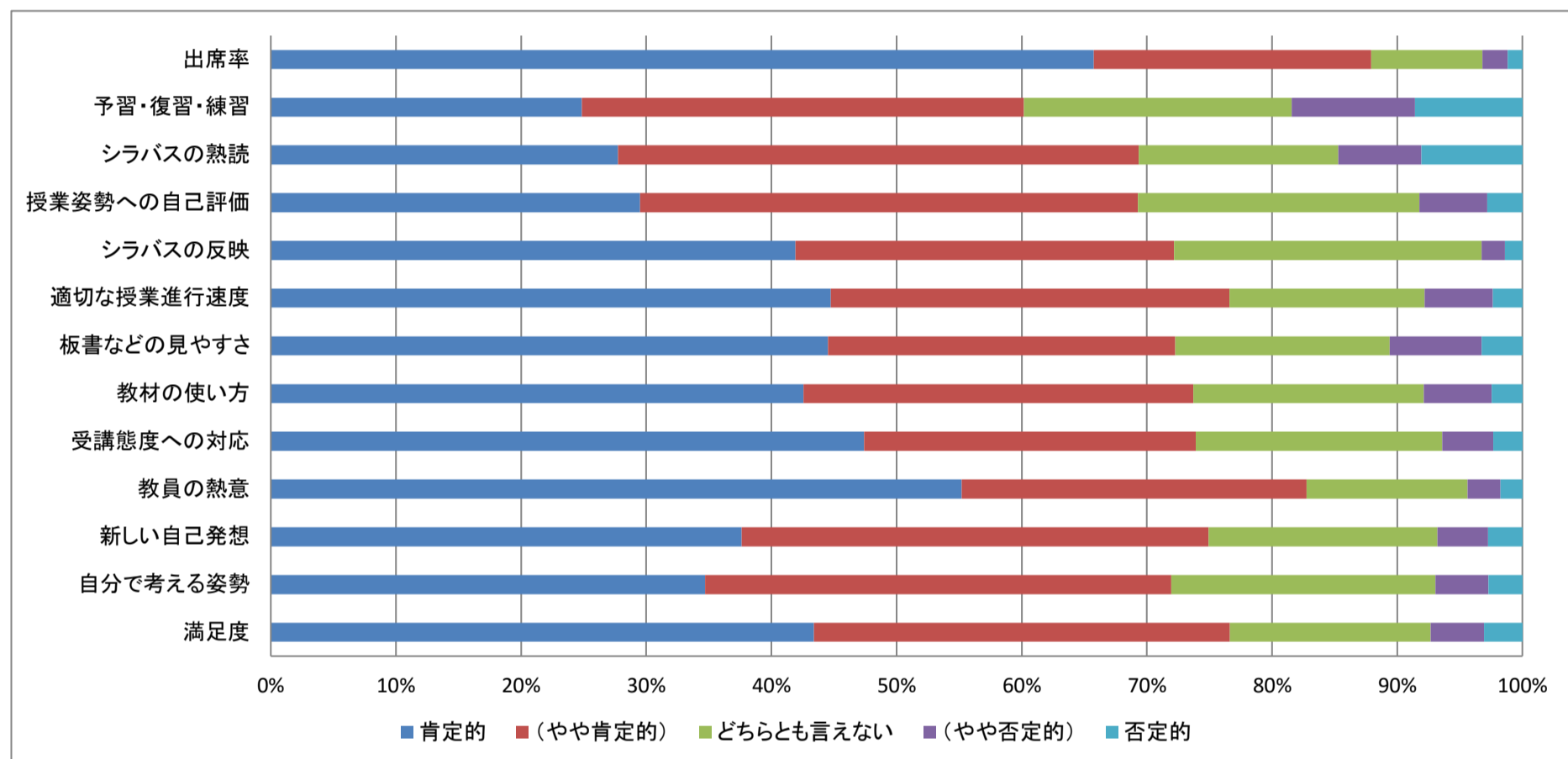
# 全学集計【項目別集計】

学年： 全学年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	I Q1 出席率	40,263 (65.8%)	13,565 (22.2%)	5,443 (8.9%)	1,244 (2.0%)	712 (1.2%)	4.5
	I Q2 予習・復習・練習	15,201 (24.9%)	21,590 (35.3%)	13,084 (21.4%)	6,022 (9.8%)	5,251 (8.6%)	3.6
	I Q3 シラバスの熟読	16,958 (27.8%)	25,417 (41.6%)	9,738 (15.9%)	4,046 (6.6%)	4,939 (8.1%)	3.7
	I Q4 授業姿勢への自己評価	18,039 (29.5%)	24,325 (39.8%)	13,749 (22.5%)	3,319 (5.4%)	1,722 (2.8%)	3.9
	I Q5 シラバスの反映	24,237 (41.9%)	17,486 (30.2%)	14,210 (24.6%)	1,070 (1.9%)	805 (1.4%)	4.1
	I Q6 適切な授業進行速度	27,338 (44.7%)	19,457 (31.8%)	9,525 (15.6%)	3,330 (5.5%)	1,443 (2.4%)	4.1
	II Q7 板書などの見やすさ	26,808 (44.5%)	16,712 (27.8%)	10,307 (17.1%)	4,432 (7.4%)	1,952 (3.2%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	25,868 (42.5%)	18,940 (31.2%)	11,201 (18.4%)	3,293 (5.4%)	1,500 (2.5%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	28,920 (47.4%)	16,169 (26.5%)	12,010 (19.7%)	2,486 (4.1%)	1,429 (2.3%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	33,699 (55.2%)	16,830 (27.6%)	7,849 (12.9%)	1,601 (2.6%)	1,070 (1.8%)	4.3
	II Q11 新しい自己発想	22,976 (37.6%)	22,786 (37.3%)	11,166 (18.3%)	2,463 (4.0%)	1,675 (2.7%)	4.0
	II Q12 自分で考える姿勢	21,186 (34.7%)	22,728 (37.2%)	12,888 (21.1%)	2,575 (4.2%)	1,655 (2.7%)	4.0
	II Q13 満足度	26,501 (43.4%)	20,280 (33.2%)	9,806 (16.1%)	2,601 (4.3%)	1,873 (3.1%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2018年度



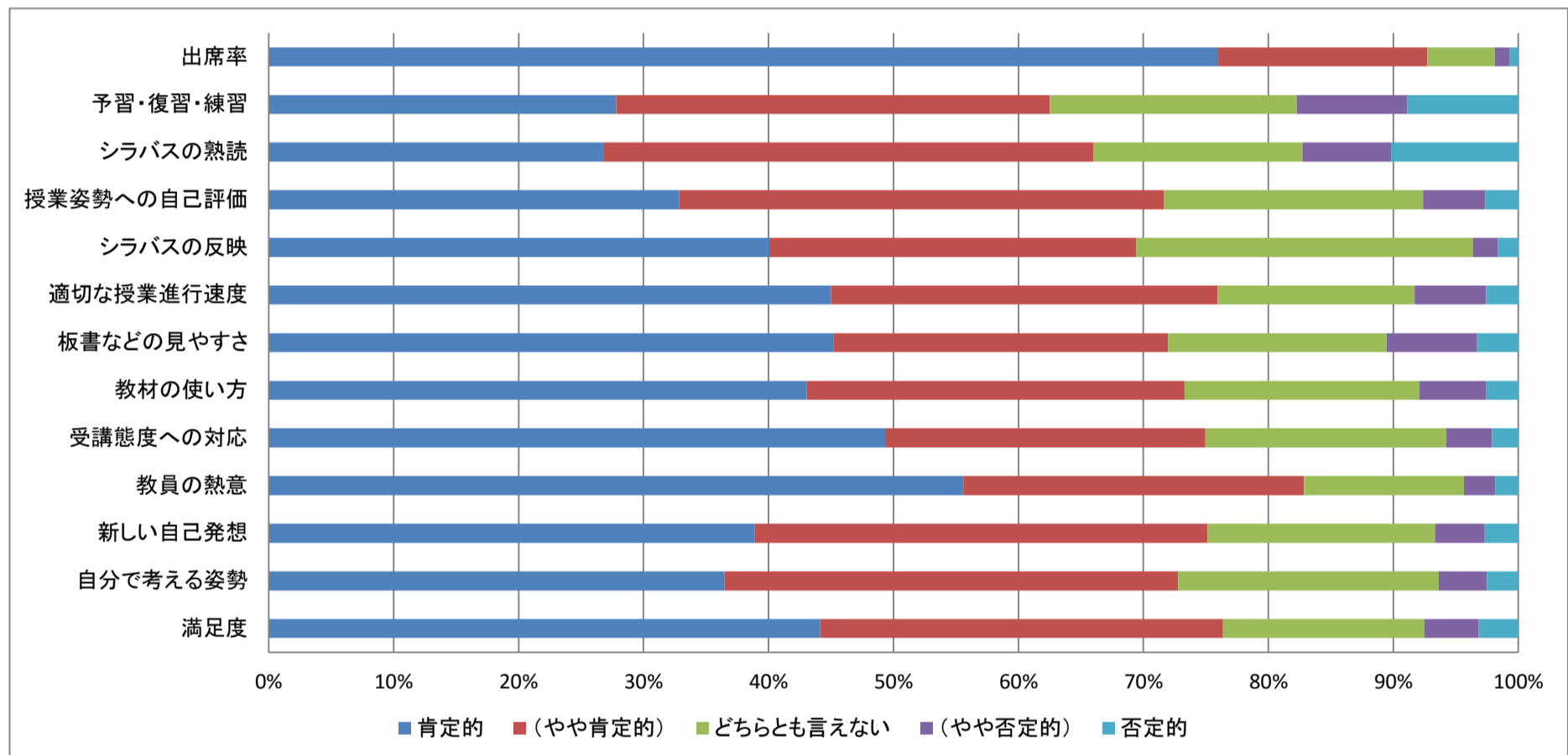
# 全学集計【項目別集計】

学年： 1年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	I Q1 出席率	19,488 (76.0%)	4,296 (16.8%)	1,376 (5.4%)	301 (1.2%)	184 (0.7%)	4.7
	I Q2 予習・復習・練習	7,119 (27.8%)	8,895 (34.7%)	5,062 (19.8%)	2,260 (8.8%)	2,277 (8.9%)	3.6
	I Q3 シラバスの熟読	6,849 (26.8%)	10,029 (39.2%)	4,284 (16.7%)	1,821 (7.1%)	2,602 (10.2%)	3.7
	I Q4 授業姿勢への自己評価	8,414 (32.8%)	9,946 (38.8%)	5,307 (20.7%)	1,280 (5.0%)	675 (2.6%)	3.9
	I Q5 シラバスの反映	9,535 (40.1%)	6,987 (29.4%)	6,410 (26.9%)	481 (2.0%)	385 (1.6%)	4.0
	I Q6 適切な授業進行速度	11,515 (45.0%)	7,915 (30.9%)	4,043 (15.8%)	1,458 (5.7%)	661 (2.6%)	4.1
	II Q7 板書などの見やすさ	11,360 (45.2%)	6,720 (26.7%)	4,393 (17.5%)	1,824 (7.3%)	827 (3.3%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	10,939 (43.1%)	7,683 (30.2%)	4,774 (18.8%)	1,360 (5.4%)	651 (2.6%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	12,620 (49.4%)	6,533 (25.6%)	4,928 (19.3%)	928 (3.6%)	541 (2.1%)	4.2
	II Q10 教員の熱意	14,224 (55.6%)	6,976 (27.3%)	3,269 (12.8%)	641 (2.5%)	474 (1.9%)	4.3
	II Q11 新しい自己発想	9,942 (38.9%)	9,265 (36.2%)	4,663 (18.2%)	1,016 (4.0%)	686 (2.7%)	4.0
	II Q12 自分で考える姿勢	9,322 (36.5%)	9,280 (36.3%)	5,336 (20.9%)	981 (3.8%)	645 (2.5%)	4.0
	II Q13 満足度	11,294 (44.1%)	8,242 (32.2%)	4,125 (16.1%)	1,115 (4.4%)	809 (3.2%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2018年度





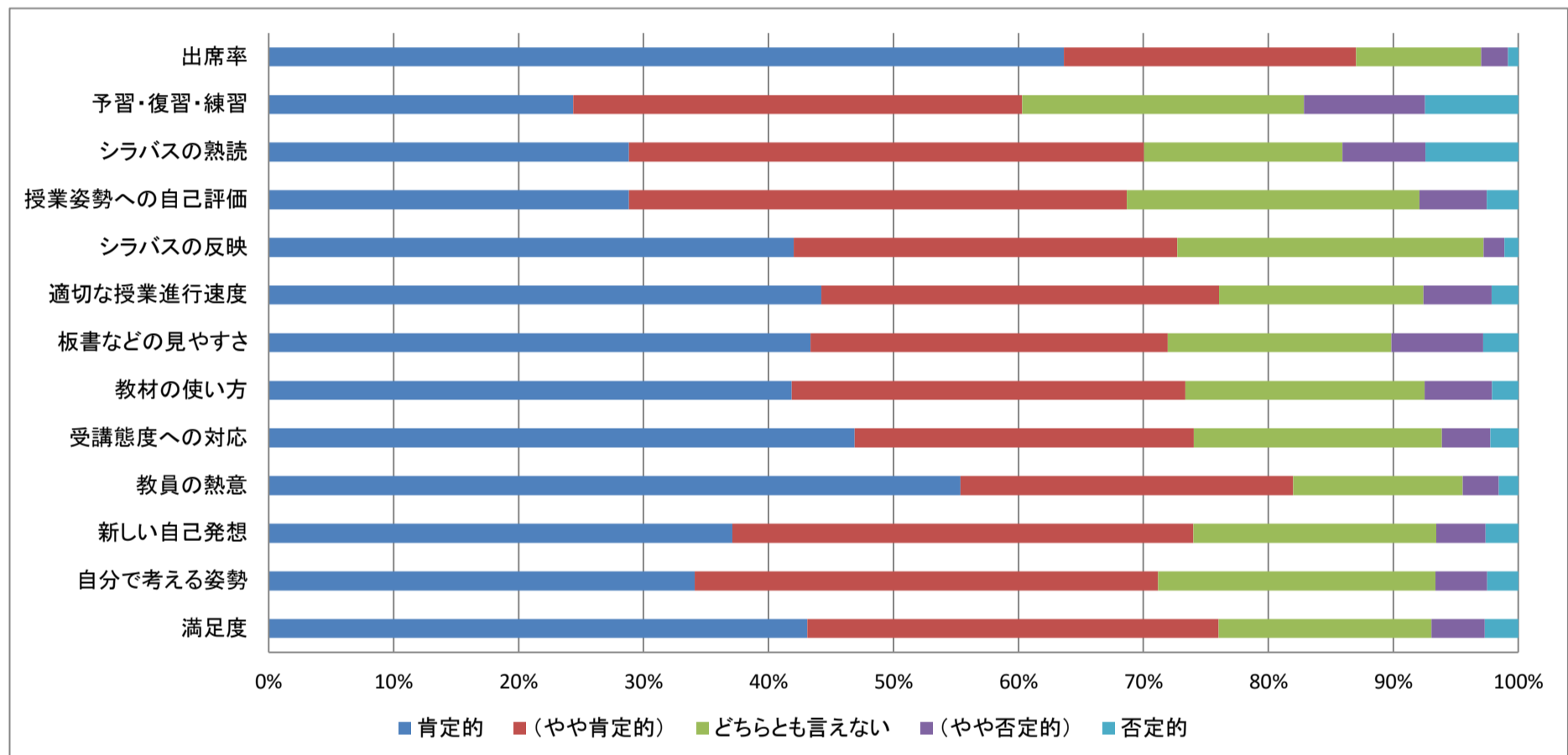
# 全学集計【項目別集計】

学年： 2年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	I Q1 出席率	11,355 (63.6%)	4,170 (23.4%)	1,784 (10.0%)	384 (2.2%)	148 (0.8%)	4.5
	I Q2 予習・復習・練習	4,343 (24.4%)	6,399 (35.9%)	4,018 (22.6%)	1,725 (9.7%)	1,331 (7.5%)	3.6
	I Q3 シラバスの熟読	5,130 (28.8%)	7,339 (41.2%)	2,821 (15.9%)	1,187 (6.7%)	1,319 (7.4%)	3.8
	I Q4 授業姿勢への自己評価	5,132 (28.8%)	7,093 (39.8%)	4,172 (23.4%)	959 (5.4%)	447 (2.5%)	3.9
	I Q5 シラバスの反映	7,090 (42.0%)	5,187 (30.7%)	4,137 (24.5%)	278 (1.6%)	189 (1.1%)	4.1
	I Q6 適切な授業進行速度	7,869 (44.2%)	5,667 (31.8%)	2,910 (16.4%)	971 (5.5%)	380 (2.1%)	4.1
	II Q7 板書などの見やすさ	7,605 (43.4%)	5,012 (28.6%)	3,141 (17.9%)	1,288 (7.3%)	490 (2.8%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	7,419 (41.9%)	5,578 (31.5%)	3,395 (19.2%)	955 (5.4%)	372 (2.1%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	8,335 (46.9%)	4,826 (27.1%)	3,530 (19.9%)	689 (3.9%)	399 (2.2%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	9,840 (55.4%)	4,734 (26.6%)	2,410 (13.6%)	514 (2.9%)	277 (1.6%)	4.3
	II Q11 新しい自己発想	6,603 (37.1%)	6,568 (36.9%)	3,462 (19.4%)	702 (3.9%)	465 (2.6%)	4.0
	II Q12 自分で考える姿勢	6,062 (34.1%)	6,596 (37.1%)	3,947 (22.2%)	734 (4.1%)	442 (2.5%)	4.0
	II Q13 満足度	7,666 (43.1%)	5,851 (32.9%)	3,028 (17.0%)	756 (4.3%)	479 (2.7%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2018年度



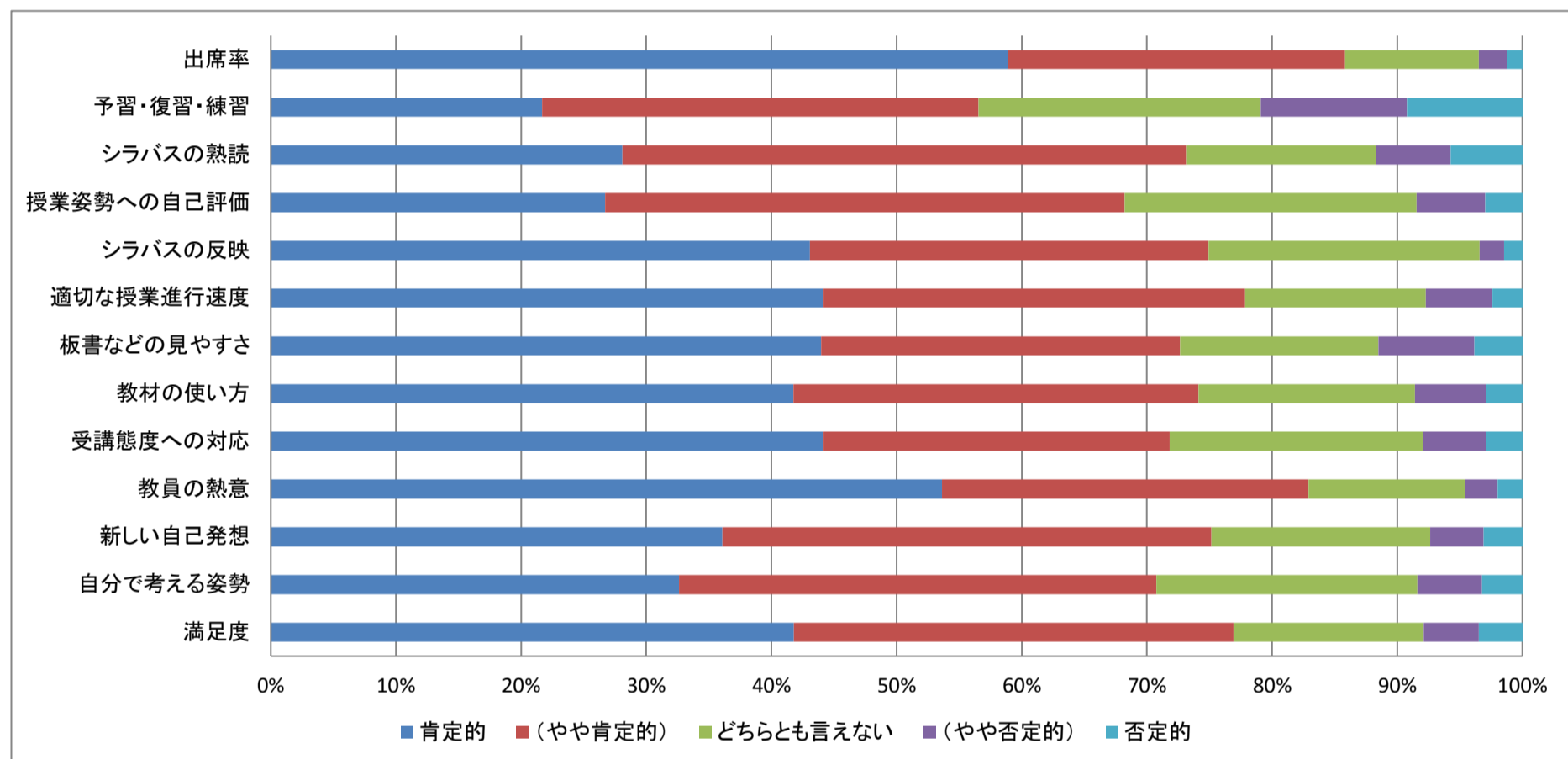
# 全学集計【項目別集計】

学年： 3年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	I Q1 出席率	7,869 (58.9%)	3,591 (26.9%)	1,430 (10.7%)	296 (2.2%)	167 (1.3%)	4.4
	I Q2 予習・復習・練習	2,890 (21.7%)	4,652 (34.9%)	3,006 (22.5%)	1,559 (11.7%)	1,230 (9.2%)	3.5
	I Q3 シラバスの熟読	3,745 (28.1%)	6,007 (45.1%)	2,022 (15.2%)	795 (6.0%)	764 (5.7%)	3.8
	I Q4 授業姿勢への自己評価	3,566 (26.7%)	5,539 (41.5%)	3,110 (23.3%)	732 (5.5%)	396 (3.0%)	3.8
	I Q5 シラバスの反映	5,543 (43.1%)	4,103 (31.9%)	2,784 (21.6%)	252 (2.0%)	189 (1.5%)	4.1
	I Q6 適切な授業進行速度	5,884 (44.2%)	4,489 (33.7%)	1,926 (14.5%)	710 (5.3%)	317 (2.4%)	4.1
	II Q7 板書などの見やすさ	5,807 (44.0%)	3,792 (28.7%)	2,091 (15.8%)	1,012 (7.7%)	508 (3.8%)	4.0
	II Q8 教材の使い方	5,554 (41.7%)	4,308 (32.4%)	2,299 (17.3%)	758 (5.7%)	385 (2.9%)	4.0
	II Q9 受講態度への対応	5,879 (44.2%)	3,684 (27.7%)	2,690 (20.2%)	673 (5.1%)	387 (2.9%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	7,141 (53.6%)	3,897 (29.3%)	1,661 (12.5%)	352 (2.6%)	263 (2.0%)	4.3
	II Q11 新しい自己発想	4,807 (36.1%)	5,202 (39.1%)	2,332 (17.5%)	568 (4.3%)	411 (3.1%)	4.0
	II Q12 自分で考える姿勢	4,340 (32.6%)	5,079 (38.2%)	2,776 (20.9%)	688 (5.2%)	429 (3.2%)	3.9
	II Q13 満足度	5,565 (41.8%)	4,678 (35.1%)	2,025 (15.2%)	586 (4.4%)	464 (3.5%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2018年度



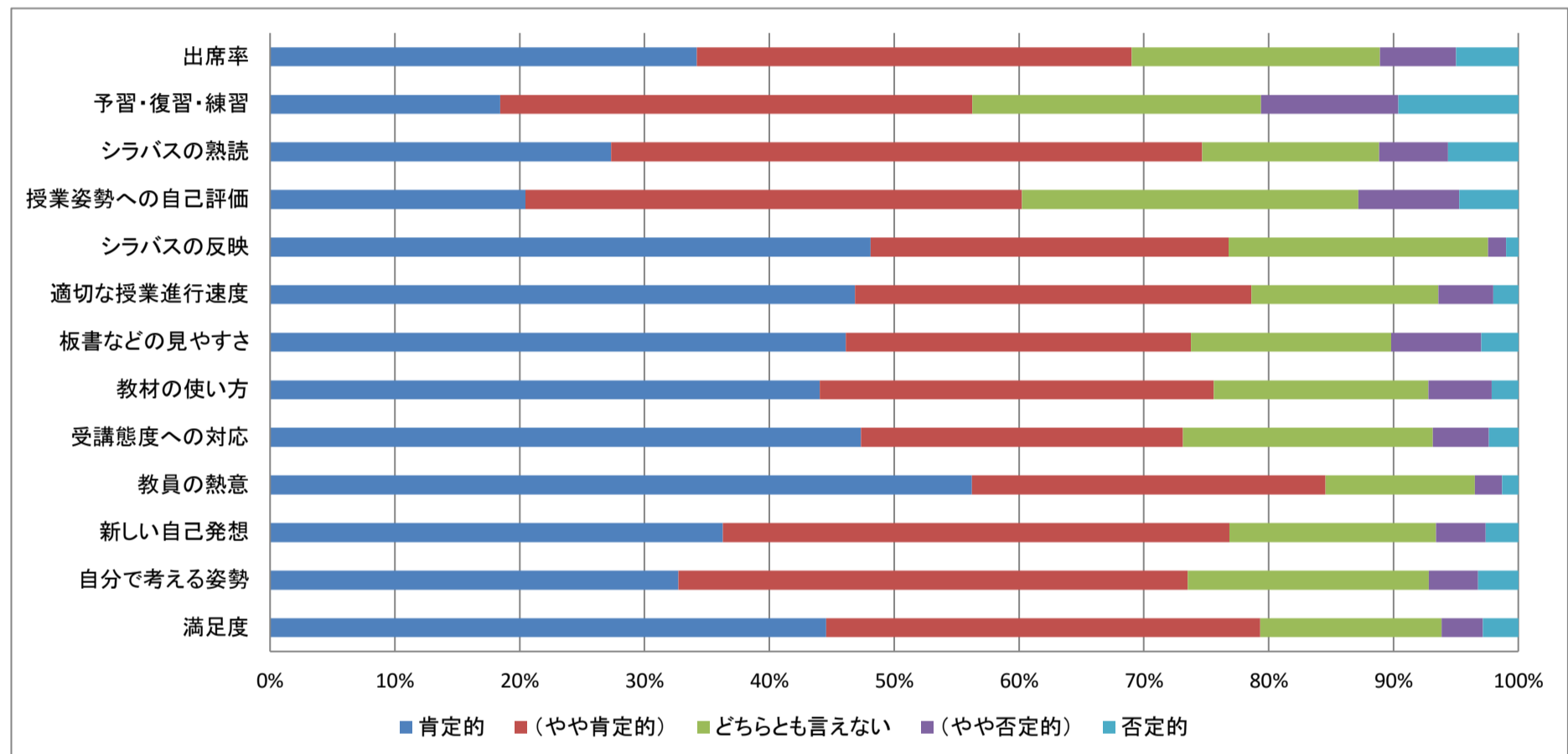
# 全学集計【項目別集計】

学年： 4年

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	I Q1 出席率	1,461 (34.2%)	1,489 (34.8%)	849 (19.9%)	261 (6.1%)	213 (5.0%)	3.9
	I Q2 予習・復習・練習	787 (18.4%)	1,613 (37.8%)	988 (23.2%)	469 (11.0%)	410 (9.6%)	3.4
	I Q3 シラバスの熟読	1,167 (27.3%)	2,021 (47.3%)	605 (14.2%)	236 (5.5%)	240 (5.6%)	3.9
	I Q4 授業姿勢への自己評価	874 (20.5%)	1,699 (39.8%)	1,151 (26.9%)	345 (8.1%)	202 (4.7%)	3.6
	I Q5 シラバスの反映	1,997 (48.1%)	1,191 (28.7%)	864 (20.8%)	59 (1.4%)	41 (1.0%)	4.2
	I Q6 適切な授業進行速度	1,997 (46.8%)	1,354 (31.8%)	639 (15.0%)	188 (4.4%)	85 (2.0%)	4.2
	II Q7 板書などの見やすさ	1,949 (46.1%)	1,169 (27.7%)	677 (16.0%)	305 (7.2%)	126 (3.0%)	4.1
	II Q8 教材の使い方	1,874 (44.0%)	1,345 (31.6%)	731 (17.2%)	216 (5.1%)	91 (2.1%)	4.1
	II Q9 受講態度への対応	2,015 (47.3%)	1,098 (25.8%)	853 (20.0%)	190 (4.5%)	101 (2.4%)	4.1
	II Q10 教員の熱意	2,397 (56.2%)	1,207 (28.3%)	509 (11.9%)	93 (2.2%)	56 (1.3%)	4.4
	II Q11 新しい自己発想	1,545 (36.3%)	1,728 (40.6%)	705 (16.6%)	170 (4.0%)	111 (2.6%)	4.0
	II Q12 自分で考える姿勢	1,393 (32.7%)	1,739 (40.8%)	822 (19.3%)	168 (3.9%)	138 (3.2%)	4.0
	II Q13 満足度	1,899 (44.5%)	1,483 (34.8%)	619 (14.5%)	141 (3.3%)	121 (2.8%)	4.1

## < 評価帯グラフ >

2018年度



C. 項目別集計  
(学部別集計)

## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

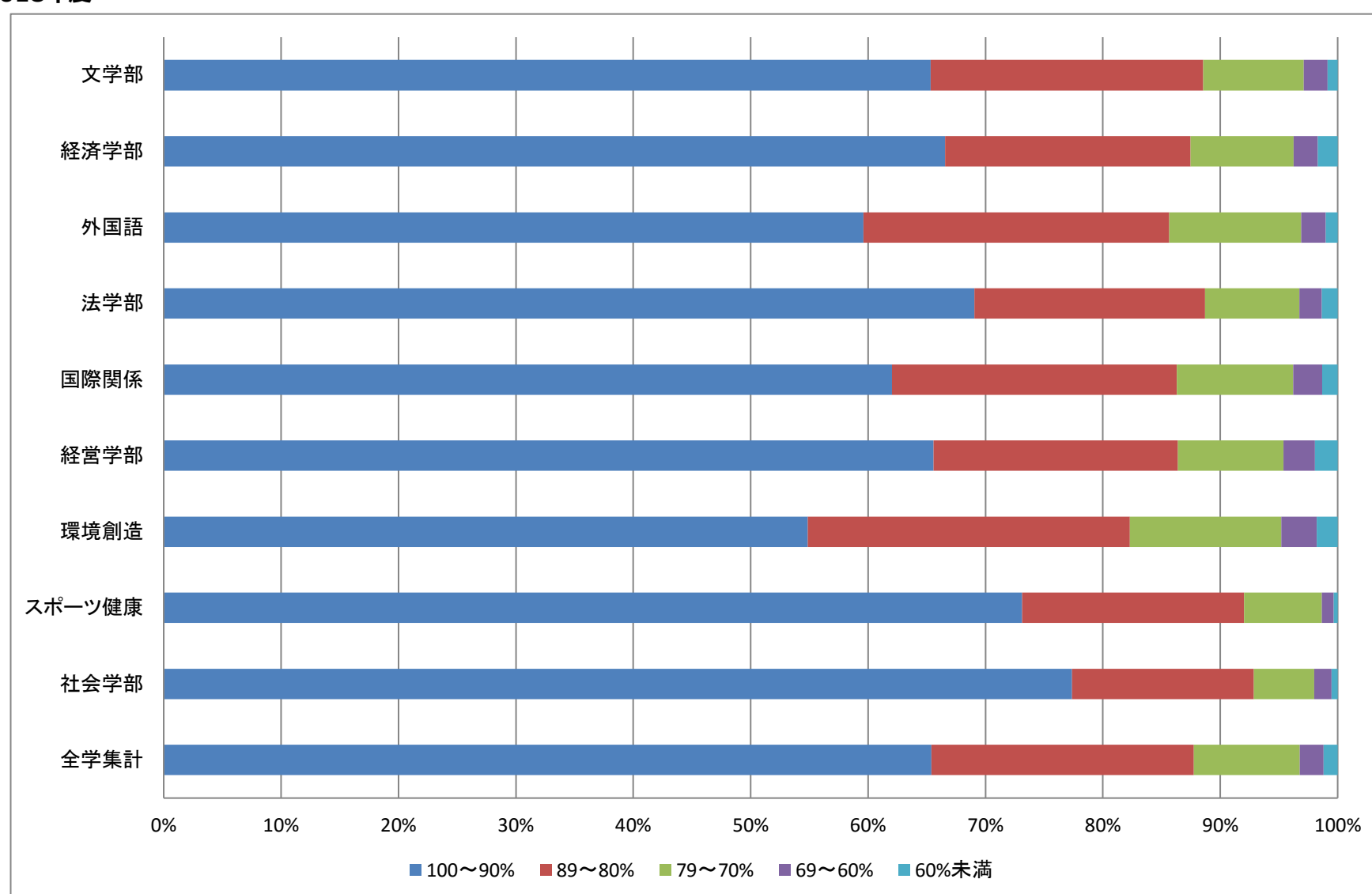
I Q1 この授業への出席率はどのぐらいでしたか。

(人)

実施年度	区分	100～90%	89～80%	79～70%	69～60%	60%未満	平均
2018年度	文学部	9,956 (65.3%)	3,539 (23.2%)	1,303 (8.6%)	311 (2.0%)	129 (0.8%)	4.5
	経済学部	5,388 (66.6%)	1,694 (20.9%)	708 (8.7%)	169 (2.1%)	136 (1.7%)	4.5
	外国語	5,727 (59.6%)	2,504 (26.1%)	1,081 (11.2%)	200 (2.1%)	98 (1.0%)	4.4
	法学部	5,365 (69.1%)	1,526 (19.6%)	623 (8.0%)	148 (1.9%)	106 (1.4%)	4.5
	国際関係	2,371 (62.0%)	927 (24.3%)	379 (9.9%)	94 (2.5%)	51 (1.3%)	4.4
	経営学部	4,275 (65.6%)	1,358 (20.8%)	586 (9.0%)	174 (2.7%)	127 (1.9%)	4.5
	環境創造	1,020 (54.9%)	510 (27.4%)	240 (12.9%)	56 (3.0%)	33 (1.8%)	4.3
	スポーツ健康	4,685 (73.1%)	1,211 (18.9%)	425 (6.6%)	64 (1.0%)	22 (0.3%)	4.6
	社会学部	1,476 (77.4%)	296 (15.5%)	98 (5.1%)	28 (1.5%)	10 (0.5%)	4.7
	全学集計	38,787 (65.4%)	13,269 (22.4%)	5,345 (9.0%)	1,216 (2.0%)	702 (1.2%)	4.5

< 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

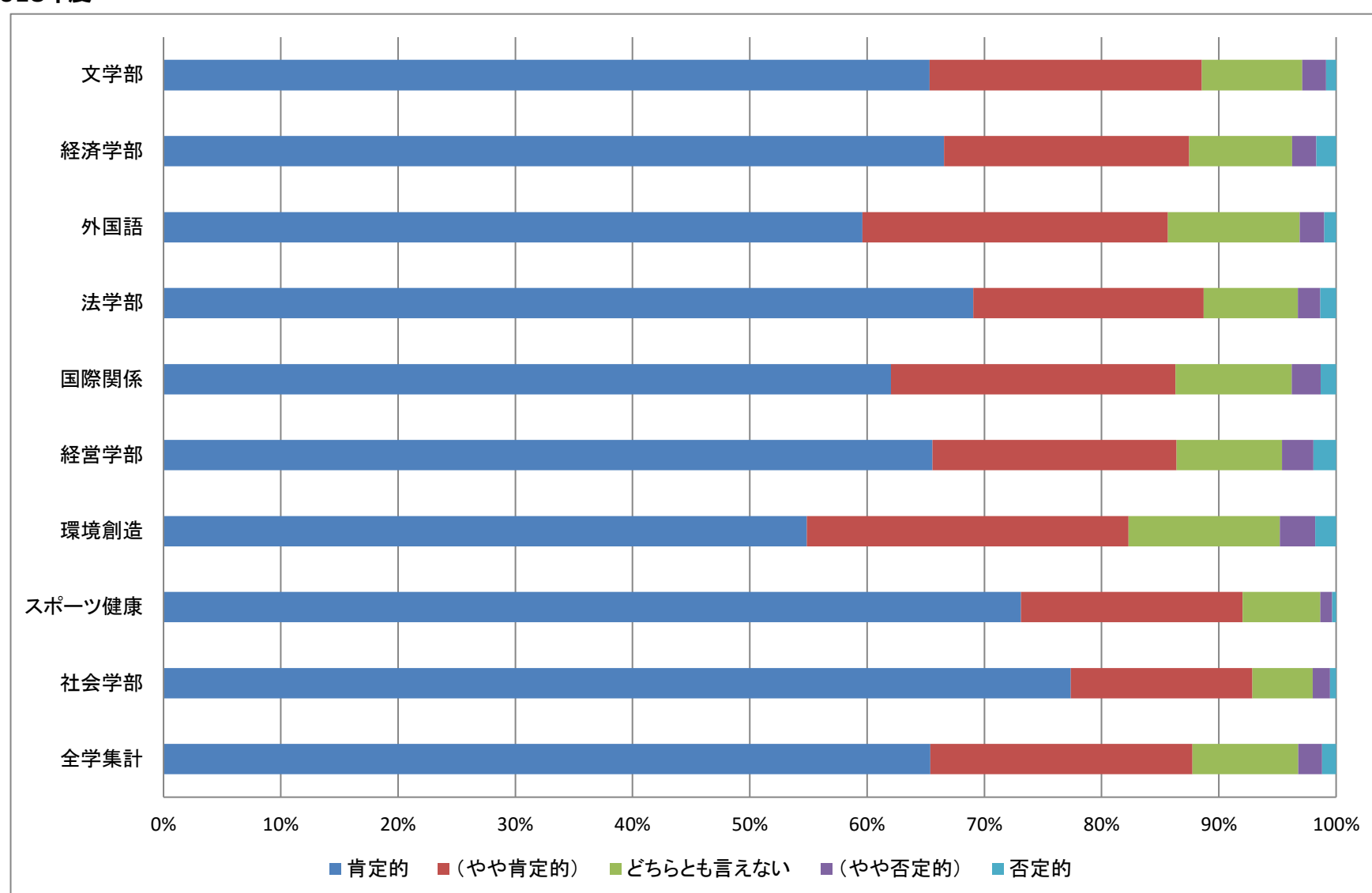
I Q2 この授業に関する予習・復習・練習などの事前学習をどのくらい行いましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	4,044 (26.6%)	5,576 (36.6%)	3,064 (20.1%)	1,285 (8.4%)	1,253 (8.2%)	3.6
	経済学部	1,865 (23.1%)	2,901 (35.9%)	1,810 (22.4%)	808 (10.0%)	707 (8.7%)	3.5
	外国語	2,821 (29.4%)	3,435 (35.8%)	1,882 (19.6%)	802 (8.4%)	655 (6.8%)	3.7
	法学部	1,571 (20.2%)	2,676 (34.5%)	1,749 (22.5%)	985 (12.7%)	778 (10.0%)	3.4
	国際関係	1,004 (26.3%)	1,277 (33.4%)	797 (20.9%)	387 (10.1%)	355 (9.3%)	3.6
	経営学部	1,395 (21.4%)	2,245 (34.5%)	1,409 (21.7%)	823 (12.6%)	636 (9.8%)	3.5
	環境創造	377 (20.4%)	642 (34.7%)	493 (26.7%)	167 (9.0%)	170 (9.2%)	3.5
	スポーツ健康	1,752 (27.4%)	2,155 (33.7%)	1,446 (22.6%)	539 (8.4%)	503 (7.9%)	3.6
	社会学部	372 (19.5%)	683 (35.8%)	434 (22.7%)	226 (11.8%)	194 (10.2%)	3.4
	全学集計	14,829 (25.0%)	20,907 (35.3%)	12,650 (21.4%)	5,796 (9.8%)	5,057 (8.5%)	3.6

< 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部別【項目別集計】

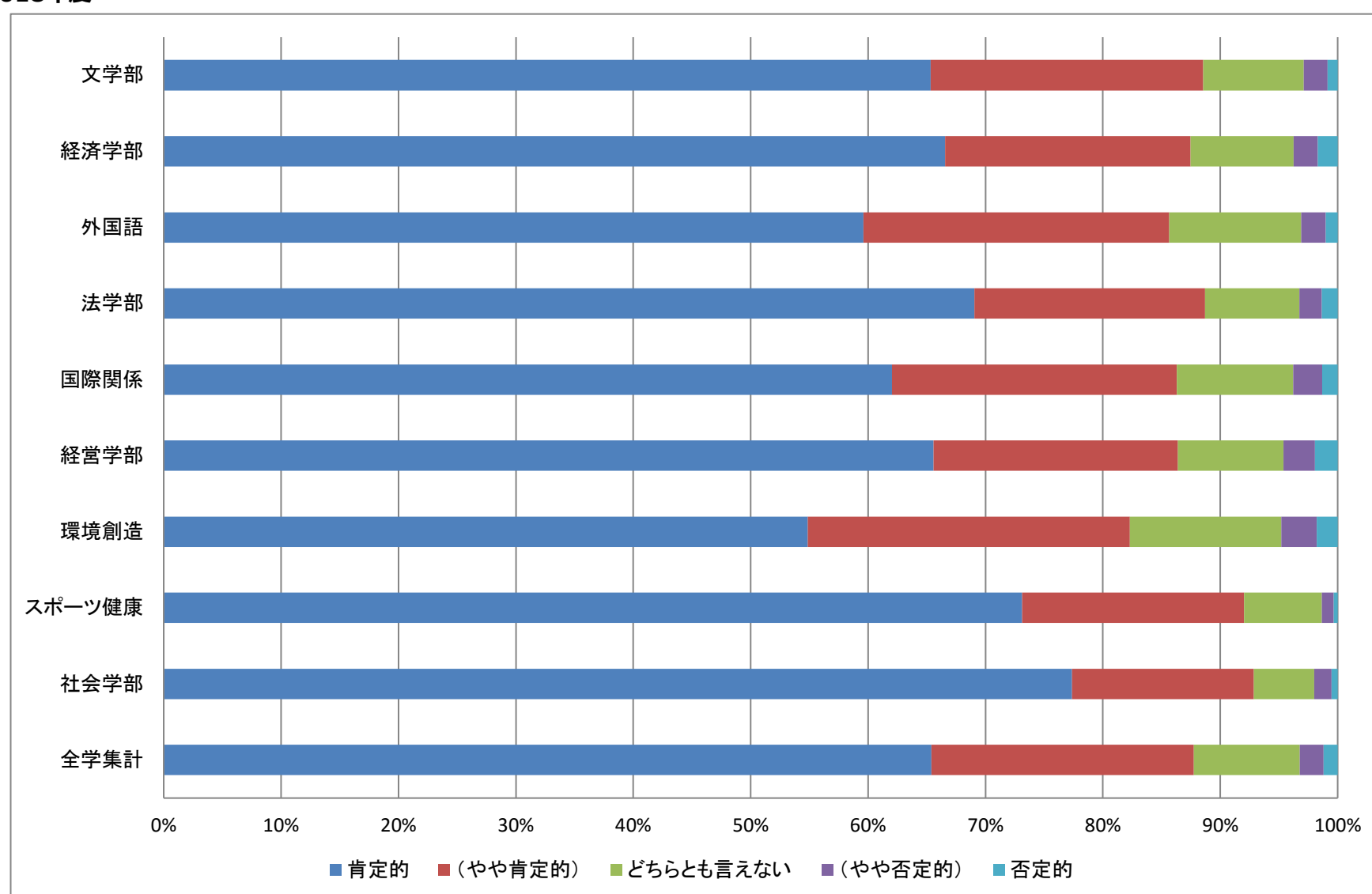
学年： 全学年

I Q3 この授業のシラバス（授業内容が掲載されている教授要項）を読みましたか。 (人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	4,731 (31.1%)	6,507 (42.8%)	2,043 (13.4%)	778 (5.1%)	1,149 (7.6%)	3.8
	経済学部	2,180 (27.0%)	3,466 (42.9%)	1,328 (16.4%)	530 (6.6%)	583 (7.2%)	3.8
	外国語	2,825 (29.5%)	3,763 (39.3%)	1,514 (15.8%)	676 (7.1%)	804 (8.4%)	3.7
	法学部	1,788 (23.1%)	3,461 (44.6%)	1,313 (16.9%)	570 (7.4%)	620 (8.0%)	3.7
	国際関係	1,205 (31.6%)	1,603 (42.0%)	532 (13.9%)	230 (6.0%)	247 (6.5%)	3.9
	経営学部	1,724 (26.5%)	2,862 (43.9%)	1,003 (15.4%)	487 (7.5%)	437 (6.7%)	3.8
	環境創造	557 (30.1%)	791 (42.8%)	314 (17.0%)	102 (5.5%)	86 (4.6%)	3.9
	スポーツ健康	1,601 (25.1%)	2,172 (34.0%)	1,326 (20.8%)	465 (7.3%)	819 (12.8%)	3.5
	社会学部	347 (18.2%)	792 (41.6%)	365 (19.2%)	208 (10.9%)	194 (10.2%)	3.5
	全学集計	16,611 (28.1%)	24,625 (41.6%)	9,373 (15.8%)	3,838 (6.5%)	4,745 (8.0%)	3.8

< 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部別【項目別集計】

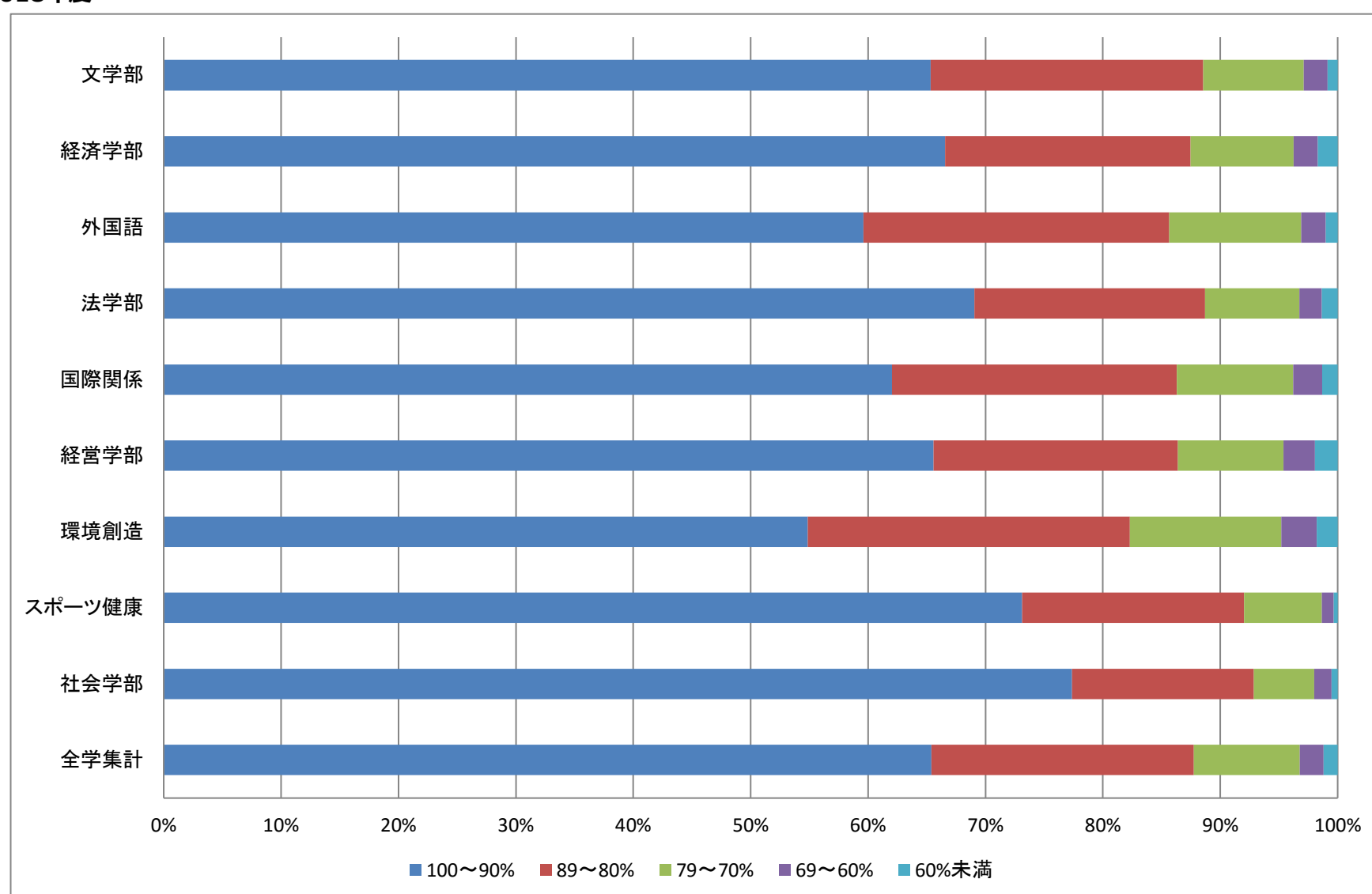
学年： 全学年

I Q4 あなた自身が授業へ取り組む姿勢（質問、発言など）について、自己採点すれば何点ぐらいだと思いますか。 (人)

実施年度	区分	100~90%	89~80%	79~70%	69~60%	60%未満	平均
2018年度	文学部	4,831 (31.7%)	6,272 (41.2%)	3,085 (20.3%)	721 (4.7%)	313 (2.1%)	4.0
	経済学部	2,222 (27.5%)	3,200 (39.6%)	1,932 (23.9%)	471 (5.8%)	262 (3.2%)	3.8
	外国語	3,090 (32.2%)	3,790 (39.5%)	2,021 (21.0%)	463 (4.8%)	237 (2.5%)	3.9
	法学部	1,930 (24.9%)	2,951 (38.0%)	2,098 (27.0%)	508 (6.5%)	276 (3.6%)	3.7
	国際関係	1,152 (30.2%)	1,507 (39.5%)	832 (21.8%)	198 (5.2%)	128 (3.4%)	3.9
	経営学部	1,668 (25.6%)	2,522 (38.7%)	1,587 (24.4%)	468 (7.2%)	265 (4.1%)	3.7
	環境創造	460 (24.8%)	766 (41.3%)	454 (24.5%)	121 (6.5%)	52 (2.8%)	3.8
	スポーツ健康	2,255 (35.3%)	2,495 (39.0%)	1,253 (19.6%)	249 (3.9%)	142 (2.2%)	4.0
	社会学部	431 (22.6%)	822 (43.1%)	487 (25.5%)	120 (6.3%)	47 (2.5%)	3.8
	全学集計	17,608 (29.7%)	23,503 (39.7%)	13,262 (22.4%)	3,199 (5.4%)	1,675 (2.8%)	3.9

< 評価帯グラフ >

2018年度





## 学部別【項目別集計】

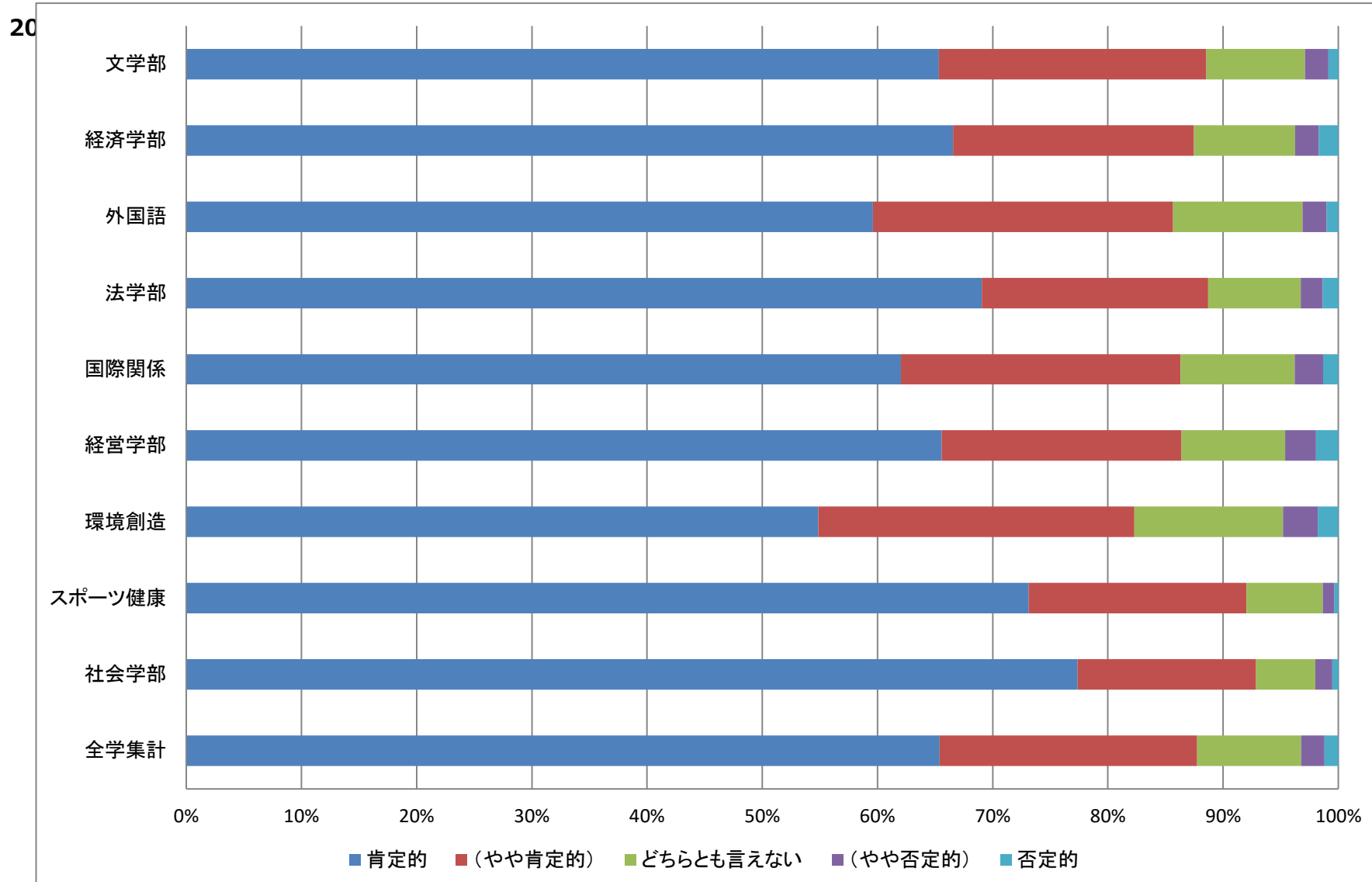
学年： 全学年

I Q5 シラバスの内容がこの授業によく反映されていましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	6,657 (46.2%)	4,313 (29.9%)	3,020 (21.0%)	226 (1.6%)	185 (1.3%)	4.2
	経済学部	3,204 (41.4%)	2,371 (30.7%)	1,875 (24.2%)	159 (2.1%)	123 (1.6%)	4.1
	外国語	3,852 (42.6%)	2,618 (29.0%)	2,283 (25.3%)	171 (1.9%)	108 (1.2%)	4.1
	法学部	2,813 (38.2%)	2,315 (31.4%)	1,962 (26.6%)	160 (2.2%)	118 (1.6%)	4.0
	国際関係	1,706 (46.6%)	1,077 (29.4%)	800 (21.9%)	50 (1.4%)	26 (0.7%)	4.2
	経営学部	2,531 (40.5%)	1,950 (31.2%)	1,567 (25.1%)	116 (1.9%)	91 (1.5%)	4.1
	環境創造	786 (43.7%)	542 (30.2%)	436 (24.3%)	18 (1.0%)	15 (0.8%)	4.1
	スポーツ健康	2,160 (37.2%)	1,717 (29.6%)	1,739 (30.0%)	96 (1.7%)	88 (1.5%)	4.0
	社会学部	528 (29.9%)	583 (33.0%)	528 (29.9%)	74 (4.2%)	51 (2.9%)	3.8
	全学集計	23,709 (42.3%)	16,903 (30.2%)	13,682 (24.4%)	996 (1.8%)	754 (1.3%)	4.1

### < 評価帯グラフ >



## 学部別【項目別集計】

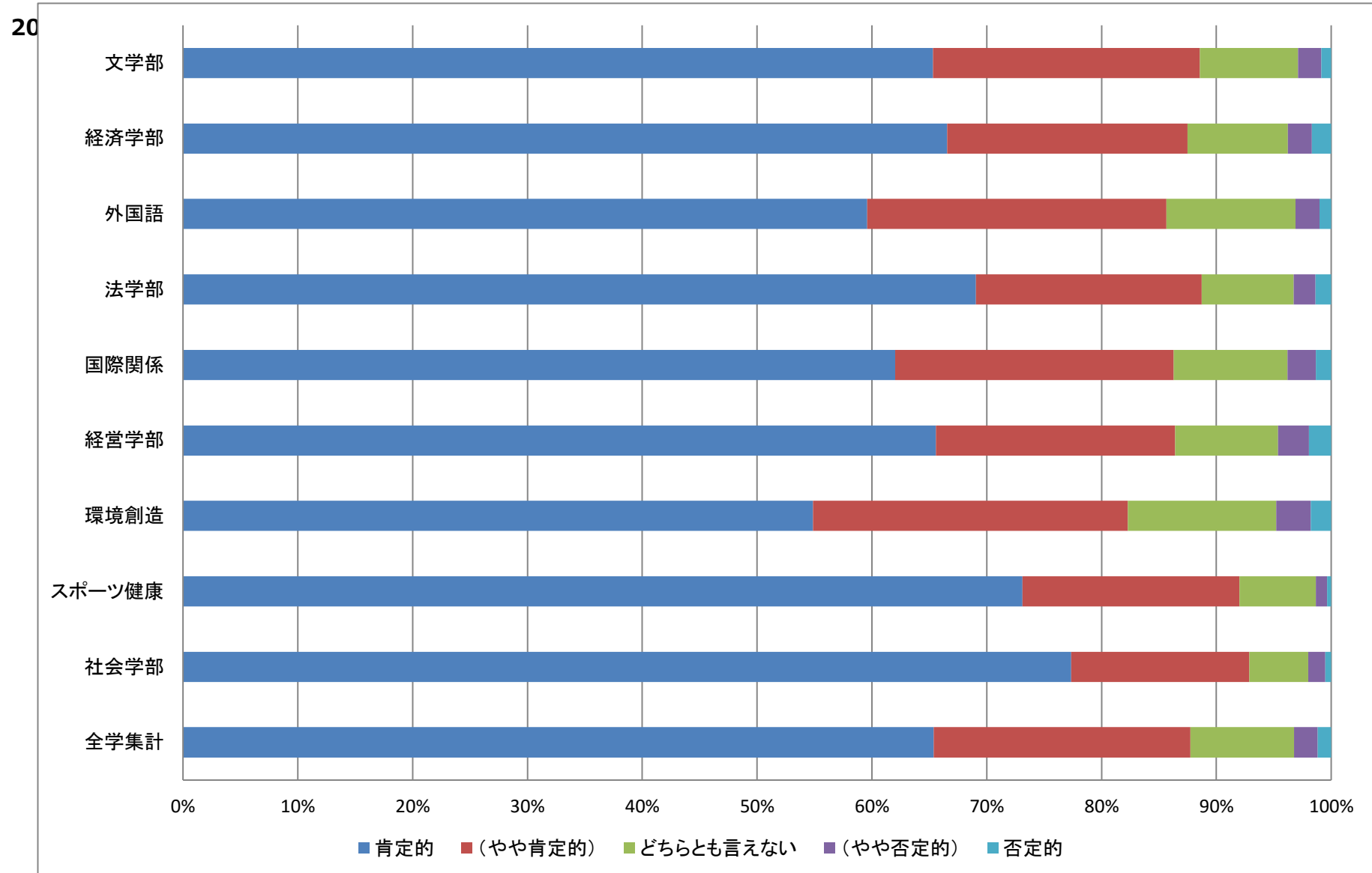
学年： 全学年

I Q6 この授業の進行のスピードは適当でしたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	7,470 (49.1%)	4,713 (31.0%)	1,980 (13.0%)	704 (4.6%)	351 (2.3%)	4.2
	経済学部	3,482 (43.1%)	2,569 (31.8%)	1,300 (16.1%)	501 (6.2%)	228 (2.8%)	4.1
	外国語	4,398 (45.9%)	2,957 (30.8%)	1,523 (15.9%)	489 (5.1%)	222 (2.3%)	4.1
	法学部	3,195 (41.2%)	2,522 (32.5%)	1,352 (17.4%)	506 (6.5%)	177 (2.3%)	4.0
	国際関係	1,861 (48.8%)	1,218 (31.9%)	549 (14.4%)	133 (3.5%)	55 (1.4%)	4.2
	経営学部	2,657 (40.9%)	2,232 (34.3%)	1,039 (16.0%)	397 (6.1%)	174 (2.7%)	4.0
	環境創造	884 (47.9%)	578 (31.3%)	289 (15.7%)	64 (3.5%)	31 (1.7%)	4.2
	スポーツ健康	2,722 (42.6%)	2,041 (32.0%)	1,128 (17.7%)	352 (5.5%)	145 (2.3%)	4.1
	社会学部	669 (35.1%)	627 (32.9%)	365 (19.2%)	184 (9.7%)	60 (3.1%)	3.9
	全学集計	26,669 (45.1%)	18,830 (31.8%)	9,160 (15.5%)	3,146 (5.3%)	1,383 (2.3%)	4.1

### < 評価帯グラフ >



## 学部別【項目別集計】

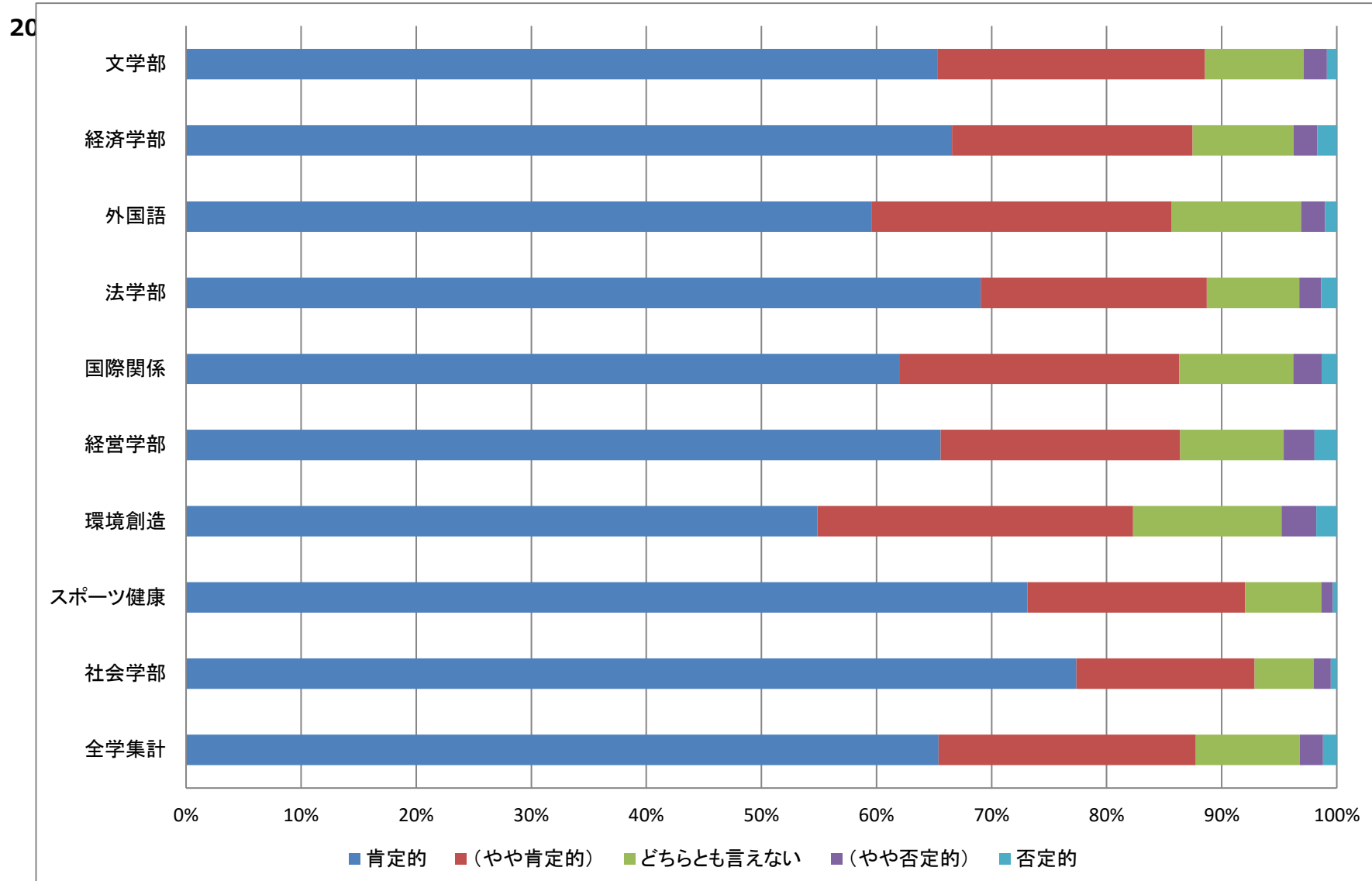
学年： 全学年

I Q7 板書の文字やスクリーンの画面は見やすかったですか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	7,133 (47.8%)	4,068 (27.3%)	2,363 (15.8%)	954 (6.4%)	407 (2.7%)	4.1
	経済学部	3,488 (43.6%)	2,190 (27.4%)	1,342 (16.8%)	650 (8.1%)	337 (4.2%)	4.0
	外国語	4,433 (46.9%)	2,605 (27.5%)	1,637 (17.3%)	546 (5.8%)	236 (2.5%)	4.1
	法学部	3,145 (40.9%)	2,175 (28.3%)	1,312 (17.0%)	743 (9.7%)	323 (4.2%)	3.9
	国際関係	1,830 (48.3%)	1,048 (27.7%)	574 (15.2%)	253 (6.7%)	80 (2.1%)	4.1
	経営学部	2,549 (39.5%)	1,861 (28.8%)	1,184 (18.3%)	569 (8.8%)	295 (4.6%)	3.9
	環境創造	870 (47.7%)	525 (28.8%)	310 (17.0%)	85 (4.7%)	35 (1.9%)	4.2
	スポーツ健康	2,648 (42.7%)	1,691 (27.3%)	1,220 (19.7%)	467 (7.5%)	169 (2.7%)	4.0
	社会学部	712 (38.3%)	549 (29.5%)	365 (19.6%)	165 (8.9%)	70 (3.8%)	3.9
	全学集計	26,096 (44.7%)	16,163 (27.7%)	9,942 (17.0%)	4,267 (7.3%)	1,882 (3.2%)	4.0

### < 評価帯グラフ >



## 学部別【項目別集計】

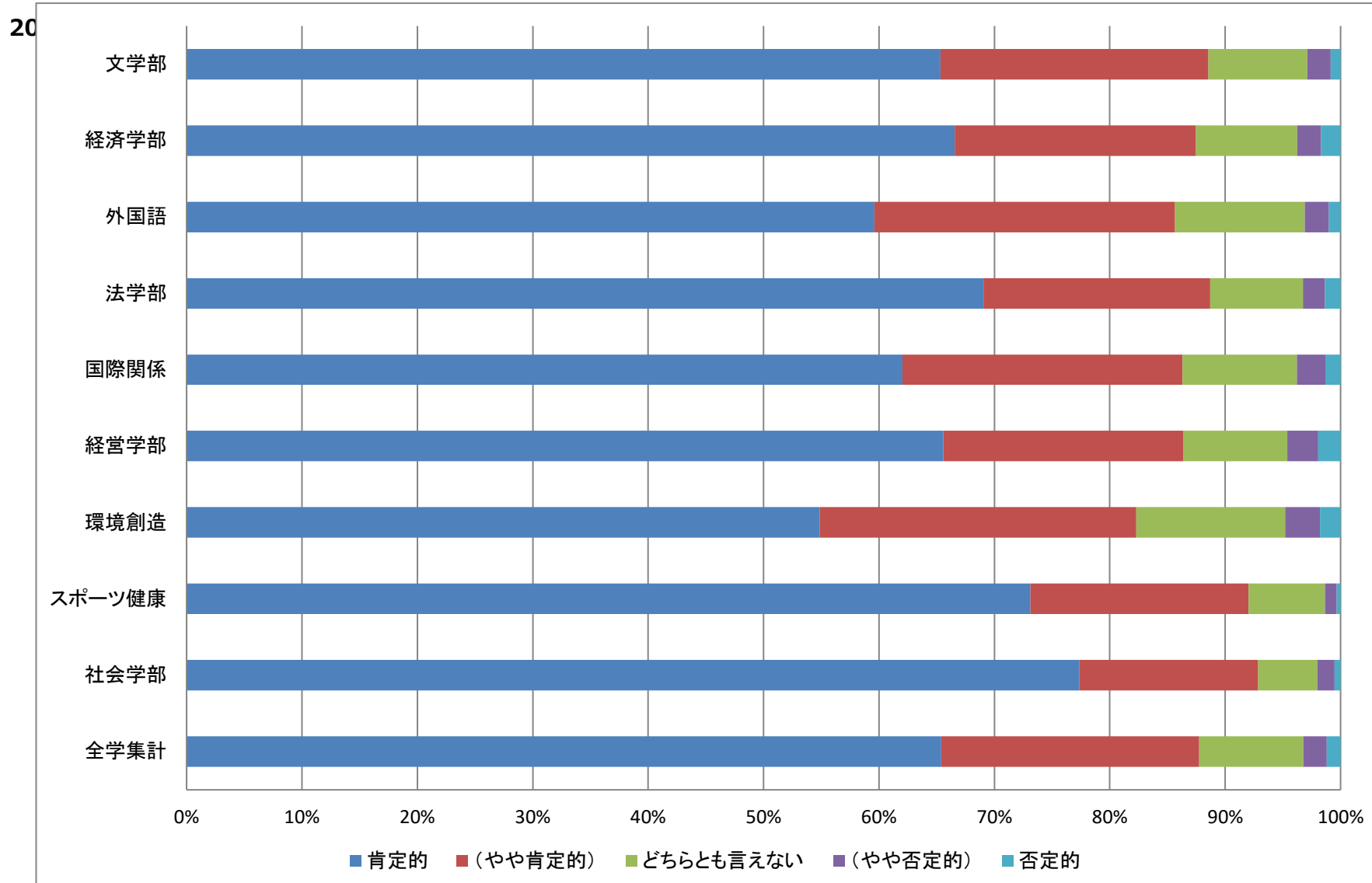
学年： 全学年

I Q8 教員の使用教材（配布プリント、パワーポイントの内容など）は理解しやすかったですか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	7,239 (47.9%)	4,554 (30.1%)	2,345 (15.5%)	667 (4.4%)	315 (2.1%)	4.2
	経済学部	3,184 (39.5%)	2,537 (31.5%)	1,611 (20.0%)	488 (6.1%)	233 (2.9%)	4.0
	外国語	4,260 (44.6%)	2,903 (30.4%)	1,692 (17.7%)	479 (5.0%)	214 (2.2%)	4.1
	法学部	2,898 (37.4%)	2,465 (31.8%)	1,584 (20.4%)	564 (7.3%)	236 (3.0%)	3.9
	国際関係	1,771 (46.5%)	1,186 (31.1%)	629 (16.5%)	160 (4.2%)	65 (1.7%)	4.2
	経営学部	2,498 (38.5%)	2,112 (32.6%)	1,234 (19.0%)	425 (6.6%)	211 (3.3%)	4.0
	環境創造	779 (42.3%)	621 (33.7%)	357 (19.4%)	64 (3.5%)	22 (1.2%)	4.1
	スポーツ健康	2,578 (40.8%)	1,931 (30.6%)	1,336 (21.2%)	319 (5.1%)	147 (2.3%)	4.0
	社会学部	661 (35.0%)	631 (33.4%)	413 (21.9%)	127 (6.7%)	57 (3.0%)	3.9
	全学集計	25,207 (42.8%)	18,309 (31.1%)	10,788 (18.3%)	3,166 (5.4%)	1,443 (2.4%)	4.1

### < 評価帯グラフ >



## 学部別【項目別集計】

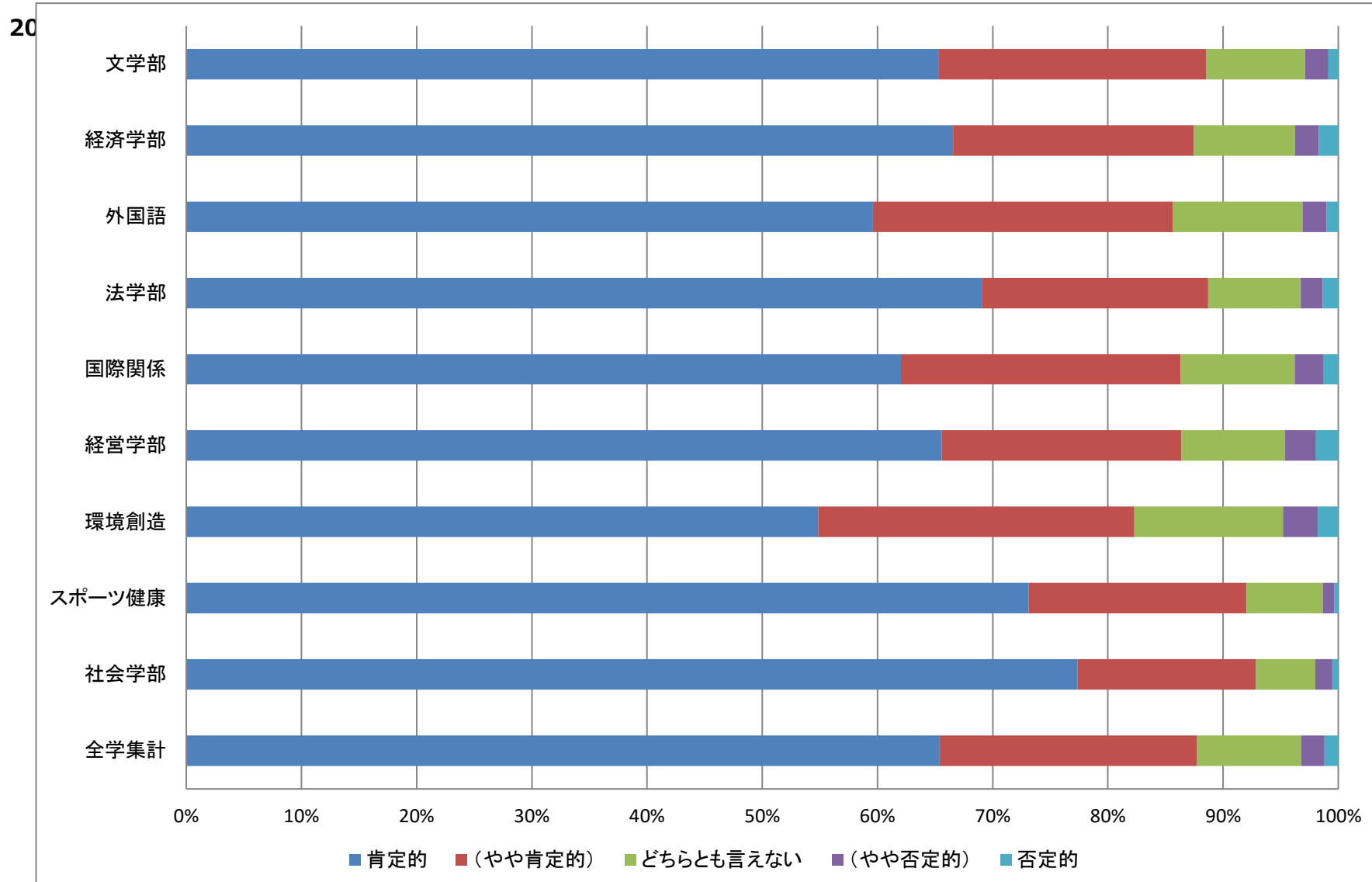
学年： 全学年

I Q9 教員は授業中の私語や受講態度の悪い学生への対処を行っていましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	7,397 (48.7%)	3,987 (26.2%)	2,950 (19.4%)	561 (3.7%)	303 (2.0%)	4.2
	経済学部	3,744 (46.4%)	2,204 (27.3%)	1,524 (18.9%)	362 (4.5%)	241 (3.0%)	4.1
	外国語	4,656 (48.6%)	2,494 (26.1%)	1,907 (19.9%)	322 (3.4%)	192 (2.0%)	4.2
	法学部	3,569 (46.0%)	1,904 (24.6%)	1,692 (21.8%)	382 (4.9%)	208 (2.7%)	4.1
	国際関係	1,877 (49.3%)	971 (25.5%)	747 (19.6%)	140 (3.7%)	75 (2.0%)	4.2
	経営学部	2,883 (44.5%)	1,784 (27.5%)	1,276 (19.7%)	334 (5.2%)	208 (3.2%)	4.0
	環境創造	902 (48.9%)	478 (25.9%)	360 (19.5%)	71 (3.9%)	33 (1.8%)	4.2
	スポーツ健康	2,992 (46.9%)	1,801 (28.3%)	1,197 (18.8%)	253 (4.0%)	131 (2.1%)	4.1
	社会学部	900 (47.3%)	546 (28.7%)	357 (18.8%)	61 (3.2%)	38 (2.0%)	4.2
	全学集計	28,020 (47.4%)	15,623 (26.4%)	11,653 (19.7%)	2,425 (4.1%)	1,391 (2.4%)	4.1

### < 評価帯グラフ >



## 学部別【項目別集計】

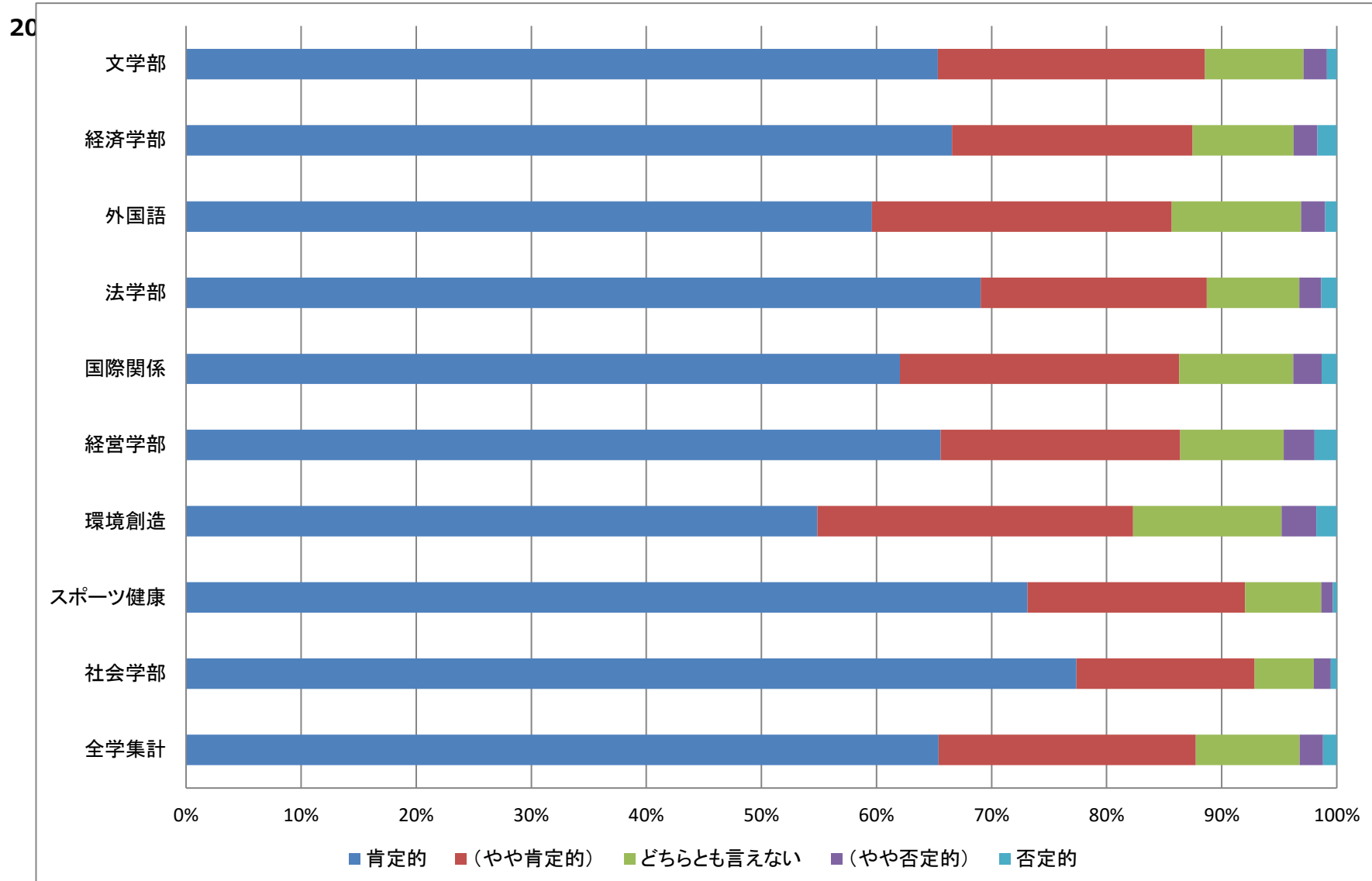
学年： 全学年

Ⅱ Q10 この授業に対する教員の熱意がどの程度感じられましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	9,354 (61.5%)	3,841 (25.3%)	1,459 (9.6%)	315 (2.1%)	236 (1.6%)	4.4
	経済学部	4,156 (51.4%)	2,352 (29.1%)	1,168 (14.5%)	219 (2.7%)	184 (2.3%)	4.2
	外国語	5,371 (56.0%)	2,551 (26.6%)	1,264 (13.2%)	231 (2.4%)	169 (1.8%)	4.3
	法学部	3,849 (49.7%)	2,349 (30.3%)	1,166 (15.0%)	248 (3.2%)	139 (1.8%)	4.2
	国際関係	2,325 (61.1%)	944 (24.8%)	444 (11.7%)	58 (1.5%)	37 (1.0%)	4.4
	経営学部	3,211 (49.4%)	1,978 (30.4%)	907 (14.0%)	241 (3.7%)	161 (2.5%)	4.2
	環境創造	1,082 (58.7%)	431 (23.4%)	261 (14.2%)	50 (2.7%)	18 (1.0%)	4.4
	スポーツ健康	3,475 (54.5%)	1,735 (27.2%)	900 (14.1%)	173 (2.7%)	93 (1.5%)	4.3
	社会学部	876 (46.0%)	649 (34.1%)	280 (14.7%)	66 (3.5%)	33 (1.7%)	4.2
	全学集計	32,823 (55.5%)	16,181 (27.4%)	7,569 (12.8%)	1,535 (2.6%)	1,037 (1.8%)	4.3

### < 評価帯グラフ >



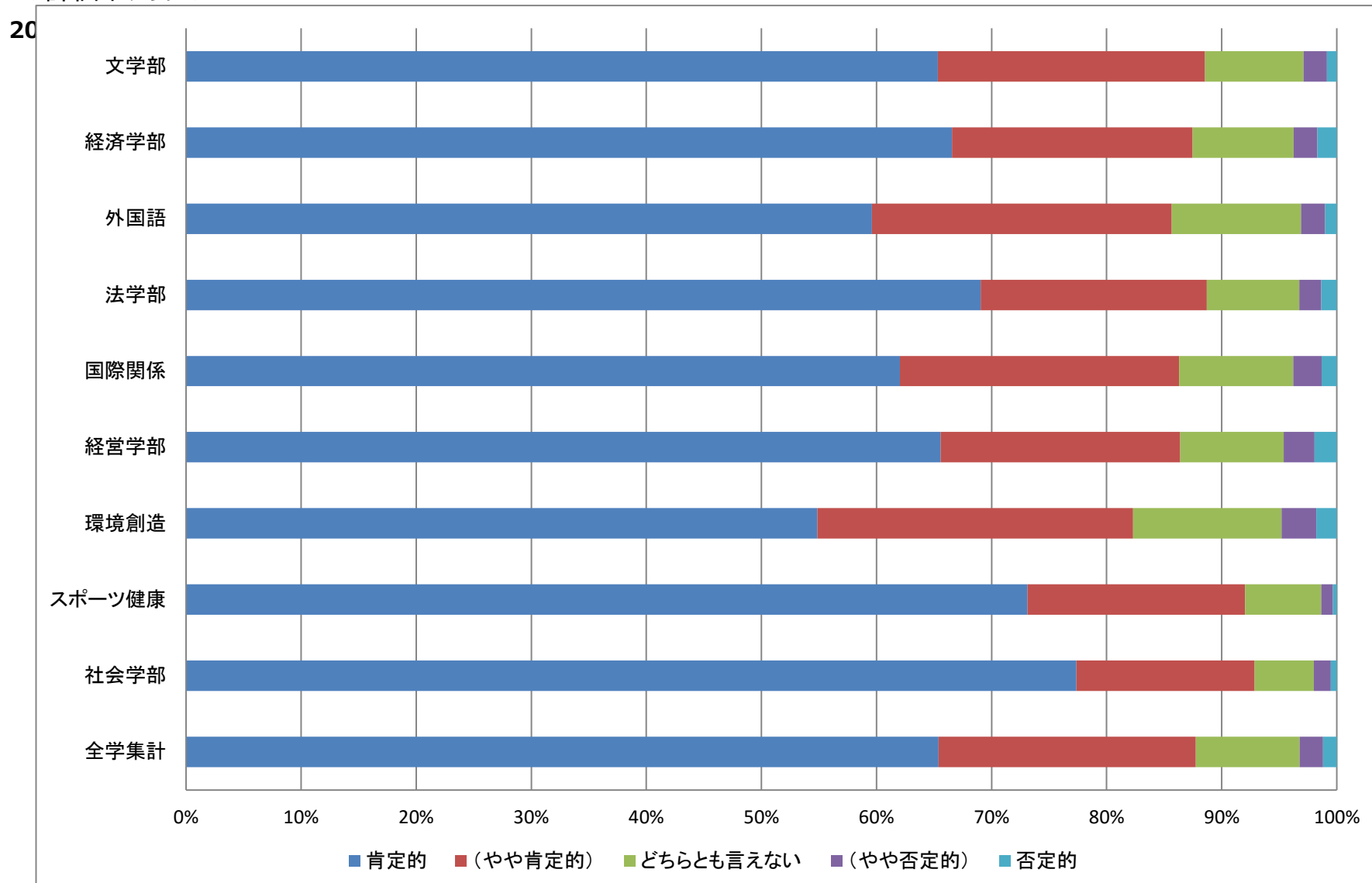
## 学部別【項目別集計】

学年： 全学年

Ⅱ Q11 あなたはこの授業を通して自分にとって新しい考え方や発想が身につきましたか。 (人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	6,598 (43.4%)	5,542 (36.5%)	2,199 (14.5%)	506 (3.3%)	358 (2.4%)	4.2
	経済学部	2,708 (33.5%)	3,082 (38.2%)	1,656 (20.5%)	352 (4.4%)	280 (3.5%)	3.9
	外国語	3,859 (40.2%)	3,335 (34.8%)	1,756 (18.3%)	379 (4.0%)	259 (2.7%)	4.1
	法学部	2,475 (31.9%)	2,935 (37.8%)	1,724 (22.2%)	377 (4.9%)	246 (3.2%)	3.9
	国際関係	1,592 (41.8%)	1,387 (36.4%)	655 (17.2%)	110 (2.9%)	67 (1.8%)	4.1
	経営学部	2,104 (32.4%)	2,642 (40.7%)	1,157 (17.8%)	353 (5.4%)	242 (3.7%)	3.9
	環境創造	716 (38.7%)	703 (38.0%)	346 (18.7%)	52 (2.8%)	31 (1.7%)	4.1
	スポーツ健康	2,440 (38.2%)	2,333 (36.6%)	1,233 (19.3%)	236 (3.7%)	140 (2.2%)	4.0
	社会学部	484 (25.5%)	827 (43.5%)	440 (23.1%)	98 (5.2%)	52 (2.7%)	3.8
	全学集計	22,492 (38.0%)	21,959 (37.1%)	10,726 (18.1%)	2,365 (4.0%)	1,623 (2.7%)	4.0

< 評価帯グラフ >



## 学部別【項目別集計】

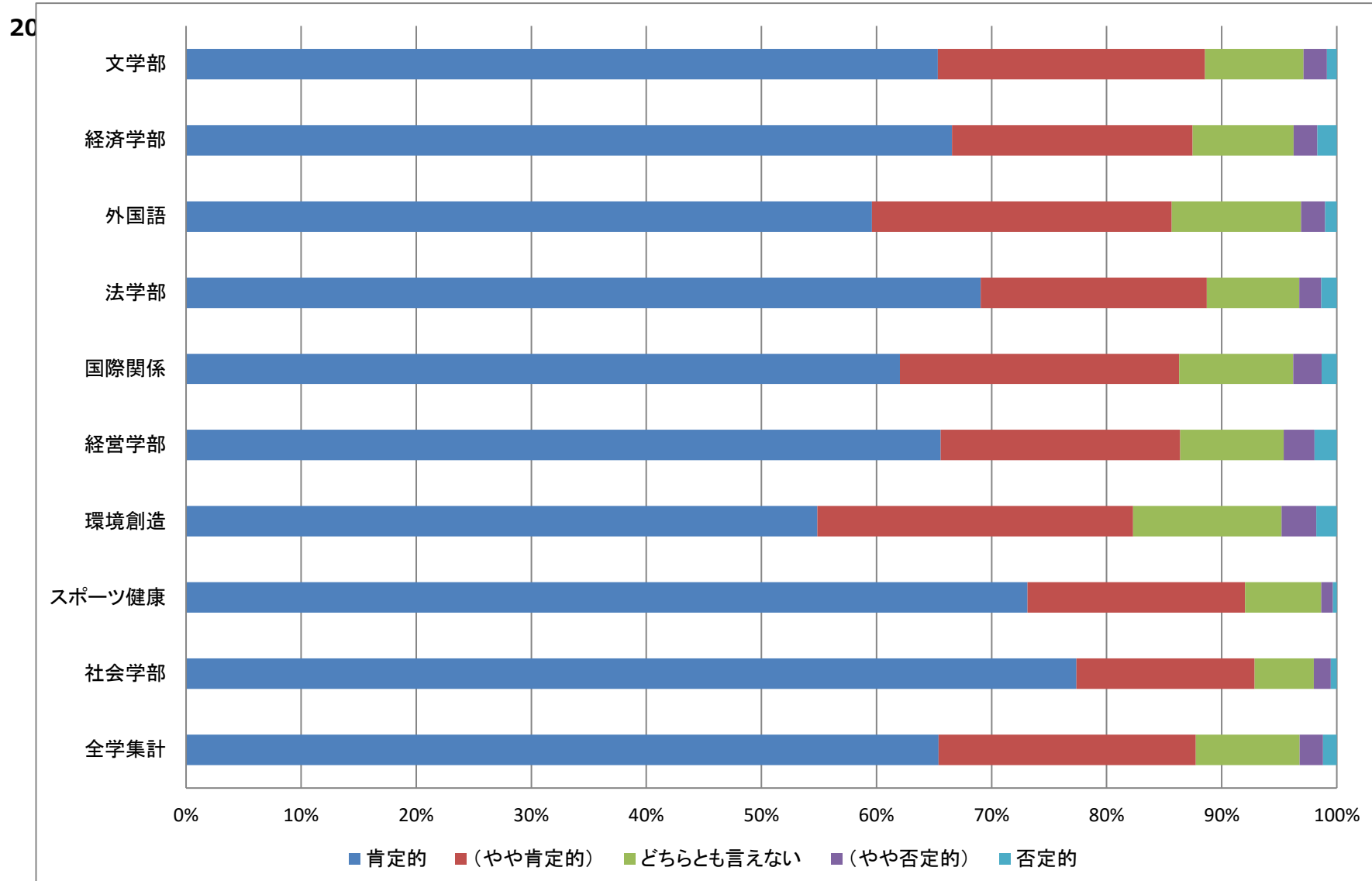
学年： 全学年

Ⅱ Q12 あなたはこの授業を通して自分で調べ、考える姿勢などが身につきましたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	5,987 (39.4%)	5,654 (37.2%)	2,731 (18.0%)	500 (3.3%)	341 (2.2%)	4.1
	経済学部	2,503 (31.0%)	3,033 (37.6%)	1,872 (23.2%)	387 (4.8%)	276 (3.4%)	3.9
	外国語	3,583 (37.4%)	3,441 (35.9%)	1,929 (20.2%)	363 (3.8%)	257 (2.7%)	4.0
	法学部	2,273 (29.3%)	2,893 (37.3%)	1,931 (24.9%)	426 (5.5%)	224 (2.9%)	3.8
	国際関係	1,517 (39.8%)	1,353 (35.5%)	747 (19.6%)	122 (3.2%)	73 (1.9%)	4.1
	経営学部	1,951 (30.1%)	2,524 (38.9%)	1,394 (21.5%)	365 (5.6%)	256 (3.9%)	3.9
	環境創造	644 (34.8%)	689 (37.2%)	407 (22.0%)	70 (3.8%)	41 (2.2%)	4.0
	スポーツ健康	2,280 (35.8%)	2,336 (36.7%)	1,381 (21.7%)	242 (3.8%)	132 (2.1%)	4.0
	社会学部	448 (23.5%)	805 (42.3%)	496 (26.1%)	100 (5.3%)	55 (2.9%)	3.8
	全学集計	20,738 (35.1%)	21,923 (37.1%)	12,392 (21.0%)	2,475 (4.2%)	1600 (2.7%)	4.0

### < 評価帯グラフ >





## 学部別【項目別集計】

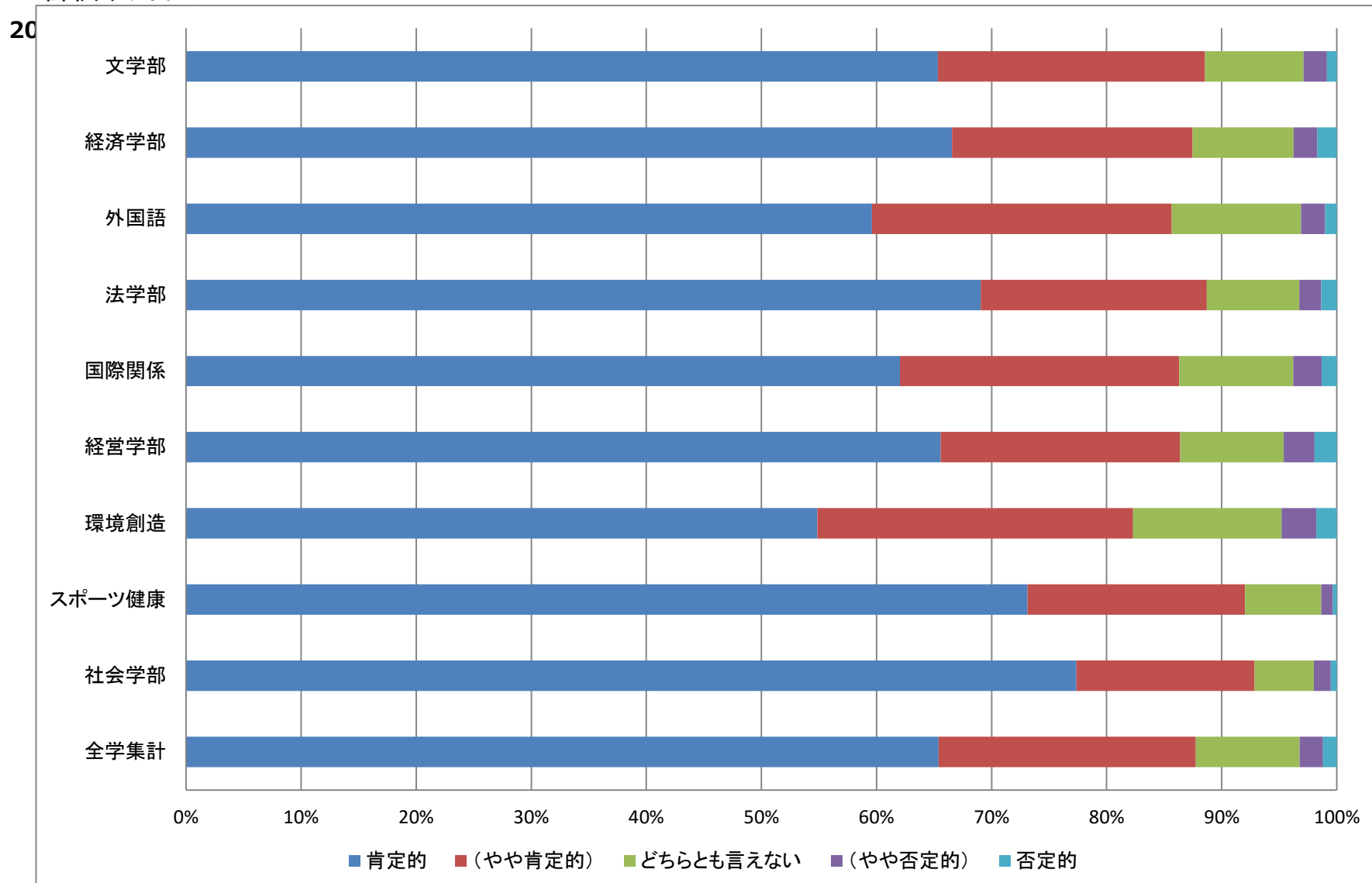
学年： 全学年

ⅢQ13 この授業は総合的にみて満足できるものでしたか。

(人)

実施年度	区分	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	文学部	7,517 (49.4%)	4,842 (31.8%)	1,881 (12.4%)	538 (3.5%)	425 (2.8%)	4.2
	経済学部	3,246 (40.2%)	2,710 (33.5%)	1,453 (18.0%)	381 (4.7%)	290 (3.6%)	4.0
	外国語	4,353 (45.4%)	3,012 (31.4%)	1,545 (16.1%)	395 (4.1%)	282 (2.9%)	4.1
	法学部	2,930 (37.8%)	2,751 (35.5%)	1,409 (18.2%)	395 (5.1%)	266 (3.4%)	4.0
	国際関係	1,839 (48.2%)	1,165 (30.6%)	597 (15.7%)	135 (3.5%)	76 (2.0%)	4.2
	経営学部	2,483 (38.2%)	2,344 (36.1%)	1,095 (16.9%)	306 (4.7%)	268 (4.1%)	4.0
	環境創造	827 (44.6%)	617 (33.3%)	329 (17.8%)	50 (2.7%)	30 (1.6%)	4.2
	スポーツ健康	2,678 (42.0%)	2,135 (33.5%)	1,129 (17.7%)	265 (4.2%)	170 (2.7%)	4.1
	社会学部	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9
	全学集計	25,873 (43.7%)	19,576 (33.1%)	9,438 (16.0%)	2,465 (4.2%)	1,807 (3.1%)	4.1

< 評価帯グラフ >



D. 学年別集計  
(学部・学科別集計)

## 学部学科別【学年別】

学部：文学部

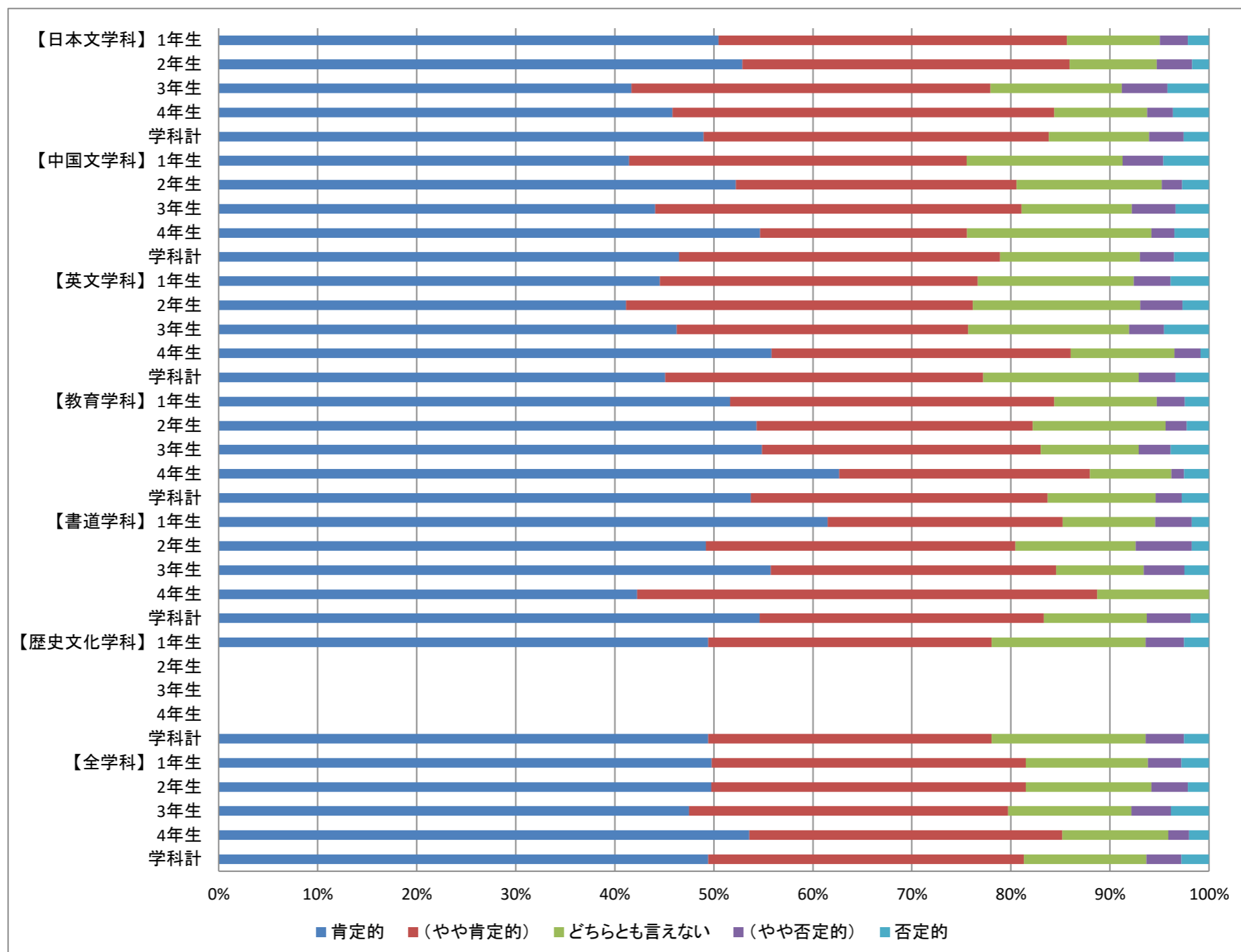
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属	肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均	
2018年度	日本文学科	1年生	805 (50.5%)	561 (35.2%)	150 (9.4%)	45 (2.8%)	34 (2.1%)	4.3
		2年生	751 (52.9%)	469 (33.0%)	125 (8.8%)	51 (3.6%)	24 (1.7%)	4.3
		3年生	417 (41.7%)	363 (36.3%)	133 (13.3%)	46 (4.6%)	42 (4.2%)	4.1
		4年生	88 (45.8%)	74 (38.5%)	18 (9.4%)	5 (2.6%)	7 (3.6%)	4.2
		学科計	2,061 (49.0%)	1,467 (34.9%)	426 (10.1%)	147 (3.5%)	107 (2.5%)	4.2
	中国文学科	1年生	242 (41.4%)	199 (34.1%)	92 (15.8%)	24 (4.1%)	27 (4.6%)	4.0
		2年生	328 (52.2%)	178 (28.3%)	92 (14.6%)	13 (2.1%)	17 (2.7%)	4.3
		3年生	249 (44.1%)	209 (37.0%)	63 (11.2%)	25 (4.4%)	19 (3.4%)	4.1
		4年生	47 (54.7%)	18 (20.9%)	16 (18.6%)	2 (2.3%)	3 (3.5%)	4.2
		学科計	866 (46.5%)	604 (32.4%)	263 (14.1%)	64 (3.4%)	66 (3.5%)	4.1
	英文学科	1年生	538 (44.5%)	388 (32.1%)	190 (15.7%)	45 (3.7%)	47 (3.9%)	4.1
		2年生	416 (41.1%)	354 (35.0%)	171 (16.9%)	43 (4.3%)	27 (2.7%)	4.1
		3年生	396 (46.3%)	252 (29.4%)	139 (16.2%)	30 (3.5%)	39 (4.6%)	4.1
		4年生	192 (55.8%)	104 (30.2%)	36 (10.5%)	9 (2.6%)	3 (0.9%)	4.4
		学科計	1,542 (45.1%)	1,098 (32.1%)	536 (15.7%)	127 (3.7%)	116 (3.4%)	4.1
	教育学科	1年生	638 (51.7%)	404 (32.7%)	128 (10.4%)	35 (2.8%)	30 (2.4%)	4.3
		2年生	360 (54.3%)	185 (27.9%)	89 (13.4%)	14 (2.1%)	15 (2.3%)	4.3
		3年生	355 (54.9%)	182 (28.1%)	64 (9.9%)	21 (3.2%)	25 (3.9%)	4.3
		4年生	99 (62.7%)	40 (25.3%)	13 (8.2%)	2 (1.3%)	4 (2.5%)	4.4
		学科計	1,452 (53.7%)	811 (30.0%)	294 (10.9%)	72 (2.7%)	74 (2.7%)	4.3
	書道学科	1年生	420 (61.5%)	162 (23.7%)	64 (9.4%)	25 (3.7%)	12 (1.8%)	4.4
		2年生	398 (49.2%)	253 (31.3%)	98 (12.1%)	46 (5.7%)	14 (1.7%)	4.2
		3年生	271 (55.8%)	140 (28.8%)	43 (8.8%)	20 (4.1%)	12 (2.5%)	4.3
		4年生	30 (42.3%)	33 (46.5%)	8 (11.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.3
		学科計	1,119 (54.6%)	588 (28.7%)	213 (10.4%)	91 (4.4%)	38 (1.9%)	4.3
	歴史文化学科	1年生	471 (49.4%)	273 (28.6%)	148 (15.5%)	37 (3.9%)	24 (2.5%)	4.2
		2年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		3年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		4年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		学科計	471 (49.4%)	273 (28.6%)	148 (15.5%)	37 (3.9%)	24 (2.5%)	4.2
	全学科	1年生	3,114 (49.8%)	1,987 (31.8%)	772 (12.3%)	211 (3.4%)	174 (2.8%)	4.2
		2年生	2,253 (49.7%)	1,439 (31.8%)	575 (12.7%)	167 (3.7%)	97 (2.1%)	4.2
		3年生	1,688 (47.5%)	1,146 (32.2%)	442 (12.4%)	142 (4.0%)	137 (3.9%)	4.2
4年生		456 (53.6%)	269 (31.6%)	91 (10.7%)	18 (2.1%)	17 (2.0%)	4.3	
学科計		7,511 (49.4%)	4,841 (31.9%)	1,880 (12.4%)	538 (3.5%)	425 (2.8%)	4.2	

### < 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：経済学部

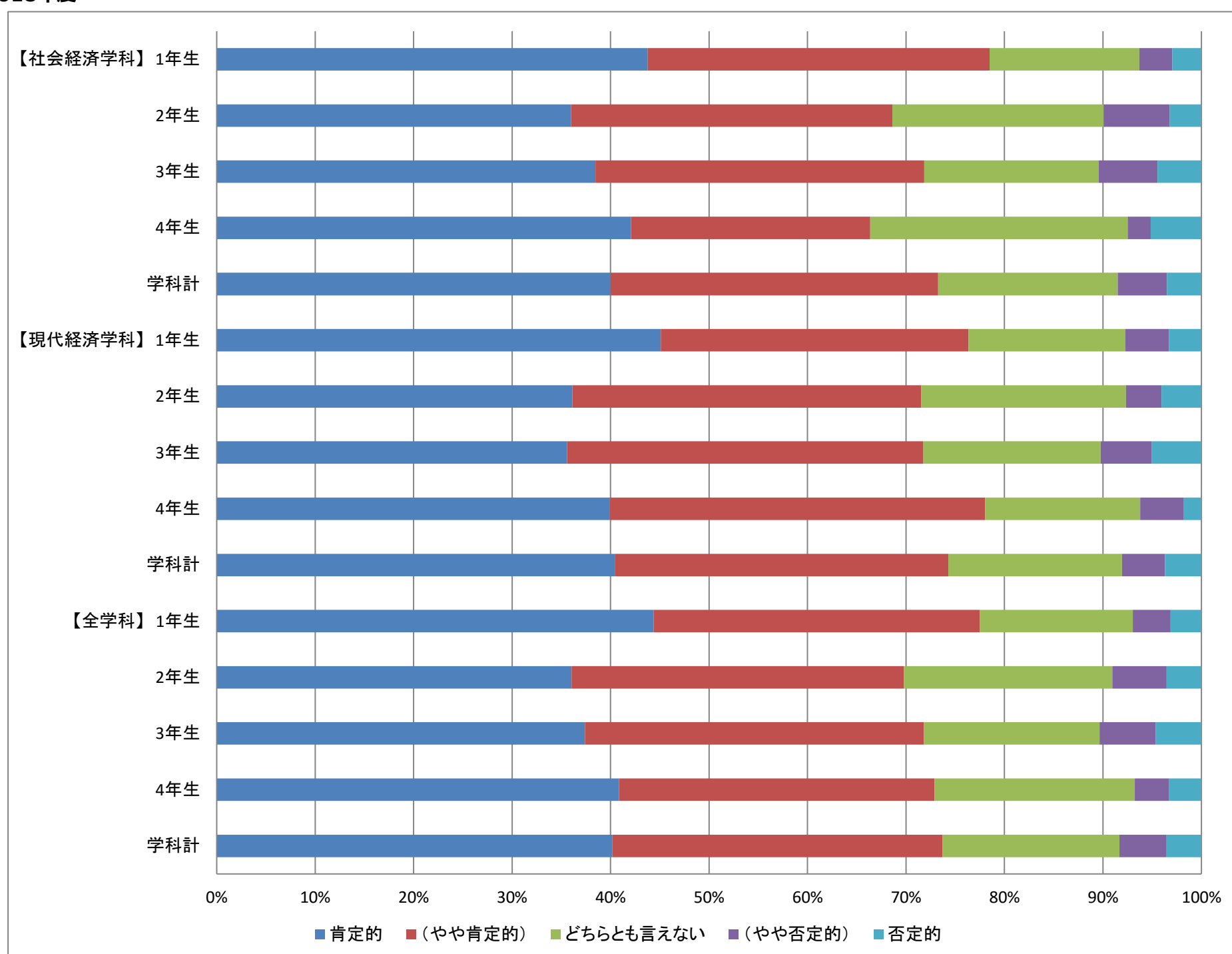
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	社会経済学科	1年生	812 (43.8%)	644 (34.7%)	282 (15.2%)	62 (3.3%)	55 (3.0%)	4.1
		2年生	517 (36.0%)	469 (32.6%)	308 (21.4%)	97 (6.8%)	46 (3.2%)	3.9
		3年生	432 (38.5%)	375 (33.4%)	199 (17.7%)	67 (6.0%)	50 (4.5%)	4.0
		4年生	90 (42.1%)	52 (24.3%)	56 (26.2%)	5 (2.3%)	11 (5.1%)	4.0
		学科計	1,851 (40.0%)	1,540 (33.3%)	845 (18.3%)	231 (5.0%)	162 (3.5%)	4.0
	現代経済学科	1年生	710 (45.1%)	492 (31.3%)	250 (15.9%)	70 (4.4%)	52 (3.3%)	4.1
		2年生	340 (36.1%)	333 (35.4%)	196 (20.8%)	34 (3.6%)	38 (4.0%)	4.0
		3年生	233 (35.6%)	237 (36.2%)	118 (18.0%)	34 (5.2%)	33 (5.0%)	3.9
		4年生	109 (39.9%)	104 (38.1%)	43 (15.8%)	12 (4.4%)	5 (1.8%)	4.1
		学科計	1,392 (40.4%)	1,166 (33.9%)	607 (17.6%)	150 (4.4%)	128 (3.7%)	4.0
	全学科	1年生	1,522 (44.4%)	1,136 (33.1%)	532 (15.5%)	132 (3.8%)	107 (3.1%)	4.1
		2年生	857 (36.0%)	802 (33.7%)	504 (21.2%)	131 (5.5%)	84 (3.5%)	3.9
		3年生	665 (37.4%)	612 (34.4%)	317 (17.8%)	101 (5.7%)	83 (4.7%)	3.9
		4年生	199 (40.9%)	156 (32.0%)	99 (20.3%)	17 (3.5%)	16 (3.3%)	4.0
		学科計	3,243 (40.2%)	2,706 (33.5%)	1,452 (18.0%)	381 (4.7%)	290 (3.6%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：外語学部

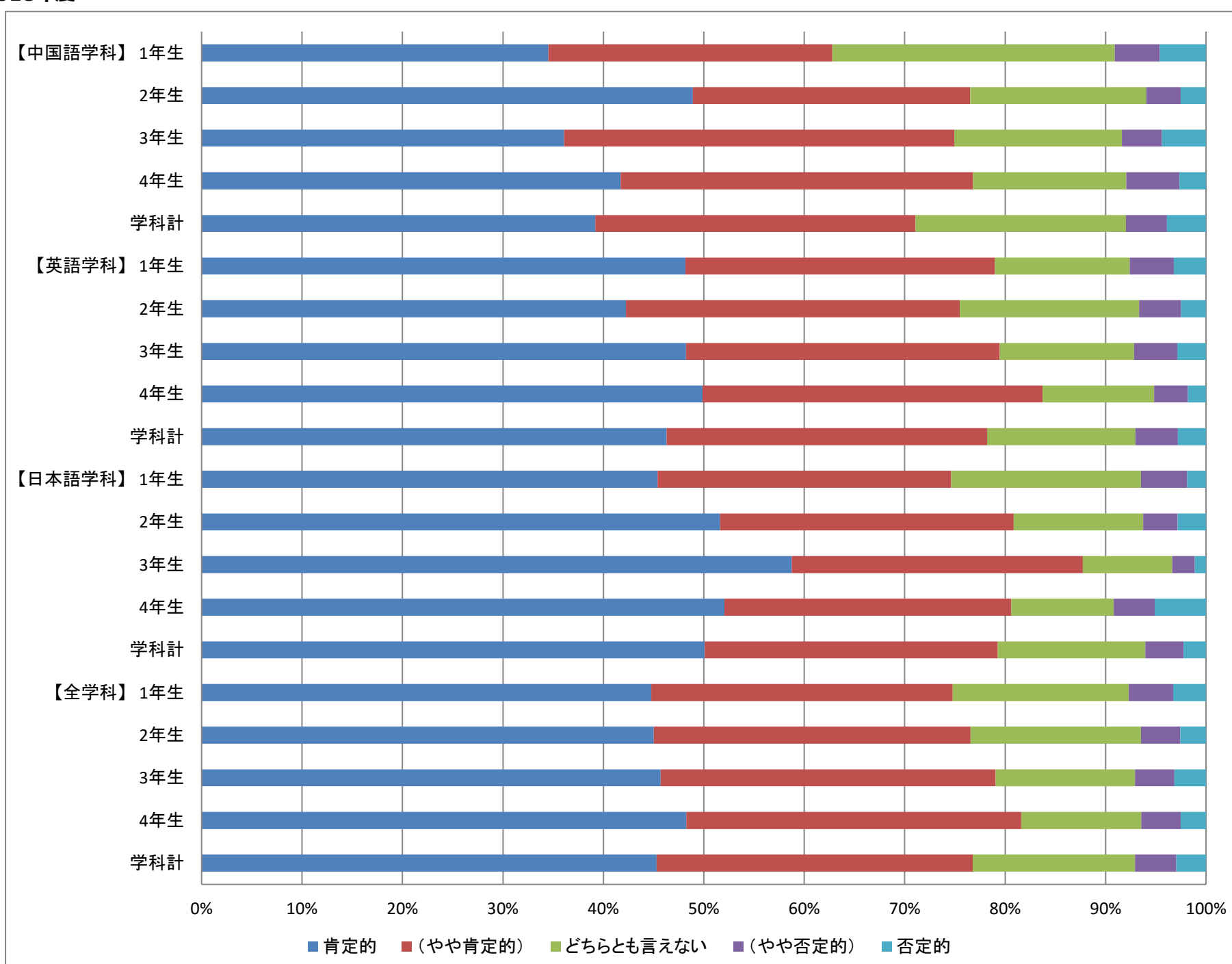
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	中国語学科	1年生	270 (34.5%)	221 (28.3%)	220 (28.1%)	35 (4.5%)	36 (4.6%)	3.8
		2年生	271 (48.9%)	153 (27.6%)	97 (17.5%)	19 (3.4%)	14 (2.5%)	4.2
		3年生	246 (36.1%)	265 (38.9%)	114 (16.7%)	27 (4.0%)	30 (4.4%)	4.0
		4年生	63 (41.7%)	53 (35.1%)	23 (15.2%)	8 (5.3%)	4 (2.6%)	4.1
		学科計	850 (39.2%)	692 (31.9%)	454 (20.9%)	89 (4.1%)	84 (3.9%)	4.0
	英語学科	1年生	1,078 (48.2%)	690 (30.8%)	300 (13.4%)	98 (4.4%)	72 (3.2%)	4.2
		2年生	831 (42.2%)	654 (33.2%)	351 (17.8%)	82 (4.2%)	49 (2.5%)	4.1
		3年生	587 (48.2%)	380 (31.2%)	163 (13.4%)	52 (4.3%)	35 (2.9%)	4.2
		4年生	193 (49.9%)	131 (33.9%)	43 (11.1%)	13 (3.4%)	7 (1.8%)	4.3
		学科計	2,689 (46.3%)	1,855 (31.9%)	857 (14.8%)	245 (4.2%)	163 (2.8%)	4.1
	日本語学科	1年生	315 (45.4%)	203 (29.3%)	131 (18.9%)	32 (4.6%)	13 (1.9%)	4.1
		2年生	256 (51.6%)	145 (29.2%)	64 (12.9%)	17 (3.4%)	14 (2.8%)	4.2
		3年生	158 (58.7%)	78 (29.0%)	24 (8.9%)	6 (2.2%)	3 (1.1%)	4.4
		4年生	51 (52.0%)	28 (28.6%)	10 (10.2%)	4 (4.1%)	5 (5.1%)	4.2
		学科計	780 (50.1%)	454 (29.2%)	229 (14.7%)	59 (3.8%)	35 (2.2%)	4.2
	全学科	1年生	1,663 (44.8%)	1,114 (30.0%)	651 (17.5%)	165 (4.4%)	121 (3.3%)	4.1
		2年生	1,358 (45.0%)	952 (31.6%)	512 (17.0%)	118 (3.9%)	77 (2.6%)	4.1
		3年生	991 (45.7%)	723 (33.3%)	301 (13.9%)	85 (3.9%)	68 (3.1%)	4.1
		4年生	307 (48.3%)	212 (33.3%)	76 (11.9%)	25 (3.9%)	16 (2.5%)	4.2
		学科計	4,319 (45.3%)	3,001 (31.5%)	1,540 (16.2%)	393 (4.1%)	282 (3.0%)	4.1

< 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：法学部

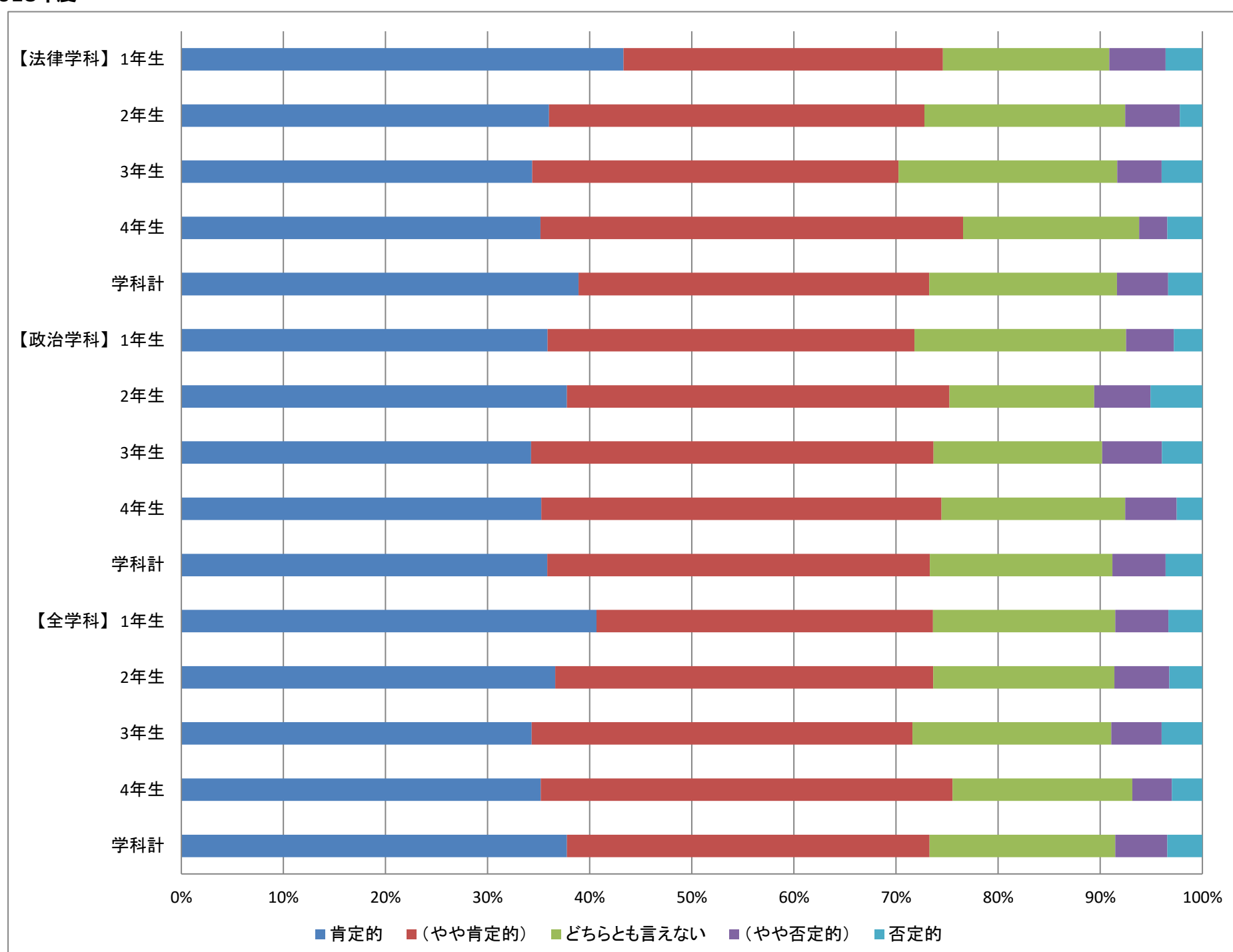
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	法律学科	1年生	958 (43.3%)	692 (31.3%)	360 (16.3%)	122 (5.5%)	80 (3.6%)	4.1
		2年生	439 (36.0%)	448 (36.8%)	240 (19.7%)	65 (5.3%)	27 (2.2%)	4.0
		3年生	387 (34.4%)	404 (35.9%)	241 (21.4%)	49 (4.4%)	45 (4.0%)	3.9
		4年生	102 (35.2%)	120 (41.4%)	50 (17.2%)	8 (2.8%)	10 (3.4%)	4.0
		学科計	1,886 (38.9%)	1,664 (34.3%)	891 (18.4%)	244 (5.0%)	162 (3.3%)	4.0
	政治学科	1年生	436 (35.9%)	437 (35.9%)	252 (20.7%)	57 (4.7%)	34 (2.8%)	4.0
		2年生	253 (37.8%)	251 (37.5%)	95 (14.2%)	37 (5.5%)	34 (5.1%)	4.0
		3年生	251 (34.2%)	289 (39.4%)	121 (16.5%)	43 (5.9%)	29 (4.0%)	3.9
		4年生	98 (35.3%)	109 (39.2%)	50 (18.0%)	14 (5.0%)	7 (2.5%)	4.0
		学科計	1,038 (35.8%)	1,086 (37.5%)	518 (17.9%)	151 (5.2%)	104 (3.6%)	4.0
	全学科	1年生	1,394 (40.7%)	1,129 (32.9%)	612 (17.9%)	179 (5.2%)	114 (3.3%)	4.0
		2年生	692 (36.6%)	699 (37.0%)	335 (17.7%)	102 (5.4%)	61 (3.2%)	4.0
		3年生	638 (34.3%)	693 (37.3%)	362 (19.5%)	92 (4.9%)	74 (4.0%)	3.9
		4年生	200 (35.2%)	229 (40.3%)	100 (17.6%)	22 (3.9%)	17 (3.0%)	4.0
		学科計	2,924 (37.8%)	2,750 (35.5%)	1,409 (18.2%)	395 (5.1%)	266 (3.4%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：国際関係学部

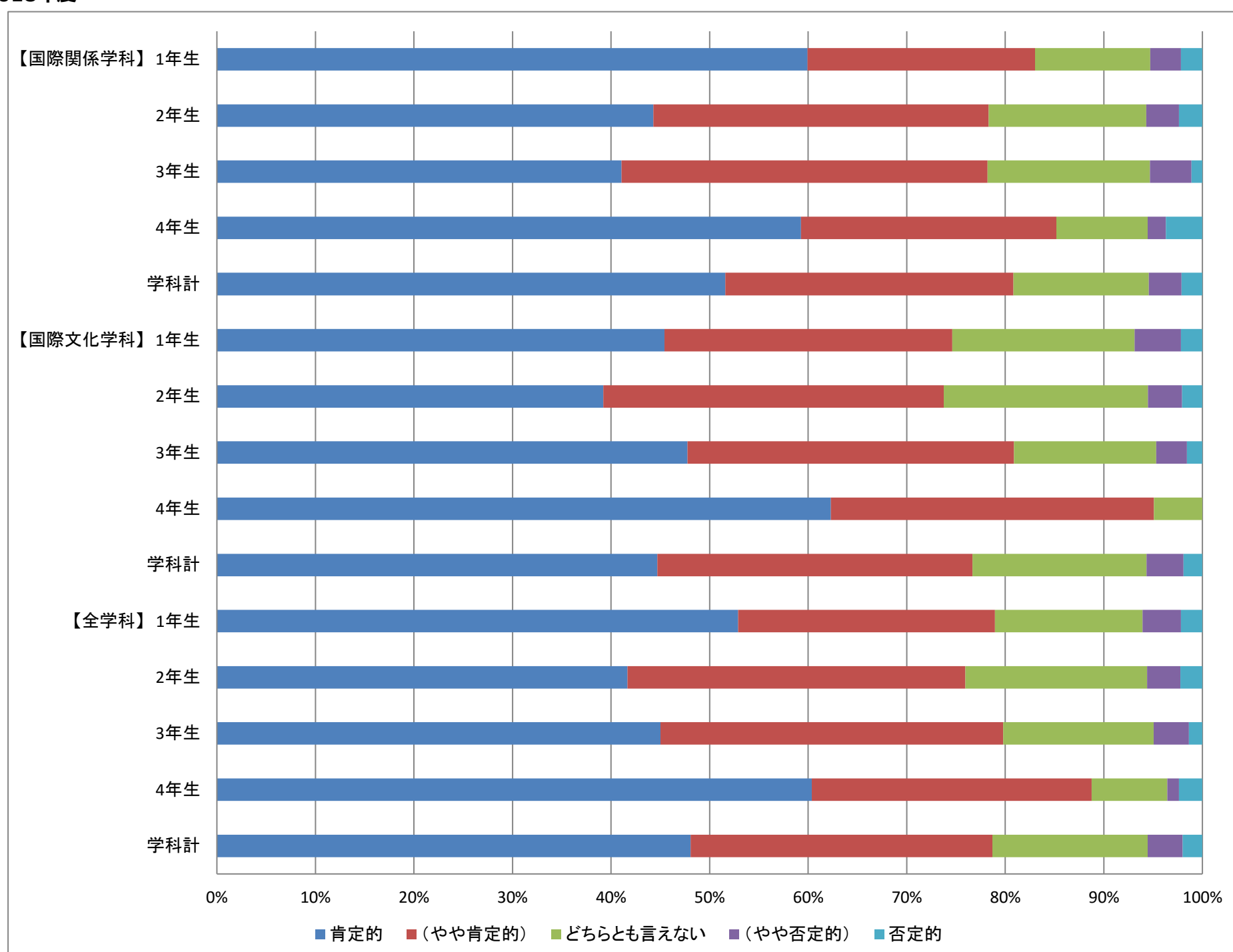
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	国際関係学科	1年生	498 (59.9%)	192 (23.1%)	97 (11.7%)	26 (3.1%)	18 (2.2%)	4.4
		2年生	241 (44.3%)	185 (34.0%)	87 (16.0%)	18 (3.3%)	13 (2.4%)	4.1
		3年生	147 (41.1%)	133 (37.2%)	59 (16.5%)	15 (4.2%)	4 (1.1%)	4.1
		4年生	64 (59.3%)	28 (25.9%)	10 (9.3%)	2 (1.9%)	4 (3.7%)	4.4
		学科計	950 (51.6%)	538 (29.2%)	253 (13.7%)	61 (3.3%)	39 (2.1%)	4.2
	国際文化学科	1年生	356 (45.4%)	229 (29.2%)	145 (18.5%)	37 (4.7%)	17 (2.2%)	4.1
		2年生	227 (39.2%)	200 (34.5%)	120 (20.7%)	20 (3.5%)	12 (2.1%)	4.1
		3年生	245 (47.8%)	170 (33.1%)	74 (14.4%)	16 (3.1%)	8 (1.6%)	4.2
		4年生	38 (62.3%)	20 (32.8%)	3 (4.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4.6
		学科計	866 (44.7%)	619 (32.0%)	342 (17.7%)	73 (3.8%)	37 (1.9%)	4.1
	全学科	1年生	854 (52.9%)	421 (26.1%)	242 (15.0%)	63 (3.9%)	35 (2.2%)	4.2
		2年生	468 (41.7%)	385 (34.3%)	207 (18.4%)	38 (3.4%)	25 (2.2%)	4.1
		3年生	392 (45.0%)	303 (34.8%)	133 (15.3%)	31 (3.6%)	12 (1.4%)	4.2
		4年生	102 (60.4%)	48 (28.4%)	13 (7.7%)	2 (1.2%)	4 (2.4%)	4.4
		学科計	1,816 (48.1%)	1,157 (30.6%)	595 (15.7%)	134 (3.5%)	76 (2.0%)	4.2

### < 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：経営学部

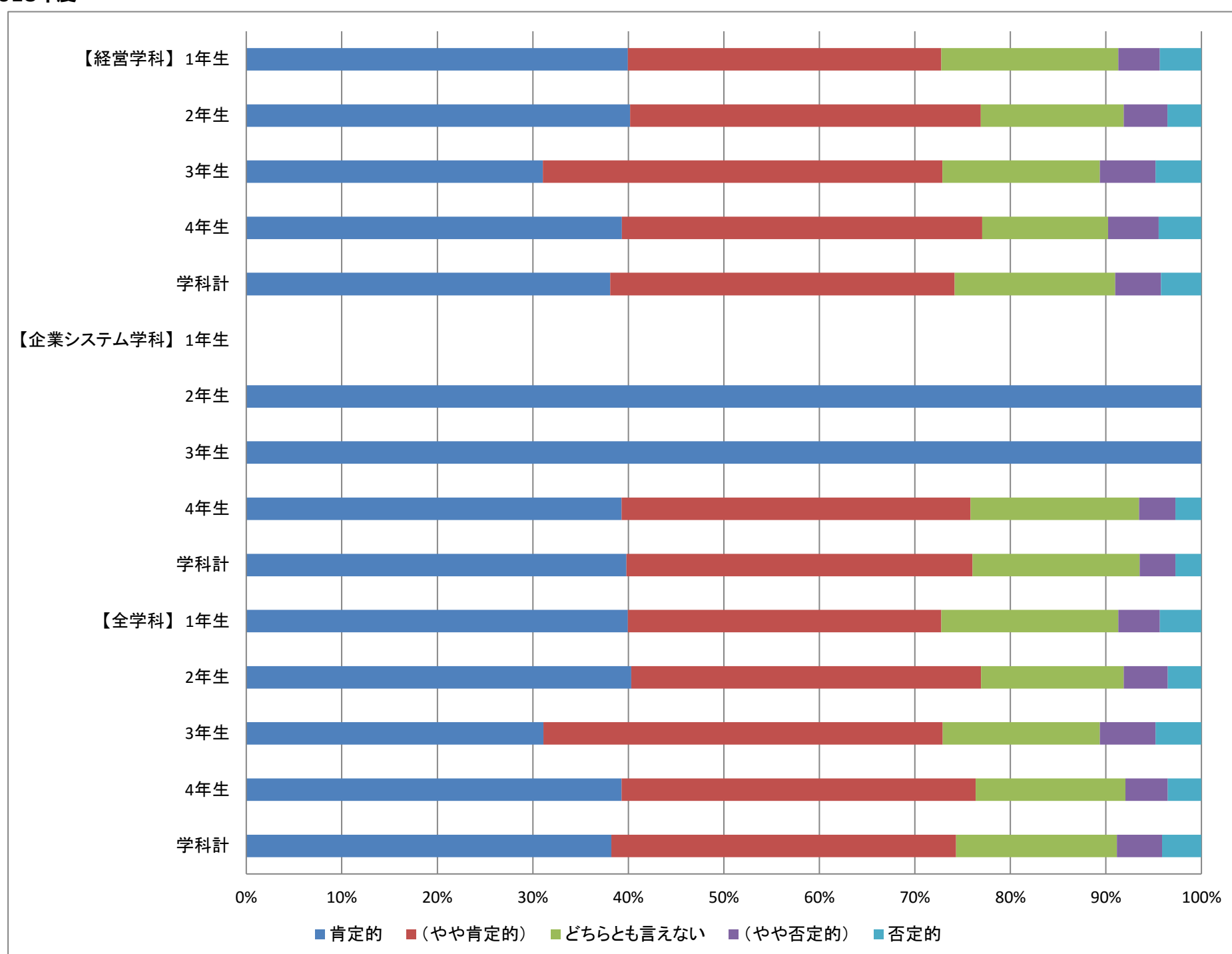
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	経営学科	1年生	1,102 (40.0%)	905 (32.8%)	511 (18.5%)	120 (4.4%)	120 (4.4%)	4.0
		2年生	647 (40.2%)	591 (36.7%)	241 (15.0%)	74 (4.6%)	57 (3.5%)	4.1
		3年生	394 (31.0%)	531 (41.8%)	209 (16.5%)	74 (5.8%)	61 (4.8%)	3.9
		4年生	149 (39.3%)	143 (37.7%)	50 (13.2%)	20 (5.3%)	17 (4.5%)	4.0
		学科計	2,292 (38.1%)	2,170 (36.1%)	1,011 (16.8%)	288 (4.8%)	255 (4.2%)	4.0
	企業システム学科	1年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		2年生	3 #####	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5.0
		3年生	1 #####	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5.0
		4年生	187 (39.3%)	174 (36.6%)	84 (17.6%)	18 (3.8%)	13 (2.7%)	4.1
		学科計	191 (39.8%)	174 (36.3%)	84 (17.5%)	18 (3.8%)	13 (2.7%)	4.1
	全学科	1年生	1,102 (40.0%)	905 (32.8%)	511 (18.5%)	120 (4.4%)	120 (4.4%)	4.0
		2年生	650 (40.3%)	591 (36.6%)	241 (14.9%)	74 (4.6%)	57 (3.5%)	4.1
		3年生	395 (31.1%)	531 (41.8%)	209 (16.5%)	74 (5.8%)	61 (4.8%)	3.9
		4年生	336 (39.3%)	317 (37.1%)	134 (15.7%)	38 (4.4%)	30 (3.5%)	4.0
		学科計	2,483 (38.2%)	2,344 (36.1%)	1,095 (16.9%)	306 (4.7%)	268 (4.1%)	4.0

### < 評価帯グラフ >

2018年度





## 学部学科別【学年別】

学部：環境創造学部

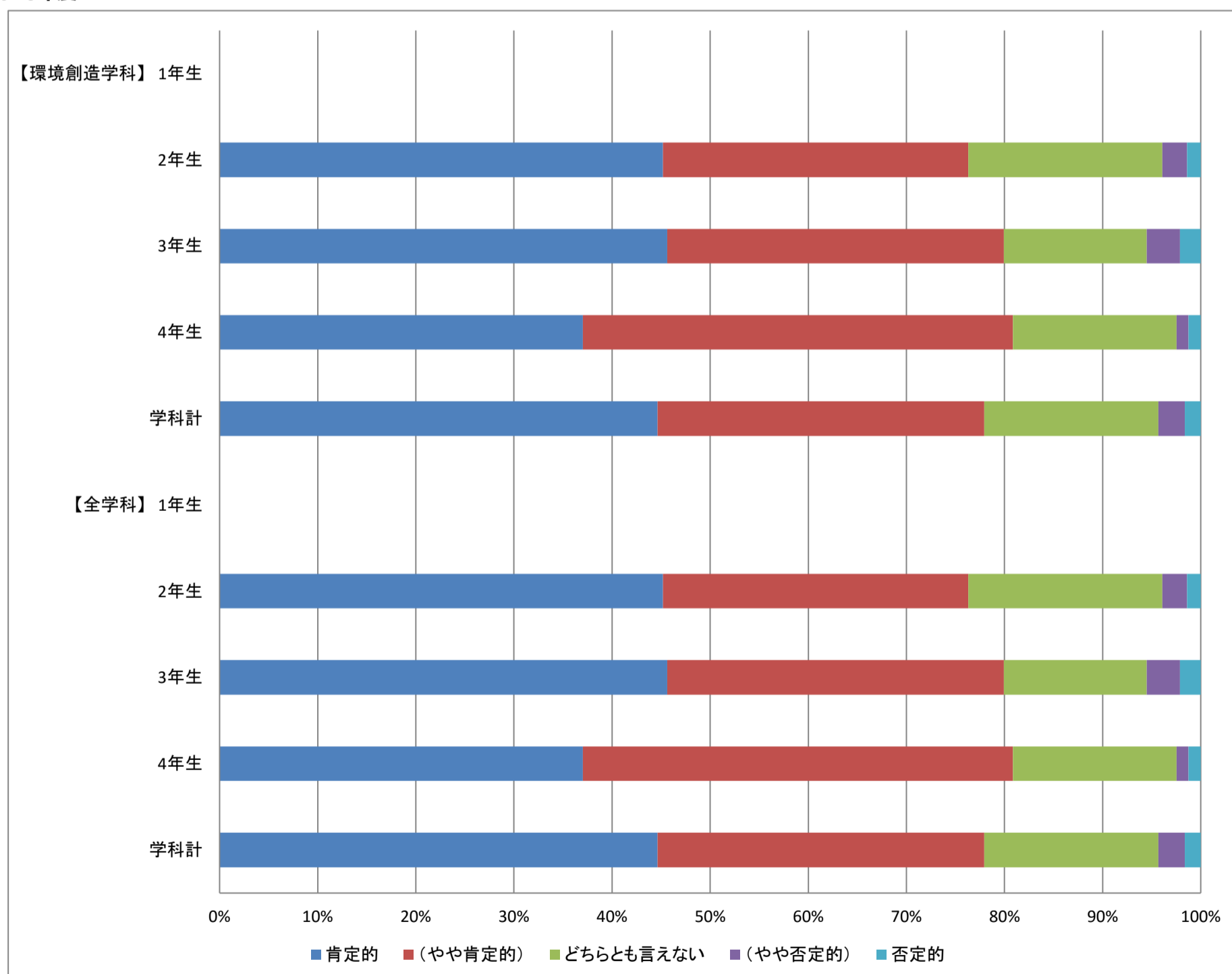
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	環境創造学科	1年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		2年生	485 (45.2%)	334 (31.1%)	212 (19.8%)	27 (2.5%)	15 (1.4%)	4.2
		3年生	282 (45.6%)	212 (34.3%)	90 (14.6%)	21 (3.4%)	13 (2.1%)	4.2
		4年生	60 (37.0%)	71 (43.8%)	27 (16.7%)	2 (1.2%)	2 (1.2%)	4.1
		学科計	827 (44.6%)	617 (33.3%)	329 (17.8%)	50 (2.7%)	30 (1.6%)	4.2
	全学科	1年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		2年生	485 (45.2%)	334 (31.1%)	212 (19.8%)	27 (2.5%)	15 (1.4%)	4.2
		3年生	282 (45.6%)	212 (34.3%)	90 (14.6%)	21 (3.4%)	13 (2.1%)	4.2
		4年生	60 (37.0%)	71 (43.8%)	27 (16.7%)	2 (1.2%)	2 (1.2%)	4.1
		学科計	827 (44.6%)	617 (33.3%)	329 (17.8%)	50 (2.7%)	30 (1.6%)	4.2

< 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：スポーツ・健康科学部

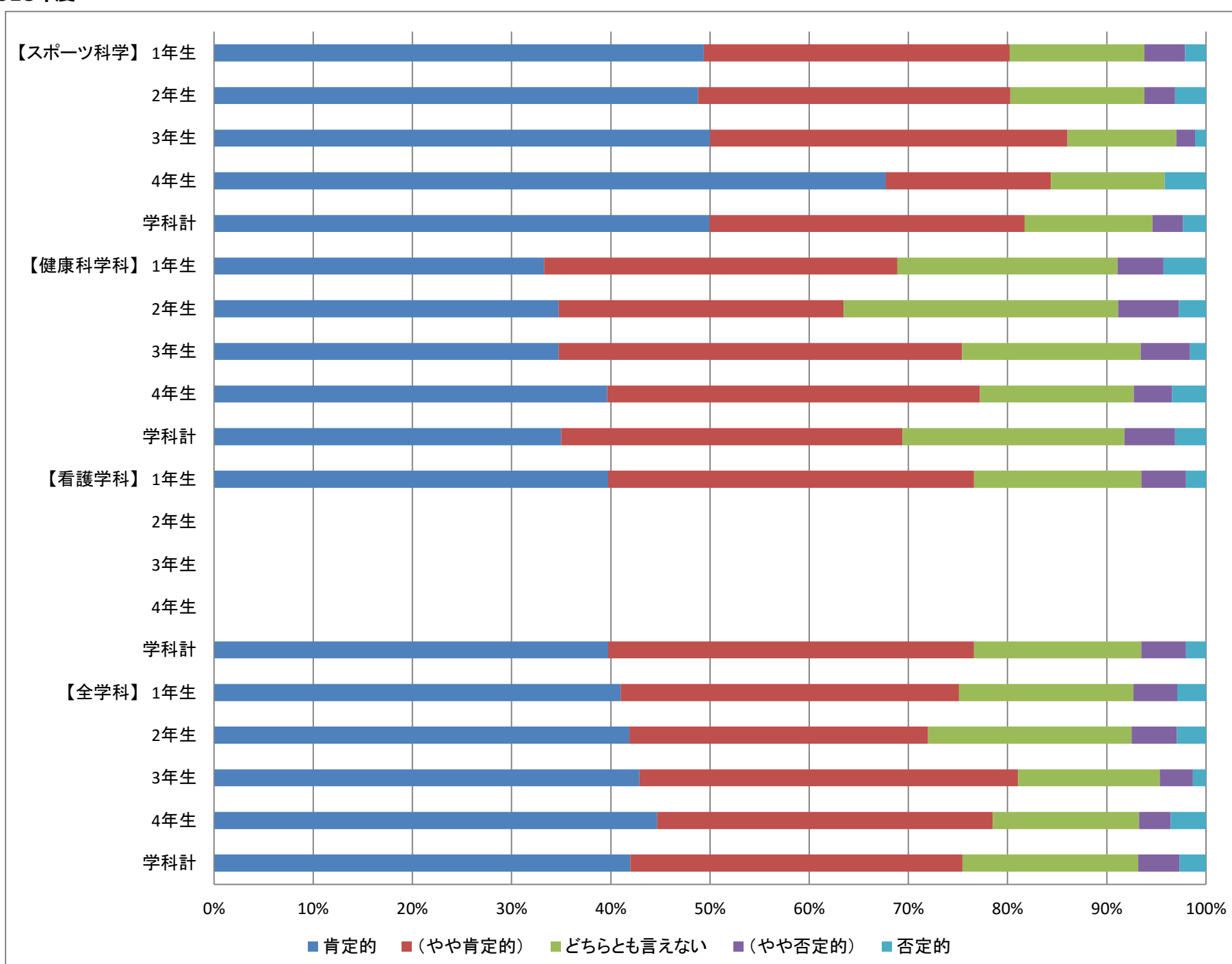
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	スポーツ科学	1年生	469 (49.4%)	293 (30.8%)	129 (13.6%)	39 (4.1%)	20 (2.1%)	4.2
		2年生	534 (48.8%)	344 (31.4%)	148 (13.5%)	34 (3.1%)	34 (3.1%)	4.2
		3年生	319 (50.0%)	230 (36.1%)	70 (11.0%)	12 (1.9%)	7 (1.1%)	4.3
		4年生	65 (67.7%)	16 (16.7%)	11 (11.5%)	0 (0.0%)	4 (4.2%)	4.4
		学科計	1,387 (49.9%)	883 (31.8%)	358 (12.9%)	85 (3.1%)	65 (2.3%)	4.2
	健康科学科	1年生	310 (33.3%)	332 (35.6%)	207 (22.2%)	43 (4.6%)	40 (4.3%)	3.9
		2年生	369 (34.7%)	305 (28.7%)	294 (27.7%)	65 (6.1%)	29 (2.7%)	3.9
		3年生	195 (34.8%)	228 (40.6%)	101 (18.0%)	28 (5.0%)	9 (1.6%)	4.0
		4年生	174 (39.6%)	165 (37.6%)	68 (15.5%)	17 (3.9%)	15 (3.4%)	4.1
		学科計	1,048 (35.0%)	1,030 (34.4%)	670 (22.4%)	153 (5.1%)	93 (3.1%)	3.9
	看護学科	1年生	238 (39.7%)	221 (36.9%)	101 (16.9%)	27 (4.5%)	12 (2.0%)	4.1
		2年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		3年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		4年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		学科計	238 (39.7%)	221 (36.9%)	101 (16.9%)	27 (4.5%)	12 (2.0%)	4.1
	全学科	1年生	1,017 (41.0%)	846 (34.1%)	437 (17.6%)	109 (4.4%)	72 (2.9%)	4.1
		2年生	903 (41.9%)	649 (30.1%)	442 (20.5%)	99 (4.6%)	63 (2.9%)	4.0
		3年生	514 (42.9%)	458 (38.2%)	171 (14.3%)	40 (3.3%)	16 (1.3%)	4.2
		4年生	239 (44.7%)	181 (33.8%)	79 (14.8%)	17 (3.2%)	19 (3.6%)	4.1
		学科計	2,673 (42.0%)	2,134 (33.5%)	1,129 (17.7%)	265 (4.2%)	170 (2.7%)	4.1

< 評価帯グラフ >

2018年度



## 学部学科別【学年別】

学部：社会学部

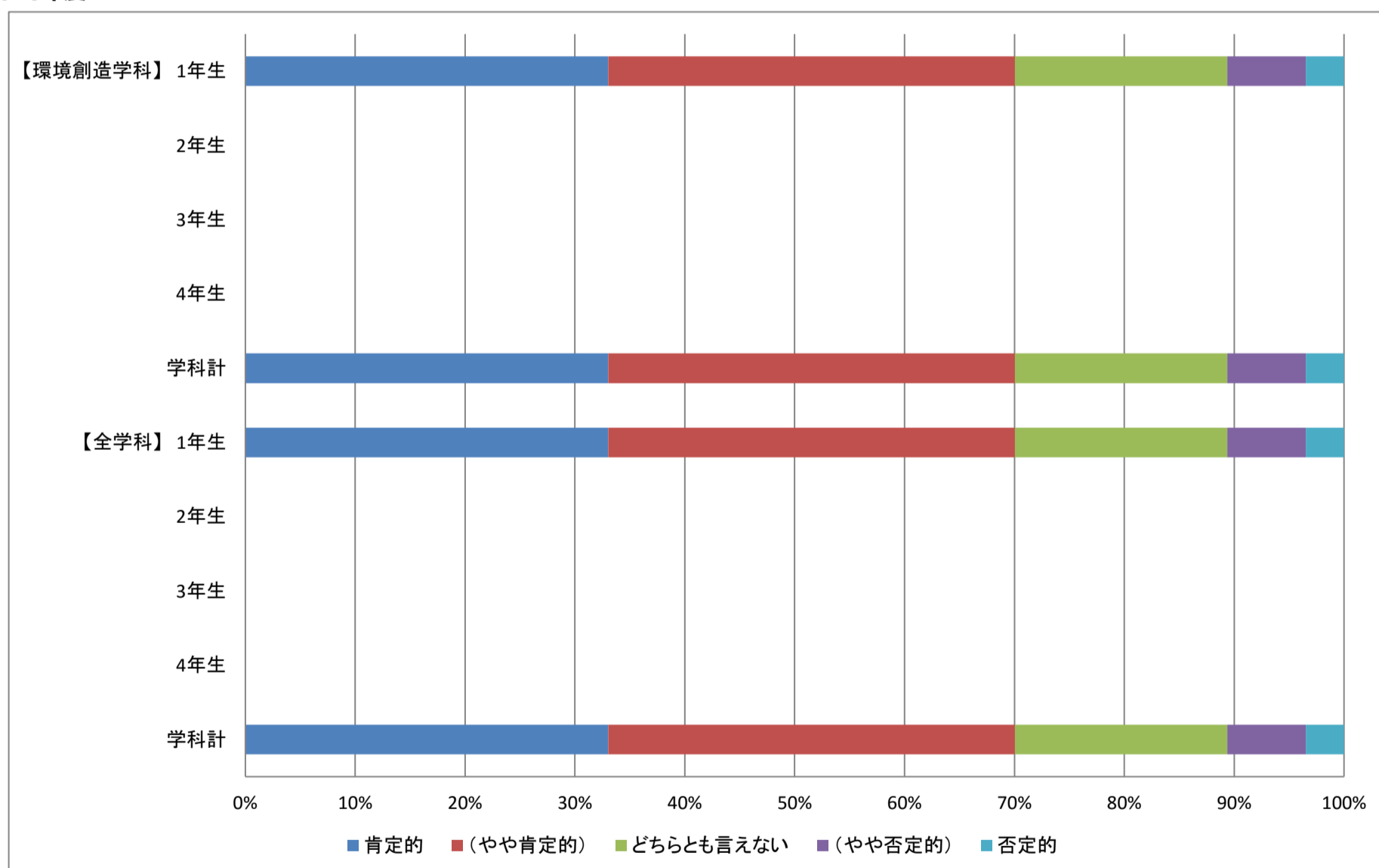
総合評価（ⅢQ13「満足度」の値）

[Q13：満足度]

実施年度	学生の所属		肯定的	(やや肯定的)	どちらとも言えない	(やや否定的)	否定的	平均
2018年度	社会学科	1年生	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9
		2年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		3年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		4年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		学科計	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9
	全学科	1年生	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9
		2年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		3年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		4年生	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
		学科計	628 (33.0%)	704 (37.0%)	368 (19.3%)	136 (7.2%)	66 (3.5%)	3.9

< 評価帯グラフ >

2018年度



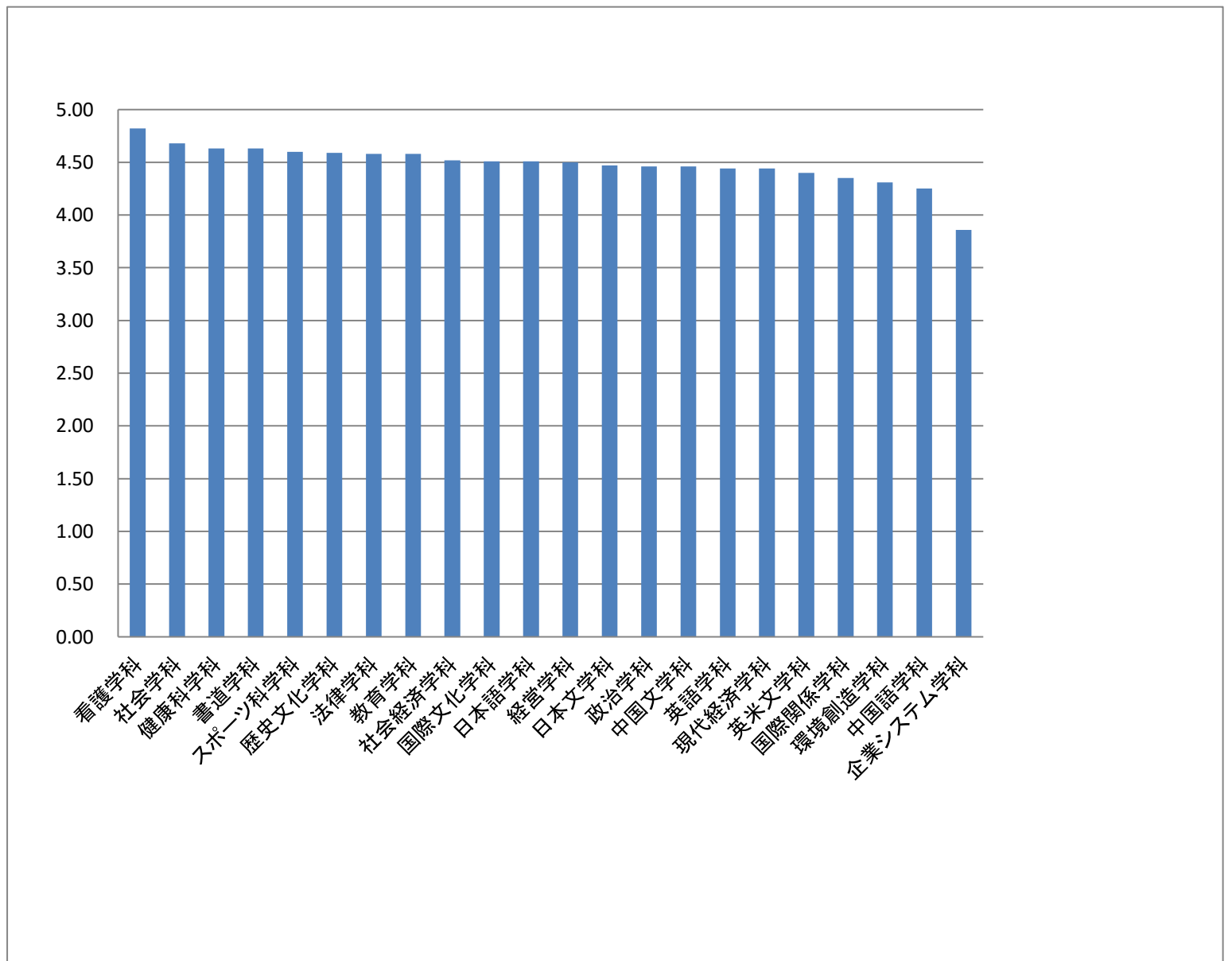
## E. 学科別集計

学科の平均値

	出席率	予習・復習・練習	シラバスの熟読	授業姿勢への自己評価	シラバスの反映	適切な授業進行速度	板書などの見やすさ	教材の使い方	受講態度への対応	教員の熱意	新しい自己発想	自分で考える姿勢	満足度
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
日本文学科	4.47	3.46	3.97	3.84	4.24	4.22	4.09	4.20	4.12	4.49	4.16	4.03	4.24
中国文学科	4.46	3.72	3.98	4.00	4.19	4.21	4.12	4.11	4.17	4.37	4.06	4.05	4.15
英米文学科	4.40	3.79	3.84	3.88	4.15	4.14	4.07	4.10	4.18	4.34	4.07	4.04	4.12
教育学科	4.58	3.68	3.69	4.10	4.21	4.25	4.18	4.23	4.27	4.46	4.25	4.15	4.29
書道学科	4.63	3.68	3.73	4.10	4.17	4.23	4.15	4.24	4.05	4.49	4.23	4.18	4.30
歴史文化学科	4.59	3.70	3.78	3.97	4.00	4.11	4.06	4.13	4.14	4.41	4.13	4.09	4.19
社会経済学科	4.52	3.56	3.80	3.87	4.08	4.05	3.96	3.96	4.09	4.25	3.93	3.88	4.01
現代経済学科	4.44	3.52	3.70	3.75	4.09	4.08	4.01	4.02	4.11	4.24	3.96	3.89	4.03
中国語学科	4.25	3.62	3.70	3.85	3.99	3.96	3.95	3.95	4.11	4.20	3.92	3.90	3.98
英語学科	4.44	3.75	3.71	3.96	4.11	4.16	4.12	4.12	4.16	4.35	4.09	4.04	4.15
日本語学科	4.51	3.80	3.93	4.00	4.22	4.25	4.25	4.24	4.22	4.42	4.14	4.08	4.22
法律学科	4.58	3.46	3.65	3.76	4.02	4.06	3.97	3.94	4.09	4.23	3.90	3.85	4.00
政治学科	4.46	3.36	3.72	3.71	4.03	4.00	3.84	3.91	4.02	4.22	3.91	3.84	3.97
国際関係学科	4.35	3.58	3.87	3.87	4.22	4.30	4.19	4.22	4.21	4.48	4.19	4.13	4.25
国際文化学科	4.51	3.56	3.85	3.89	4.18	4.16	4.08	4.11	4.12	4.39	4.09	4.03	4.14
経営学科	4.50	3.45	3.76	3.76	4.07	4.04	3.89	3.96	4.05	4.21	3.92	3.85	3.99
企業システム学科	3.86	3.42	3.79	3.63	4.13	4.13	3.99	4.00	4.08	4.18	3.94	3.91	4.07
環境創造学科	4.31	3.48	3.88	3.79	4.15	4.20	4.16	4.12	4.16	4.36	4.09	3.99	4.17
スポーツ科学科	4.60	3.71	3.40	4.18	4.05	4.19	4.19	4.15	4.29	4.45	4.21	4.14	4.24
健康科学科	4.63	3.62	3.58	3.88	3.93	3.95	3.87	3.91	3.99	4.16	3.89	3.87	3.93
看護学科	4.82	3.44	3.73	3.90	4.07	4.10	3.81	4.00	4.20	4.36	4.09	4.03	4.08
社会学科	4.68	3.43	3.47	3.77	3.83	3.87	3.90	3.91	4.16	4.19	3.84	3.78	3.89

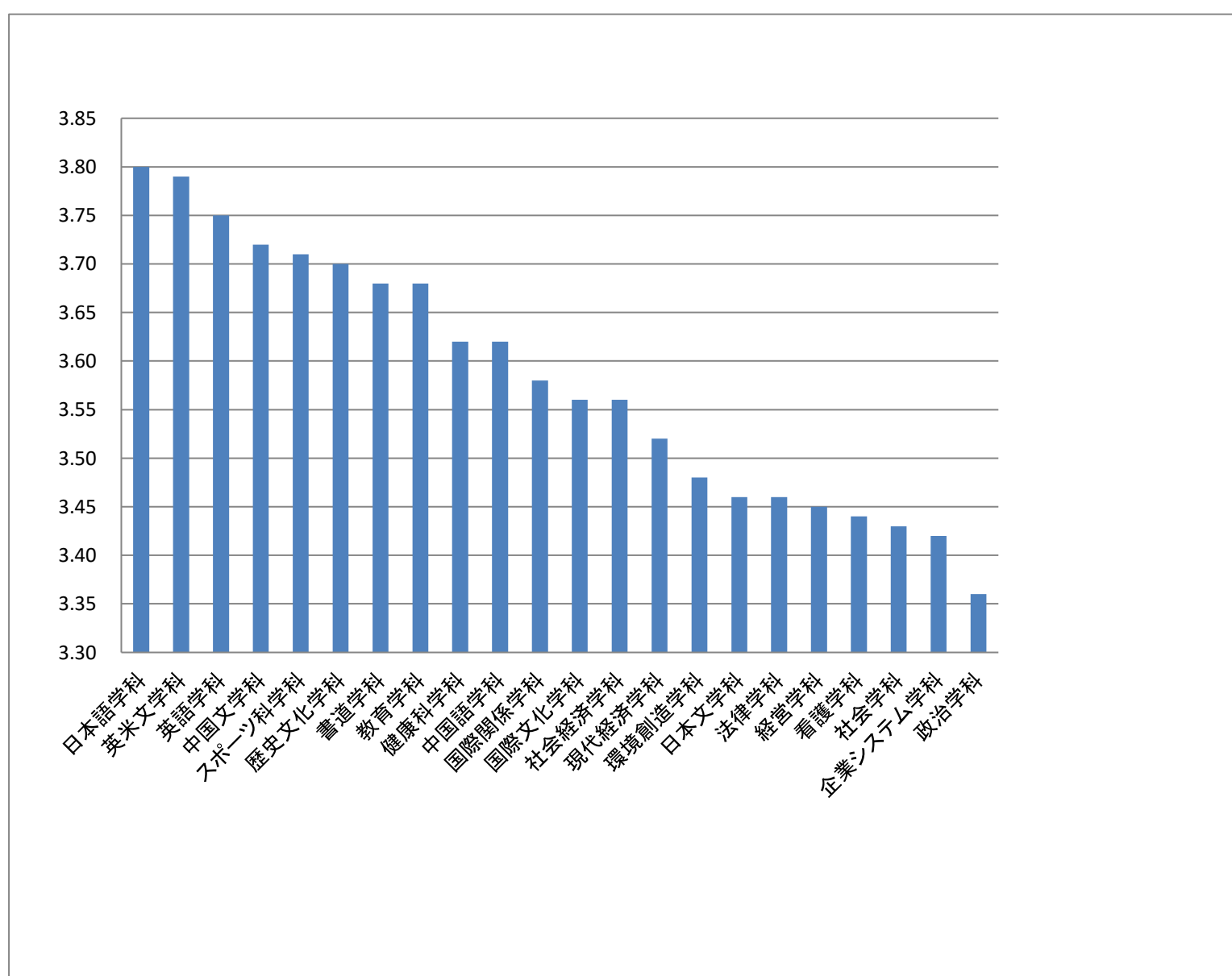
## 出席率

看護学科	4.82
社会学科	4.68
健康科学科	4.63
書道学科	4.63
スポーツ科学科	4.60
歴史文化学科	4.59
法律学科	4.58
教育学科	4.58
社会経済学科	4.52
国際文化学科	4.51
日本語学科	4.51
経営学科	4.50
日本文学科	4.47
政治学科	4.46
中国文学科	4.46
英語学科	4.44
現代経済学科	4.44
英米文学科	4.40
国際関係学科	4.35
環境創造学科	4.31
中国語学科	4.25
企業システム学科	3.86



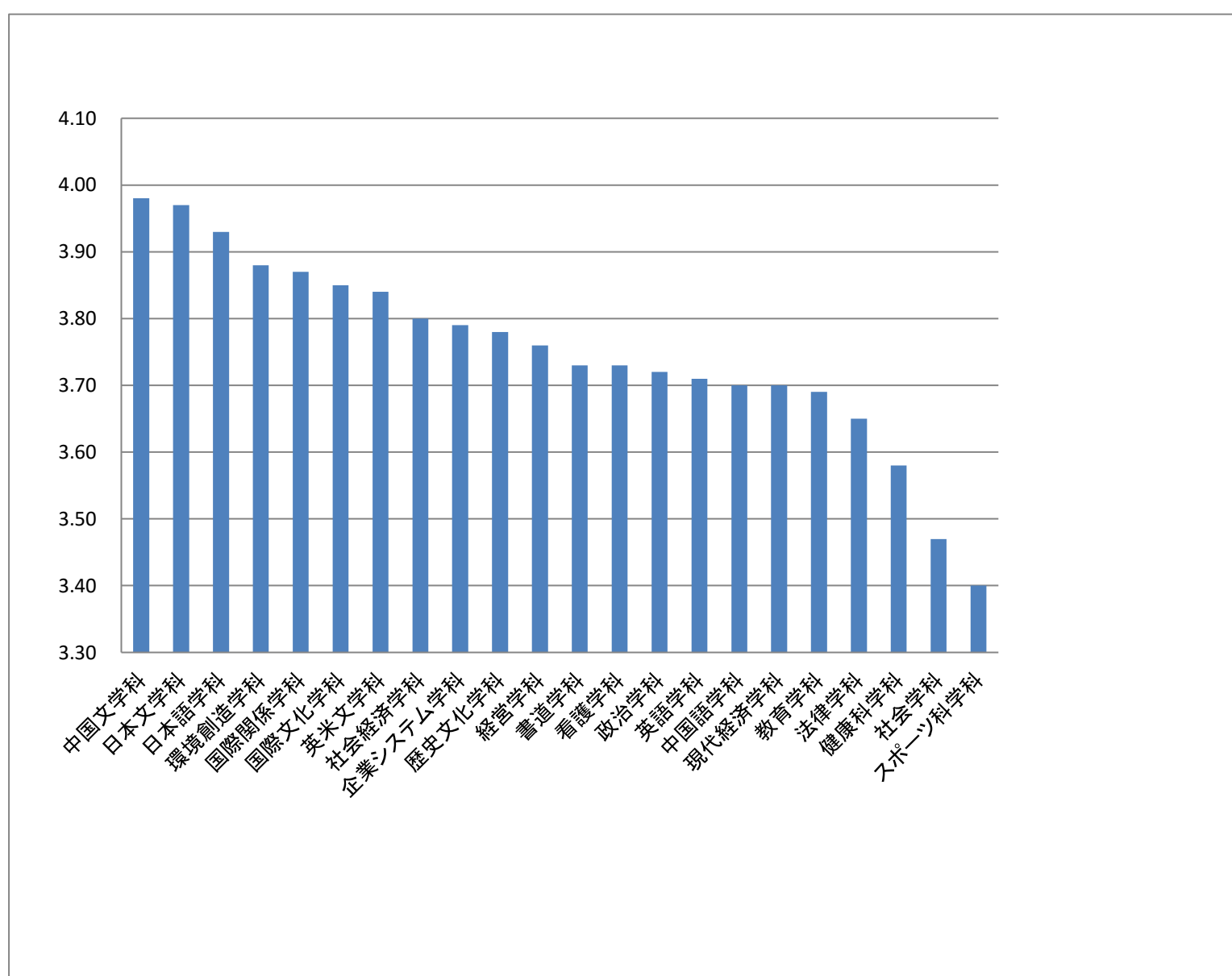
## 予習・復習・練習

日本語学科	3.80
英米文学科	3.79
英語学科	3.75
中国文学科	3.72
スポーツ科学科	3.71
歴史文化学科	3.70
書道学科	3.68
教育学科	3.68
健康科学科	3.62
中国語学科	3.62
国際関係学科	3.58
国際文化学科	3.56
社会経済学科	3.56
現代経済学科	3.52
環境創造学科	3.48
日本文学科	3.46
法律学科	3.46
経営学科	3.45
看護学科	3.44
社会学科	3.43
企業システム学科	3.42
政治学科	3.36



## シラバスの熟読

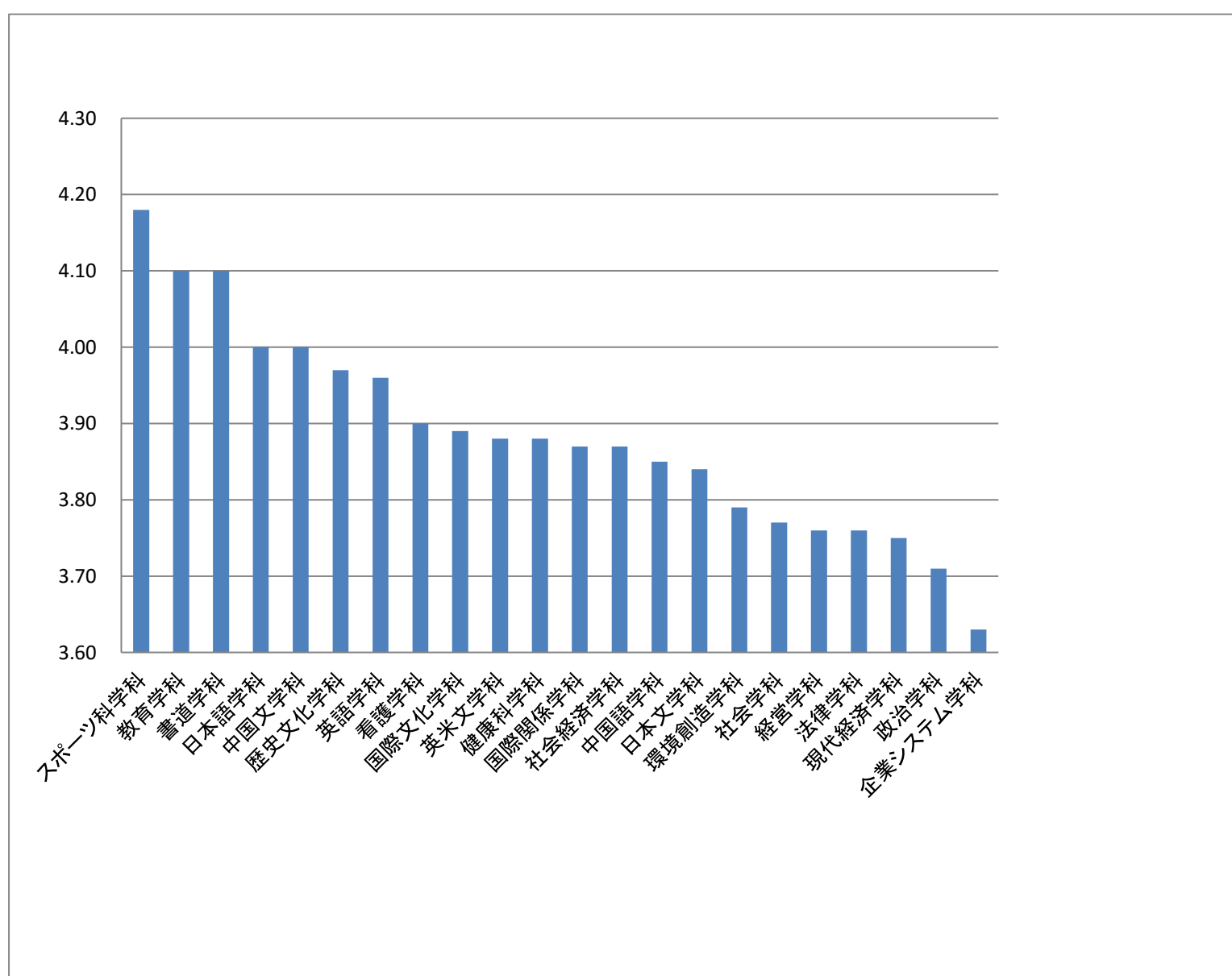
中国文学科	3.98
日本文学科	3.97
日本語学科	3.93
環境創造学科	3.88
国際関係学科	3.87
国際文化学科	3.85
英米文学科	3.84
社会経済学科	3.80
企業システム学科	3.79
歴史文化学科	3.78
経営学科	3.76
書道学科	3.73
看護学科	3.73
政治学科	3.72
英語学科	3.71
中国語学科	3.70
現代経済学科	3.70
教育学科	3.69
法律学科	3.65
健康科学科	3.58
社会学科	3.47
スポーツ科学科	3.40





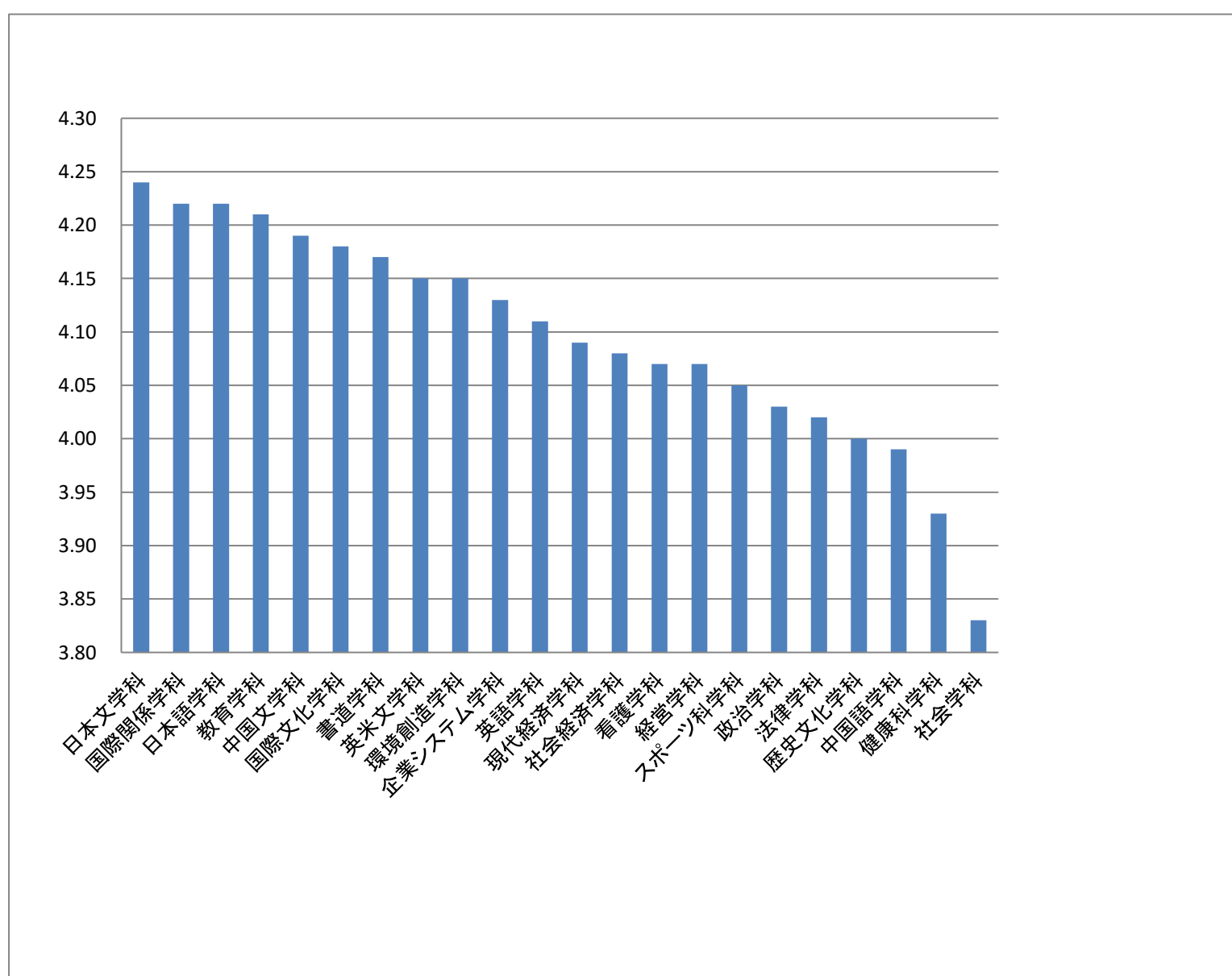
## 授業姿勢への自己評価

スポーツ科学科	4.18
教育学科	4.10
書道学科	4.10
日本語学科	4.00
中国文学科	4.00
歴史文化学科	3.97
英語学科	3.96
看護学科	3.90
国際文化学科	3.89
英米文学科	3.88
健康科学科	3.88
国際関係学科	3.87
社会経済学科	3.87
中国語学科	3.85
日本文学科	3.84
環境創造学科	3.79
社会学科	3.77
経営学科	3.76
法律学科	3.76
現代経済学科	3.75
政治学科	3.71
企業システム学科	3.63



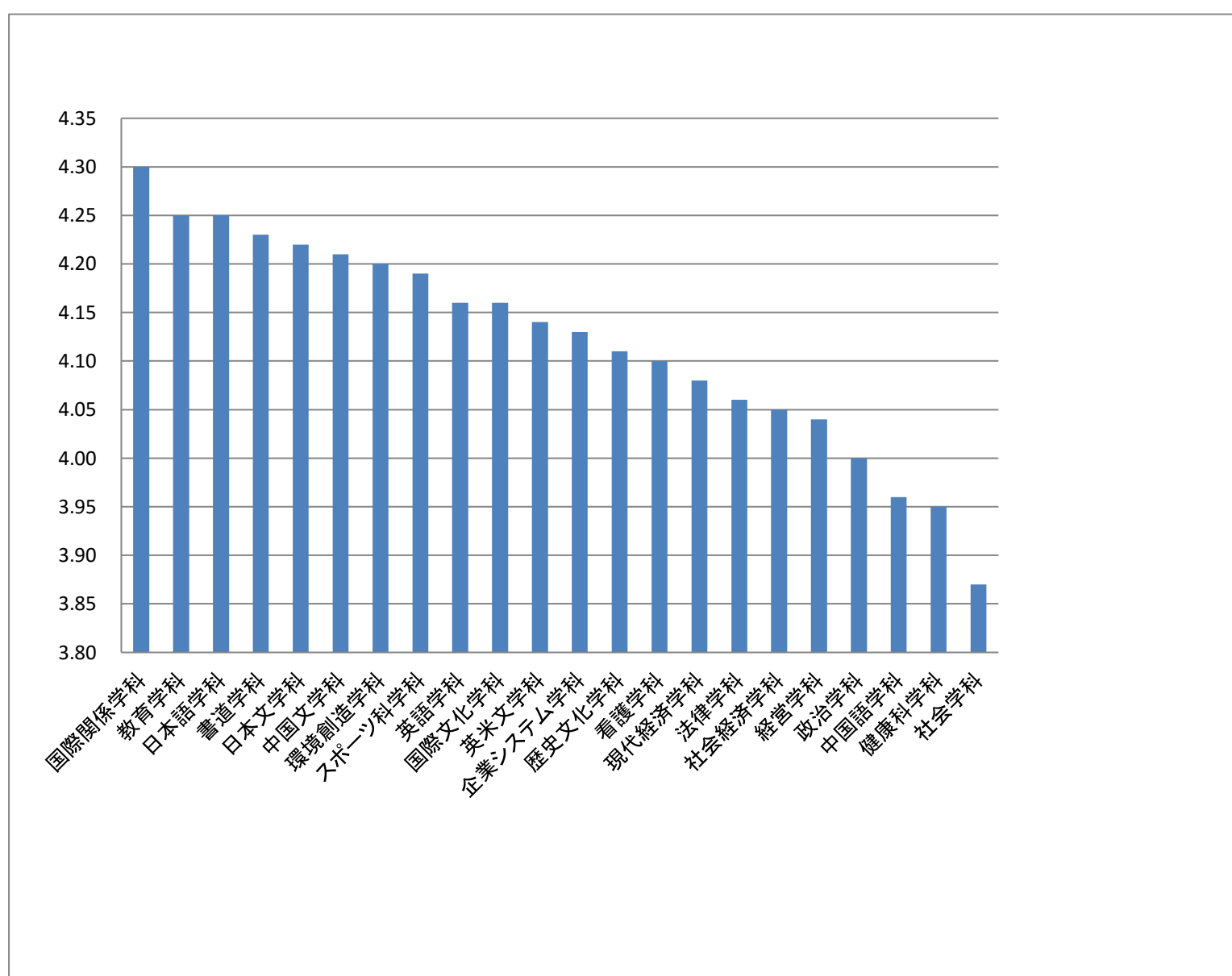
## シラバスの反映

日本文学科	4.24
国際関係学科	4.22
日本語学科	4.22
教育学科	4.21
中国文学科	4.19
国際文化学科	4.18
書道学科	4.17
英米文学科	4.15
環境創造学科	4.15
企業システム学科	4.13
英語学科	4.11
現代経済学科	4.09
社会経済学科	4.08
看護学科	4.07
経営学科	4.07
スポーツ科学科	4.05
政治学科	4.03
法律学科	4.02
歴史文化学科	4.00
中国語学科	3.99
健康科学科	3.93
社会学科	3.83



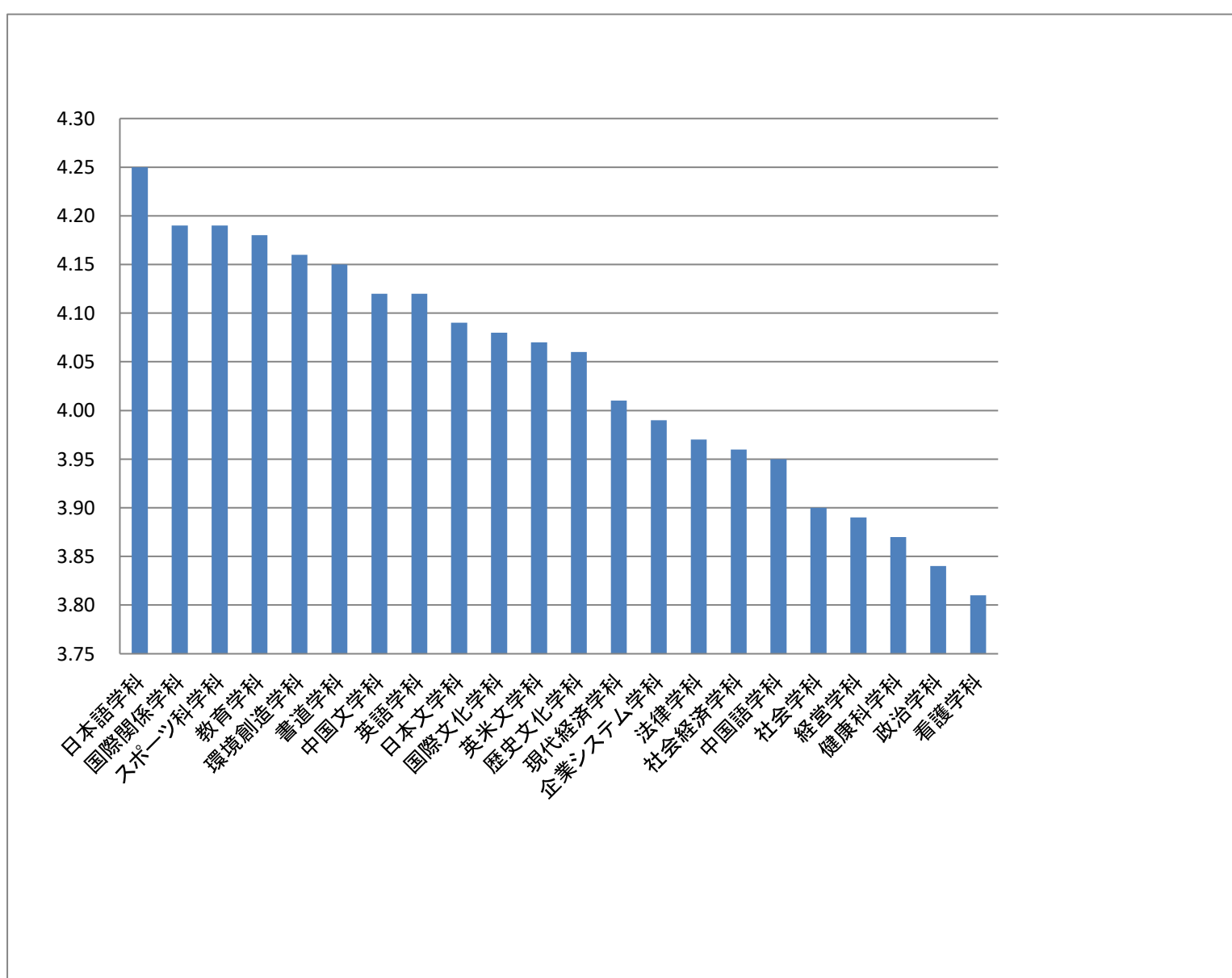
## 適切な授業進行速度

国際関係学科	4.30
教育学科	4.25
日本語学科	4.25
書道学科	4.23
日本文学科	4.22
中国文学科	4.21
環境創造学科	4.20
スポーツ科学科	4.19
英語学科	4.16
国際文化学科	4.16
英米文学科	4.14
企業システム学科	4.13
歴史文化学科	4.11
看護学科	4.10
現代経済学科	4.08
法律学科	4.06
社会経済学科	4.05
経営学科	4.04
政治学科	4.00
中国語学科	3.96
健康科学科	3.95
社会学科	3.87



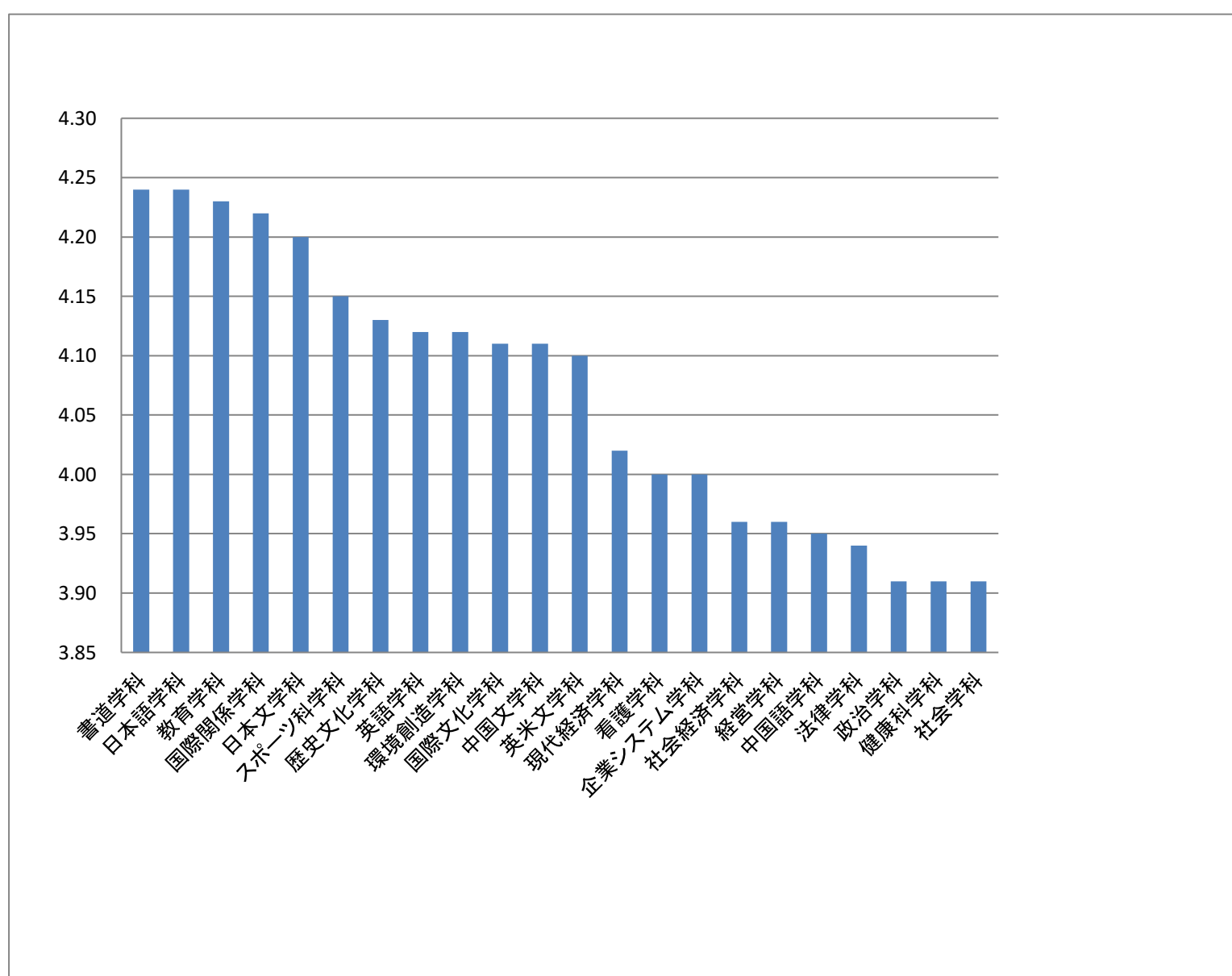
## 板書などの見やすさ

日本語学科	4.25
国際関係学科	4.19
スポーツ科学科	4.19
教育学科	4.18
環境創造学科	4.16
書道学科	4.15
中国文学科	4.12
英語学科	4.12
日本文学科	4.09
国際文化学科	4.08
英米文学科	4.07
歴史文化学科	4.06
現代経済学科	4.01
企業システム学科	3.99
法律学科	3.97
社会経済学科	3.96
中国語学科	3.95
社会学科	3.90
経営学科	3.89
健康科学科	3.87
政治学科	3.84
看護学科	3.81



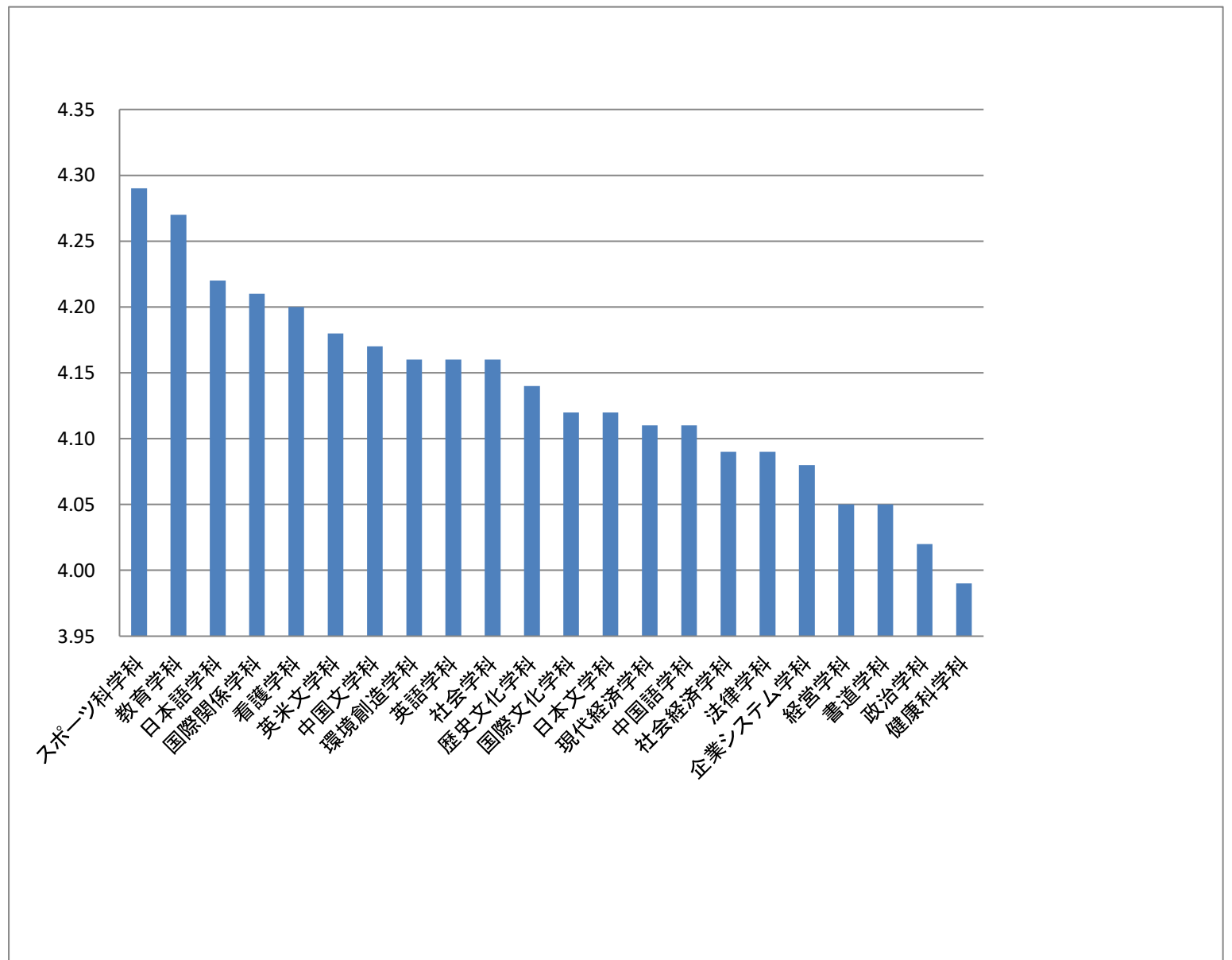
## 教材の使い方

書道学科	4.24
日本語学科	4.24
教育学科	4.23
国際関係学科	4.22
日本文学科	4.20
スポーツ科学科	4.15
歴史文化学科	4.13
英語学科	4.12
環境創造学科	4.12
国際文化学科	4.11
中国文学科	4.11
英米文学科	4.10
現代経済学科	4.02
看護学科	4.00
企業システム学科	4.00
社会経済学科	3.96
経営学科	3.96
中国語学科	3.95
法律学科	3.94
政治学科	3.91
健康科学科	3.91
社会学科	3.91



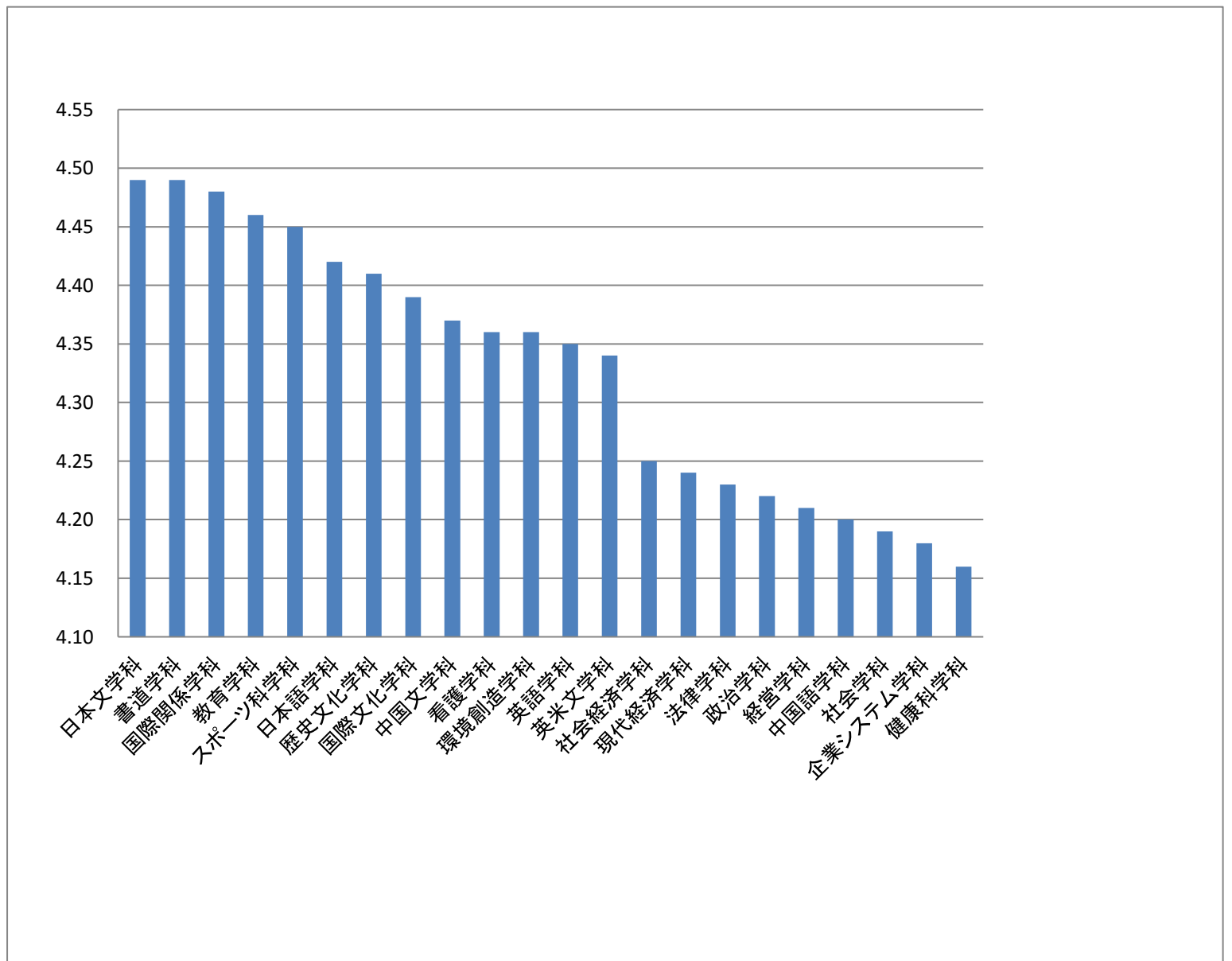
## 受講態度への対応

スポーツ科学科	4.29
教育学科	4.27
日本語学科	4.22
国際関係学科	4.21
看護学科	4.20
英米文学科	4.18
中国文学科	4.17
環境創造学科	4.16
英語学科	4.16
社会学科	4.16
歴史文化学科	4.14
国際文化学科	4.12
日本文学科	4.12
現代経済学科	4.11
中国語学科	4.11
社会経済学科	4.09
法律学科	4.09
企業システム学科	4.08
経営学科	4.05
書道学科	4.05
政治学科	4.02
健康科学科	3.99



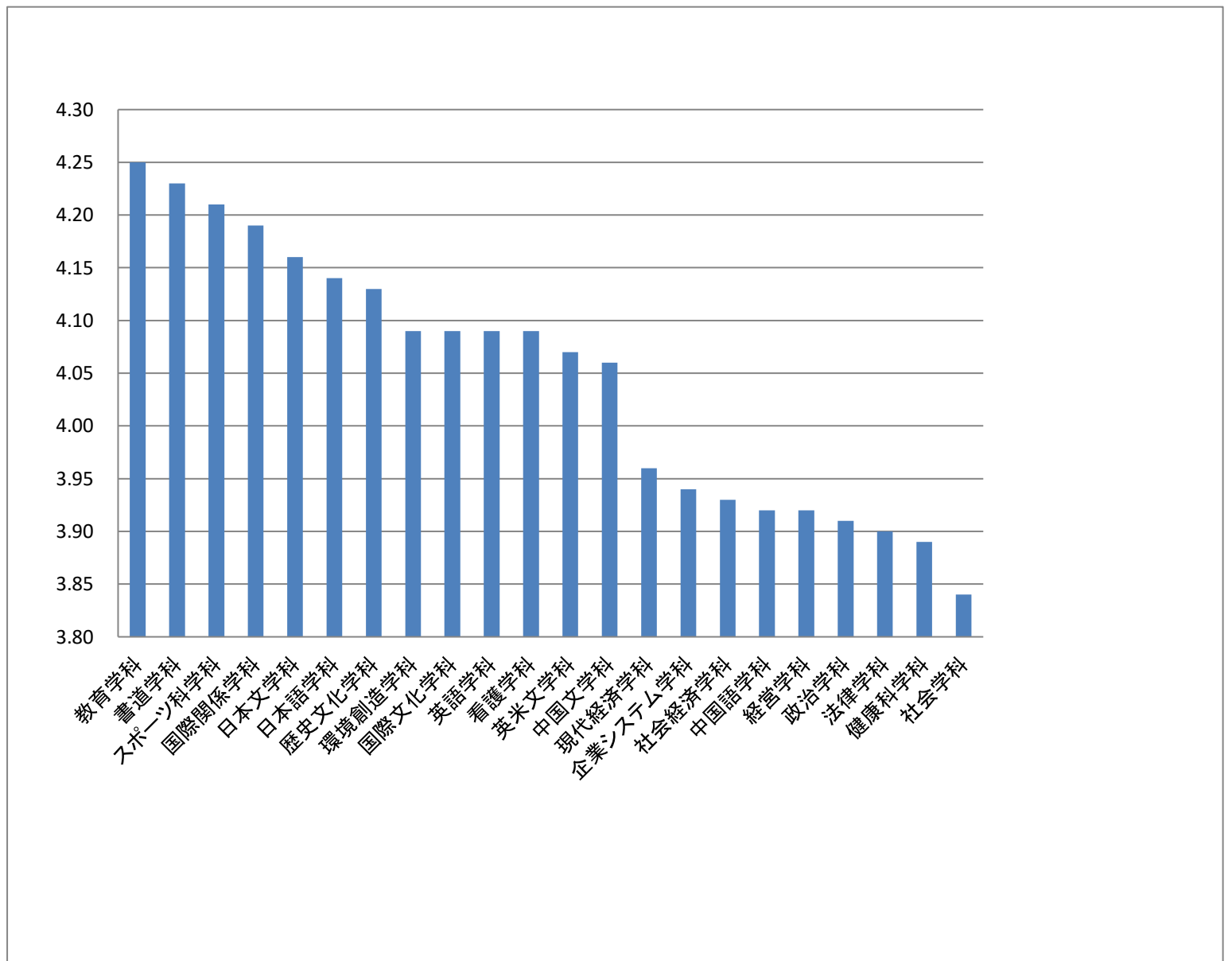
## 教員の熱意

日本文学科	4.49
書道学科	4.49
国際関係学科	4.48
教育学科	4.46
スポーツ科学科	4.45
日本語学科	4.42
歴史文化学科	4.41
国際文化学科	4.39
中国文学科	4.37
看護学科	4.36
環境創造学科	4.36
英語学科	4.35
英米文学科	4.34
社会経済学科	4.25
現代経済学科	4.24
法律学科	4.23
政治学科	4.22
経営学科	4.21
中国語学科	4.20
社会学科	4.19
企業システム学科	4.18
健康科学科	4.16



## 新しい自己発想

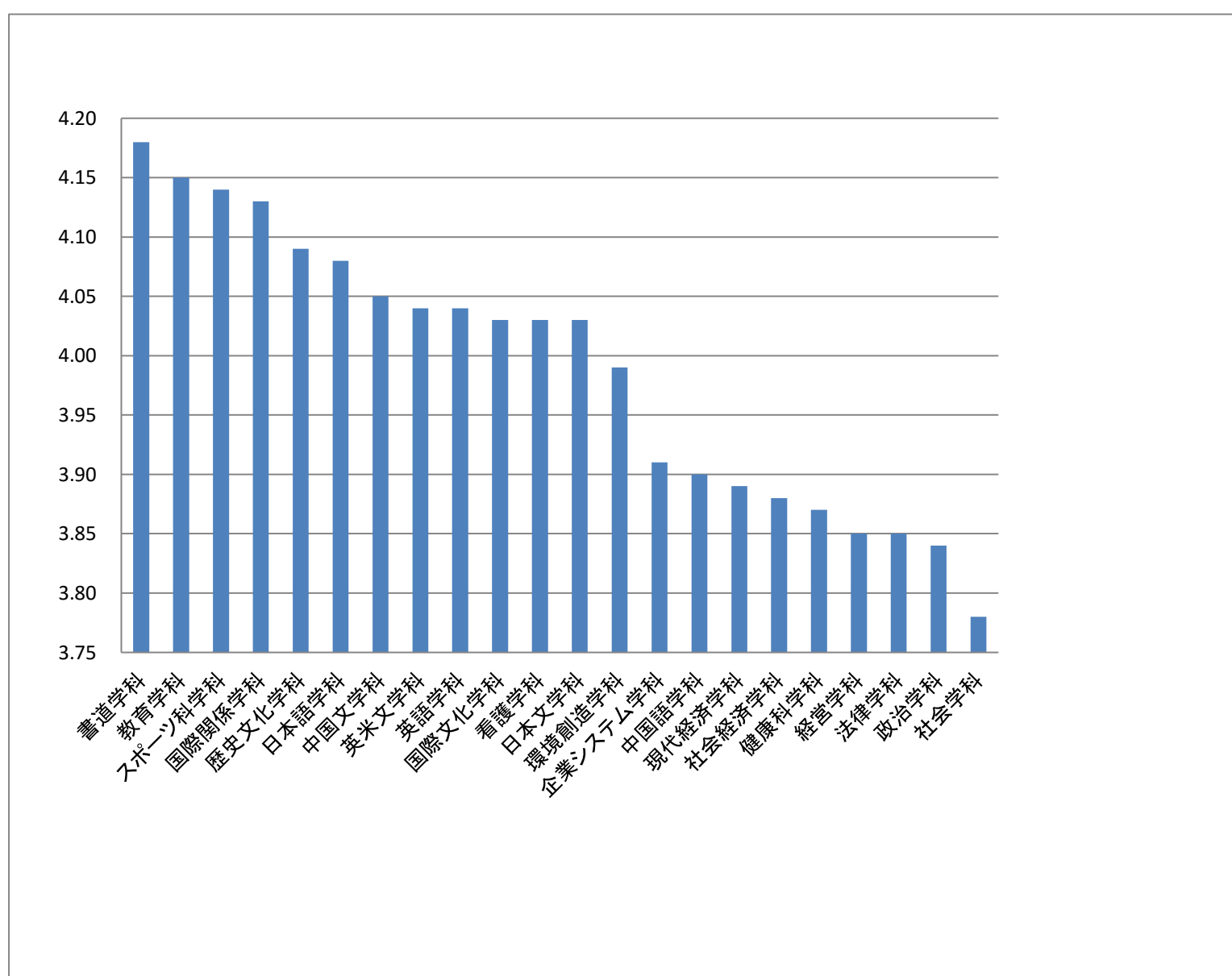
教育学科	4.25
書道学科	4.23
スポーツ科学科	4.21
国際関係学科	4.19
日本文学科	4.16
日本語学科	4.14
歴史文化学科	4.13
環境創造学科	4.09
国際文化学科	4.09
英語学科	4.09
看護学科	4.09
英米文学科	4.07
中国文学科	4.06
現代経済学科	3.96
企業システム学科	3.94
社会経済学科	3.93
中国語学科	3.92
経営学科	3.92
政治学科	3.91
法律学科	3.90
健康科学科	3.89
社会学科	3.84





## 自分で考える姿勢

書道学科	4.18
教育学科	4.15
スポーツ科学科	4.14
国際関係学科	4.13
歴史文化学科	4.09
日本語学科	4.08
中国文学科	4.05
英米文学科	4.04
英語学科	4.04
国際文化学科	4.03
看護学科	4.03
日本文学科	4.03
環境創造学科	3.99
企業システム学科	3.91
中国語学科	3.90
現代経済学科	3.89
社会経済学科	3.88
健康科学科	3.87
経営学科	3.85
法律学科	3.85
政治学科	3.84
社会学科	3.78



## 満足度

書道学科	4.30
教育学科	4.29
国際関係学科	4.25
日本文学科	4.24
スポーツ科学科	4.24
日本語学科	4.22
歴史文化学科	4.19
環境創造学科	4.17
中国文学科	4.15
英語学科	4.15
国際文化学科	4.14
英米文学科	4.12
看護学科	4.08
企業システム学科	4.07
現代経済学科	4.03
社会経済学科	4.01
法律学科	4.00
経営学科	3.99
中国語学科	3.98
政治学科	3.97
健康科学科	3.93
社会学科	3.89

